

**第 4 次地域福祉計画策定に向けた  
地域福祉に関する市民意識調査**

**調査結果報告書**

平成 3 1 年 3 月

# — 目次 —

1	調査の概要	2
2	調査結果【20歳以上市民】	3
	(1) 回答者の属性	3
	(2) 地域意識や地域課題について	6
	(3) ボランティア活動について	18
	(4) 制度や施設の認知度について	21
	(5) 地域防災への取り組みについて	25
	(6) 地域福祉の推進について	31
	(7) 社会福祉協議会について	39
	(8) 今後の地域福祉について	43
3	調査結果【若年者(15～19歳)】	77
	(1) 年齢やご家族について	77
	(2) 福祉教育について	79
	(3) 地域意識について	84
	(4) ボランティアについて	90
	(5) 地域の福祉課題について	93
	(6) 社会福祉協議会について	96
	(7) その他	99
4	調査結果【自治会長及び民生委員・児童委員】	101
	(1) 回答区分や年齢、活動期間について	101
	(2) 地域について	103
	(3) 避難行動要支援者の情報について	111
	(4) 他団体との連携について	112
	(5) 今後の地域福祉について	126
	参考資料：調査票	140

# 1 調査の概要

## ■調査の目的

第4次地域福祉計画の策定にあたり、地域の課題や福祉活動、地域福祉の推進方向など、市民の皆さまからのご意見をお聞きするためにアンケート調査を実施しました。

## ■調査票の回収状況

区分	対象者	調査期間	調査方法	回収状況	
				回収数	回収率
20歳以上 市民	20歳以上の 市民 2,500名	平成30年11月9日～ 11月30日	郵送法	1,536	61.4%
若年者	15～19歳の 市民 1,000名			560	56.0%
自治会長	自治会長 23名	平成30年10月19日～ 11月5日		20	87.0%
民生委員・ 児童委員	民生委員・ 児童委員 156名	平成30年10月19日～ 11月22日		150	96.2%

## ■調査報告書の見方

### ①「N」について

グラフ中の「N」とは、Number of Cases の略で、各設問に該当する回答者総数を表します。

### ②「%」について

グラフ中の「%」は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、単数回答の設問（1つだけに○をつけるもの）であっても、合計が100%にならない場合があります。また、複数回答の設問の場合（あてはまるものすべてに○をつけるものなど）は、「N」に対する各選択肢の回答者数の割合を示します。

### ③選択肢の記載について

グラフ中の選択肢は、原則として調査票に記載された表現のまま記載していますが、一部、必要に応じて省略しています。

### ④クロス集計表について

クロス集計表内において、最も多い回答と2番目には塗りつぶしを行っています。

※記載例

性別					
男性	551	42.8	28.7	20.3	4.4
女性	811	52.4	40.9	27.7	6.2

黒塗り＋白文字  
最も多い回答

グレーの塗りつぶし  
2番目に多い回答

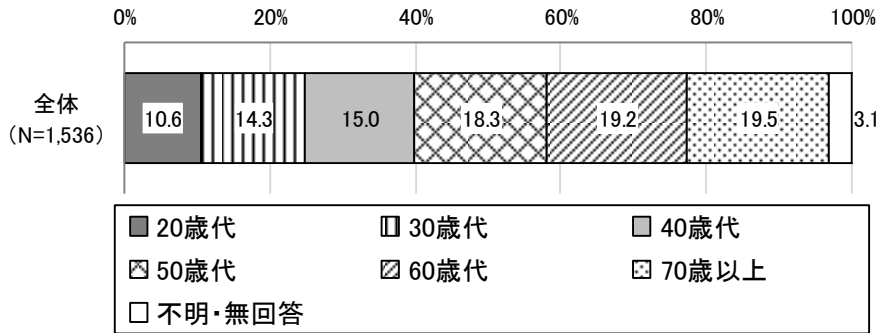
## 2 調査結果【20歳以上市民】

### (1) 回答者の属性

#### ■年代

問 1 あなたの年齢は、平成30年10月1日現在、次のどれですか。(単数回答)

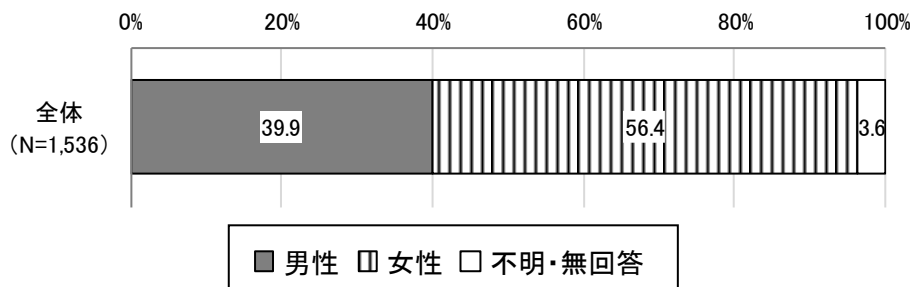
年代については、「70歳以上」が19.5%と最も高く、次いで「60歳代」が19.2%、「50歳代」が18.3%となっています。



#### ■性別

問 2 あなたの性別はどちらですか。(単数回答)

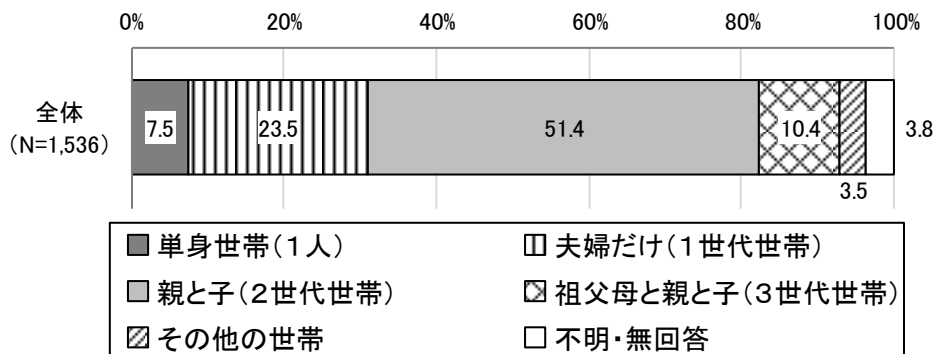
性別については、「男性」が39.9%、「女性」が56.4%となっています。



#### ■家族構成

問 3 あなたが現在同居している家族の構成は次のどれですか。(単数回答)

家族構成については、「親と子(2世代世帯)」が51.4%と最も高く、次いで「夫婦だけ(1世代世帯)」が23.5%、「祖父母と親と子(3世代世帯)」が10.4%となっています。「その他の世帯」では、兄弟のみ、4世代世帯、回答者本人と親戚などとなっています。

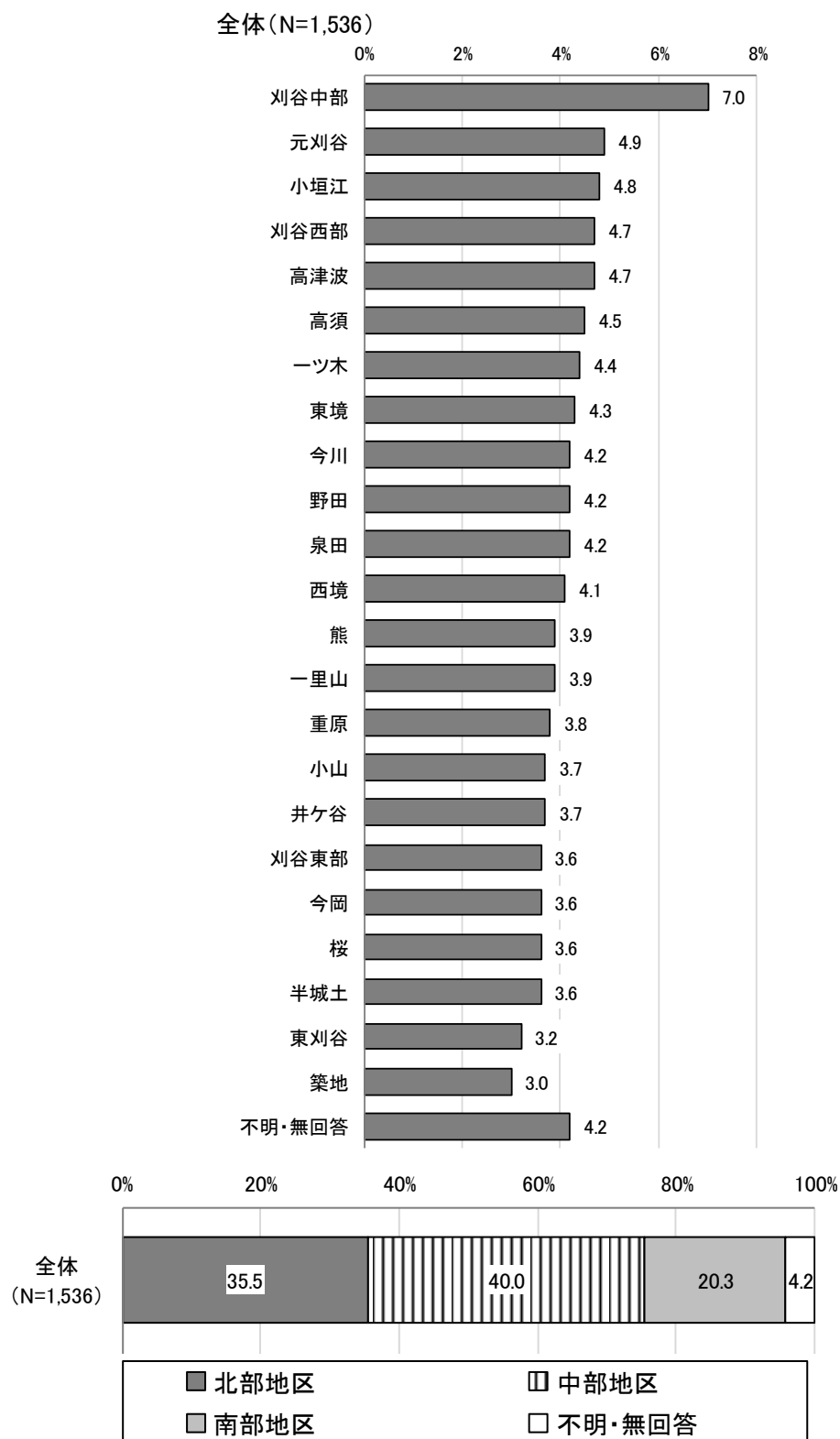


## ■居住地

### 問 4 あなたの居住地(自治会別)は次のうちどれですか。(単数回答)

居住地区については、「刈谷中部」が7.0%で最も高く、次いで「元刈谷」が4.9%、「小垣江」が4.8%となっています。

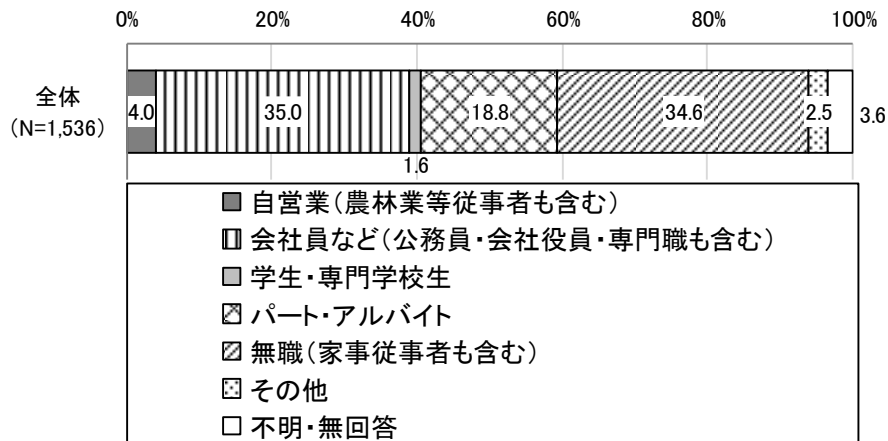
3地区別で見ると、「中部地区」が40.0%と最も高く、次いで「北部地区」が35.5%、「南部地区」が20.3%となっています。



## ■職業

### 問 5 あなたの就業・就学状況は次のどれですか。(単数回答)

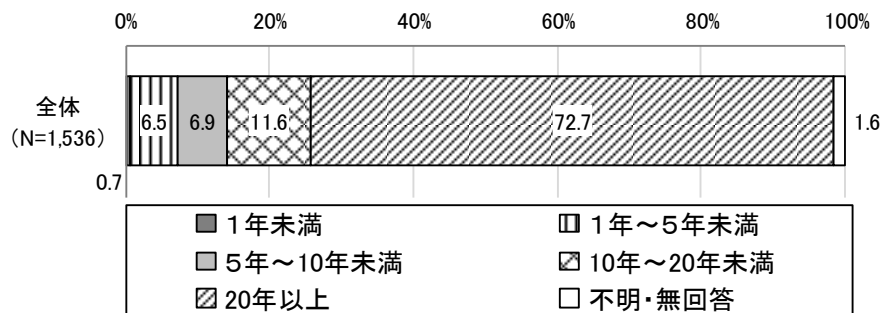
職業については、「会社員など（公務員・会社役員・専門職も含む）」が 35.0%と最も高く、次いで「無職（家事従事者も含む）」が 34.6%、「パート・アルバイト」が 18.8%となっています。「その他」では、産休中、派遣社員、自営業の手伝いなどとなっています。



## ■居住年数

### 問 6 あなたは、刈谷市に住んで通算して何年になりますか。(単数回答)

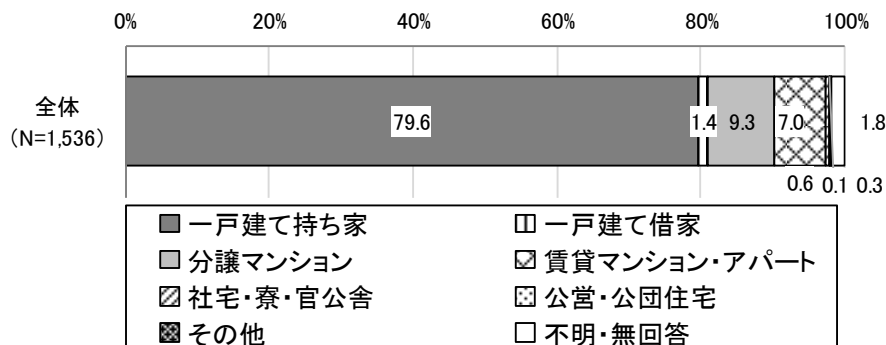
居住年数については、「20年以上」が 72.7%と最も高く、次いで「10年～20年未満」が 11.6%、「5年～10年未満」が 6.9%となっています。



## ■住まいの形態

### 問 7 あなたのお住まいは次のどれですか。(単数回答)

住まいの形態については、「一戸建て持ち家」が 79.6%と最も多く、次いで「分譲マンション」が 9.3%、「賃貸マンション・アパート」が 7.0%となっています。「その他」では、親の持ち家、借地で家は持ち家、などとなっています。



## (2) 地域意識や地域課題について

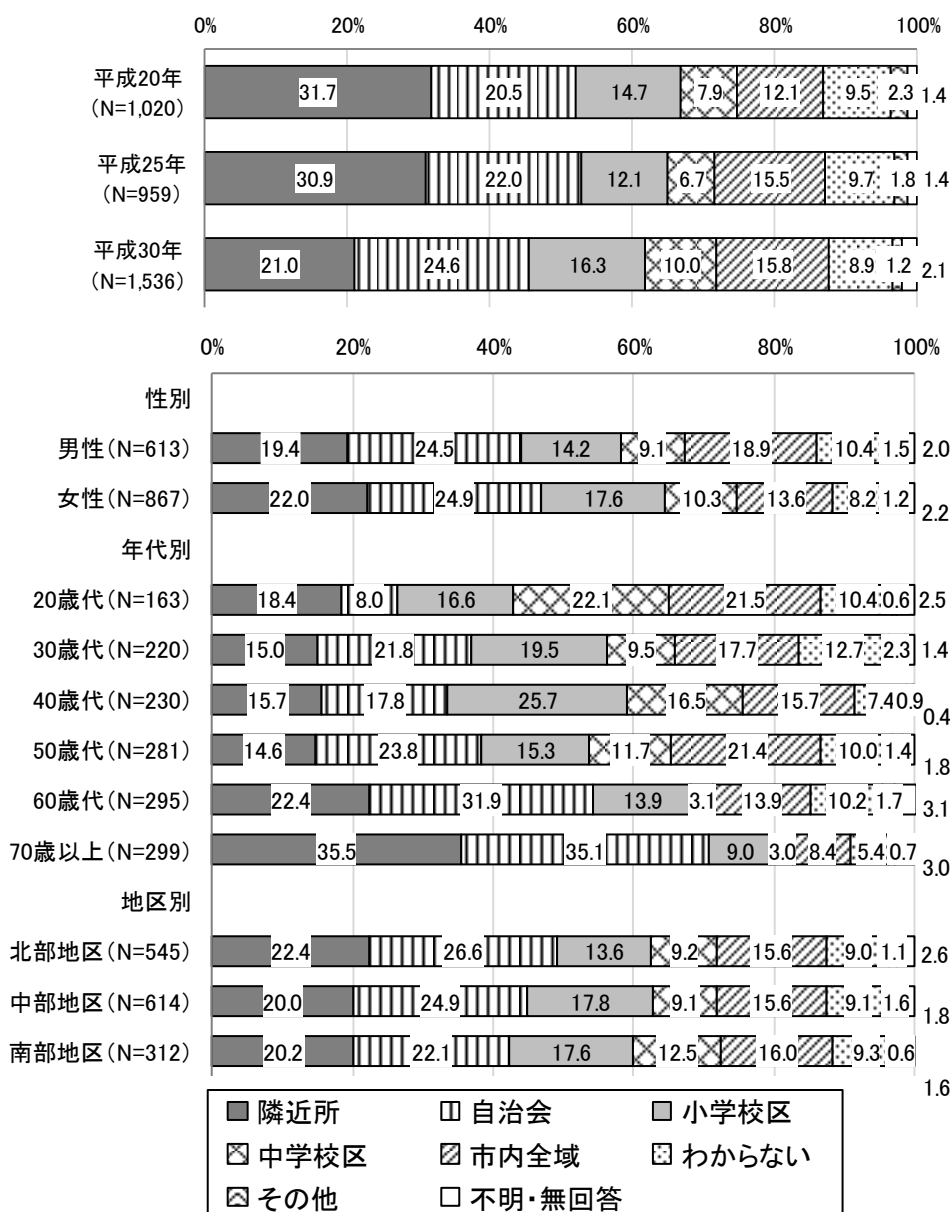
### ■ 認識している「地域」の範囲

#### 問 8 あなたにとって身近に感じられる「地域」とは、どの範囲をいいますか。(単数回答)

回答者が考える「地域」の範囲については、「自治会」が24.6%と最も多く、次いで「隣近所」が21.0%、「小学校区」が16.3%となっています。「その他」では、西三河地区、徒歩2～3分の距離、市内と職場地域などとなっています。

平成20年、平成25年と比較すると、平成20年、平成25年では「隣近所」が最も多かったのが、今回は「自治会」への回答が最も多くなっています。

また、年代別では、70歳以上で「隣近所」への回答の割合が3割を超えて、他の年代よりも多くなっています。



## ■近所づきあいの程度

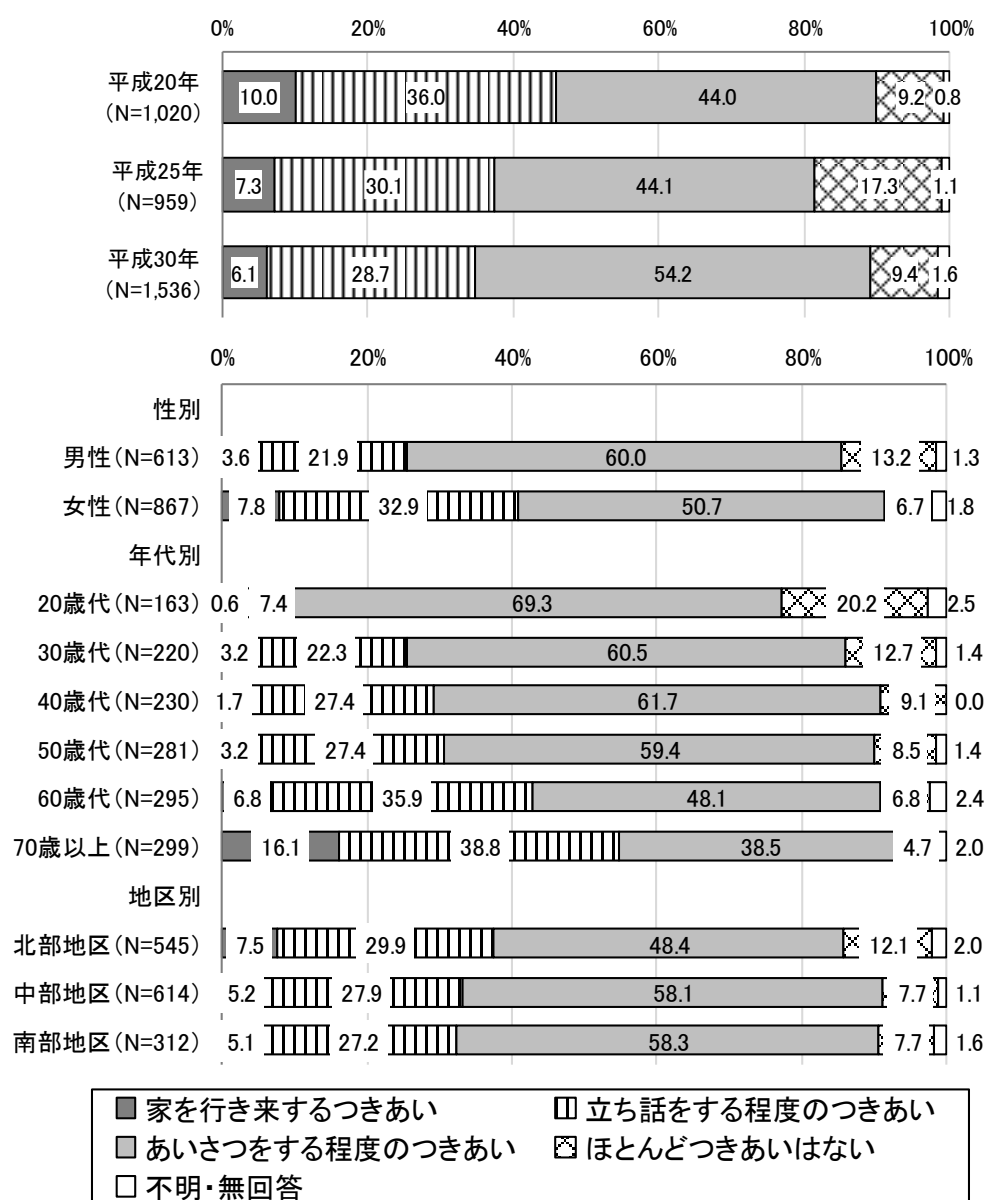
### 問 9 あなたは、ふだん近所の方とどの程度のおつきあいをしていますか。(単数回答)

近所づきあいの程度については、「あいさつをする程度のつきあい」が54.2%と最も多く、次いで「立ち話をする程度のつきあい」が28.7%、「ほとんどつきあいはない」が9.4%となっています。

平成20年、平成25年と比較すると、「家を行き来するつきあい」「立ち話をする程度のつきあい」の割合が減り、「あいさつをする程度のつきあい」の割合が増えており、近所づきあいの程度が浅くなっている傾向がみられます。

また、性別では、女性のほうが「立ち話をする程度のつきあい」が多くなっているほか、年代別では、概ね年代が高いほど「家を行き来するつきあい」「立ち話をする程度のつきあい」への回答が多くなっています。

地区別では、北部地区において「家を行き来するつきあい」「立ち話をする程度のつきあい」が他の地区よりも多くなっていますが、「ほとんどつきあいはない」への回答も他の地区より多くなっています。

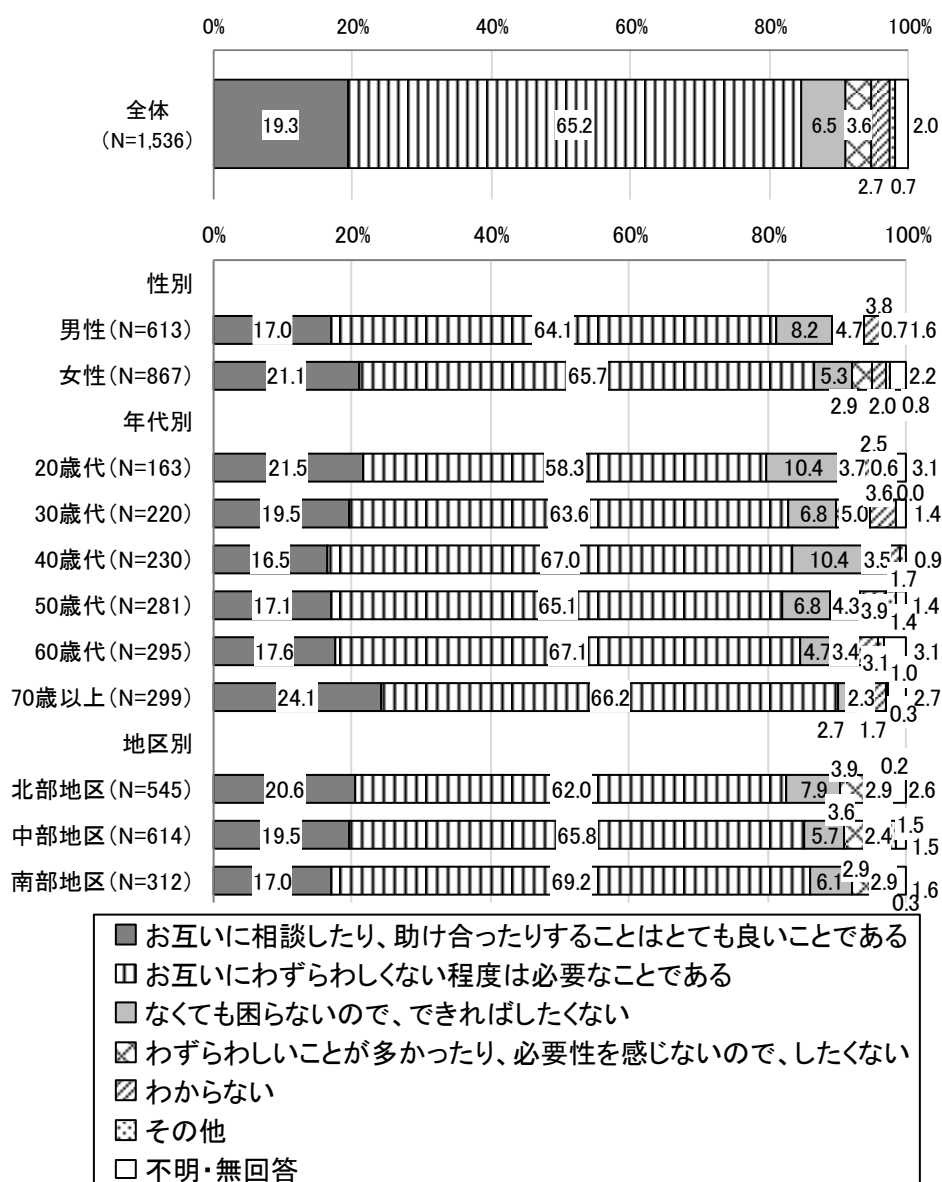




## ■近所づきあいに対する考え

問 10 あなたのご近所とのおつきあいに対する考え方は次のどれに最も近いですか。(単数回答)

近所づきあいに対する考え方については、「お互いにわずらわしくない程度は必要なことである」が65.2%と最も多く、次いで「お互いに相談したり、助け合ったりすることはとても良いことである」が19.3%、「なくても困らないので、できればしたくない」が6.5%となっています。「その他」では、挨拶する程度は大切だと思う、気の合う人ならいいけど難しい人なら嫌、などとなっています。



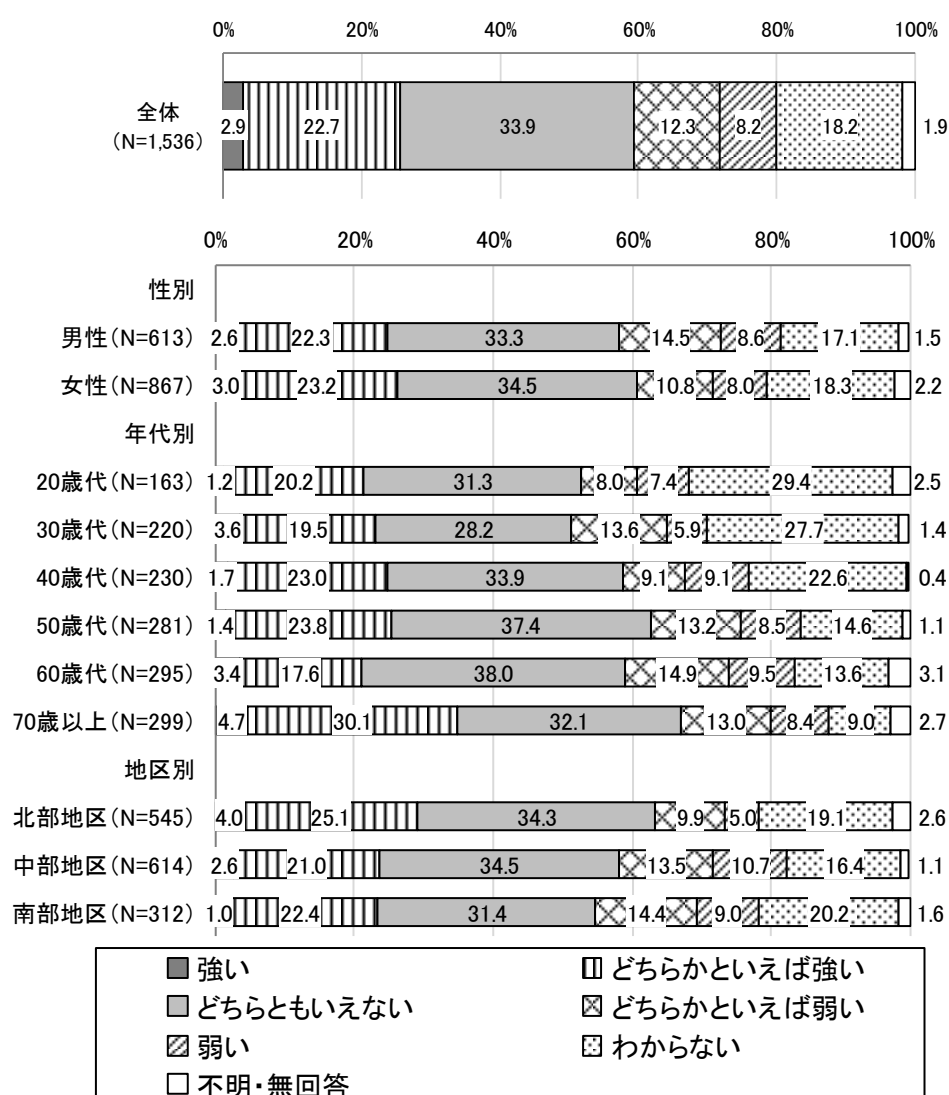
## ■地域のつながりの強さに対する実感

問 11 あなたの住んでいる地域は、住民同士による助け合いや支え合いが行われるなど、地域のつながりが強いと思いますか。(単数回答)

地域のつながりについては、「強い」「どちらかといえば強い」を合わせた〈強い〉は25.6%、「どちらかといえば弱い」「弱い」を合わせた〈弱い〉は20.5%、「どちらともいえない」は33.9%となっており、地域のつながりの強さに対する実感は、強い、弱い、どちらでもない、のいずれかに偏ることなく分かれています。

また、年代別では70歳以上のみ「どちらかといえば強い」が3割を超えて他の年代よりも多くなっています。

地区別では、北部地区において「強い」「どちらかといえば強い」を合わせた〈強い〉は他の地区よりも多くなっています。



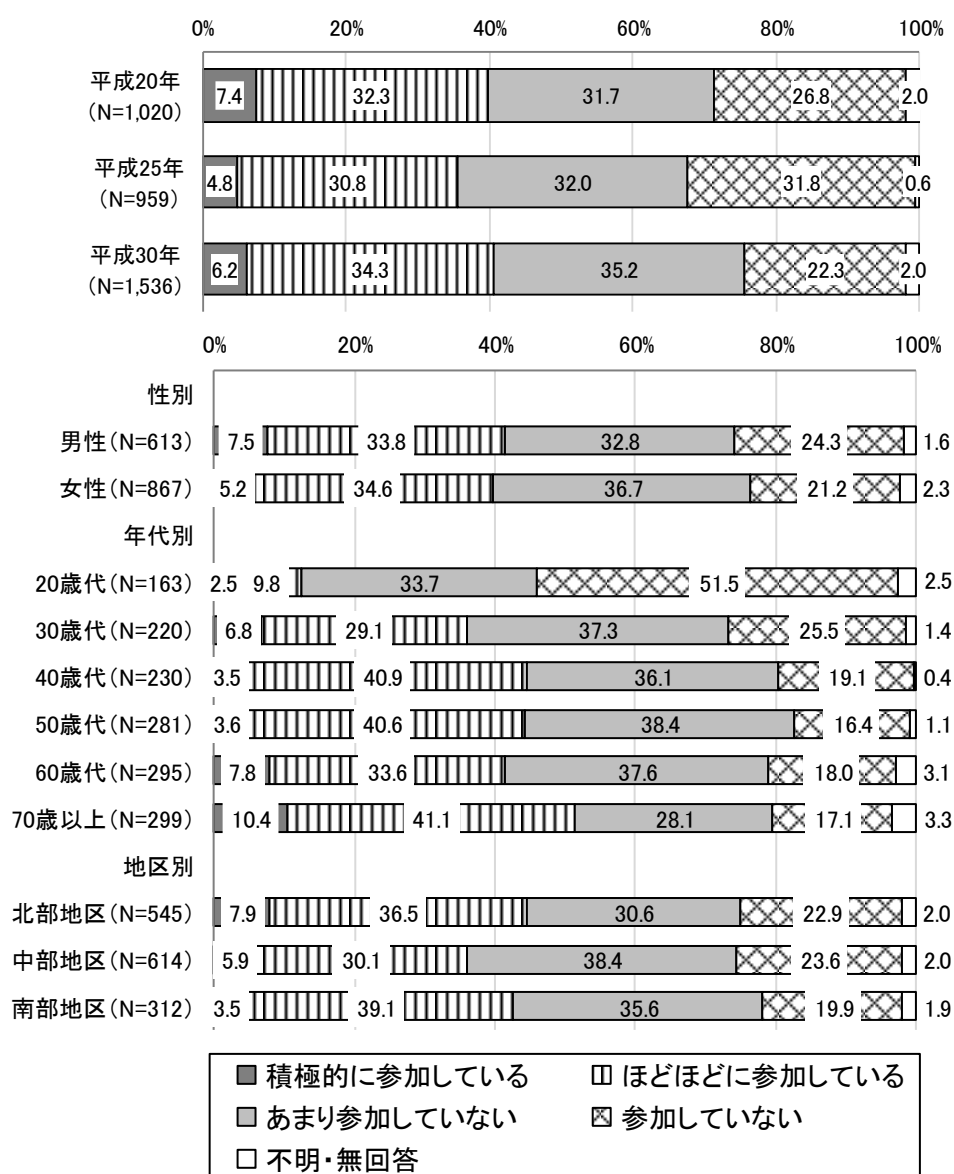
## ■地域の活動や行事への参加状況

### 問 12 あなたは地域の活動や行事にどの程度参加していますか。(単数回答)

地域活動等への参加状況は、「あまり参加していない」が35.2%と最も多く、次いで「ほどほどに参加している」が34.3%、「参加していない」が22.3%となっています。

平成20年、平成25年と比較すると、平成20年、平成25年よりも「参加していない」割合が減っており、程度にかかわらず参加している割合が全体的に増えていることがうかがえます。

また、年代別では、20歳代の「参加していない」割合が5割を超えており、他の年代よりも多くなっています。



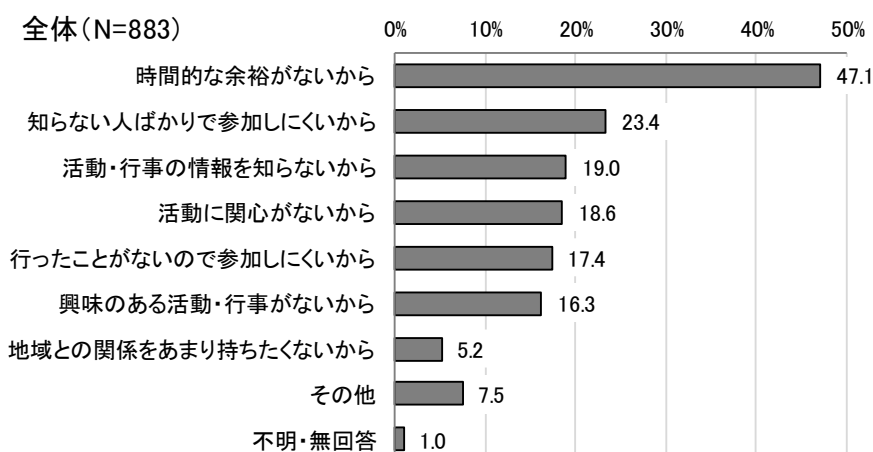
## ■地域の活動や行事に参加していない理由

＜問 12 で「あまり参加していない」「参加していない」と回答した方のみお伺いしています＞

### 問 13 あまり参加していない、参加していない理由は何ですか。(複数回答)

地域活動等に参加していない理由は、「時間的な余裕がないから」が47.1%と最も多く、次いで「知らない人ばかりで参加しにくいから」が23.4%、「活動・行事の情報を知らないから」が19.0%となっています。「その他」では、高齢による、時間に縛られたくない、参加すると役員になりそうだから、などとなっています。

年代別では、70歳以上のみ「行ったことがないので参加しにくいから」への回答が最も多くなっています。



	回答数(人)	回答割合 (%)								
		合計	興味のある活動・行事がないから	時間的な余裕がないから	地域との関係をあまり持ちたくないから	活動・行事の情報を知らないから	行ったことがないので参加しにくいから	知らない人ばかりで参加しにくいから	活動に関心がないから	その他
性別										
男性	350	18.0	44.3	6.9	19.4	15.7	23.7	21.1	6.3	0.6
女性	502	14.9	49.0	4.0	19.1	18.9	23.5	16.7	8.4	1.4
年代別										
20歳代	139	9.4	54.7	5.8	23.7	18.7	23.0	25.9	5.0	-
30歳代	138	18.1	58.0	5.8	31.2	19.6	29.7	14.5	5.8	-
40歳代	127	18.1	55.9	6.3	22.8	14.2	26.8	23.6	7.1	0.8
50歳代	154	18.8	56.5	3.9	17.5	16.2	24.7	11.0	5.8	1.3
60歳代	164	17.7	40.2	6.7	9.8	14.0	22.6	20.1	4.3	1.8
70歳以上	135	14.8	17.0	2.2	11.9	23.7	14.1	16.3	18.5	2.2
地区別										
北部地区	292	14.7	44.5	6.2	22.3	15.1	23.3	19.2	7.9	1.7
中部地区	381	16.8	48.0	3.4	16.8	19.7	25.2	18.1	8.7	0.5
南部地区	173	16.8	48.0	7.5	17.9	17.3	20.8	18.5	4.6	1.2

## ■住んでいる地域の問題と「地域で」解決できる課題

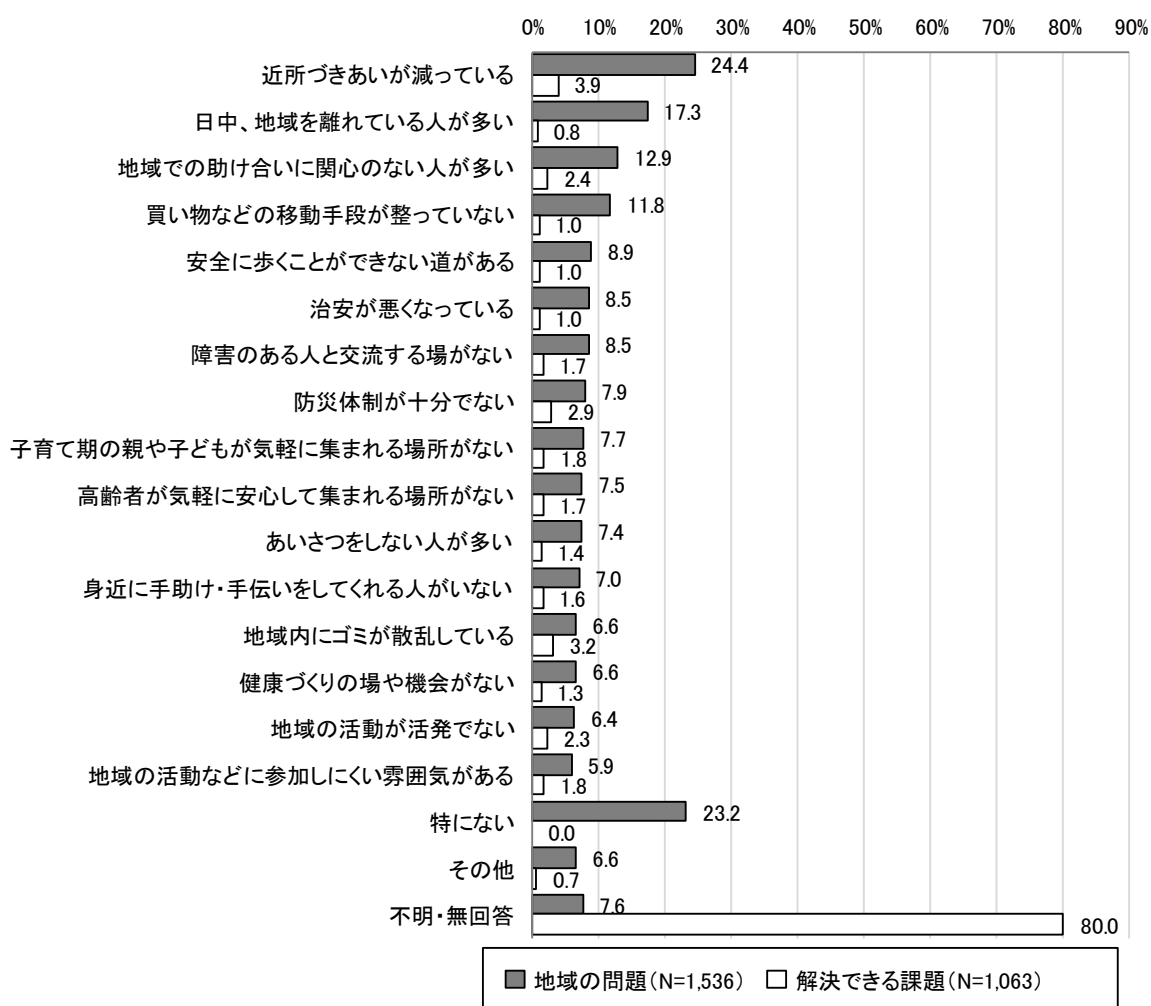
問 14 あなたの住んでいる地域には、どのような問題があると感じていますか。(あてはまるものに○、その中で「地域で」解決できる課題だと思うものは◎)(複数回答)

住んでいる地域の問題については、「近所づきあいが減っている」が24.4%と最も多く、次いで「日中、地域を離れている人が多い」が17.3%、「地域での助け合いに関心がない人が多い」が12.9%となっています。「その他」では、ゴミ出しのルールを守らない人がいる、道路に関すること(街灯がない、不法駐車、抜け道になっていて危ない)などとなっています。

年代別では、「近所づきあいが減っている」は、概ね年代が高いほど多くなっています。

また、地域の問題と感じているもののうち、地域で解決できる課題だと思うものは、「近所づきあいが減っている」が3.9%と最も多く、次いで「地域内にゴミが散乱している」が3.2%、「防災体制が十分でない」が2.9%となっています。

※「『地域で』解決できる課題」は、住んでいる地域に問題が「特にない」への回答や、不明・無回答を除いた回答数で集計



## ○地域の問題

	回答数(人)	回答割合(%)									
	合計	あいさつをしない人が多い	近所づきあいが減っている	地域の活動が活発でない	地域の活動などに参加しにくい雰囲気がある	日中、地域を離れている人が多い	地域での助け合いに関心のない人が多い	買い物などの移動手段が整っていない	治安が悪くなっている	高齢者が気軽に安心して集まれる場所がない	子育て期の親や子どもが気軽に集まれる場所がない
性別											
男性	613	7.8	25.4	8.3	5.4	17.3	14.5	11.1	7.8	7.3	6.5
女性	867	6.9	23.9	5.1	6.0	17.3	11.8	12.7	9.2	7.7	8.5
年代別											
20歳代	163	6.7	17.8	4.3	4.3	12.9	5.5	6.1	5.5	3.7	9.2
30歳代	220	5.5	17.7	5.5	5.9	15.5	11.8	9.5	12.3	1.8	12.7
40歳代	230	5.2	21.7	5.7	7.0	15.7	12.2	12.2	9.1	4.8	7.0
50歳代	281	7.5	24.2	6.0	7.5	23.1	16.7	13.5	12.5	8.9	9.3
60歳代	295	7.1	28.1	6.8	4.1	18.3	13.9	14.6	6.4	6.8	7.1
70歳以上	299	10.4	31.8	9.0	5.7	15.7	14.0	13.0	6.0	15.4	2.7
地区別											
北部地区	545	6.8	23.9	4.6	5.5	18.0	11.6	15.4	11.9	6.6	7.9
中部地区	614	8.0	26.2	7.3	5.7	16.6	14.3	10.9	7.7	8.6	8.0
南部地区	312	6.7	22.1	7.1	6.1	17.3	12.5	8.3	5.1	6.4	5.1

	回答割合(%)								
	障害のある人と交流する場がない	防災体制が十分でない	身近に手助け・手伝いをしてくれる人がいない	地域内にゴミが散乱している	安全に歩くことができない道がある	健康づくりの場や機会がない	特にない	その他	不明・無回答
性別									
男性	7.8	9.6	6.0	6.2	8.2	7.0	23.2	6.4	7.3
女性	9.0	6.6	7.5	6.8	9.6	6.0	23.1	6.7	7.8
年代別									
20歳代	10.4	7.4	5.5	9.8	12.3	4.9	29.4	5.5	6.7
30歳代	5.5	9.1	6.4	9.5	17.3	6.4	24.5	9.5	8.2
40歳代	9.1	6.5	6.1	5.2	11.7	4.3	27.4	8.3	5.2
50歳代	10.3	11.4	8.9	8.2	7.8	6.8	20.6	6.8	7.1
60歳代	9.8	6.8	7.1	4.1	4.4	8.8	22.4	4.7	9.2
70歳以上	6.4	6.4	7.4	5.0	4.7	6.4	18.4	5.4	8.7
地区別									
北部地区	8.8	8.3	6.1	8.3	9.9	6.4	22.8	6.8	6.6
中部地区	8.1	7.5	7.3	5.2	9.3	6.8	23.5	6.7	7.7
南部地区	8.3	8.3	6.7	6.7	6.7	5.4	24.0	5.8	9.3

## ○解決できる課題

	回答数(人)	回答割合(%)									
	合計	あいさつをしない人が多い	近所づきあいが減っている	地域の活動が活発でない	地域の活動などに参加しにくい雰囲気がある	日中、地域を離れている人が多い	地域での助け合いに関心のない人が多い	買い物などの移動手段が整っていない	治安が悪くなっている	高齢者が気軽に安心して集まれる場所がない	子育て期の親や子どもが気軽に集まれる場所がない
性別											
男性	426	1.6	4.7	2.3	1.2	0.5	2.8	0.9	0.7	1.6	
女性	599	1.3	3.3	2.3	2.0	1.0	1.8	1.2	1.3	1.8	
年代別											
20歳代	104	1.9	4.8	3.8	1.9	1.0	2.9	1.0	1.0	1.0	
30歳代	148	2.0	3.4	0.7	1.4	0.7	0.7	1.4	1.4	2.7	
40歳代	155	2.6	5.8	3.2	3.9	-	2.6	0.6	0.6	2.6	
50歳代	203	1.0	4.4	2.5	1.5	2.0	2.5	1.5	2.0	3.0	
60歳代	202	1.0	2.5	2.5	0.5	-	2.5	0.5	1.5	0.5	
70歳以上	218	0.9	3.2	1.8	1.4	0.9	2.3	1.4	-	2.3	
地区別											
北部地区	385	1.3	4.4	2.3	1.8	1.0	3.1	1.0	1.8	1.6	
中部地区	423	2.1	3.8	2.1	0.9	0.5	1.2	0.7	0.7	1.7	
南部地区	208	-	1.9	2.4	2.4	1.0	2.4	1.4	0.5	1.4	

	回答割合(%)								
	障害のある人と交流する場がない	防災体制が十分でない	身近に手助け・手伝いをしてくれる人がいない	地域内にゴミが散乱している	安全に歩くことができない道がある	健康づくりの場や機会がない	特にない	その他	不明・無回答
性別									
男性	1.9	3.5	1.2	2.8	1.4	1.2	-	0.7	81.5
女性	1.7	2.7	2.0	3.7	0.8	1.5	-	0.7	78.5
年代別									
20歳代	-	1.9	3.8	3.8	1.0	1.9	-	-	77.9
30歳代	1.4	0.7	2.0	3.4	2.7	0.7	-	1.4	79.7
40歳代	3.2	4.5	1.3	1.9	1.9	1.3	-	1.9	74.2
50歳代	3.4	4.9	1.5	3.9	1.5	2.5	-	0.5	76.8
60歳代	1.0	3.5	1.0	4.5	-	1.0	-	0.5	82.2
70歳以上	0.9	1.8	1.4	2.3	-	0.9	-	-	85.3
地区別									
北部地区	2.1	3.4	1.3	3.4	1.6	1.6	-	0.5	80.8
中部地区	1.7	2.8	1.7	3.1	0.9	1.2	-	0.9	79.9
南部地区	1.4	2.9	1.4	3.8	0.5	1.4	-	0.5	78.4

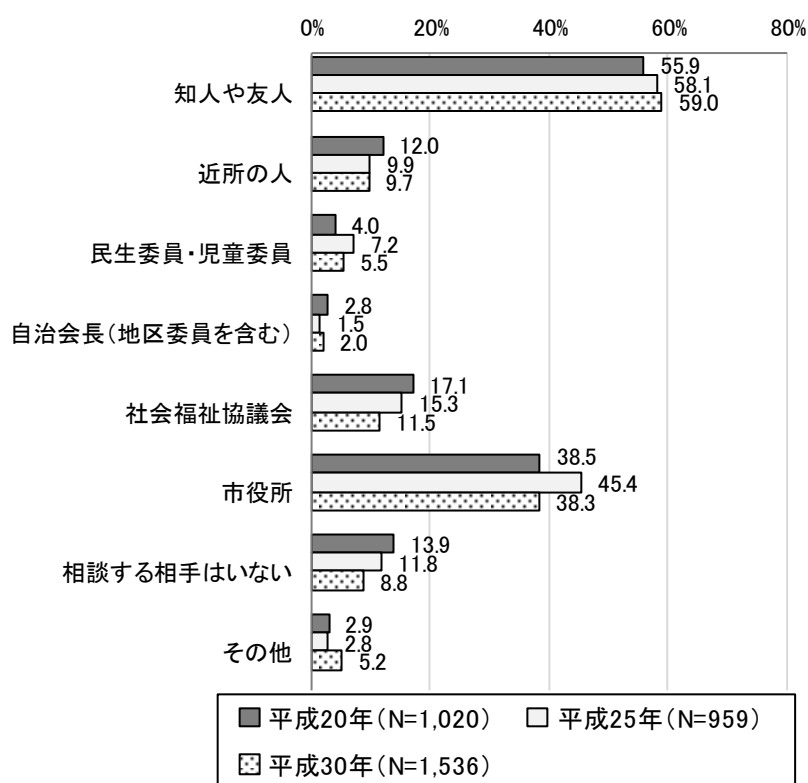
## ■生活支援の問題を相談する相手

問 15 あなたは、介護、子育て、生活支援の問題で困った場合に、相談するのはどこ(どなた)ですか。ただし、家族と親族は除きます。(複数回答)

生活支援の問題を相談する相手(相談先)については、「知人や友人」が59.0%と最も多く、次いで「市役所」が38.3%、「社会福祉協議会」が11.5%となっており、「近所の人」「民生委員・児童委員」「自治会長」は1割未満にとどまっています。「その他」では、地域包括支援センター、ケアマネジャー、インターネットなどとなっています。

平成20年、平成25年と比較すると、「知人や友人」は増加傾向となっており、「社会福祉協議会」「市役所」が減少傾向となっています。また、「相談する相手はいない」も減少傾向となっています。

性別では、女性より男性のほうが「相談する相手はいない」への回答が多く、年代別では、若い世代では「知人や友人」が7割を超えていますが、60歳以降はその割合は半数以下となっています。



	回答数(人)	回答割合(%)								
		知人や友人	近所の人	民生委員・児童委員	自治会長(地区委員を含む)	社会福祉協議会	市役所	相談する相手はいない	その他	不明・無回答
性別										
男性	613	50.6	8.2	7.0	3.6	11.6	40.5	11.4	5.4	3.6
女性	867	65.3	10.7	4.5	0.8	11.9	36.6	7.2	5.2	3.6
年代別										
20歳代	163	75.5	4.3	1.2	0.6	3.1	29.4	8.6	4.3	2.5
30歳代	220	78.6	9.1	0.5	-	4.1	25.0	8.2	10.0	1.4
40歳代	230	68.3	7.8	2.2	-	5.7	32.6	8.3	6.1	3.0
50歳代	281	67.3	10.7	3.2	2.1	14.2	44.5	7.5	3.9	1.8
60歳代	295	43.7	11.2	6.4	1.4	14.9	45.8	10.8	3.4	5.4
70歳以上	299	36.8	12.4	15.4	6.4	21.1	43.8	9.7	5.0	6.4
地区別										
北部地区	545	61.3	12.3	6.8	2.0	10.1	34.9	9.0	4.2	3.3
中部地区	614	58.5	7.8	4.4	1.8	12.2	39.1	8.8	7.0	3.3
南部地区	312	56.1	9.0	5.8	2.6	13.8	42.9	9.0	3.5	4.8

## ■日常生活上の問題の解決方法に対する考え

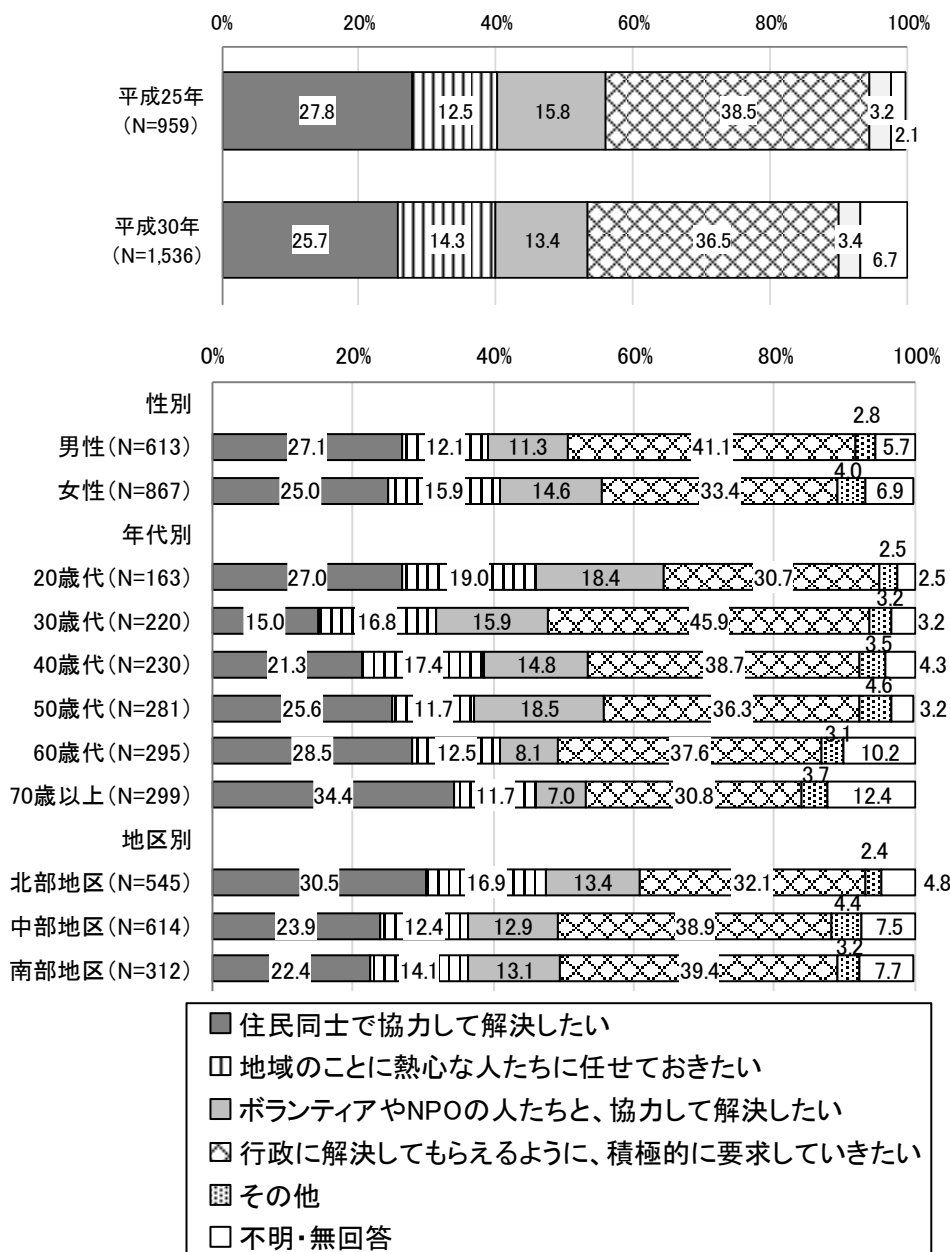
問 16 あなたは、住んでいる地域で困っていることや問題になっていることをどのような方法で解決すればよいと思いますか。(単数回答)

日常生活上の問題を解決するための方法については、「行政に解決してもらえるように、積極的に要求していきたい」が36.5%と最も多く、次いで「自分たちの生活に関わることだから、住民同士で協力して解決したい」が25.7%、「地域のことに熱心な人たちが考えてくれるので、その人たちに任せておきたい」が14.3%となっています。「その他」では、地域組織の横の連携、問題の程度による、分からない、などとなっています。

平成25年と比較すると大きな差はみられず、行政へ要求する割合が高いままとなっています。

年代別では、概ね年代が高いほど「自分たちの生活に関わることだから、住民同士で協力して解決したい」が多くなっていますが、20歳代でも約3割が回答しています。

地区別では、北部地区において「住民同士で協力して解決したい」への回答が他の地区よりも多くなっています。





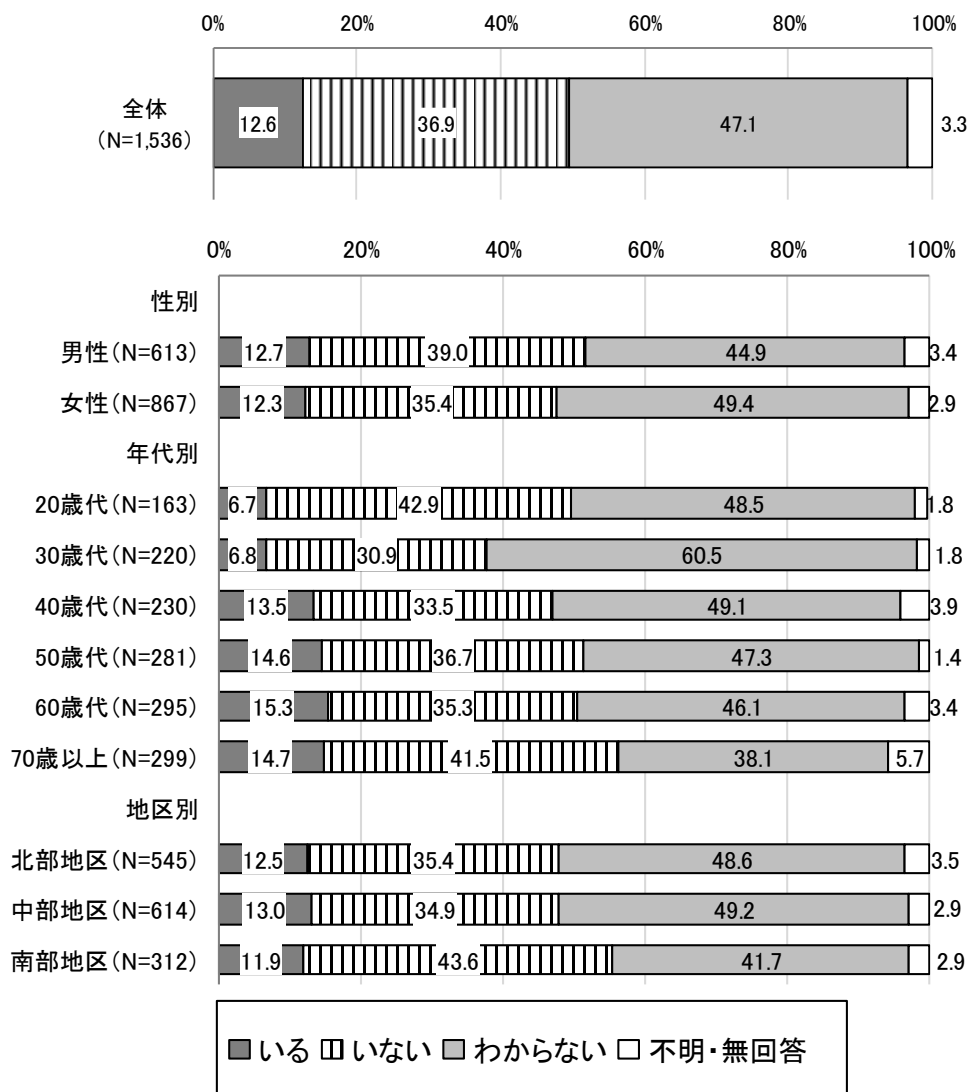
## ■見守り等を必要とする人や家庭の有無

問 17 あなたのご近所には、特に見守りを必要とする人や気にかかる家庭がありますか。  
(単数回答)

近所に見守り等を必要とする人や家庭の有無については、「わからない」が47.1%と最も多く、次いで「いない」が36.9%、「いる」が12.6%となっています。

年代別では、「いる」への回答は、40歳代以上で1割を超えてみられます。

地区別では、南部地区において「いない」への回答が他の地区よりも多くなっています。



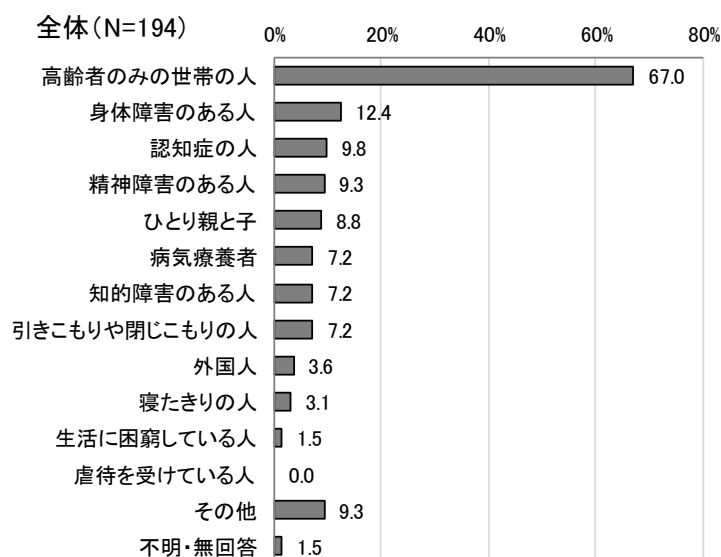
## ■見守りが必要な家庭

<問 17 で「いる」と回答した方のみお伺いしています>

### 問 18 それは、どのような人がいる家庭ですか。(複数回答)

見守り等が必要な家庭については、「高齢者のみの世帯の人」が67.0%と最も多く、次いで「身体障害のある人」が12.4%、「認知症の人」が9.8%となっています。「その他」では、近所の人に迷惑を掛ける人、ひとり暮らし、などとなっています。

地区別では、どの地区も「高齢者のみの世帯の人」への回答が最も多いですが、北部地区では「認知症の人」、中部地区では「身体障害のある人」、南部地区では「知的障害のある人」「引きこもりや閉じこもりの人」への回答が、それぞれ2番目に多くみられます。



	回答数(人)		回答割合 (%)					
	合計	ひとり親と子	高齢者のみの世帯の人	寝たきりの人	認知症の人	病気療養者	身体障害のある人	知的障害のある人
性別								
男性	78	5.1	73.1	3.8	11.5	5.1	10.3	10.3
女性	107	12.1	64.5	2.8	8.4	8.4	14.0	4.7
年代別								
20歳代	11	9.1	63.6	-	9.1	9.1	18.2	-
30歳代	15	6.7	53.3	6.7	6.7	6.7	13.3	13.3
40歳代	31	6.5	71.0	3.2	6.5	9.7	9.7	9.7
50歳代	41	14.6	75.6	-	9.8	2.4	12.2	4.9
60歳代	45	6.7	68.9	6.7	11.1	6.7	6.7	8.9
70歳以上	44	9.1	63.6	2.3	11.4	11.4	18.2	4.5
地区別								
北部地区	68	8.8	70.6	1.5	16.2	5.9	7.4	7.4
中部地区	80	11.3	72.5	5.0	5.0	8.8	20.0	5.0
南部地区	37	5.4	54.1	2.7	8.1	8.1	5.4	10.8

	回答割合 (%)						
	精神障害のある人	引きこもりや閉じこもりの人	生活に困窮している人	虐待を受けている人	外国人	その他	不明・無回答
性別							
男性	6.4	9.0	2.6	-	5.1	11.5	-
女性	12.1	5.6	0.9	-	1.9	8.4	0.9
年代別							
20歳代	9.1	-	-	-	-	18.2	-
30歳代	13.3	6.7	-	-	6.7	6.7	-
40歳代	9.7	3.2	-	-	6.5	12.9	3.2
50歳代	12.2	7.3	4.9	-	4.9	4.9	-
60歳代	13.3	15.6	2.2	-	2.2	6.7	-
70歳以上	2.3	2.3	-	-	2.3	13.6	-
地区別							
北部地区	13.2	5.9	2.9	-	2.9	10.3	-
中部地区	6.3	5.0	1.3	-	3.8	11.3	1.3
南部地区	10.8	10.8	-	-	5.4	5.4	-

### (3) ボランティア活動について

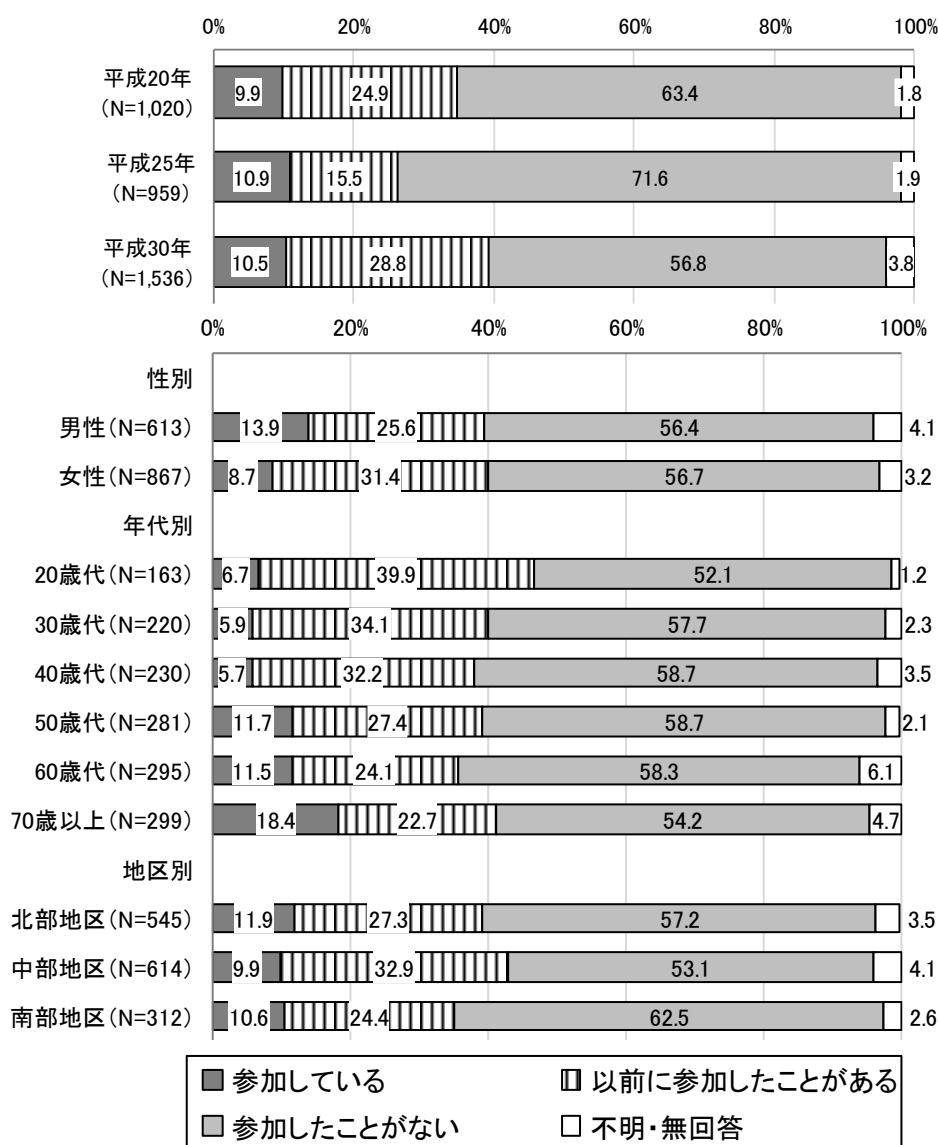
#### ■ ボランティア活動の参加状況

##### 問 19 あなたは、今までにボランティア活動に参加したことがありますか。(単数回答)

ボランティア活動の参加状況については、「参加したことがない」が56.8%と最も多く、次いで「以前に参加したことがある」が28.8%、「参加している」が10.5%となっています。

平成20年、平成25年と比較すると、平成25年に平成20年から一旦割合が下がっていた「以前に参加したことがある」が再び多くなっています。

年代別では、50歳以上で「参加している」への割合が1割を超えています。また、どの年代でも、「参加している」と「以前参加したことがある」を合わせた〈ボランティア経験〉は4割前後となっています。

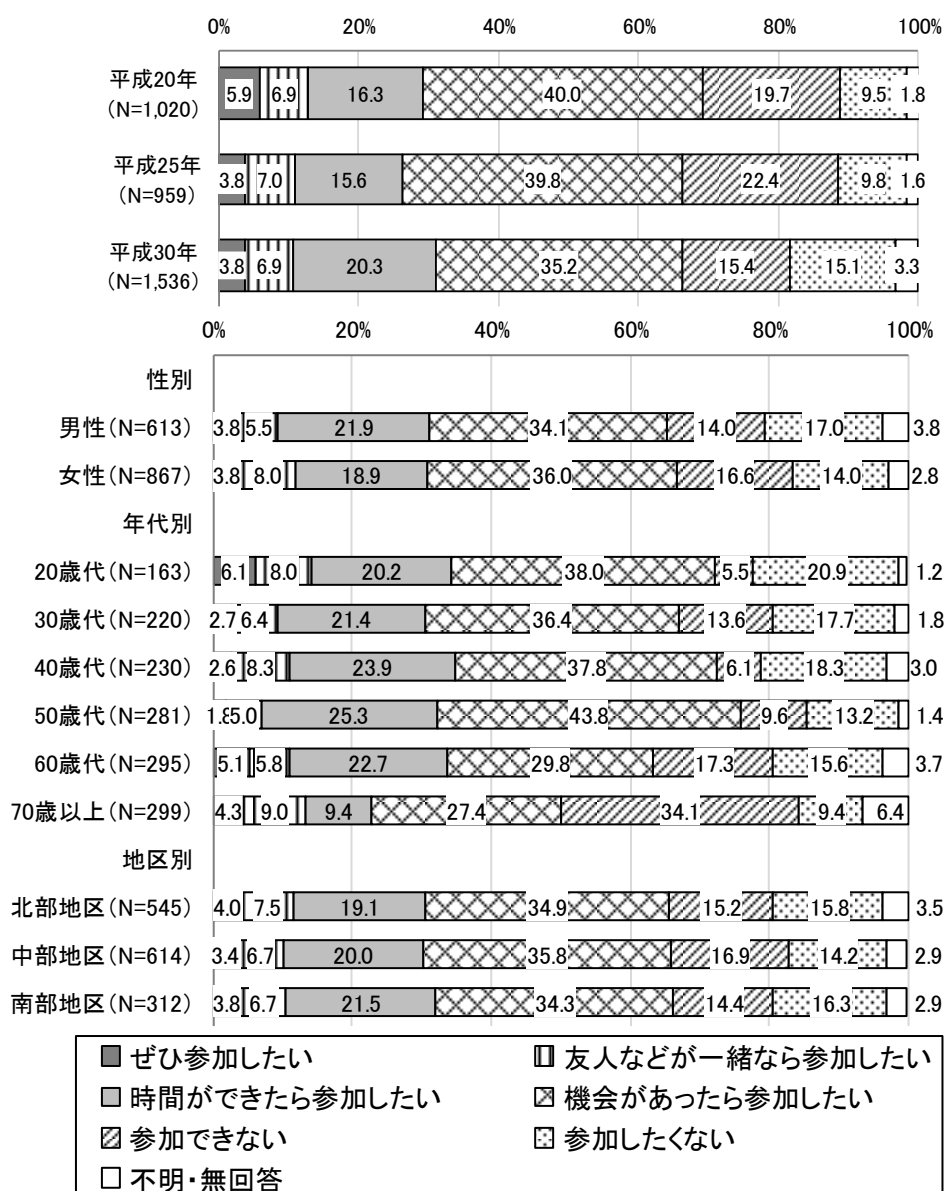


## ■ ボランティア活動の参加意向

### 問 20 あなたは、今後ボランティア活動に参加したいと思いますか。(単数回答)

ボランティア活動の参加意向については、「機会(きっかけ)があったら参加したい」が35.2%と最も多く、次いで「時間ができたら参加したい」が20.3%、「参加できない」が15.4%となっています。

平成20年、平成25年と比較すると、「参加できない」が減っているものの、「参加したくない」が増えています。その一方、「時間ができたら参加したい」は過去の調査結果では2割以下であったのが、今回は2割を超えています。



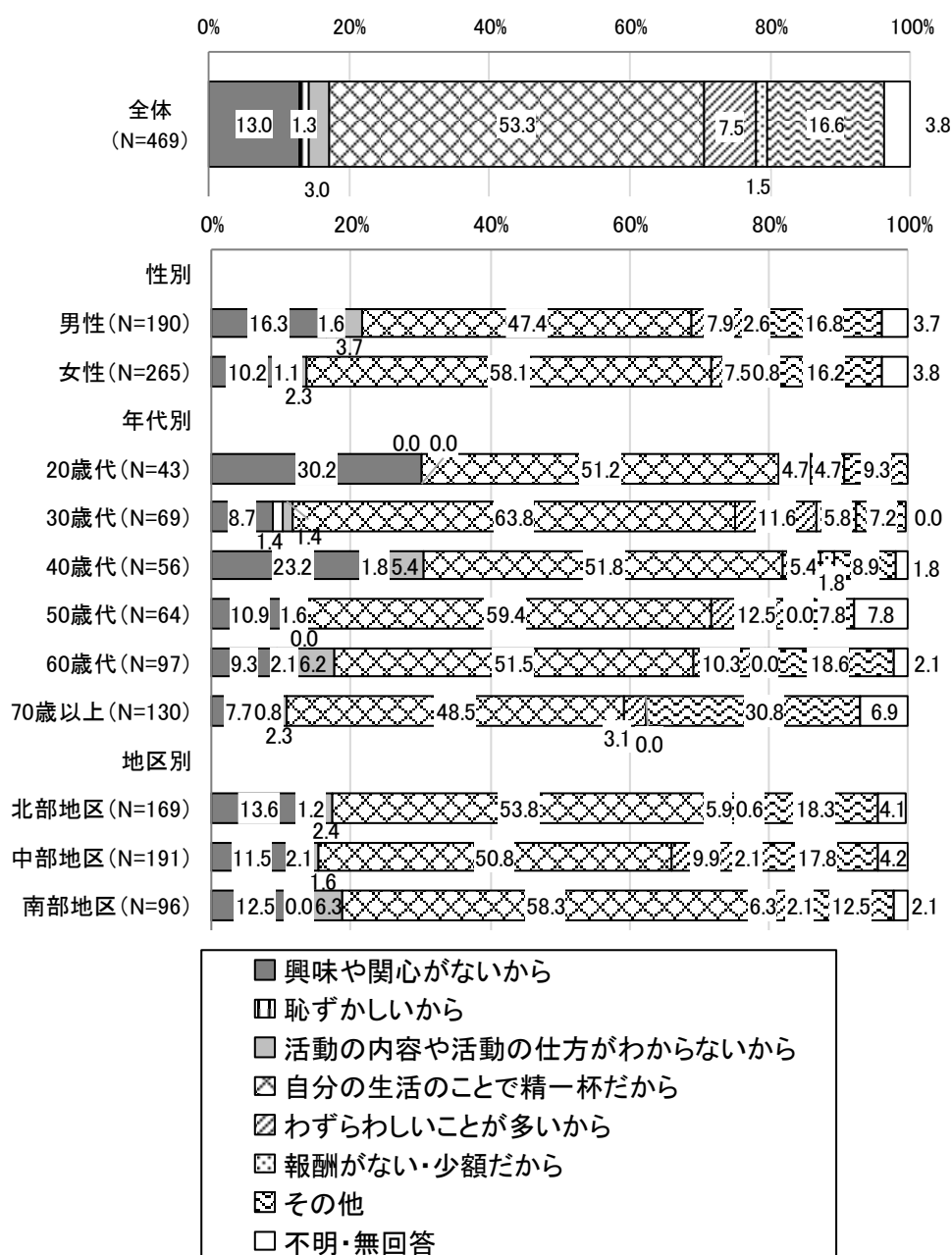
## ■ ボランティア活動に参加できない、したくない理由

<問 20 で「参加できない」「参加したくない」と回答した方のみお伺いしています>

### 問 21 参加できない、参加したくない理由は何ですか。(単数回答)

ボランティア活動に参加できない、したくない理由については、「自分の生活のことで精一杯だから」が53.3%と最も多く、次いで「興味や関心がないから」が13.0%、「わずらわしいことが多いから」が7.5%となっています。「その他」では、高齢のため、時間に余裕がない、体調が悪いから、などとなっています。

年代別では、20歳代と40歳代において「興味や関心がないから」が2割を超えています。



## (4) 制度や施設の認知度について

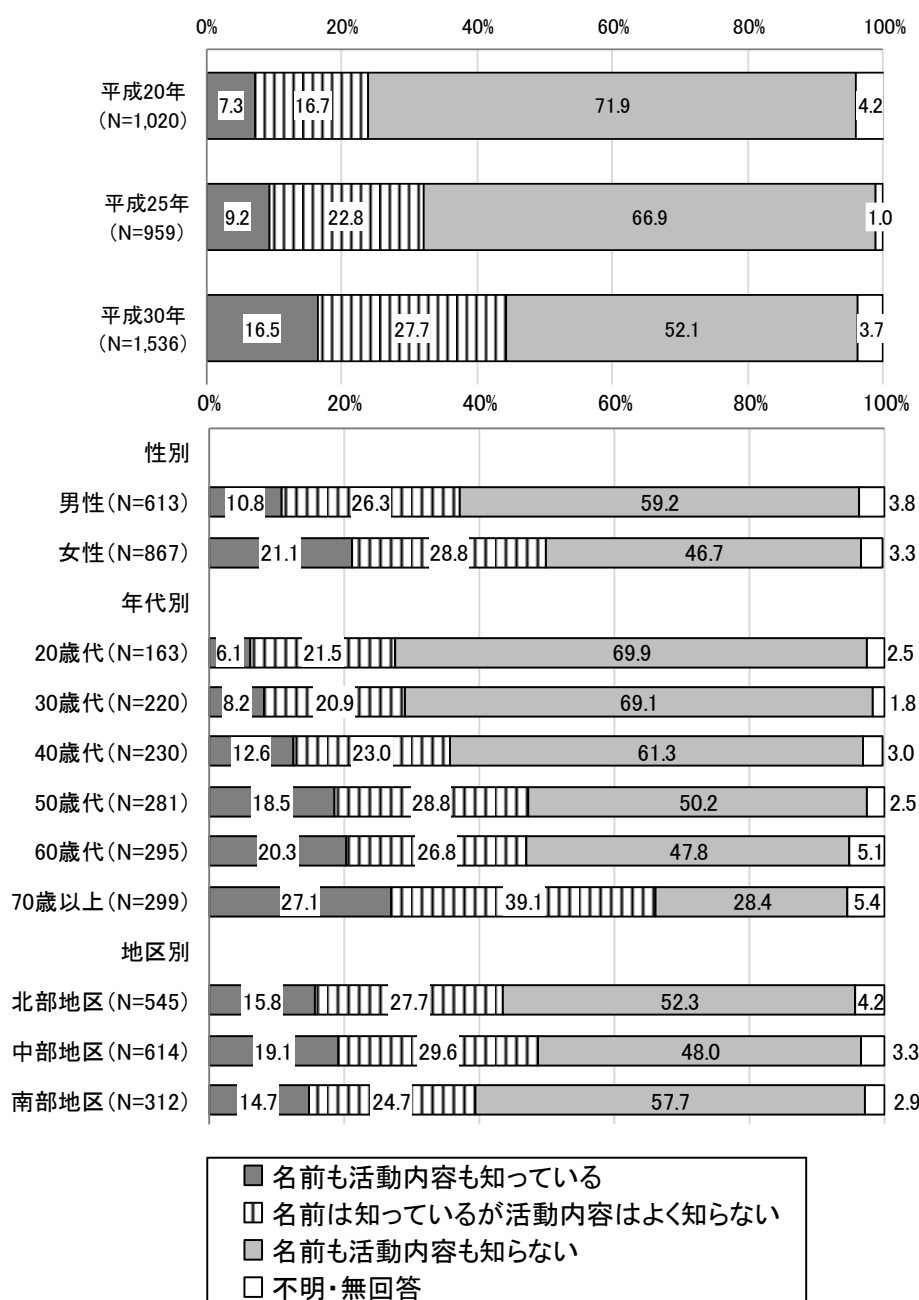
### ■地域包括支援センターの認知度

問 22 刈谷市には4つの地域包括支援センターがありますが、地域包括支援センターを知っていますか。(単数回答)

地域包括支援センターの認知度については、「名前も活動内容も知らない」が52.1%と最も多く、次いで「名前は知っているが活動内容はよく知らない」が27.7%、「名前も活動内容も知っている」が16.5%となっています。

平成20年、平成25年と比較すると、「名前も活動内容も知っている」「名前は知っているが活動内容はよく知らない」が増加傾向にあります。

年代別では、年代が高いほど認知度が高くなっています。



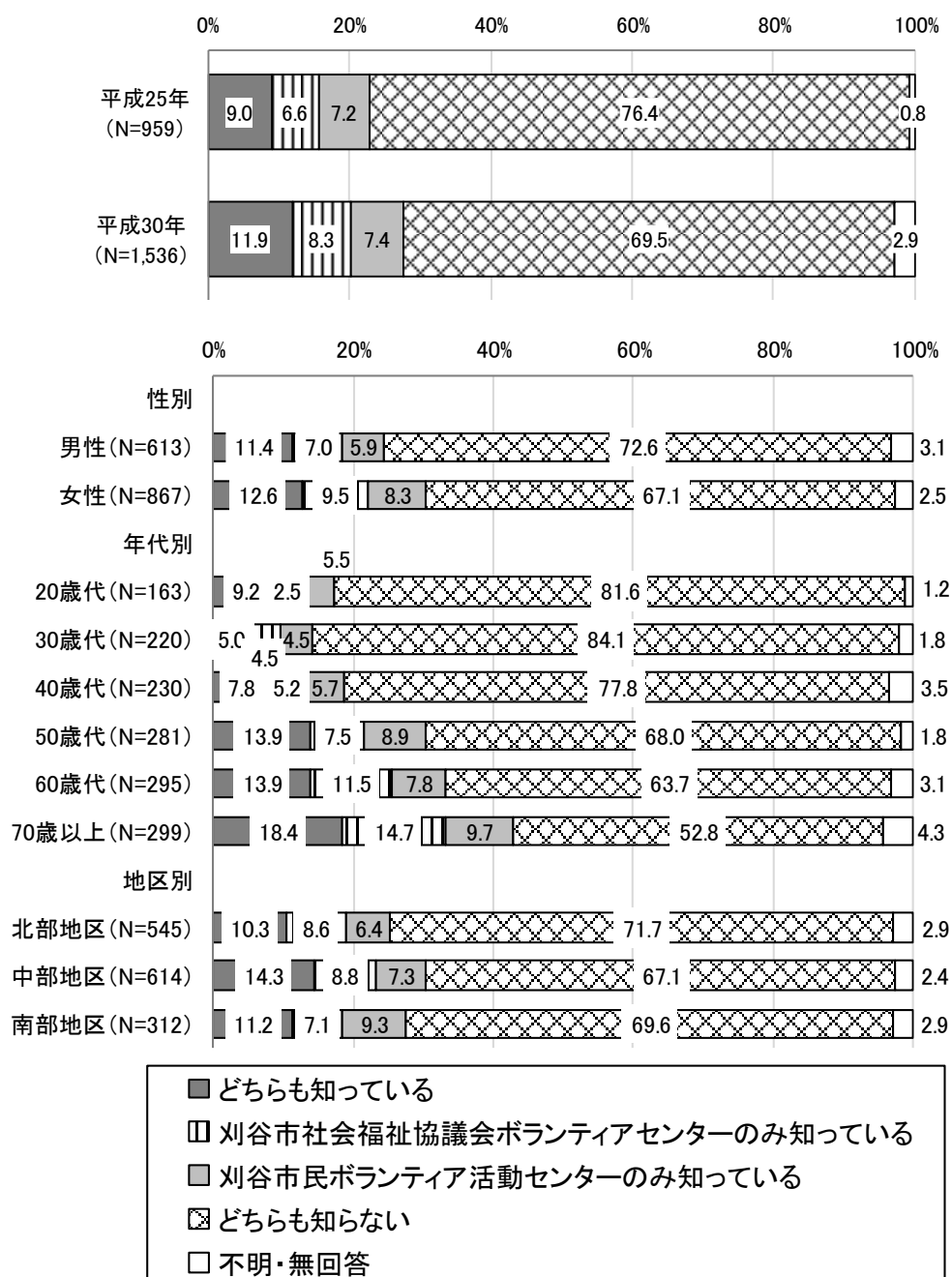
## ■ ボランティアセンターの認知度

### 問 23 あなたは、刈谷市社会福祉協議会ボランティアセンター、刈谷市民ボランティア活動センターを知っていますか。(単数回答)

ボランティアセンターの認知度については、「どちらも知らない」が69.5%と最も多く、次いで「どちらも知っている」が11.9%、「刈谷市社会福祉協議会ボランティアセンターのみ知っている」が8.3%となっています。

平成25年と比較すると、「どちらも知っている」への回答割合が増えています。

年代別では、概ね年代が高いほど「どちらも知っている」への回答割合が増えています。

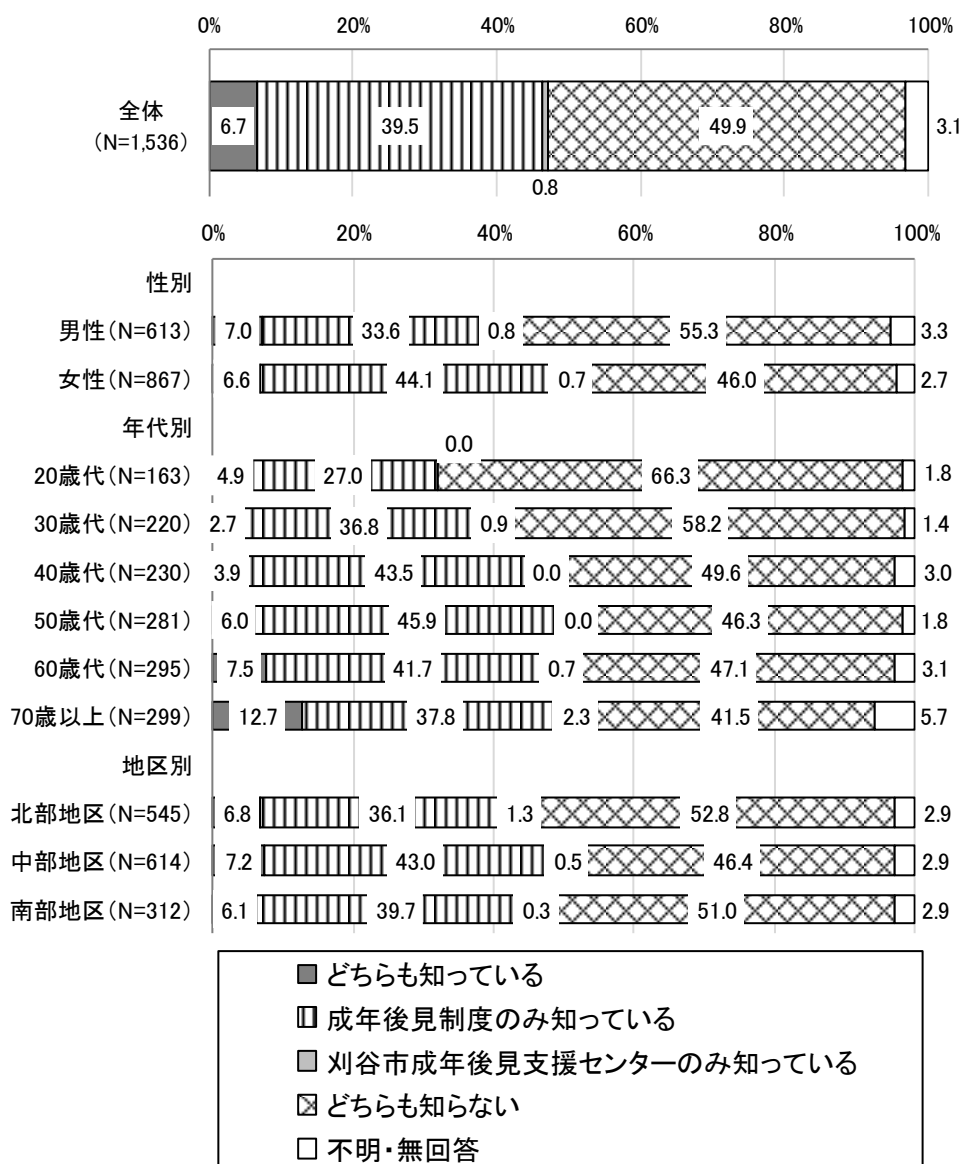


## ■ 成年後見に関する認知度

問 24 あなたは、成年後見制度を知っていますか。また、刈谷市成年後見支援センターを知っていますか。(単数回答)

成年後見制度や刈谷市成年後見支援センターの認知度については、「どちらも知らない」が49.9%と最も多く、次いで「成年後見制度のみ知っている」が39.5%、「どちらも知っている」が6.7%となっています。

性別では、男性より女性のほうが「成年後見制度のみ知っている」への回答が多くなっています。年代別では、概ね年代が高いほど「どちらも知っている」への回答が増えています。地区別では、中部地区が他の地区よりも「成年後見制度のみ知っている」への回答が多くなっています。





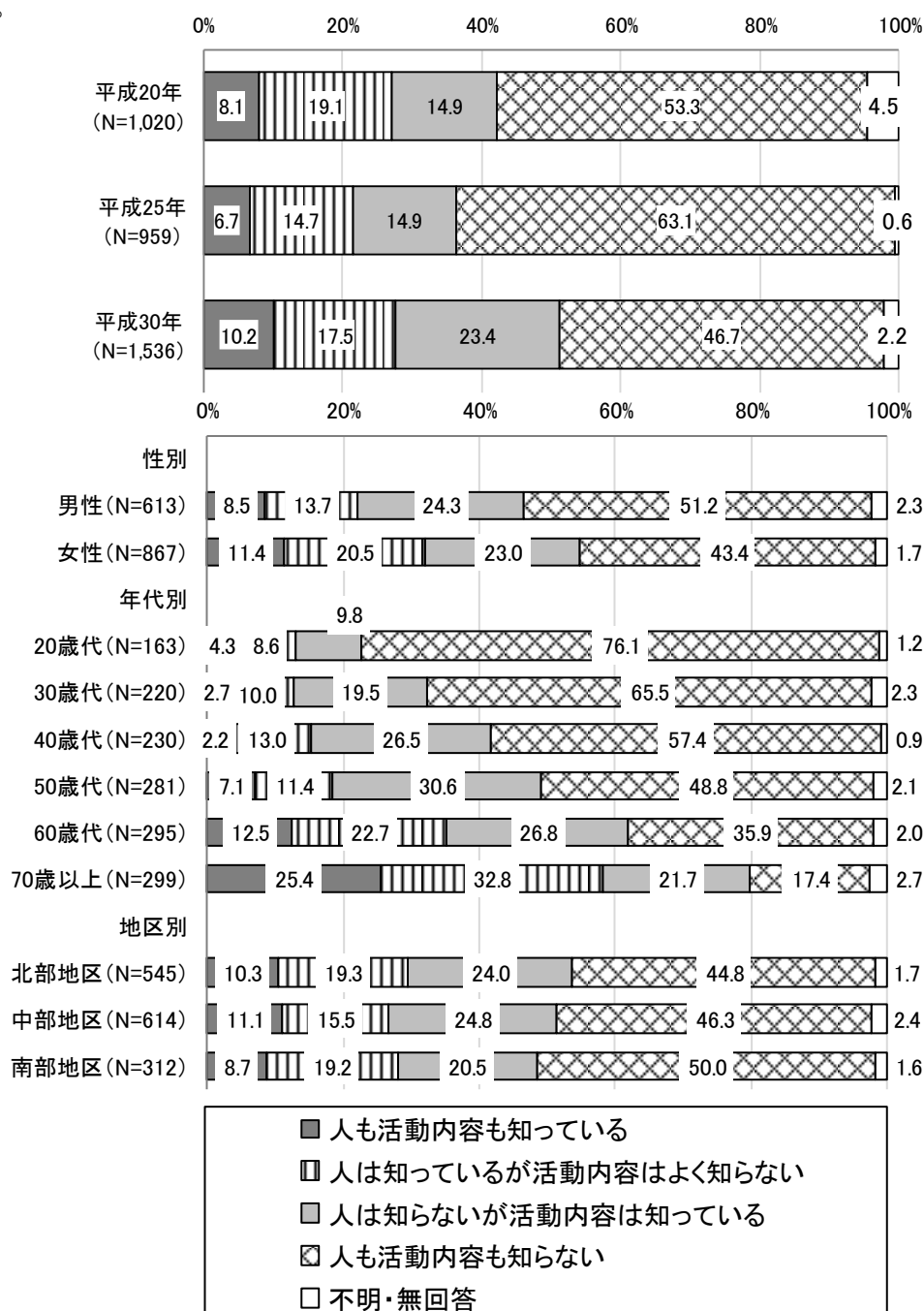
## ■ 民生委員・児童委員の認知度

問25 あなたは、あなたの地域の民生委員・児童委員と活動内容を知っていますか。(単数回答)

民生委員・児童委員の認知度については、「人も活動内容も知らない」が46.7%と最も多く、次いで「人は知らないが活動内容は知っている」が23.4%、「人は知っているが活動内容はよく知らない」が17.5%となっています。

平成20年、平成25年と比較すると、「人も活動内容も知っている」「人は知らないが活動内容は知っている」の割合が増加し、「人も活動内容も知らない」の割合が減少しており、活動の認知度が高まっていることがうかがえます。

性別では、男性よりも女性のほうが人、または活動内容、もしくはどちらも知っている人が多くなっています。年代別では、概ね年代が高いほど「人も活動内容も知っている」が多くなっています。



## (5) 地域防災への取り組みについて

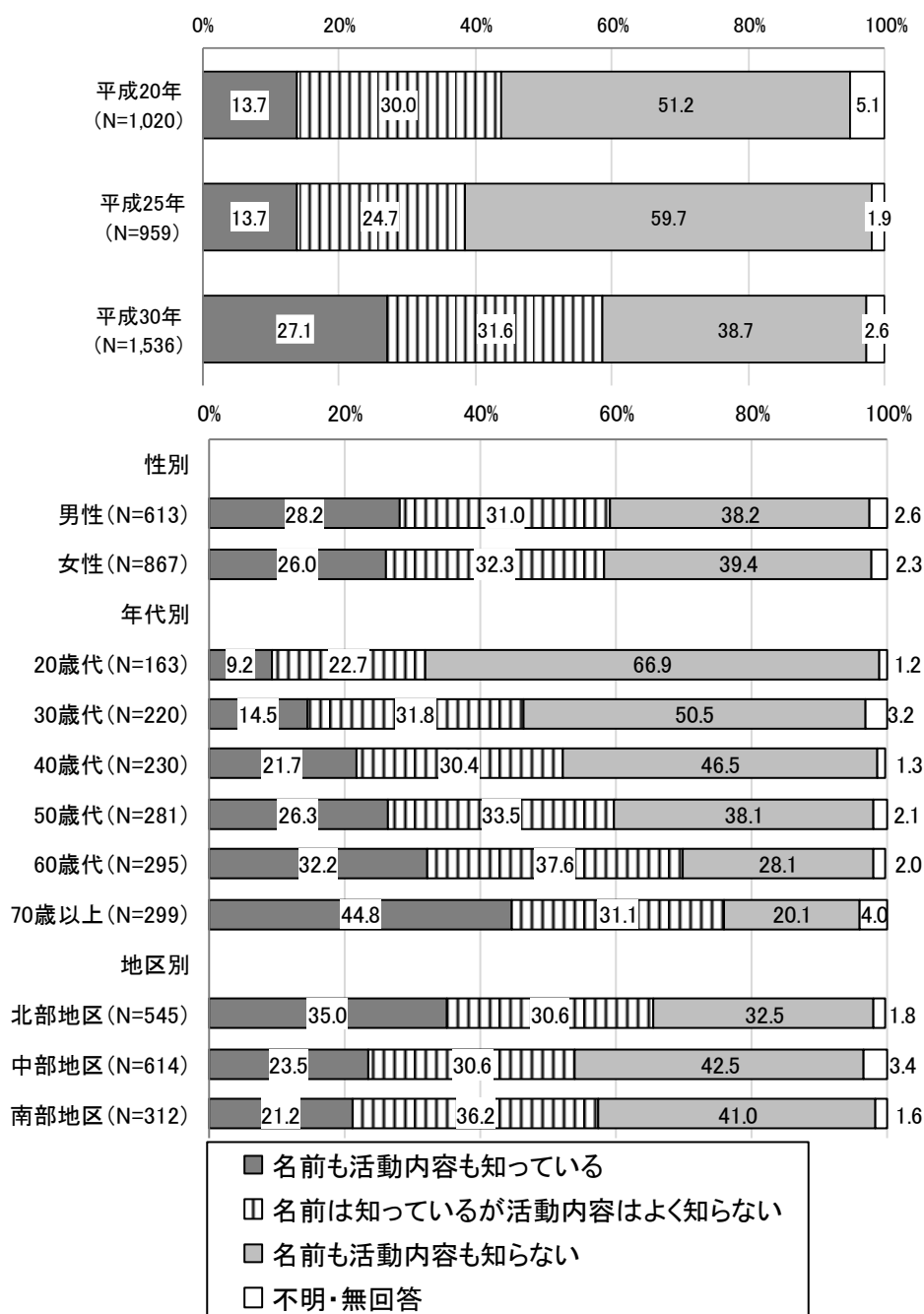
### ■ 自主防災組織の認知度

#### 問 26 あなたは、地域の自主防災組織を知っていますか。(単数回答)

自主防災組織の認知度については、「名前も活動内容も知らない」が38.7%と最も多く、次いで「名前は知っているが活動内容はよく知らない」が31.6%、「名前も活動内容も知っている」が27.1%となっています。

平成20年、平成25年と比較すると、「名前も活動内容も知っている」が多くなっています。

年代別では、概ね年代が高いほど「名前も活動内容も知っている」が多くなっています。地区別では、北部地区において「名前も活動内容も知っている」が他の地区と比べて多くなっています。



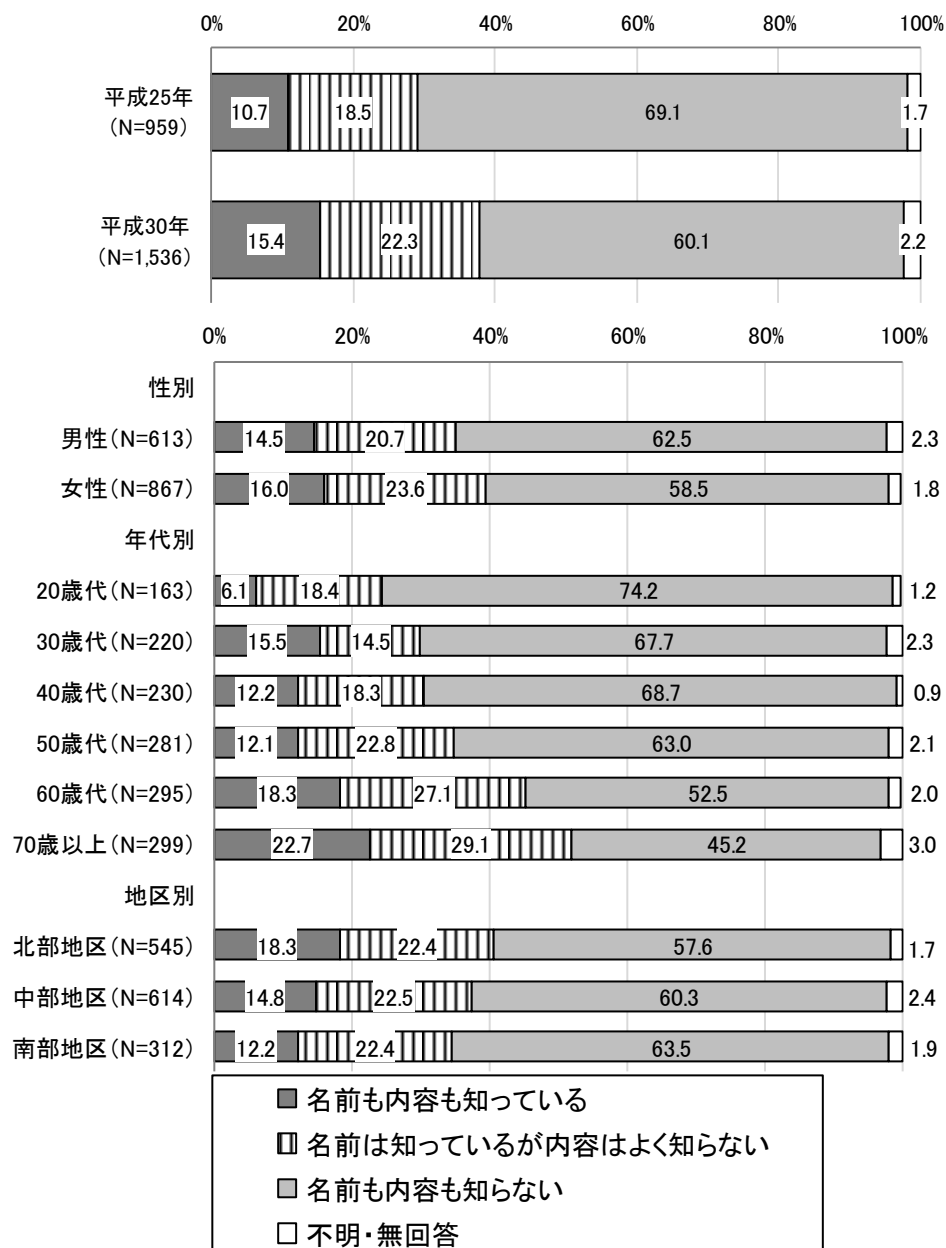
## ■避難行動要支援者の認知度

### 問 27 あなたは、避難行動要支援者を知っていますか。(単数回答)

避難行動要支援者の認知度については、「名前も内容も知らない」が60.1%と最も多く、次いで「名前は知っているが内容はよく知らない」が22.3%、「名前も内容も知っている」が15.4%となっています。

平成25年と比較すると、「名前も内容も知っている」「名前は知っているが内容はよく知らない」の割合が増加し、認知度は高まっています。

年代別では、70歳以上のみ「名前も内容も知っている」が2割を超えています。

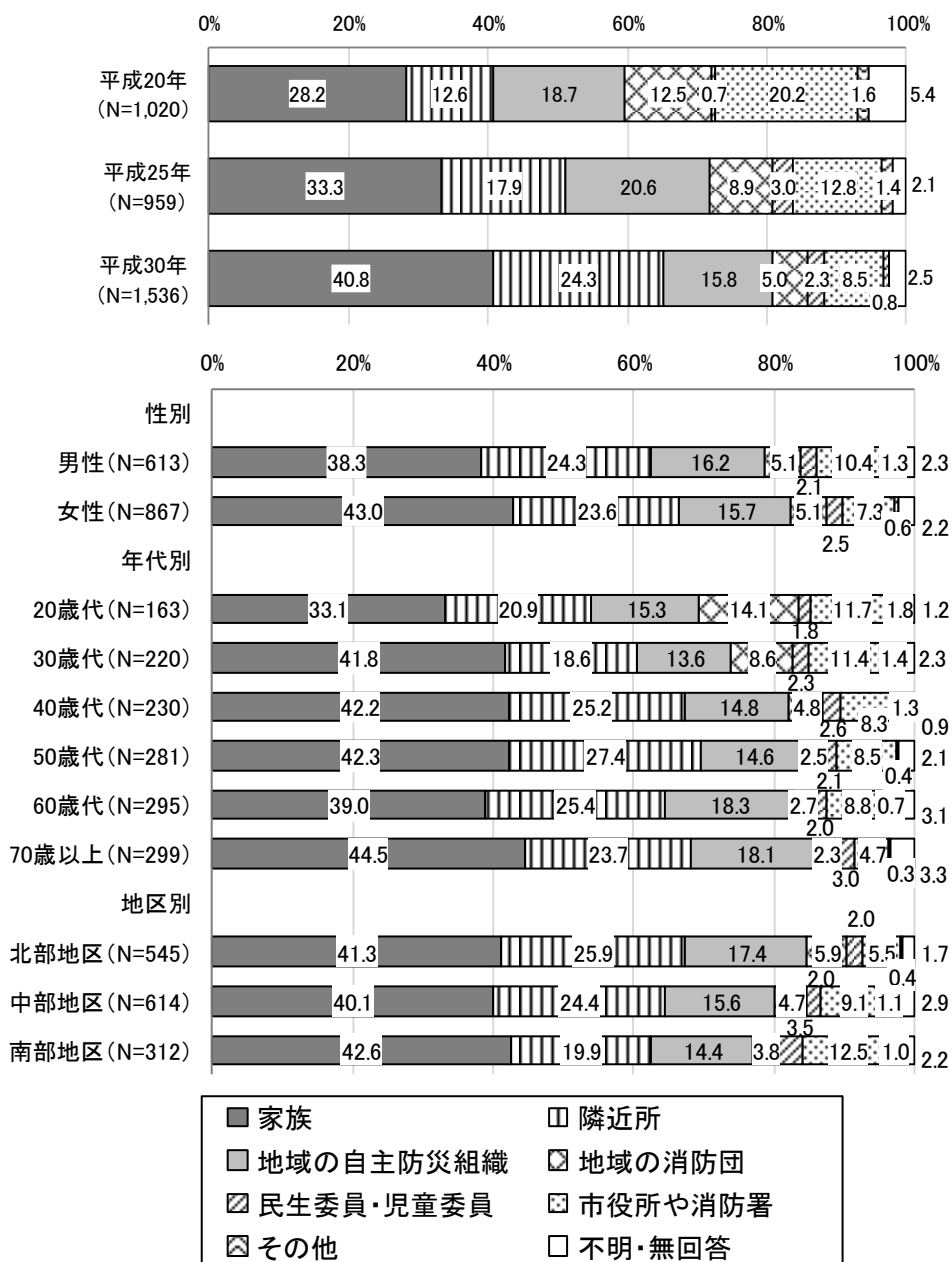


## ■避難行動要支援者を支援するべき人

問 28 万一の災害時に、高齢者や障害のある人など避難行動要支援者への情報伝達、避難所への誘導などを行うのは、主に誰だと考えますか。(単数回答)

避難行動要支援者を主に誰が支援すべきかについては、「家族」が40.8%と最も多く、次いで「隣近所」が24.3%、「地域の自主防災組織」が15.8%となっています。その他では、組長、本人と関わりのある方、考えたことがない、などとなっています。

平成20年、平成25年と比較すると、「家族」「隣近所」への割合が増加傾向にあり、自助、共助での支援への意識の高まりがみられます。



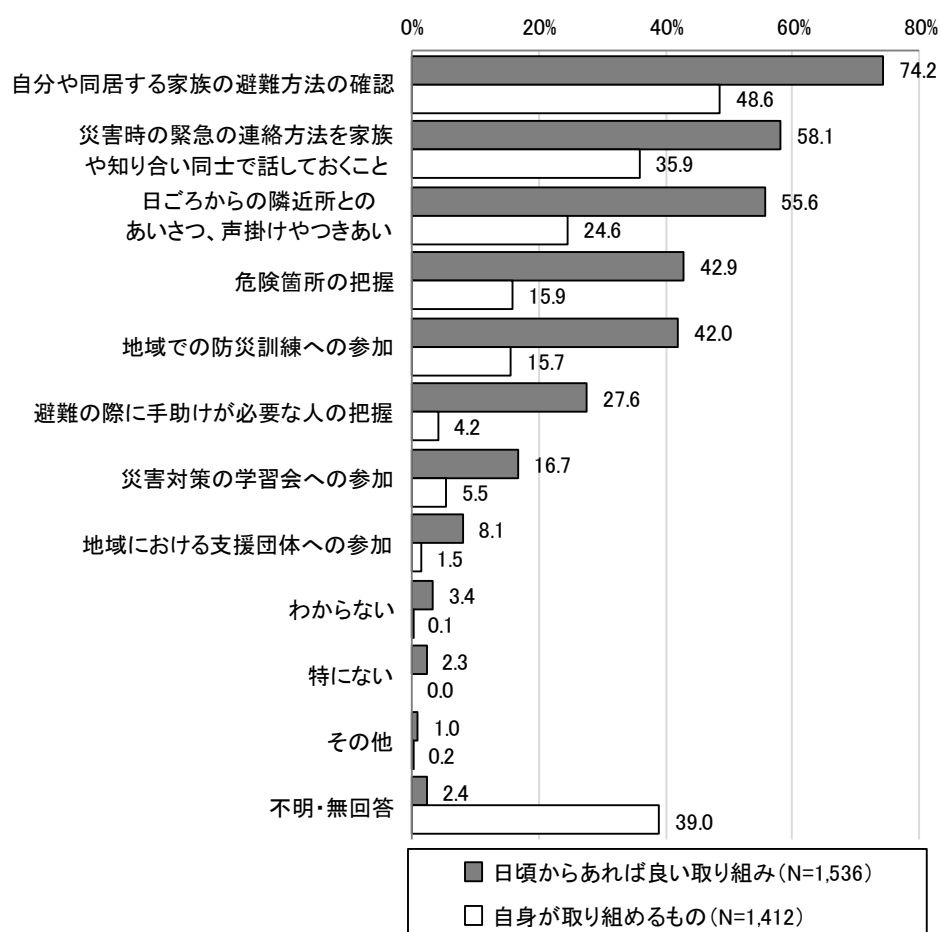
## ■地域や自身で取り組める防災活動

問 29 地震などの災害に備えて、日頃からどのような取り組みがあれば地域での助け合いがしやすいと思いますか。(あてはまるものに○、その中で「あなた」が取り組めるものは◎)(複数回答)

災害に備えて、日頃からあればよい取り組みは、「自分や同居する家族の避難方法の確認」が74.2%と最も多く、次いで「災害時の緊急の連絡方法を家族や知り合い同士で話しておくこと」が58.1%、「日ごろからの隣近所とのあいさつ、声掛けやつきあい」が55.6%となっています。「その他」では、マニュアルや避難マップの配布、自治会非加入世帯も含めた防災活動があれば良い、市民だよりで情報を知る、などとなっています。

また、日頃から自身が取り組めるものは、日頃からあればよい取り組みへの回答と同じ傾向となっており、普段からの避難方法の確認や近所とのつきあいを重視している傾向となっています。

※「『あなた』が取り組めるもの」については、地域での助け合いについて「わからない」「特にない」への回答や、不明・無回答を除いた回答数で集計



○日頃からあればよい取り組み

	回答数(人)	回答割合(%)					
		自分や同居する家族の避難方法の確認	災害時の緊急の連絡方法を家族や知り合い同士で話しておくこと	日ごろからの隣近所とのあいさつ、声掛けやつきあい	災害対策の学習会への参加	地域での防災訓練への参加	危険箇所の把握
性別							
男性	613	67.7	51.2	50.2	15.5	37.0	39.0
女性	867	78.8	63.1	59.4	17.6	45.7	47.3
年代別							
20歳代	163	76.7	60.7	52.8	11.0	31.9	57.1
30歳代	220	76.8	60.5	56.4	16.4	42.7	46.4
40歳代	230	74.8	65.2	57.8	17.8	41.7	46.1
50歳代	281	81.1	63.3	58.7	21.7	44.8	49.5
60歳代	295	73.6	55.3	54.2	16.6	45.8	39.0
70歳以上	299	65.2	48.5	53.5	15.4	41.5	32.4
地区別							
北部地区	545	74.7	57.4	51.6	18.3	45.9	42.9
中部地区	614	73.3	59.1	56.0	16.4	40.1	44.5
南部地区	312	75.3	58.0	60.9	15.4	39.4	43.9

	回答割合(%)					
	地域における支援団体への参加	避難の際に手助けが必要な人の把握	わからない	特にない	その他	不明・無回答
性別						
男性	8.5	23.2	4.4	3.3	1.0	2.4
女性	7.8	31.3	2.9	1.5	1.0	2.1
年代別						
20歳代	6.7	28.2	4.9	1.2	0.6	1.2
30歳代	6.8	29.1	4.1	2.7	2.3	2.3
40歳代	6.1	30.0	4.3	2.2	1.3	0.9
50歳代	10.0	33.5	2.8	2.1	0.7	2.1
60歳代	8.1	27.5	2.4	2.4	1.0	2.7
70歳以上	10.0	21.1	3.3	2.7	0.3	3.3
地区別						
北部地区	9.0	26.6	3.5	2.2	0.4	1.8
中部地区	7.3	28.7	3.3	2.6	1.6	2.8
南部地区	8.7	29.2	4.2	1.9	1.0	1.9

○自身が取り組めるもの

	回答数(人)	回答割合(%)					
		自分や同居する家族の避難方法の確認	災害時の緊急の連絡方法を家族や知り合い同士で話しておくこと	日ごろからの近所とのあいさつ、声掛けやつきあい	災害対策の学習会への参加	地域での防災訓練への参加	危険箇所の把握
性別							
男性	551	42.8	28.7	20.3	4.4	11.3	11.6
女性	811	52.4	40.9	27.7	6.2	18.5	19.4
年代別							
20歳代	151	59.6	41.7	18.5	3.3	8.6	27.8
30歳代	200	56.5	44.0	31.5	2.0	15.5	17.5
40歳代	213	57.7	43.7	30.0	5.2	16.9	20.7
50歳代	261	54.8	44.1	30.3	10.3	20.3	18.0
60歳代	273	45.4	29.3	23.4	6.6	18.7	10.3
70歳以上	271	26.6	20.7	15.5	4.1	11.8	10.0
地区別							
北部地区	504	44.8	35.1	23.0	5.8	17.7	14.7
中部地区	561	48.8	35.8	25.0	6.1	14.1	17.3
南部地区	287	54.0	38.3	28.2	3.8	16.0	17.4

	回答割合(%)					
	地域における支援団体への参加	避難の際に手助けが必要な人の把握	わからない	特にない	その他	不明・無回答
性別						
男性	1.8	3.1	-	-	0.4	43.7
女性	1.4	5.2	0.2	-	0.1	35.5
年代別						
20歳代	2.0	4.0	-	-	-	30.5
30歳代	0.5	2.5	-	-	1.0	35.0
40歳代	0.5	3.8	-	-	-	34.3
50歳代	2.7	4.2	0.4	-	0.4	31.8
60歳代	0.7	5.9	-	-	-	40.3
70歳以上	2.6	4.8	0.4	-	-	55.4
地区別						
北部地区	2.8	5.4	-	-	-	41.7
中部地区	0.7	3.2	0.2	-	0.4	39.2
南部地区	1.0	4.2	0.3	-	0.3	32.8

## (6) 地域福祉の推進について

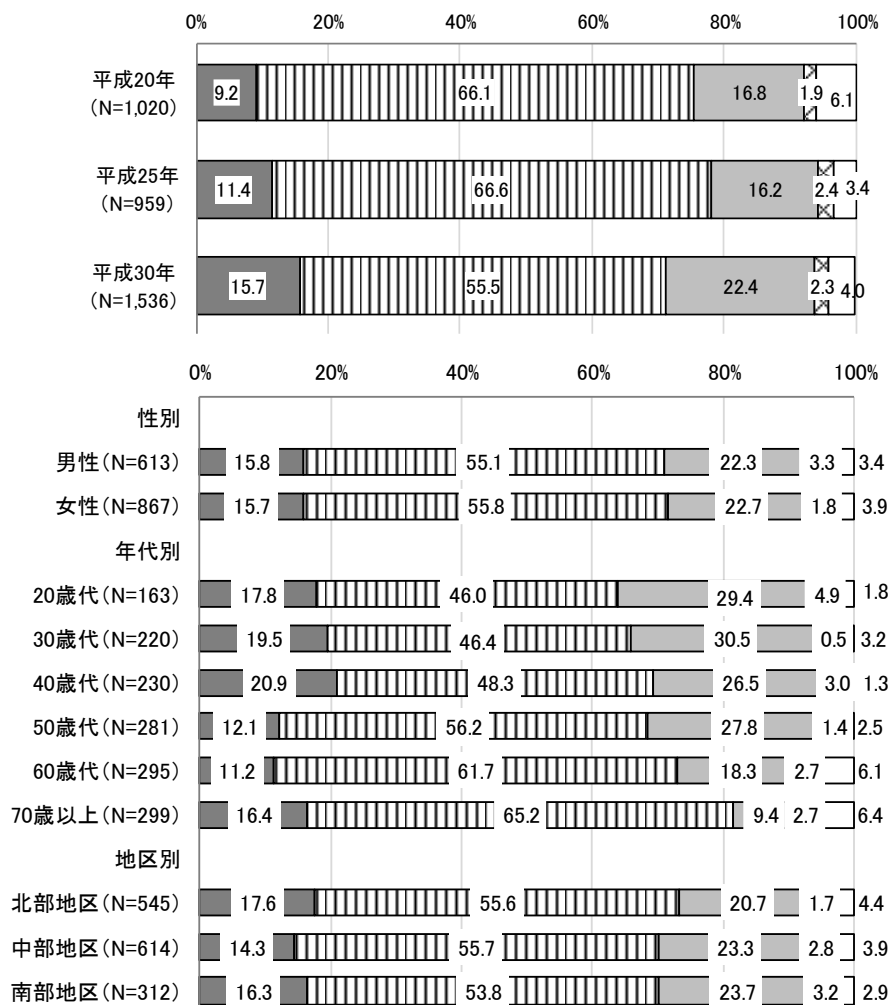
### ■福祉水準が高いまちのイメージ

問 30 福祉水準が高いまち(福祉が充実しているまち)とはどのようなまちだと思いますか。  
あなたの考えに最も近いものは次のどれですか。(単数回答)

福祉水準が高いまちのイメージについては、「基本的な公的サービスはもちろんだが、市民の福祉意識が高く、地域の支え合いやボランティア活動が地域に根づいているまち」が55.5%と最も多く、次いで「公的サービスの種類が多く、福祉関係手当の金額などが高いまち」が22.4%、「福祉施設や福祉サービス事業者が多いまち」が15.7%となっています。「その他」では、福祉に対するサービスや活動が広く知られていて利用しやすいまち、地域で見守り合えるまち、わからない、などとなっています。

平成20年、平成25年と比較すると、「福祉施設や福祉サービス事業者が多いまち」「公的サービスの種類が多く、福祉関係手当の金額などが高いまち」への割合が増加しており、福祉サービスや経済的な支援を重視する傾向が強まっていることがうかがえます。

年代別では、「福祉施設や福祉サービス事業者が多いまち」が50歳代、60歳代では約1割となっており、他の年代よりも低くなっています。



- 福祉施設や福祉サービス事業者が多いまち
- ▨ 基本的な公的サービスはもちろんだが、市民の福祉意識が高く、地域の支え合いやボランティア活動が地域に根づいているまち
- 公的サービスの種類が多く、福祉関係手当の金額などが高いまち
- ⊠ その他
- 不明・無回答



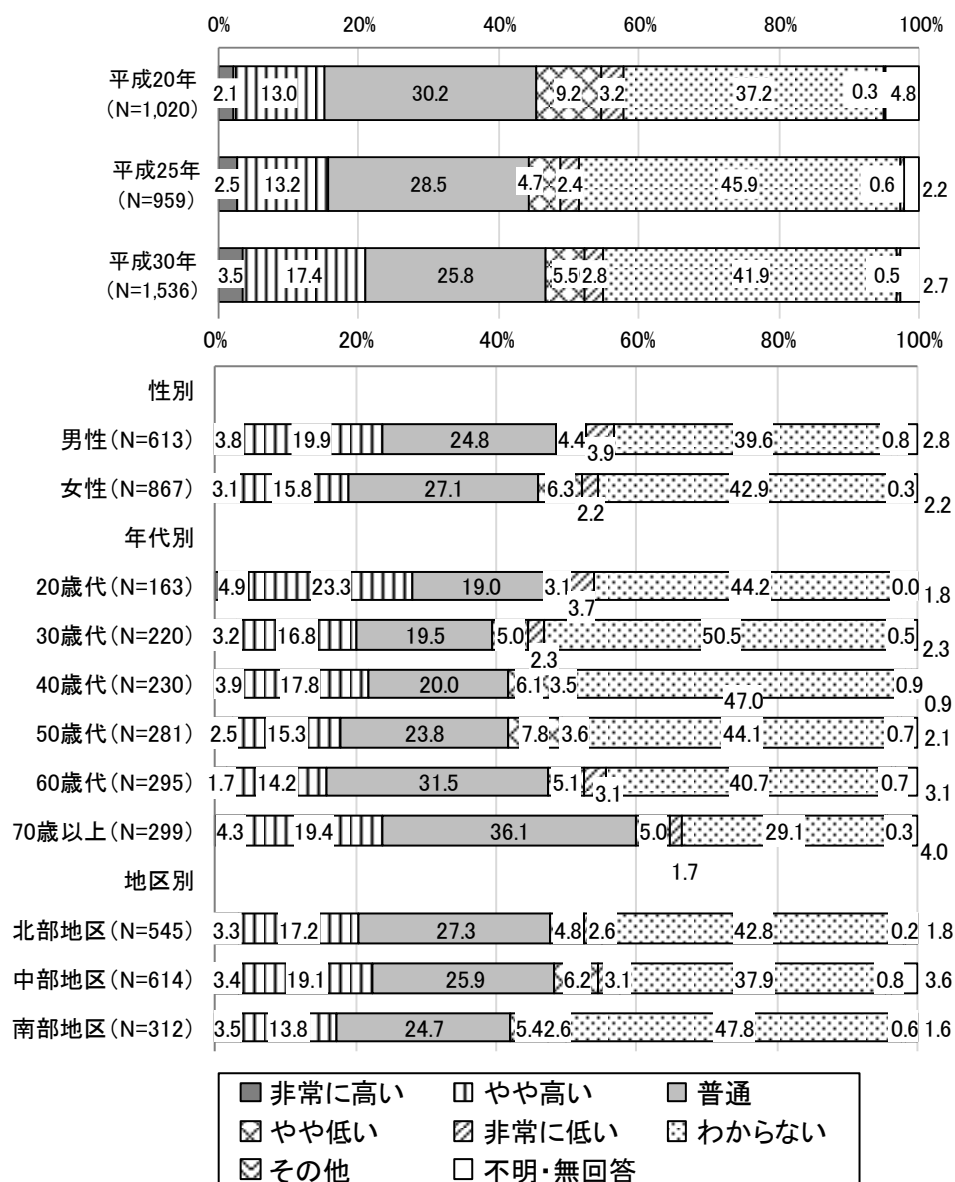
## ■刈谷市の福祉水準の高さに対する実感

問 31 あなたは、刈谷市の現在の福祉水準(公的・非公的な福祉サービスも含め)についてどのように感じていますか。(単数回答)

現在の刈谷市の福祉水準については、「わからない」が41.9%と最も多く、次いで「普通」が25.8%、「やや高い」が17.4%となっています。「その他」では、高い部分もあれば低い部分もある、福祉を知らない、などとなっています。

平成20年、平成25年と比較すると、「やや高い」の割合が増えています。

年代別では、20歳代で「非常に高い」と「やや高い」を合わせた〈高い〉が約3割となっています。



## ■刈谷市の地域福祉の推進度合い

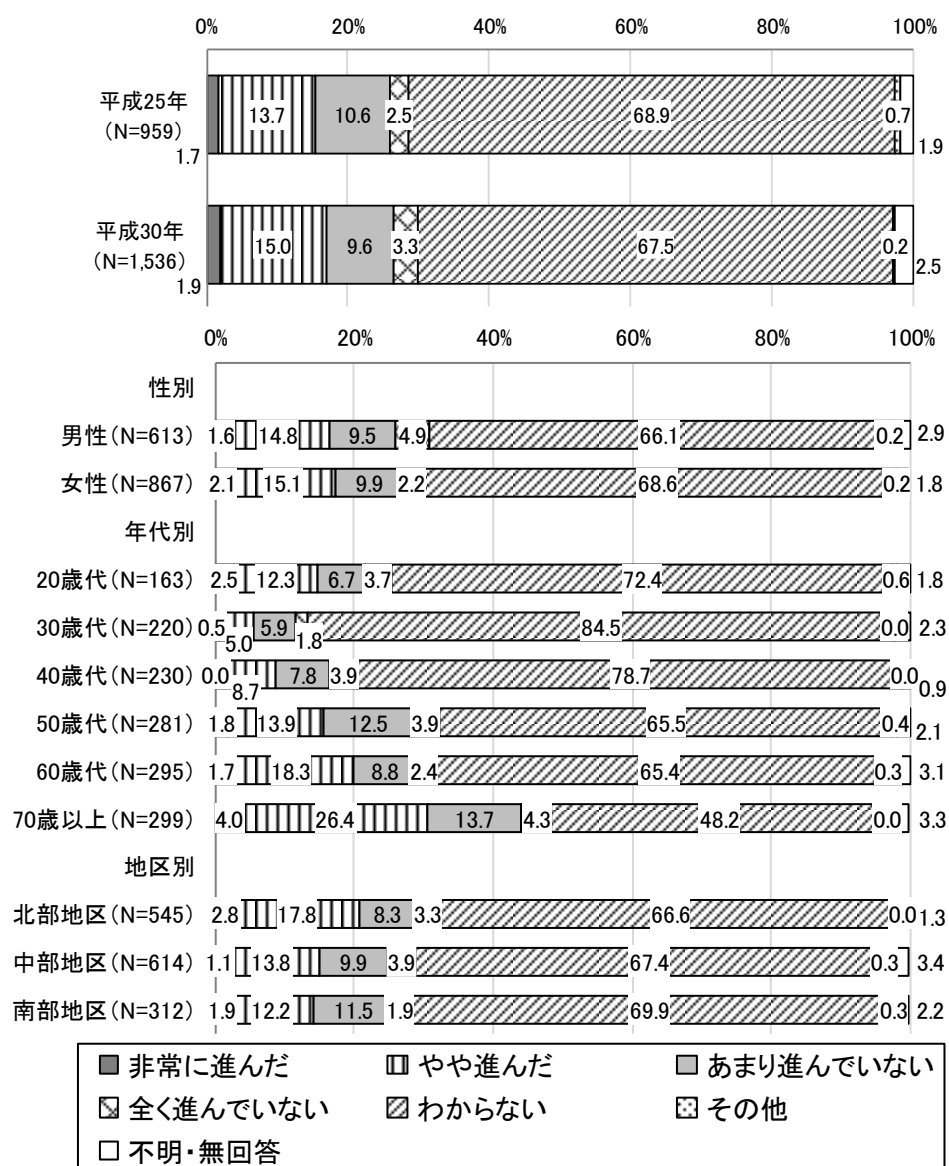
問 32 あなたは、刈谷市の地域福祉（ボランティア活動、地域の支え合い活動など）はこの5年間に進んだと感じていますか。（単数回答）

地域福祉の推進度合いについては、「わからない」が67.5%と最も多く、次いで「やや進んだ」が15.0%、「あまり進んでいない」が9.6%となっています。「その他」では、地域によって差があり過ぎる、などとなっています。

平成25年と比較すると、大きな違いはみられません。

年代別では、高い年代であるほど「非常に進んだ」と「やや進んだ」を合わせた〈進んだ〉への回答が多くなっています。

地区別では、北部地区で〈進んだ〉への回答が他の地区よりも多くなっています。



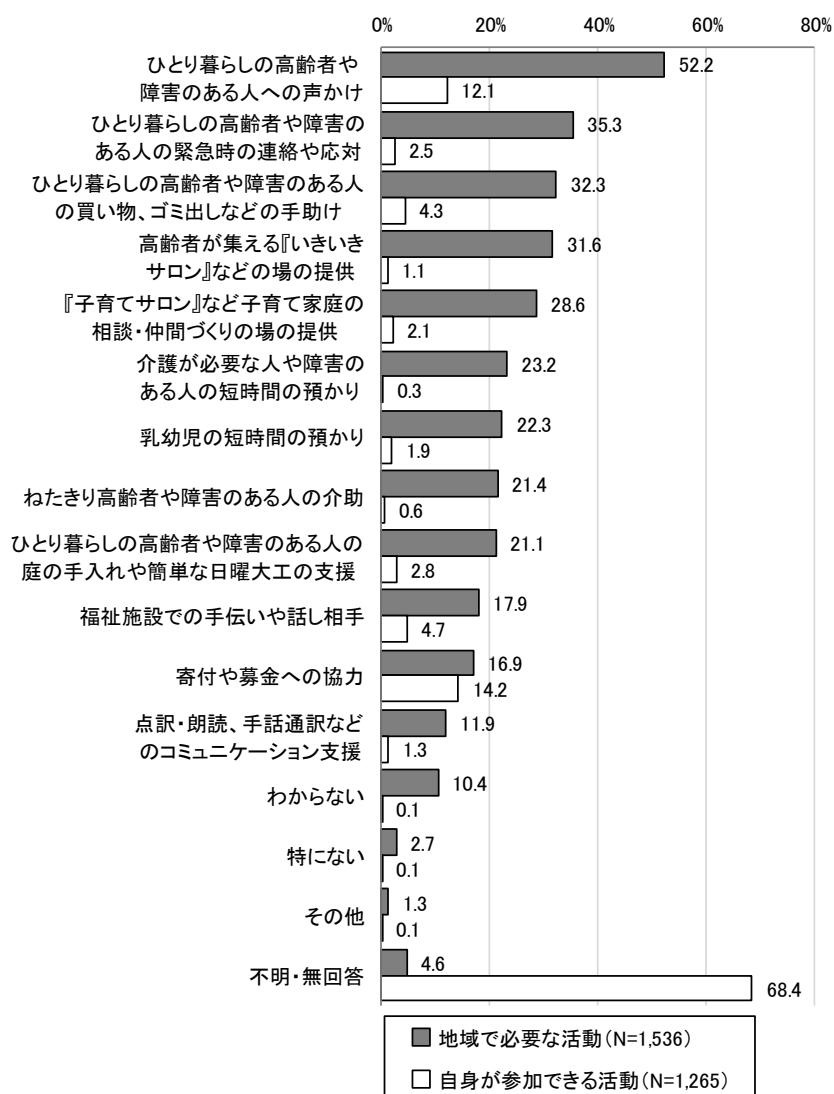
## ■地域福祉の推進のために必要な活動

問 33 地域福祉を推進するためには、それぞれの地域でどのような福祉活動(ボランティアなどによる支援)を行っていくことがよいと思いますか。(あてはまるものに○、その中で「あなた」が参加できるものは◎)(複数回答)

地域福祉の推進のために、地域で必要な活動は、「ひとり暮らしの高齢者や障害のある人への声かけ」が52.2%と最も多く、次いで「ひとり暮らしの高齢者や障害のある人の緊急時の連絡や対応」が35.3%、「ひとり暮らしの高齢者や障害のある人の買い物、ゴミ出しなどの手助け」が32.3%となっています。「その他」では、寝たきり・重い障害の方は専門家に任せてボランティアは軽度にとって分担する、子供の預かり場所の増設や待機児童の対応、介護保険で行えないような普段の関わり、などとなっています。

また、自身が参加できるものについては、「寄付や募金への協力」が14.2%と最も多く、次いで「ひとり暮らしの高齢者や障害のある人への声かけ」が12.1%、「福祉施設での手伝いや話し相手」が4.7%となっています。

※「『あなた』が参加できるもの」については、地域で行っていくことがよい福祉活動について「わからない」「特にない」への回答や、不明・無回答を除いた回答数で集計



○地域で必要な活動

	回答数(人)	回答割合(%)							
		ひとり暮らしの高齢者や障害のある人への声かけ	介護が必要な人や障害のある人の短時間の預かり	乳幼児の短時間の預かり	『子育てサロン』など子育て家庭の相談・仲間づくりの場の提供	高齢者が集える『いきいきサロン』などの場の提供	ひとり暮らしの高齢者や障害のある人の買い物、ゴミ出しなどの手助け	ねたきり高齢者や障害のある人の介助	ひとり暮らしの高齢者や障害のある人の庭の手入れや簡単な日曜大工の支援
性別									
男性	613	49.6	16.5	15.8	25.0	29.9	29.4	18.9	19.9
女性	867	54.3	27.7	26.5	31.4	33.1	34.3	23.3	22.5
年代別									
20歳代	163	47.9	22.7	38.7	46.0	33.7	32.5	27.6	19.6
30歳代	220	49.1	31.8	42.7	43.6	38.6	31.8	25.0	21.8
40歳代	230	50.0	25.7	25.7	32.2	30.9	28.3	25.2	19.1
50歳代	281	55.2	26.3	19.9	31.3	36.3	39.1	25.3	27.8
60歳代	295	54.9	19.0	13.9	20.7	27.5	32.9	16.6	20.7
70歳以上	299	54.2	16.4	6.0	11.0	26.1	28.8	14.4	18.7
地区別									
北部地区	545	48.4	20.9	22.4	27.7	28.3	30.6	20.0	19.6
中部地区	614	56.8	22.8	20.8	27.5	34.5	33.9	22.6	22.8
南部地区	312	51.3	27.9	24.0	31.7	32.1	32.1	21.8	22.1

	回答割合(%)							
	ひとり暮らしの高齢者や障害のある人の緊急時の連絡や応対	福祉施設での手伝いや話し相手	点訳・朗読、手話通訳などのコミュニケーション支援	寄付や募金への協力	わからない	特にない	その他	不明・無回答
性別								
男性	33.1	13.9	8.5	17.3	14.2	3.8	0.8	3.3
女性	36.9	21.0	14.4	16.7	7.8	1.7	1.7	5.0
年代別								
20歳代	38.0	28.2	20.2	23.9	11.7	1.8	1.8	1.2
30歳代	32.3	20.5	16.8	17.3	10.0	3.6	1.4	2.3
40歳代	35.7	15.7	13.0	16.1	11.7	1.3	2.6	3.0
50歳代	45.6	25.3	15.3	16.4	10.0	3.6	0.7	3.9
60歳代	35.6	12.9	9.5	17.3	9.5	3.4	0.7	6.4
70歳以上	26.4	11.4	2.7	14.0	10.7	1.3	1.3	6.7
地区別								
北部地区	32.3	16.3	10.5	17.1	12.3	2.9	1.1	5.0
中部地区	37.9	18.1	12.4	17.6	8.1	1.5	2.0	3.4
南部地区	35.6	21.2	13.5	15.1	11.9	4.2	0.3	4.8

○自身が参加できる活動

	回答数(人)	回答割合(%)							
		ひとり暮らしの高齢者や障害のある人への声かけ	介護が必要な人や障害のある人の短時間の預かり	乳幼児の短時間の預かり	『子育てサロン』など子育て家庭の相談・仲間づくりの場の提供	高齢者が集える『いきいきサロン』などの場の提供	ひとり暮らしの高齢者や障害のある人の買い物、ゴミ出しなどの手助け	ねたきり高齢者や障害のある人の介助	ひとり暮らしの高齢者や障害のある人の庭の手入れや簡単な日曜大工の支援
性別									
男性	483	9.7	0.4	0.6	1.4	0.8	4.3	0.4	4.3
女性	741	13.4	0.3	2.8	2.6	1.3	4.5	0.7	1.8
年代別									
20歳代	139	11.5	0.7	3.6	5.0	-	2.2	0.7	0.7
30歳代	185	8.1	-	1.6	5.9	1.1	3.8	0.5	1.6
40歳代	193	11.4	-	4.7	0.5	1.0	2.6	-	1.0
50歳代	232	13.4	-	0.9	0.9	1.3	6.0	-	3.9
60歳代	238	16.0	0.4	1.7	2.1	1.7	6.7	1.7	4.6
70歳以上	243	10.7	0.8	0.4	0.4	1.2	4.1	0.4	2.9
地区別									
北部地区	435	12.9	0.2	1.6	2.5	0.7	4.4	0.7	3.0
中部地区	534	11.6	0.2	1.7	1.7	1.5	3.9	0.2	2.8
南部地区	247	10.9	0.8	2.8	2.8	1.2	5.7	1.2	2.4

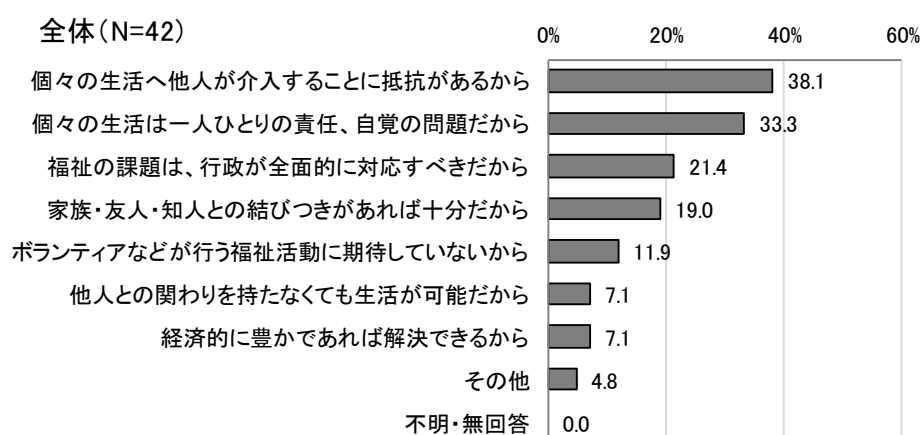
	回答割合(%)							
	ひとり暮らしの高齢者や障害のある人の緊急時の連絡や対応	福祉施設での手伝いや話し相手	点訳・朗読、手話通訳などのコミュニケーション支援	寄付や募金への協力	わからない	特になし	その他	不明・無回答
性別								
男性	3.5	2.9	1.0	12.8	-	0.2	0.2	71.0
女性	1.9	5.9	1.5	15.0	0.1	-	-	66.8
年代別								
20歳代	-	4.3	2.9	23.0	-	-	-	57.6
30歳代	1.1	2.2	1.1	17.3	0.5	0.5	-	67.0
40歳代	2.1	3.6	1.0	17.6	-	-	-	69.9
50歳代	2.2	9.1	1.3	16.4	-	-	-	65.5
60歳代	3.8	5.5	2.1	12.2	-	-	0.4	66.8
70歳以上	4.5	3.3	-	3.7	-	-	-	78.6
地区別								
北部地区	2.1	4.8	1.8	15.9	-	0.2	0.2	67.8
中部地区	2.4	4.5	0.6	14.8	0.2	-	-	68.4
南部地区	3.6	5.7	1.6	10.1	-	-	-	68.8

## ■地域福祉を推進するための福祉活動は特でない理由

<問 33 で「特でない」と回答した方のみお伺いしています>

### 問 34 「特でない」と思う理由はなんですか(複数回答)

地域福祉を推進するための福祉活動は「特でない」と思う理由については、「個々の生活へ他人が介入することに抵抗があるから」が 38.1%と最も多く、次いで「個々の生活は一人ひとりの責任、自覚の問題だから」が 33.3%、「福祉の課題は、行政が全面的に対応すべきだから」が 21.4%となっています。「その他」では、仕事が忙しい、困ったと思う人がどこに相談したらいいのかわかりにくい、障害のため自分のことしかできない、などとなっています。



	回答数(人)		回答割合 (%)								
	合計		個々の生活は一人ひとりの責任、自覚の問題だから	ボランティアなどが行う福祉活動に期待していないから	他人との関わりを持たなくても生活が可能だから	福祉の課題は、行政が全面的に対応すべきだから	家族・友人・知人との結びつきがあれば十分だから	経済的に豊かであれば解決できるから	個々の生活へ他人が介入することに抵抗があるから	その他	不明・無回答
性別											
男性	23		39.1	8.7	8.7	8.7	17.4	13.0	34.8	4.3	-
女性	15		20.0	20.0	6.7	40.0	20.0	-	53.3	6.7	-
年代別											
20歳代	3		66.7	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-
30歳代	8		25.0	25.0	-	25.0	12.5	12.5	50.0	-	-
40歳代	3		33.3	-	-	-	-	-	66.7	-	-
50歳代	10		20.0	20.0	10.0	30.0	20.0	20.0	60.0	20.0	-
60歳代	10		30.0	-	20.0	30.0	20.0	-	30.0	-	-
70歳以上	4		50.0	-	-	-	25.0	-	25.0	-	-
地区別											
北部地区	16		12.5	12.5	18.8	18.8	12.5	6.3	62.5	6.3	-
中部地区	9		55.6	-	-	33.3	-	11.1	55.6	-	-
南部地区	13		38.5	23.1	-	15.4	38.5	7.7	7.7	7.7	-

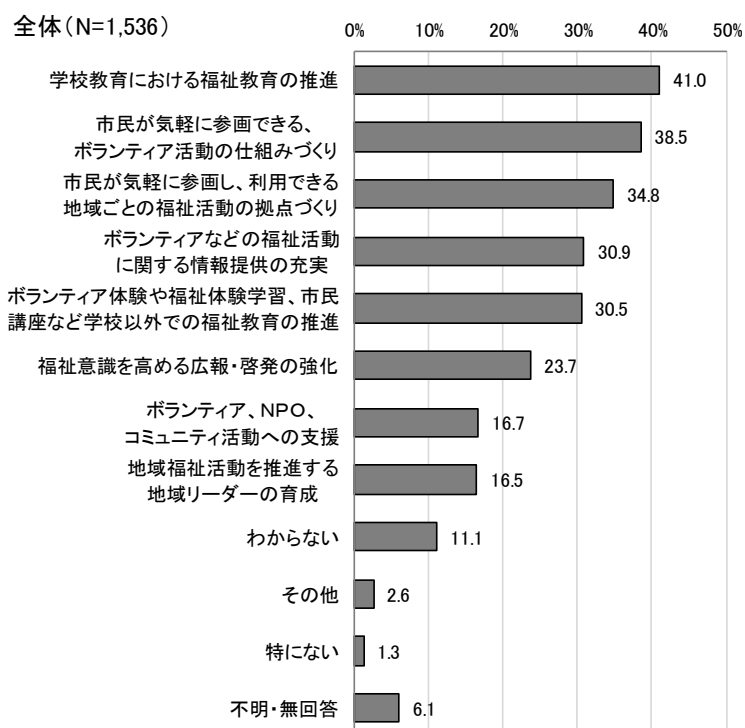
## ■地域福祉の推進のために必要なこと

### 問 35 地域福祉を推進するために何が重要だと思いますか。(複数回答)

地域福祉を推進するために必要なものについては、「学校教育における福祉教育の推進」が41.0%と最も多く、次いで「市民が気軽に参画できる、ボランティア活動の仕組みづくり」が38.5%、「市民が気軽に参画し、利用できる地域ごとの福祉活動の拠点づくり」が34.8%となっています。「その他」では、一人暮らしの高齢者や障害のある人が近所にいるかわからないので困っている人の把握、幼児期の教育や支援、などとなっています。

年代別では、50歳代、60歳代において「市民が気軽に参画できる、ボランティア活動の仕組みづくり」への回答が、70歳代において「市民が気軽に参画し、利用できる地域ごとの福祉活動の拠点づくり」が、それぞれ最も多い回答となっています。

地区別では、南部地区において「市民が気軽に参画できる、ボランティア活動の仕組みづくり」が最も多い回答となっています。



	回答数(人)		回答割合 (%)										
	合計	学校教育における福祉教育の推進	ボランティア体験や福祉体験学習、市民講座など学校以外での福祉教育の推進	福祉意識を高める広報・啓発の強化	ボランティアなどの福祉活動に関する情報提供の充実	市民が気軽に参画し、利用できる地域ごとの福祉活動の拠点づくり	地域福祉活動を推進する地域リーダーの育成	ボランティア、NPO、コミュニティ活動への支援	市民が気軽に参画できる、ボランティア活動の仕組みづくり	わからない	特にない	その他	不明・無回答
性別													
男性	613	40.8	26.9	26.1	28.5	33.4	18.3	15.0	38.7	11.7	1.5	3.6	4.9
女性	867	41.2	33.1	22.1	33.1	35.8	15.5	17.4	38.8	10.6	0.9	2.1	6.6
年代別													
20歳代	163	44.2	34.4	20.9	34.4	28.8	5.5	18.4	33.7	15.3	0.6	4.9	1.2
30歳代	220	53.6	34.1	22.3	32.3	33.6	14.1	15.5	38.6	11.4	2.3	4.1	2.3
40歳代	230	40.0	29.1	19.6	27.0	33.0	12.6	17.8	36.1	11.3	0.4	4.3	3.9
50歳代	281	42.0	37.0	28.8	38.1	40.6	19.2	23.1	48.4	8.9	1.1	2.1	4.6
60歳代	295	39.0	29.8	25.4	32.5	37.6	18.0	13.9	40.3	10.2	1.0	1.4	6.8
70歳以上	299	31.8	21.7	23.7	24.4	32.4	23.4	11.7	32.1	12.0	1.3	1.0	12.7
地区別													
北部地区	545	41.3	29.7	23.7	31.6	35.6	16.1	15.2	36.3	11.6	0.9	2.0	6.2
中部地区	614	41.7	32.6	24.4	31.4	32.4	18.6	17.1	38.6	10.6	1.1	3.4	5.2
南部地区	312	38.8	28.2	23.4	30.4	38.5	13.1	17.6	42.0	11.5	1.6	2.2	6.1

## (7) 社会福祉協議会について

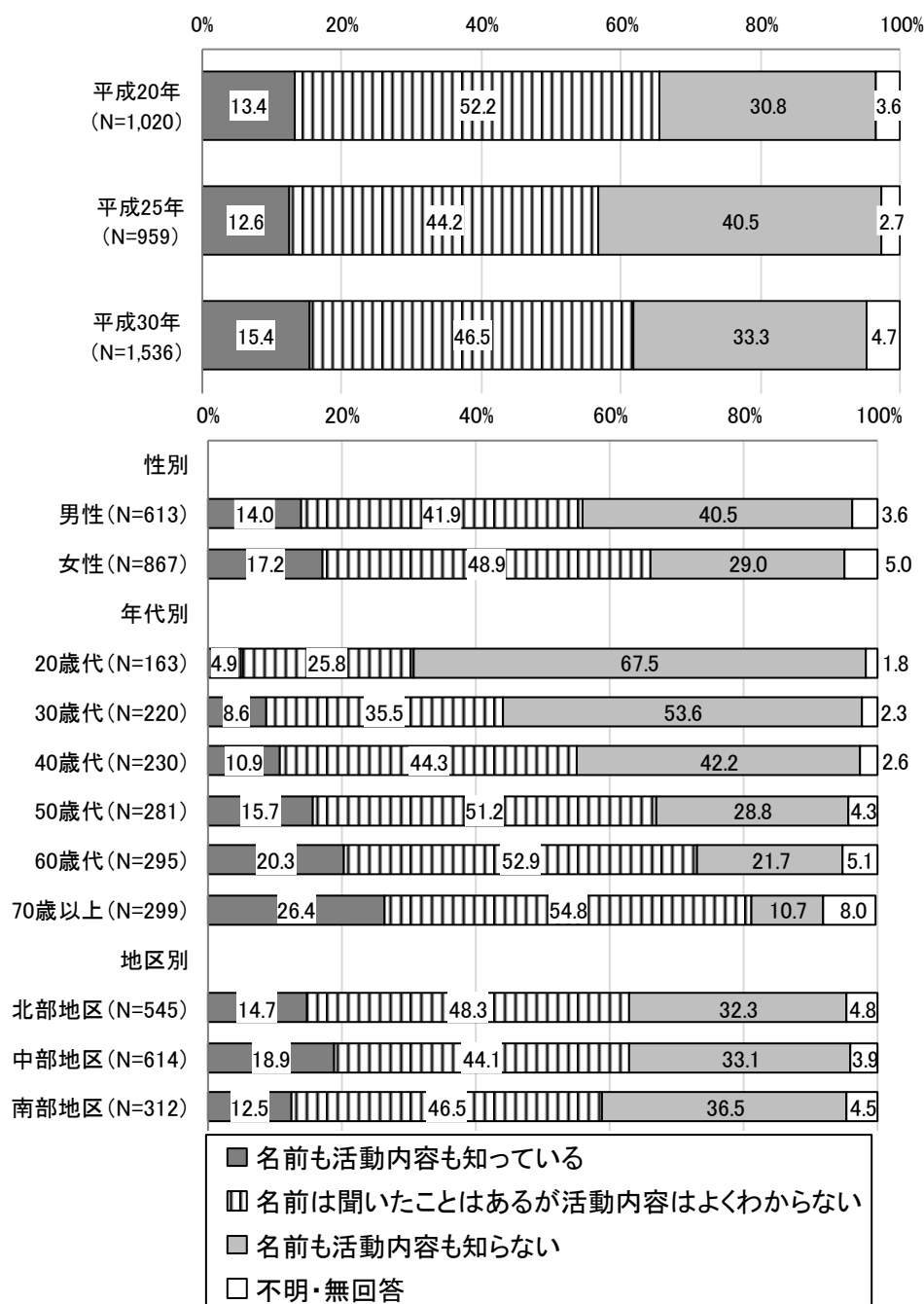
### ■社会福祉協議会の認知度

#### 問 36 あなたは、刈谷市社会福祉協議会を知っていますか。(単数回答)

刈谷市社会福祉協議会の認知度については、「名前は聞いたことはあるが活動内容はよくわからない」が46.5%と最も多く、次いで「名前も活動内容も知らない」が33.3%、「名前も活動内容も知っている」が15.4%となっています。

平成20年、平成25年と比べると、「名前も活動内容も知っている」が前回までよりも増加しています。

年代別では、年代が高いほど、「名前も活動内容も知っている」割合が増えています。





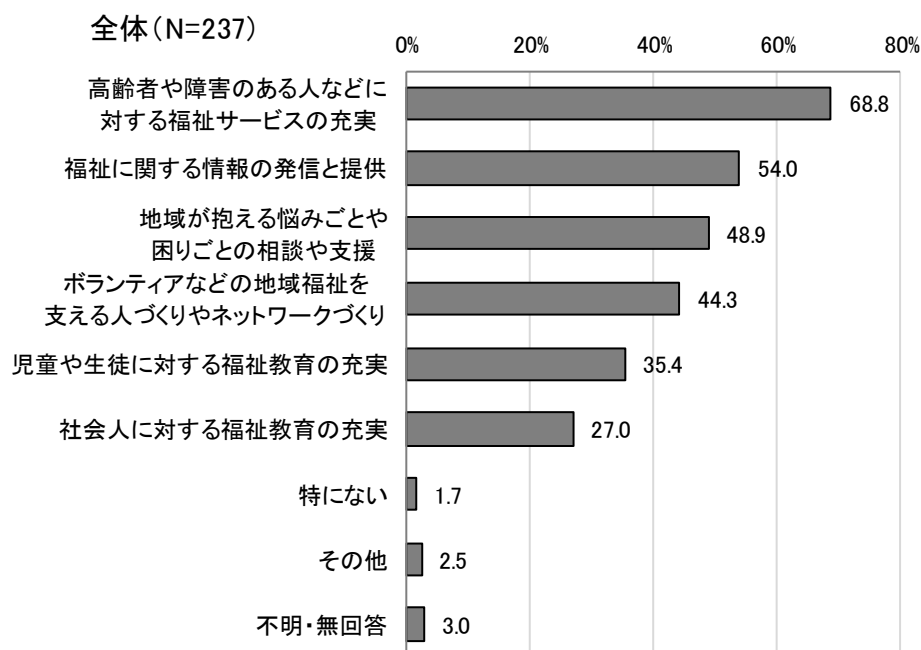
## ■社会福祉協議会への要望

<問 36 で「名前も活動内容も知っている」と回答した方のみお伺いしています>

### 問 37 刈谷市社会福祉協議会に何を求めますか。(複数回答)

刈谷市社会福祉協議会に求めるものについては、「高齢者や障害のある人などに対する福祉サービスの充実」が68.8%と最も多く、次いで「福祉に関する情報の発信と提供」が54.0%、「地域が抱える悩みごとや困りごとの相談や支援」が48.9%となっています。「その他」では、地域に合った福祉の調査・研究・提案などとなっています。

年代別では、年代が高いほど「福祉に関する情報の発信と提供」の割合が増えています。



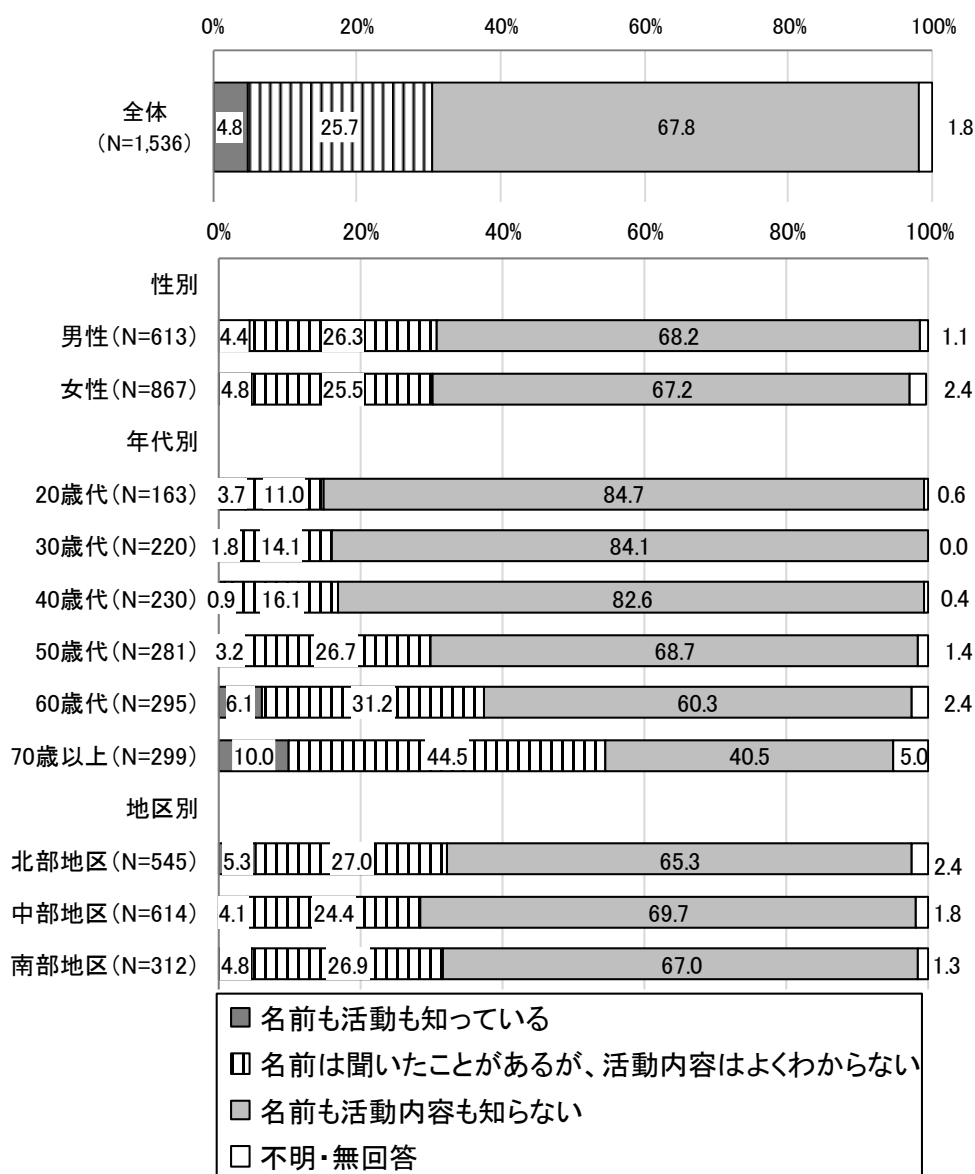
	回答数(人)	回答割合 (%)								
		福祉に関する情報の発信と提供	高齢者や障害のある人などに対する福祉サービスの充実	児童や生徒に対する福祉教育の充実	社会人に対する福祉教育の充実	ボランティアなどの地域福祉を支える人づくりやネットワークづくり	地域が抱える悩みごとや困りごとの相談や支援	特にない	その他	不明・無回答
性別										
男性	613	8.2	10.0	5.5	3.9	7.2	7.8	1.5	0.7	82.4
女性	867	10.4	13.8	6.7	5.4	7.8	9.1	0.7	0.5	81.0
年代別										
20歳代	163	3.1	3.7	3.7	2.5	3.1	2.5	2.5	1.2	90.8
30歳代	220	2.7	5.0	6.4	2.7	2.3	4.5	1.4	-	90.9
40歳代	230	6.1	7.4	2.6	2.6	5.2	6.1	-	1.3	88.7
50歳代	281	9.6	12.8	6.0	5.7	10.7	10.0	1.1	-	81.9
60歳代	295	13.6	14.6	8.1	6.4	10.5	11.2	0.7	1.0	77.3
70歳以上	299	16.1	22.7	8.4	6.7	9.7	13.0	1.0	-	68.2
地区別										
北部地区	545	9.7	11.0	5.5	4.0	6.2	6.4	0.7	0.4	83.1
中部地区	614	9.6	14.3	6.8	5.2	9.0	11.1	1.0	0.7	78.8
南部地区	312	9.0	10.6	6.4	5.4	7.4	8.0	1.6	0.6	83.3

## ■ 地区社会福祉協議会の認知度

問 38 刈谷市社会福祉協議会では、より身近な地域での支えあいを推進するため、地区社会福祉協議会の設立及び活動を支援しています。あなたは地区社会福祉協議会を知っていますか。(単数回答)

地区社会福祉協議会の認知度については、「名前も活動内容も知らない」が67.8%と最も多く、次いで「名前は聞いたことがあるが、活動内容はよくわからない」が25.7%、「名前も活動も知っている」が4.8%となっています。

年代別では年代が高くなるほど名前の認知度が高くなっています。

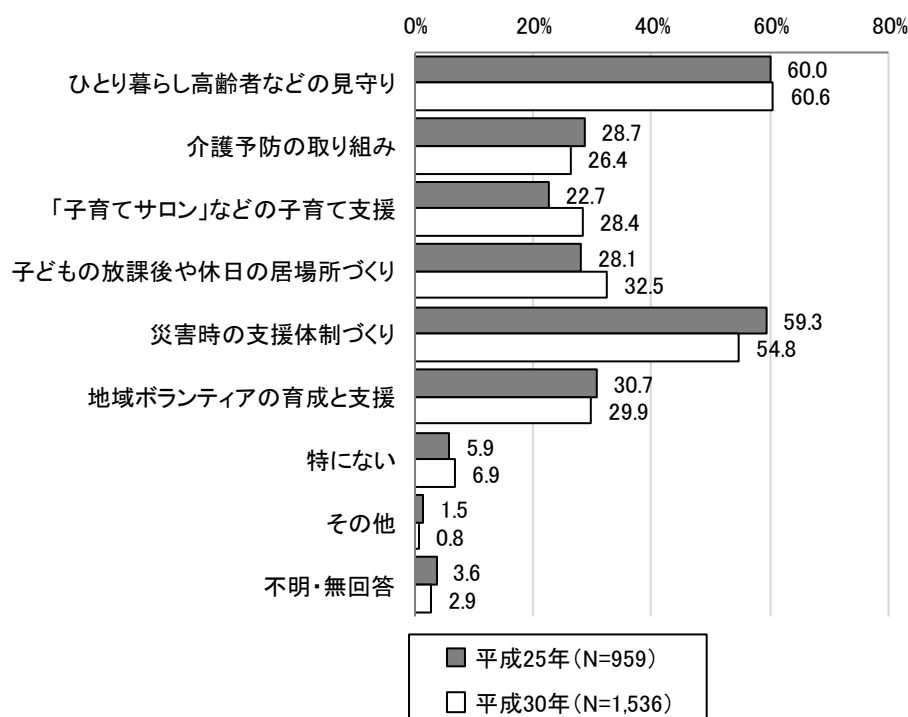


## ■ 地区社会福祉協議会の活動に求めること

### 問 39 地区社協の活動としてどのようなことができればいいと思いますか(複数回答)

地区社協の活動に求めることについては、「ひとり暮らし高齢者などの見守り」が60.6%と最も多く、次いで「災害時の支援体制づくり」が54.8%、「子どもの放課後や休日の居場所づくり」が32.5%となっています。「その他」では、カウンセリング業務を導入・拡大していく、何をしていたり何ができる組織かが分からないので、その広報を行ってはどうか、などとなっています。

平成25年と比較すると、大きな増減はみられません。



	回答数(人)		回答割合(%)								
	合計		ひとり暮らし高齢者などの見守り	介護予防の取り組み	「子育てサロン」などの子育て支援	子どもの放課後や休日の居場所づくり	災害時の支援体制づくり	地域ボランティアの育成と支援	特にない	その他	不明・無回答
性別											
男性	613		54.0	22.5	25.0	27.1	55.0	29.2	9.3	1.3	2.8
女性	867		65.5	29.3	30.7	35.9	55.2	30.7	4.6	0.6	3.0
年代別											
20歳代	163		52.1	23.3	41.7	43.6	55.2	30.7	5.5	1.2	3.7
30歳代	220		50.5	20.5	42.3	53.6	52.3	26.8	9.1	1.4	1.4
40歳代	230		59.6	23.9	28.7	31.7	54.3	27.0	5.2	1.7	2.2
50歳代	281		68.0	34.2	29.9	28.8	63.7	36.3	5.7	-	1.4
60歳代	295		66.1	24.7	23.1	29.2	54.2	31.2	7.1	0.7	2.4
70歳以上	299		61.5	29.4	14.7	17.7	49.8	27.4	7.0	0.7	6.0
地区別											
北部地区	545		59.6	25.1	27.7	31.2	49.7	30.1	6.4	0.7	3.5
中部地区	614		63.5	28.3	27.5	31.1	57.5	29.3	6.4	1.5	2.6
南部地区	312		57.4	25.0	30.1	35.6	58.7	31.1	7.7	-	2.6

## (8) 今後の地域福祉について

### ■地域福祉の進め方、地域活動・組織のあり方に関する意見

#### 問 40 地域福祉の進め方、地域活動・組織のあり方など自由にご記入ください。(記述回答)

288 件の意見が寄せられ、組織の活性化や活動の進め方に関することなどの「地域内組織」に関する意見が最も多くみられます。その他、地域活動の状況の周知などの「意識や啓発」、困りごとに対する支援の必要性などの「地域内の助け合い」、「ボランティア」については呼びかけや育成の必要性、子育て支援・高齢者・障がいのある人に対する「福祉サービス」の必要性、普段の近所づきあいの動向や、転入者が地域の人と知り合う機会の必要性などの「交流」、災害対策などの「安全や安心」、「市や市社会福祉協議会」などに関する意見がみられます。

#### ○記載された意見の一覧

##### ・地域内組織に関すること (64 件)

NO.	意見
1	みんな趣旨は理解できると思うが、実際に参加し活動しようという人が少ないように感じる。自治会等の役員をおりるとなかなか参加が少ないのではないかな。
2	地区の行事がないので若い人と年寄りが関わる場がないため近所付き合いがしにくい。各世代で構成されている組織が作れば地域が活性化されるのではないかと思います。
3	地域活動は大切ですが、強制的に大きな仕事を頼まれたり、断ることに罰則がついてくる場合があります。(婦人会など。) 仕事をしている人にも理由がありますが、仕事をしていない人にも仕事ができない理由があります。私は病気持ちで仕事をしていませんが、仕事をしていないということだけで大きな仕事を押し付けられ、嫌な思いをしました。助け合いを目的とした組織でそういったことが起きていることには大きな矛盾を感じます。
4	地域活動を進めるには地域の行事(祭礼、盆踊り)と、高齢者、介護人などが交流できる場所を提供する組織づくりが必要と考えます。
5	地域の取り組みとしてリーダー(班長)たちは、仕方なくやっているため、どうしてもうまくいかないことも多いと思う。地域代表はやっぱり市の代表がやるべきである。
6	公民館を中心とした地域活動。
7	活動を増やすのではなくてより必要なことに力を入れていくことが大切かと思います。働いている人が増えて若い人が減っているので、地域活動に参加してもらうことは大切だけれど、負担を増やすことがないようにしないと離れていってしまうと思います。
8	地域活動に当てはまるか分かりませんが、子ども会、老人クラブはまだ活動の意味が分かりませんが、婦人会は必要ですか? 今時女性みんな働いています。昔から存在していますが必要性が理解できません。盆踊りの時だけ有志を募ったりで活動したらいいのではないかと思います。負担を軽くしてください!
9	気軽に参加できるような活動、組織を希望します。
10	一人暮らしの方や気軽に寄れる小規模なコミュニティ場があるといいと思います。
11	日本人は流されやすいので本気で地域福祉を推進したいのなら「核」となる人物を見つける、養成することが近道だと個人的には思う。

12	仕事に忙しく地域活動のことを理解していません。仕事を疎かにしてまで自治会に加入して奉仕はなかなかできないのが正直なところです。
13	福祉関係の組織が色々あって逆に分かりにくくなっている。活動をまとめ重複内容の有無を整理したほうが市民にもわかりやすいものになるのでは？
14	組織の名前や枠は問わずに志や心や気持ちが無理なく楽しく集まれるような組織が作ればすべてが正しい方向に向かうと思います。
15	組織が複数あって違いが分かりにくい。助けてもらいたい時、何をどう助けてくれるのか分からない。
16	去年の班長で婦人会に入っていることを知った。役員決めに困惑している。善意を強制するのはやめて欲しい。地域の活動が増えて強制が増えるのは困る。子供や老人のいない世帯は少なく、仕事をしていないのはさらに少ないと思うのでボランティアに限界があるのではないか。
17	近年、若い夫婦は共働き世帯が多いですし、休日に地域の活動にまで手をかける時間はないと思います。地域活動に興味のない方々も多いので、ある程度行政のプロデュースは必要だと思います。今時回覧板でプリントを回す連絡方法では、組織として成り立たないと思います。地域活動の伝達方法を見直す必要有り。
18	定年の延長等で、ますます地域活動への協力が薄れつつあり、頭が痛い。高齢者と若い世代との交流を強化し、地域活動の大切さを理解してもらう必要がある。地域を細分化し、組、班単位での対応も検討中。
19	民生委員、児童委員と地区委員の増員を図って両者の長所を併せて、地域福祉の充実を図る新しい組織が必要だと思います。
20	社協従事者が高齢化していたり、自己満足主義、なれあい通常化で本来の意味での活動が行われている所が少ないと思うし、活動内容を楽に自分達が楽しく、に走りすぎているくらいがあると思う。一度変えようと思い、いろいろ意見を出したが、一向に変わらず、活動から手を引きました。
21	主人もあと数年後は仕事も退職し、その後は地域活動に参加していこうと思っています。
22	働いている人も多く、忙しいため、無理のない程度に活動できるものであるべきだと思う。
23	活動にあまり参加していないので、引っぱってくれる人がいれば。
24	昔から住んでいる方が高齢となり、「子ども達も外に出ている」との理由で班長ができない。また、アパート、マンション等の住民の方々も参加されていない現状を考え、組織（連絡体制）を見直すべきではないでしょうか。
25	地区、民生委員、老人会などで話し合い、有志で実践できるようなかたちにするとよい。
26	アパート、マンションの乱立で、その地域の先住者よりも人口が増えて人間関係が希薄になり、地域の活動をするのも非常に難しい状況にあると思います。住民全てをひとつの方向に進めるための組織をしっかり作る必要があると思います。
27	ワークライフバランス、子育て、教育に関すること。これらの充実。未来ある人間が、希望をもてる地域に。
28	高齢者や身障者、子持ちママの力になりたい気持ちはあるが、時間や金銭的な余裕がない。上記ターゲットのみを支えるのではなく、各世代同士が気遣い合えるような組織や活動ができて、その輪が、幅広い世代に広げられたら理想でしょうか。

29	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動の日程、工程（いつ、どこで、何を等）、5W+1Hで</li> <li>・組織の活動と日程、工程（いつ、どこで、何を等）</li> </ul>
30	どの年代でも活動しやすい環境があれば地域福祉などに協力しやすいと思います。
31	刈谷市は新築が増えてきたような印象があり、その分若い人たちが増えてきたのでは？地域活動は若い人にも興味を持ってもらえるような内容を考えて行った方が良いと思う。実際私が刈谷市に引っ越してきて活動にひかれるようなことは今まで一度もなかったため。
32	刈谷市民なのに知らない組織、活動ばかりで大事なことははずだからもっとちゃんと詳しく知っておきたいです。堅苦しい名前じゃなくて、わかりやすく覚えやすい、若者が興味を持つような、ちょっとポップな感じだと活動とかも広がっていくと思います。
33	刈谷市内の色々なところでイベント（子ども関係）をやっているところがあっても移動手段がなくて行けないことがあります。市内バスは本数が少なく子連れではなんとなく使いづらいイメージもあります。本数を増やしたり、バス停を増やしたり、使いやすいようにしてほしいです。多少の利用料金も含めて。地元の人でないと参加しにくいような行事があります。県外、市外からの移住者にも開かれた地域活動、組織が良いです。
34	刈谷市保健推進員活動の見直し、市民（町内）へのPR参加呼びかけ、この先の見通しは？
35	元刈谷地区は高齢者が多いので役員を引き受けると負担が多い。公民館は何でも地域の役員を使いたがって困る。特に婦人会は公民館のお手伝いは当然の扱い。ほとんどの女性は仕事を持つ時代と合っていない体制ではとても地域福祉まで背負わされるのはごめんです。市役所の方はもっと現状を直接見てください。
36	組織の活用。民生委員等の有効的な活用。
37	町内会で班長の役が回ってきた時にパトロールや神社の氏子などの活動を知る機会があり、こんな世界があったのかと驚きました。参加する人、しない人の温度差を埋める方法を考えていかないといけないのではと思いました。
38	情報を多く集める所が整理、分析して各組織が動ける支援をする。
39	高齢になりますと、知人も1人欠け2人欠け活動も寂しくなっております。→地域で参加しやすい雰囲気考えた仕組みづくりを！
40	若い人にリーダーになって欲しい。
41	組織の名前が覚えにくい。
42	社会福祉協議会という名称が悪い。気楽に参加できるイメージがわからない。硬すぎる。今時は連絡もLine。もっと覚えやすい名称を。子供を育てる支援。特に暇な高齢者を活用できるようなもの。一緒に過ごせる場所とか。
43	私が現在住んでいる東境町は民生委員の方々もよく活動されており、地域にも老人が集まる施設もあるので、今後もこのような活動を継続させ、できれば増えていけるといいと思います。
44	地区社協の活動が始まり、各団体の連携が強まり、仕事が増え多忙になった。NPOなどの専門家の協力が必要か？また、気軽にボランティアで参加してもらいたい仕組みがほしい。
45	子どもの（小学生になった場合）放課後や長期休み中の居場所づくりをしていただきたい。この根本的な問題を解決しないと女性の社会進出は不可能。

46	今川町に関しては地域活動が多く、大変良いことだとは思いますが、少々多すぎて班長の負担が多くなっているような気がする。
47	1. 中心となる人物（リーダー、世話人等）の育成。2. 定期的な集まり。3. 関心ある人の募集（照会）。
48	組織のあり方についてですが、担当の方があまり冷たく対応しないでほしい。冷たい対応をされたことはありませんが、生活保護が必要になった時にそうなりそう。私は傷つきやすく悩みが増えそう。死んでしまうかも。
49	集合住宅が多く、地区の住民との交流が少ないわりには、募金の徴収が多い。
50	今年度は刈谷市婦人連合会、婦人部として、行事や講演、研修会など参加させてもらっていますが、地域活動としてこんなことまでやっているんだと初めて知ったことばかりでした。日々、自分の仕事をしながら家庭を守ることで精一杯であるので、体力もなければ地域活動に協力するのも大変だと思います。他の市では婦人部は廃止されていくなか、刈谷市はどうなっていくのでしょうか。
51	自治会、町内会の活動をもっと大きくしていくと良い。
52	全てがそうではないと思いますが、時間と心の気持ちに余裕のない状況になっています。その中で、大変難しいですが、強制はせず、尚且つ、うまく支援できる仕組みを推し進めていただくのが最善かと思います。具体的な案は浮かんでいませんが、こういう調査機会も大事だと思います。
53	共働き家庭が当たり前の昨今、地域とのつながりは増々希薄になっています。私自身も結婚後現在の地域に20年以上住んでいますが、近所づきあいはほとんどありません。子供が小さいうちは子ども会、PTAなど多少の活動に関わりましたが、活動自体の考え方が昔のままであり、特に若い世代には受け入れられにくいこともあると思います。若い世代が興味を持ち、積極的な参加ができるような体制づくりが必要ではないでしょうか？
54	いろいろな組織ができ（地区社協 etc）頭が混乱する。参加している方々も何をどうやればいいのかとまどっている。今のところ作ってもスムーズにいかず、かつ目的も不明瞭。市や社協がリーダーとなり作っていく必要がある。それが市の職員、議員としての仕事であると考え。地域活動組織は市民と市が一緒になって考えていくスタンスの組織を作ってほしい、そうなるように願います。民生委員、児童委員はかつての役割もなく（介護保険、自立支援法ができ）名前だけの地区の名誉職になっている。一考をお願いしたい。
55	事務的な対応、たらい回しはやめてほしい。
56	博物館などの建設に税金を使うのではなく、福祉にもっとお金を使ってほしい。また、若年層の負担が大きいのももう少し軽くしてほしい。
57	若い仕事を持った人でも負担なく参加できる組織で多くの人が積極的に活動して欲しい。誰がやっているか知ろうとして知るのではなく、近所の多くの人が活動していて自然に知るように推進してもらいたい。
58	人の流出の多い地区は自治会も形式的になりつつある。人数の少ない地区は、現在住んでいる人への自治会の参加が負担になりつつあるのか。
59	今は個人情報への壁があり、どの人が「地区社協」を必要としているのかが分からないので活動自体が難しいと思います。そこをどうしたらいいか…。

60	婦人会活動に疑問を感じた。強制参加で働く女性、子育て中の女性、介護中の女性全ての方が苦勞して参加していた。本当に必要な活動か精査していただいて必要な活動は女性だけでなく男性でも参加できる仕組みにして欲しい。職場の同僚に頭を下げて参加することが多く、とにかく辛かった。
61	組織の在り方に問題があると思う。地域活動はいいと思いますが、皆さんがすべて土日と都合が合わせられない人が多々いるかと思いますが、そこに強制力が出てくると、自主的活動につながるのか疑問を感じる。
62	地区の自治会での組織があつたらいい。高齢の人が多いため、地区の小さなグループがあればいい。
63	現在下重原子ども会は子供（小学生）が30人以下です。子ども会を存続するため役員は3名必要ですが、すでにほとんどがやったことのある人です。私自身子供が3人いるため、今度3回目です。昼はフルタイムで仕事をしています。今の時代、共働きの人が多いのに子供会役員までの負担はどうなんでしょうか？おじいちゃん、おばあちゃんの暇な人が子ども会のことを考えていても良いのではないのでしょうか？それか、これだけ人数が少なくなってきたのなら、子ども会の存続は難しくないのでしょうか？
64	地域福祉を活発にしたい人と、そうでない人の温度差がありすぎる。まず、男女での差、地域活動を。男性は仕事を理由に女性に任せすぎ。その割に、トップに立つのは男性が多く、女性の意見は反映されない。参加しない人、できない人が、逆に参加して意見交換できるような制度も必要だと思う。

・意識や啓発に関すること（63件）

NO.	意見
65	小学生、中学生など福祉のあり方などを教えられたらと思います。私自身もですが。
66	Youtubeなどでアピールしてどんどん広めてほしいです。
67	知識のある方々に勉強会等を開いていただき、自分たちの意見も話し合え（すぐに意見に反対されず）人とのかわりを面倒くさがらないようにし、メールや広報、ホームページなどにも情報、豆知識などを載せて興味を持てるようになりたいです。
68	うちでは地域ケーブルテレビは見ませんがケーブルTVでコマーシャルや地域ラジオ放送月2回の市の広報で分かりやすい広告を出せばいいと思う。
69	川谷市で子育てをしていないため地域活動など分かりません。これから少しずつ勉強していきます。
70	自分が住んでいる地域でどんな活動がされているのかよく知らないのはよくないと思うけど、ではどうすればよいのか。回覧来ないし、市報は見るけど基本的に市役所辺りでの開催が多いので行くのが億劫。ウィングアリーナとか富士松支所くらい近ければ行きやすい。
71	知らないことが多いので広報誌だけでなく園、学校などで周知していけば関心がない市民も知ることができるのではないかと？広報誌もあまり目を通さないのです。
72	日頃の告知が必要か？
73	現在は役所の方も努力し、地区の方も協力的です。ただ高齢者が多くなり、両隣夫婦共に入院、退院してみえます。私達昭和22、23年生の人が多くなり、農業も庭の木を切ることすらできなくなりました。私の看護をしている時は近所の方々に大変良くしていただきました。親族の中には看護のプロがいましたが、自分の母親だけは認知症を認めず、民生委員や役所への相談も禁止されました。現在看護している人の中にも親族の理解のないことに苦しんでいる人が多くあります。



74	色々な組織だけつくっても、市民が知らなければ意味がないと思います。それに市民も自分事にならないと興味すらわきません。私もそうです。もっと役所として市民が自分事と思えるように情報展開や共有をしていただけると意識のボトムアップができるのではないかなと思います。
75	実際のところ、仕事があるので地域での活動等参加することはほとんどありません。また、親と同居しているので、何かあれば親が参加しているのが現状です。どのような活動があるのか内容も知らないことばかりです。
76	私は今現在、子育て中です。なので、子育てに関する施設や講座、また各支援センターでの催しや、幼稚園開放など多く参加させていただいています。子育て支援について、刈谷市はとても充実していると思います。この調査を行っている時に感じたのは、それ以外のこと（高齢者や障害者、防災など）についてあまり意識したことがなかったと感じ、今後少し意識していきたいと思いました。
77	もっと広くみんなに分かるように、どのようなことを相談できてどのようにしてくれる所なのか、分かりやすく広く認知させてほしい。（若い人やそのようなことに関係してない人は何も知りません。）
78	地域の良い情報ばかりではなく、悪い情報も告知してほしいです。悪い情報を悪ではなく、課題として地域の皆さんに知ってほしい。
79	市民に活動を知ってもらおう。参加してもらおう方法の検討。
80	個人の意識で地域福祉のあり方が決まる。
81	子どもの頃から教育の中で地域福祉の大切さを知って体験的な活動を取り入れていく必要があると思う。
82	地域の人が進んで参加できるような活動を作っていくことが必要であるが、毎日若い人たちは仕事で忙しくなかなか参加する方が少ない。自治会において福祉に対する学習会や活動をもっと知らせることが大事だと思います。
83	たくさんの団体が活動しているのはとても良いと思うがその活動が地域に広まっていない。広報などでも「何か書いてあるなあ…」程度。共働きや核家族の多い20、30、40代の人達にも伝えていくためには少し工夫が必要かと思う。団体名も含め色々と硬いイメージ。また外国出身の人には漢字ばかりで伝わらないのでは…。これからは多国籍出身の刈谷市民ももっと増えると思うので、市民皆に伝え広めていってほしいと思う。
84	広報に係る地域活動の実績、効果等の公表をしていただけると住民も関心を持って参加して設けると思う。是非公表してください。
85	自分が必要としないと情報が入ってこないし見聞きしても記憶に残りにくい。特に健康で若い世代は（単身者）知る機会がないのではないかと思います。市の広報だけではなく何らかの形でかかわる機会があれば地域を知り周囲に関心を持てるかもしれません。
86	活動全体がはっきりと伝わりにくい点があると思います。
87	福祉について知識を知る機会が必要。
88	「地区社会福祉協議会」という名前も活動内容も全く知りませんでした。活動内容などを地域の人達にももう少しわかりやすく知らせてほしいと思います。
89	そもそも知識がないので認知して努力をしてもらいたいです。
90	高齢者を優先しすぎ。次の世代を担う子育て世代にももう少し手厚くすべき。みんな当たり前だと思わず、誰かによって助けられていることを理解すべき。ペットも家族なので、そういうことに理解が乏しい人をどうにかしてほしい。人だけの福祉なのか、ということ。
91	いろいろな組織をつくって満足している自治体の意識を変えよう。

92	支援を受けたいと思ってる方々の意見希望要望を第一に優先して聞くべきである。今回どのような人選により意識調査を行ったかよく知らないが、その場に立っていない人からは有用な意見は少ないだろう。
93	義務教育のうちから意識づけさせる取り組み。
94	いつ誰がどこでなにをしているのか、わかりやすくしてほしい。
95	人々の意識を変えることはとても難しいけれど、高齢者、障害者、子供は地域の人々で支えていくことが必要になると思う。しかし、まだ家族だけで支えるという考えが一般的だと思う。
96	自治会別に意見の偏りや同意見もあると思うので、無作為よりも自治会の各意見をまとめた上で統計を取る。→意見を募る方が、年々の比較がしやすいのではないかと。メリット、デメリットが明確に出ると思う。漠然とした結果しか出ない意識調査は発展性がなく無駄である。
97	自分が受ける側にならないと関心が持てない人が多数だと思う。女性の方が子育て等で関わる機会が多いと思うので、女性から家族へ情報を発信していくようにしたら皆が関心を持ちやすいのではないかと。
98	私は刈谷市北部の一里山町に住んでいます。高齢者が多いため、町民同士の助け合いが必要です。私は消防団に所属しており、町内の行事等に参加しています。その行事等に参加して思うことは、町民が一堂に集まれる機会があるのは重要だと思います。なので参加できる行事等は皆が参加する意識を持てるようになるべきだと思います。
99	組織の活動をもっとみんなに知れるよう活動報告してほしい。
100	地域活動・ボランティア活動などの資金・拠点などの支援を行政がしていただけると、もう少し活気が出るのかと思います。意識のある人は自ら積極的に活動できますが、関心の低い人にも気軽に参加できる宣伝PRがあると敷居が下がっていいのではないかと。
101	説明会を開いて、活動内容や組織の在り方などを聞いてみたい。
102	地域福祉を進めている人々は専任者なのかサイドワークなのか、どんな年齢層の人がどのように関わり合い、組織として活動しているのか、具体的に解るパンフのようなものはありますか。
103	情報が少なく、自分の地域が何をしているのか分かっていません。
104	地域福祉活動はまだまだ市民全体に浸透していないように思います。市民の側のアンテナの張り具合もあるでしょうが、特に福祉のものはいつ、何をやるか、ということを目に付きやすい方法で知らせてもらいたいです。
105	共働き家庭が増えて、子供会をはじめ地域活動に参加しないご家庭が増えている。地域活動に参加する意識がもっと幅広く浸透しないと組織づくりも負担も一部の人に偏りが生まれてしまうのでは…と心配してしまう。
106	地域活動の情報が入らないため、分からない。
107	個人差の大きい時代なのでみんなの意識をそろえたり、共通理解したりするのは難しいと思うが、それでも刈谷に住んでみて挨拶をする子が多かったり、人の温かさを感じる出来事があったりするので、小さいうちから学校教育や地域との繋がりを経験することで深まることは多いと思う。お祭りで地域ごとの繋がりが深くなっているという利点が生かされるよう継続していきけるやり方にしていくなど、時代のニーズに合わせて古き良きものをいかしてほしい。
108	～協会、～協議会と立派な組織があるのに、何をしているのか分からない、とは人員もお金も勿体ないです。成果や取り組みなど、もっと周知させる方法を探してください。子育て中の人も、高齢者も手助けがあることにこしたことはありません。

109	福祉といっても実際に行っている活動をしているのを見たことがなく、紙の上の活動かな？
110	あり方以前に、どんなものがあるかさえ知らない。どう情報を得たらいいのか、聞くにしても遠い。市街、市役所近くなら聞きやすいだろうが、住む場所でサービスが違うことがまず問題にして欲しい。
111	小中学校の授業などで、赤ちゃんと触れ合ったり、高齢者の介護の体験などがあると良いと思う。
112	具体的にどのようなものがあるのか知らないので、リーフレットを駅や市役所で配布してもらえると嬉しい。
113	刈谷市が取り組んでいる福祉のこと、ボランティアのこと等々、無関心であったこと反省しています。今後もっとアピールしていただき、私自身も刈谷市の行政に対するの関心をもっと持たなければと思いました。
114	行政や地域の人的活動と一般住民の意識（障害や生活困難に対する）をどう近づけるかが課題だと思われます。今後外国人労働者が増えることもメリットを感じられる取り組みが必要になってくると思います。
115	分かりやすい言葉、説明で、誰もが気軽に参加しやすい環境を作ってほしい。子育て世代は、年代も若く、それだけでもなんとかかなるような気がしますが、介護世代ともなると、親はもちろん、家族（子）もそれなりの歳になっており自分もいつか介護に悩む時がくると思うと不安です。介護や健康に力を入れる市であっていただきたいです。
116	明確にわかるようにして欲しい。
117	高齢者の人達（私も含め）刈谷市として色々行っていると思いますが、税金面、各種補助（金）制度等、こちらから聞かないと分からないことがあまりにも多い。文面で送られても、現役の私達でも分からないことから高齢者の人達には、理解不可だと思っています。
118	せっかくいろいろな組織があるので、もっと活動内容や活動実績を知る機会を与えて欲しい。「ホームページに載っています」では駄目だと思います。高齢者から子供まで均等に知ることのできる手段で伝えて欲しいです。
119	小さい時より福祉に関わることにより、自分の周りの方と周りの方のことを考えると大人になった際興味を持ちやすいのかもしれない。確かに逆に嫌になる可能性もあるが、きっかけを早いうちに与え意識して成長するのいいと考える。そういった方を支えることのできる環境もあるといいかなと思います。
120	問 39 の 1、2 は老人ホームを積極的に利用してもらおうといいと思う。若者も住みやすい地にしてもらいたい。これからも刈谷市で過ごしていきたいが、子供手当や妊婦手当は既にあるのかもしれないので若者に対して紙媒体ではなくメールや SNS で情報を発信して欲しい。
121	住民が気軽に地域に出て行ったり近隣の人と関わりを持てるように、お金などを絡めずに助けてい関わりたいという人の気持ちを大事にしていくこと。そして小学生から小学校で学ぶ機会を設けること。
122	地域には昔からの役、公民館、婦人会、子供会、赤十字、民生、厚生…PTA と名の付く役もあり、分からず回ってくる。なんだかんだと逃れた者が得をする構図が続いている。昭和的な組織役割も機能していない(意味がないのでは)のを見直して、市が行政、地域公的支援、地域ボランティア、隣近所の支え合い、とシステムを構築して役割分担しないと特定の人に集中してしまい損する意識がなくならず、やる人もいないのでは。
123	活動があっても、どのような取り組みがあるのか知らなかったの、刈谷市の冊子などがあるといいなと思います。
124	自分も含め、周知が足りてないと思います。日頃、日中に家にいないため、平日にもし活動があっても知らないまま過ぎている。

125	社会福祉協議会は、名前はよく伺うのですが、身近に感じず、また自分、家族がお世話になる状態でもないため、申し訳ないのですが本当に内容を分かっていません。支援する側にもなってないのが現状です。刈谷市そのものが産業、車の町のイメージが強く、福祉に充実しているように感じる事ができないのです。いつかはお世話になるとは思うのですが。
126	地域福祉の内容を市民に分かりやすく示して欲しいです。
127	たくさんの議会や活動をしているのを知らないため、いざ困った時にどうすればいいかを、市民全体が周知できる仕組みを作ってもらいたいです。

・地域内の助け合いに関すること（26件）

NO.	意見
128	現役世代は個人的に忙しいのでもう少し上の元気な退職者の方に参加していただき、一人暮らしの高齢者や子供の放課後の支援活動のバックアップを希望する。
129	非常に難しいかと思います。スマホ、IT化等で人と人とのコミュニケーションが薄れてきていますが、東日本の地震、西日本豪雨等必ず人とのコミュニケーション、地域の助け合いは必要なので継続して取り組んでいただきたい。
130	共働きで刈谷に来てからもフルタイムで働いていた（市外）ため仕事をやめた今でも周りとの関わりはほとんどありません。（町内会にも入っていません）。ボランティアや地域福祉も大切だとは思いますが、平日はもちろん土日も仕事に行くことのある共働き家庭にはそういったことに参加することは時間的、体力的に非常に厳しいということを知って欲しいです。（その分税金を納めるという形で許して欲しい）。“みんなで”“全員で”が強制される地域は正直生活しづらいと思います。
131	市内巡回バスを利用した美術館、図書館などへの障害者との同行。せっかくの巡回展などを一緒に楽しみたい。
132	高齢者に対する援助活動が少し弱いように思う。
133	今回のアンケートの中には出ていないが、海外の人が福祉、教育等で困っていることがあると思う。現在でも多くの方が刈谷市で働いているため、協力できるような取り組みも必要。
134	母親がリフレッシュしたい時に気軽に子どもを預けるところが少ないように感じる。
135	子育ての悩み相談や児童虐待防止につながる活動などの充実。
136	子育てで世代が働くことと子育てを両立できる仕組み。
137	若い人も地域活動に参加するとういと思います。
138	民生委員さんのご親切に感謝をしています。
139	必要とは思いますが、忙しくて役に立てない。
140	任期を明確にした役割分担と全員参加。
141	参加経験のない人が参加できるきっかけを作っていただけたら良いと思います。
142	高齢者のみの世帯の人が入院などで長期間留守になるなど空家になる、ひとり親と子で親が高齢で、ホーム入所などで子（大人）1人住まいになり庭が荒れ放題など地域で孤立している人は自分で助けを求めることができないと思います。
143	個人情報はどうとらえるのか。

144	老老介護、認知介護、独居家庭等の状況把握を誰がどのように行うかを具体化する。そのために重要なことは向こう三軒両隣で近隣の人達との交流があって実現する。(挨拶など) SOSの発信をとらえる。
145	誰かを助けることによって自分も助けてもらえる。そうした関係を繰り返すことで、信頼や気づきも生まれてくるようになったら良いと思う。
146	地域福祉の取り組みが優秀な地域をモデルにし、効果のありそうな企画を実践する。
147	できるだけ地域活動に参加しようとは思っているのですが、自分のやっていること等で時間が合わないこともあります。幸いにもそこまでの高齢の方がいらっしやらない班ですので今のところ少し安心しています。
148	地域福祉＝無償ボランティアという認識が活動の幅を狭めているような気がします。「必要になった時にだけすれば良い。」という考えの人が多ければ、益々ボランティア活動者の負担も増え、担い手も減ると思います。「助け合い」と言うからには、現在は困りごとを抱えていない人も含めての互助を行えるシステムになっているといいなと思います。
149	助け合えることは理想ですが、助けを受ける方はどうしても遠慮があるので深入りしないで見守りいざという時に、ここに連絡すれば助けが遠慮なく受けられるような組織があると良い。例えばチケットのようなものを買っておいて助けに応じて1枚とか2枚とか使用する。
150	助け合いは必要と思うが、中々積極的にできる人は少ないと思う。委員会を立ち上げて強制的にやらされてるのもちょっと困る。
151	自分自身が高齢者になりましたが、個人情報の問題もあり、他人が家に入ることに抵抗があります。私と同じように思っている方が多いと思います。
152	お家にいらっしやる主婦の方にお近くの子供達を預かっていただけるといのはどうでしょうか？空いている時間、曜日をアンケート、調査していただき子育て中、保育園が入れない方に連絡できるという活動はどうでしょうか？近所の繋がりもできるのではないのでしょうか？
153	社会的な関わりが薄い住民に、地域と関わるきっかけづくりをすること。地域にある問題や、問題を抱える住民を見つけ出すこと。

・ボランティアに関すること (26件)

NO.	意見
154	刈谷市は婦人会があり、婦人会として地域の防災、ボランティアに関わるのは賛成ですが、市民盆踊り大会、企業への共同募金を何十社もお願いにまわったり、刈谷市婦人会としての〇〇教室等イベントが平日ばかりで、仕事のある方々はわざわざ仕事を休んで参加しないといけない状況のため、地域の婦人会に参加することすら否定的な方が増えている状況では、地域福祉のお手伝いですらできない気がします。
155	強制はやらされ感につながる。ボランティアのみでは盛り上がり欠ける。やはり見返りやお返しがないと参加人数は増えない。あるいはその存在するメリットを皆で共有すること。特に共働きが増えており、ただ「参加する」ではムリ。
156	ボランティアに参加することで得られる喜びや充実感を前面に出すような広報活動をしてはどうでしょうか。私達子育て世代は、ボランティアに参加することに価値観を感じにくくなっている部分があると感じています。私達が参加することで、社会的にどういった意味があるのか、体験者の生の声を活用することで伝わりやすくなると思います。
157	ボランティアというと、どうしても退職者や高齢者になりがち。企業と話し合って、在職者も参加できるシステムにしてもらいたい。

158	地域ボランティアの育成かな。どのように行動することが良いのかもよくわからないので、勉強したいと思います。
159	以前、配食ボランティアをしていた時、弁当を配るだけでなく、独居の人の希望を聞いて病院や銀行への同行、切れた電燈を買ってきて取替、不用紙の整理、タンスなど倒れ防止等々、いろいろ御用聞きをして喜ばれた。現在、配食ボランティアは廃止され、当時の独り暮らし老人も亡くなった。地域の安心、安全を守るための理想型は、地域住民が自分のできること、時間帯などを登録し、地域全体のボランティア組織（NPO）を立ち上げることにあると考える。そして、専任スタッフによる24時間オンライン対応できればベスト。今、色々な組織が立ち上がっているが、どうも人と人の結びつきが希薄のように感じている。元気な老人を大いに活用すべきだ。
160	6年程前に婦人部長をやり、それにくっついて保健推進員、赤十字とボランティア活動をしてきました。地区の防災役員にも役をしたことで、必然的に任命されています。色々と体験できて良かったこともあります。しかしながら、地域のボランティアリーダーに勝手にされてしまうシステムは、困ってしまいました。この先、ボランティアリーダーを育成されるのであれば、地区役員経験者をそのまま任命するのではなく、やる気のある方を募って任命していただきたいと思います。やってみたいなあと思わせる魅力づくりや、啓蒙活動をするのは、行政の仕事かと思います。無理矢理任命するのは、本当に困ります。
161	福祉活動を楽しいイベントのひとつと考えられるような企画が必要だと思います。側溝掃除、ゴミ拾い、避難訓練等は参加して初めて地域福祉の可能性が感じられるようになりました。ボランティアは偉い、良いことというイメージが逆に敷居を高くし、参加しにくい印象を与えていると思います。未来や誰かのためではなく、短絡的に今楽しいイメージのイベント化することで、本来の意味でボランティアが活発になると思います。
162	ボランティア活動に基本的には参加してみたいと思う人はたくさんみえると思います。唯、それをすることにより重大な責任が発生すると腰が引けます。どんなボランティアがあるのか広報していただき自身がやれそうなことをチョイスしたい。
163	ひとり暮らしの方が安心して住める治安のよい刈谷市を望んでいます。パトロールのボランティア組織を増やし、健康かつ自立あるひとり暮らしができるように。
164	高齢者の助けを必要とする人に助けることができる支援。有料(低い料金)で依頼ができる取り組み。無料だとトラブルが起きやすく、介護保険との差をつける必要がある。支援する人は半分ボランティアですつもりで、でも少しお礼をもらいたい。例えば、エコポイントなどで貰えるなど。
165	会社が時短をして高齢社員を無理に雇うのではなく、緩やかに地域社会に関われる時間をつくる。社協や市がゆとりのできた高齢社会人や退職された方のボランティア活動ができる場、機会を提供する。
166	ボランティア、地域役員などあまり強要することのないように、勤め人は結構へとへとです。
167	ボランティアに頼ってばかりではダメではないですか？
168	ボランティア活動の方が一軒一軒廻って、何ができるのか聞いて回る人がいると、積極的に参加できるかと思う。なかなか自分から進んでやることは、行きにくい。声を掛けてくれる担当地域の人がいるとよいと思う。
169	多くのボランティア団体の運営をされている方の高齢化が進んでいる。若い方たちの参加が進んでいくとうれしいが、学生の頃から興味を持つような活動や、今ある地域の課題を若い人に知ってもらおう活動を期待している。また、企業とのつながりや企業で働かれている方たちと共に進められるとうれしい。
170	小学校教育課程からのボランティア教育の充実。海外ではかなり進んでいると聞きます。
171	地域活動するためにはボランティアの育成とリーダーの育成をしっかりして欲しいです。

172	地域ボランティアは必要であるが、あくまでボランティアである以上、責任を求めることはできず、介護や幼い子供の支援の面では、多少お金を払ってでも安心を買えるサービスを利用したいと思うのが家族の思いだと思います。逆に言えば、介護や育児以外（人の命を預かること以外）については、もっと気軽にボランティアに参加できる仕組みがあればいいと思う。子育て世代は共働き、介護世代は時間的、精神的余裕がありません。学生の力を借りるのはどうでしょうか。
173	今は福祉等の支援は必要ないですが、自分がお世話になることを考えると今からボランティア等で何かをしておけば、自分が今度してもらえるときに少しは気持ちが楽に支援してもらえんと思います。
174	高校生の子供が、ボランティアに参加をしたいと言っています。将来を考えるためにも学校生活から離れてボランティアをするのはとても良いことだと思いますが情報がありません。市民だよりとか、もう少し情報が欲しいです。親子小学生ボランティアとか、小さい子供も参加し、将来に繋げてほしい。
175	困っている介護者を助ける支援体制をつくり、地域のボランティアを育成。
176	ボランティアがそもそもただ働きなら、する人も少なければ福祉の充実もするわけないから、図書館にいる元校長のような人などの無駄な人件費を減らして、有償で福祉のための人を雇えばいい。お金がないとか忙しい人が多いのに、困ってるのでボランティア募集しません、はおかしい。
177	地域活動が好きで時間がある方(70歳代の方でもお元気な方はたくさんいらっしゃる)ので意欲的に動ける組織(皆平等に地域参加するべきという雰囲気は嫌です)。ただボランティアではなく、少しでも活動お礼費があった方が良くと思う。不参加な人はお金で支援する形だと気分が楽。
178	昔と違い今は個人情報保護法があるので、ボランティアとか支援と装い犯罪にならないようにプライバシーを守りつつ活動していただきたいと思います。
179	自分の自由が利かず不便をしている方へのボランティア活動。例、自分ではできない困っていることを代行してやってやる。その人が喜んでもらえることを重点に取り組むようなボランティア活動を組織化して支援を実施していくこと(物事、心の問題も含めて)。損得を考えず人に尽くし、そのことがその人の喜びとなる活動をしたい。

・福祉サービスに関すること (26件)

NO.	意見
180	それぞれの対象者が受けたい福祉が違うと思うのでどれに力を入れるというより、まんべんなく福祉が受けられることを目指すことが必要。市民だよりとかでの広報活動も行われていると思うが、より多くの対象者を発見して個別に情報を提供するとかの対応することが必要。(民生委員さんの努力がもっと必要かもしれない)。
181	一部の企業への介護事業への参画の口利きや優遇をなくして新規参入を受け入れると活性化すると思う。
182	一人暮らし、高齢者などの見守りに1回も来てもらえないです。困っています。
183	必要な人に必要な支援ができるようにハコモノや組織が自己目的化しないように。
184	福祉とは？介護保険は誰のため？営利目的福祉サービスは業者のため？
185	日中一時支援が減って困っています。

186	今でも十分刈谷市は住みやすく心地の良い場所ですが、もう少し子育て支援に力を入れてもらえたらありがたいです。お年寄りのデイサービスがあるなら、子供にも月に何回かあってもいいのでは？と思ったことがあります（0～3才くらい）。
187	共働き家庭が増えているので、学童を使う子供も増えていると聞きます。地域でそのような子供が増えても対応できるようなシステムをつくってほしいなと思います！
188	高齢者が参加する中で、福祉はひとり暮らしに限定されることが多いが、二人暮らしであっても介護者はきわめて苦難を強いられる。対処を二人暮らしまで広げていただけたら報われることもあります。ぜひ、考えていただけたらと思います。
189	刈谷に住んで20年近く経ちますが、当所より少しずつ福祉施設も増えてきたと思いますが、まだまだ足りないことが多いように見受けられます。
190	自分は軽度の発達障害のため、福祉関連施設を利用している。今の所特に不満はない。
191	今後、高齢のため、車の運転ができない交通弱者が多くなります。交通の利便性が必要と思います。
192	車を利用できなくなった場合の移動手段。
193	私は60才までは会社一辺倒で地域とのかかわりは少なく定年後福祉についての情報不足も重なり何もしていません。現在必要とされている方達の意見を具体化していただければと思います。
194	高齢者の方に対する様々なサポートケアの充実に注力していただきたいと思います。
195	独居、日中独居の方への支援。介護保険サービス以外で利用するサービスは高額であり、年金の少ない方には負担が大きい。ボランティアや、刈谷市の企業が介入していただけたらいい。
196	体が不自由になった時、食事の面で、火を使わずに食べれて、安値で購入できて、配達してくれるようなサービスがあるといいと思います。
197	車を運転できない一人暮らし高齢者などの交通手段の見直しや、一人でできない事への支援等。
198	私自身が先天的な精神障害者です。「地域の人間」に「無償の奉仕」をお願いする風潮には反対です。有償のプロを介入させるべきです。健常者の皆さんには、既に税金という形で十分支援いただいています。
199	活動内容が理解できない。刈谷の福祉に携わっていないこと。福祉を含め動く場所が大府へ拠点を置いていました。オレンジリング活動、見守りマップ等作る、認知症安心支援ガイドを大府市で作成しています。
200	高齢者施設や看護（介護）士を増やし、入居者に対するサービスを向上させる。
201	少子高齢化の進む中、高齢の方や何か体が不自由な方の支援の強化。
202	家族のいない独身高齢者や独身障害者で、家庭のある兄弟姉妹を介護する人と行政がみなして、支援を怠るケースがある。兄弟といえ、家庭があるなかで、兄弟の世話をするのは無理。行政で十分な支援をして欲しい。
203	近所の子供が1人で遅くまで公園で遊んでいたりでするので、1人っ子の共働きの家庭の子供などの居場所などあるといいと思う。
204	老人が増える一方で、どのように福祉がされているのか全然見えていない。将来不安ばかり。低所得者は守られてても、中所得者ギリギリはどうなのか。
205	今は子供が小さいので、子育てに関することが充実して欲しいけど、将来は絶対に年をとるから、介護福祉などの支援や、集まれる場所なども増えて、充実していただけたらいいなと思います。



・ 交流に関すること (25 件)

NO.	意見
206	やっぱり近所付き合いから始めていきたいです。挨拶もままならない我が近隣です。なるべく人と関わりたくないと思っている人が多いように感じます。それからいろいろな活動に参加していきたいです。まずは進んで挨拶、声をかけていこうと思います。
207	近所の人とのあいさつや少しでも話す環境があると助け合いがしやすいと思う。
208	元から住んでいる人と後から来た人の交流がなく、人付き合いがない。子供つながりくらいでないと分からないので公民館はどこにでもあるのでそこで月 1、2 回の集まり。放課後の子供の遊び場としての提供。
209	各公園の片隅や、スーパーの横などに冷暖房完備の畳の部屋を用意したら、いろいろ便利なのではないかと思います。ひとり暮らしの人がそこで皆とテレビを見たり、食事をしたり、公園で気分悪くなったら休んだり、ラジオ体操の後お茶したり、夕方子供たちが集まって勉強したり、皆が自由にふらっと集まれる場所があればいいなあと思います。
210	社宅や集合住宅の人も地域に入れるような雰囲気づくり、仕組みづくりが必要であり、求めている。
211	地域の人が知り合えることのできる場を提供して欲しい。
212	周り（の人）をちょっと気づかう心を持つことから全て始まるのでは！
213	地域内で買い物など歩いて行ける店があるといい（昔の八百屋みたいな店）。自然に地域でコミュニケーションがとれる。
214	今の自分の年齢だと地域での健康体操に参加して地域の人達とコミュニケーションをとって親しくなり、助け合える仲間づくりをすることはできると思う。自分が老化しているので小さな子供を預かったり、寝たきりの人のお世話は難しいが、災害時の声かけは自分にもできると思う。コミュニケーションづくりのための地域活動の場を多く作ってほしい。また、心身共に健康になれると思う。
215	同じブロックの住民の顔も名前も知らない。もっと知る chance があればいいが…。私自身忙しいので、交流する時間ありませんが…。
216	マンション住民、一戸建て住民の生活志向の落差（ちがい）が大きく両極現象。これを「ひとつ」にまとめるのは無理なことと思う。
217	豊川市だったか TV で見ましたが、地域の行事に参加すると（運動会やウォークラリー）ポイントがもらえ、いろんな機会にポイントが付き、ポイントがたまると商店街のコロケが一つもらえとか、どこの商店でなにがタダになるとかシステムがあり、みんなで楽しくだんだんと参加する人が増えて顔見知りになり言葉をかけあう関係が増えて…と聞いたことがあります。工夫が必要ですね。
218	地区の班の人達が仲良くなることから始めることが良いと思います。
219	この地域の高齢の方々や障害者の方への支援についてはよくわかりませんが、昨年子供が生まれて子育てをしている身としては、社会と離れて孤独になりやすいので近くに支援センターと児童館があり、職員の方が話し相手になってもらえるので息抜きができてありがたいと思います。
220	刈谷市はトヨタ系の下請け会社が多く、そこに勤める人が多いと感じます。それゆえに確かに転入世帯も多く次々に住宅ができ人がそこに住みます。ですが、一時的に刈谷市に居住するという人が多く、隣近所がどんな人なのか把握できないのが現状かと思います。勤務ローテや時間により可否はありますが転入の際に半ば強制的に地域とのつながりを持たせるような取り組みが必要だと感じます。

221	今の所に転居して30年ちょっとですが、わりと昔は隣近所のお付き合いもあったかと思えます。しかし、時代の流れなのか20年ほど前に越してこられたお宅が班に入ってから少し風の流れが変わったように思えます（あまり御近所付き合いしたくない所が見えています）。ですが、そのお宅こそもっと地域活動に参加して勉強して欲しいと思います。活動している地域の方々のご苦勞様です。
222	若い人とお年寄りの人が交流をして、将来のために協力する！
223	話し合いの場があれば参加したい。
224	ご近所付き合いといってもそれほど深い付き合いは無理だと思います。地域で助け合うためには割り切った近所付き合いの方が良いです。地区で組織を決めればそれに従って動く方が楽です。
225	気軽に近くの同年代のお母さんたちと関われる場がもっとほしい。でも婦人会みたいに実質強制的なシステムは嫌。
226	自分の実家の静岡市（葵区）の地域では、高齢者の方達に毎週無料「でんでん体操」「カラオケ」「輪投げ」等をそれぞれ各曜日に割り振り、公民館で昼間行っています。80歳を過ぎた一人暮らしの方達が多く住まわれているので皆さん喜んで参加しています。近所には総菜屋さん、歩いてすぐの所に2軒あり、お年寄りの好まれる量をパック詰めにして、惣菜1個80円とかで売って配達もしています。「たんぽぽ」のお店。サラリーマンやOLさんも買いに来ます。
227	刈谷市は高齢者がとても多く住んでいるように感じます。強制では皆さん進んで行ってくれませんが、子供と高齢者が共存できるような施設があれば進んで福祉に取り組める人が増えるのではないのでしょうか？
228	運転免許証を返納した高齢者が、家から出なくなるのを防ぐために、市内のバスの時間あたりの本数をもっともっと増やす。コーラス、体操、フォークダンスや社交ダンスなど、気楽に安価にできるようにする。まず、人が集まれば顔見知りが多くできる。
229	私が住んでいる地域は年寄りが多めで、家にいるのがほとんどです。もっともっと年寄りの方が楽しめる場所があると良いなと思います。
230	地域のお祭りや運動会、文化祭？などお互いを知り合う機会、助け合う機会があると、自分がどんなところ、どんな人たちと生きているのか肌で感じられるようになると思います。わからないと何の関心も持てず、不安や不信が出てきます。挨拶は自分からはするようにしています。挨拶ができるのがまずスタートかと思って。

・安全や安心に関すること（14件）

NO.	意見
231	福祉と防災を中心としたコミュニティづくりが必要。
232	災害時に1人ひとりが自覚を持って行動できる仕組みづくりが必要。
233	地域防災の組織づくりは丁寧に説明してほしい。
234	地域で年2回防災訓練をしているが、障がい者など弱者を対象としていない。数回に1度は、そういう方を主にした訓練を行うよう地区自治会に働きかけてほしい。
235	私の住んでいる地域では自主防災活動が盛んであると思います。良いことだと思いますが年々、活動に参加しなければならない回数が増えているのでちょっとやり過ぎでは？と思うこともあります。（その年度の地区班長さんはほぼ強制）

236	災害時の連絡のとり方などをして欲しい。
237	毎年地域の役をやる人が減ってきて困っている中で地域福祉を立ち上げるということは大変なことです。民生委員の人を中心に防犯、防災の人達と協力して進めていくことが地域の福祉につながっていくと思います。
238	高齢化時代、車の通る本道は明るいが一本奥に入ると暗い。道にライト、冬は特に暗く、明るい道、そして防犯カメラをつけて欲しい。
239	一ツ木での自主防災は、自治会加入世帯のみの活動だが、実際に災害が起きたら、非加入世帯も避難場所に来ることになるので救援物資の配布などで揉める可能性がある。自主避難訓練とかいいながら、前年度や今年度の班長に強制的に役割を与えられる。→高齢のため、班長ができないので自治会を辞めたいという世帯が増えてくる。7丁目北などは特に増えたと聞いている。
240	災害時の対策、活動は素晴らしい地域だと思います。
241	災害時の支援体制づくりを強化して欲しい。
242	私事、1人暮らしの73歳です。毎回台風が来る折、地方では高齢者の方達が公民館などで避難されているのをテレビ等で見ているのですが、刈谷市は早めに避難することができないようです。年寄りの人達が安心して台風の時に行ける場所など、考えていただけないでしょうか？
243	高齢者が増えて、地域活動への参加が若い人も少ない。地域活動に限界があるので見直しをした方が良い。防災活動についても、地域全体に聞こえないスピーカーでの避難指示など高齢者の避難遅れにつながるし、きちんと基本から見直すべき。
244	地域福祉を進めるにあたり、安心安全な道路環境を整備することが重要であると考えます。そのためには、交通弱者である高齢者や子供が利用する道路については、バリアフリーやカラー舗装をすべきである。私の住む刈谷西部地区においても、行政が気づいていない危険な場所が多々みられるので、整備して欲しい。刈谷市はとても行政の行き届いた街であるので、是非早急な対策をとって欲しい。

・市や市社会福祉協議会に関すること（28件）

NO.	意見
245	「社会福祉協議会」名前から何をしたい所なのか、しているのか分かりません。今まで社会福祉協議会にお世話になったな、役に立っているなど感じたことがありません。ボランティアに期待せず、自分でしっかりと仕事をするようにしてほしい。
246	高齢者に対する公的サービスの充実。公共バスは good である。
247	それぞれの議会の名称が難しく覚えにくいと思いました。それぞれにもっと呼びやすい愛称をつけたらどうでしょうか？いきいき、すくすく等のほっこりする名称が良いと思います。
248	とにかく役所の無駄な金を減らす。無理、無駄、ムラが多い。
249	地域の人に定着するよう行政がしっかり指導すること。行政の担当者と地域の人との繋がりを定期的に実施する。書類（紙）で通知する方法ではなく会話通知。
250	別件、バス時刻表について。東境線、西境線が富士松図書館で同じバス停になるのでもう少し時間をずらして欲しい。刈谷総合病院に通院する時、図書館前で乗車の時、少し時間をずらしていただければどちらの路線に乗っても今より都合がよくなると思います。帰りも病院前の時間が少しずれているとどちらの路線に乗っても都合が良い。

251	病院に行くときに市のバスが無料で出ているのはありがたいが、本数が少ないのでいつも名鉄バスの方を利用している。高齢者の数も増えているが、毎回名鉄バス利用だとお金が非常にかかる。市が縦に長いのにバスが少ないので北と南でつながりがないように感じる。市のバスが全路線 100 円であっても 1 時間に 1 本はあってほしいのが本音である。バスが増えれば利用者も増え、行動可能の場も増えそれがいきがいにもつながっていくのではないかな？
252	一年に一度だけ、社会福祉協議会へ募金？で 500 円支払っています。その時のみ、名前を知っているだけで後は全くわかりません。
253	子ども、高齢者の使う場所や物にもっとお金をかけるべき、刈谷市が。
254	バスの本数が少ない、増やして欲しい!!
255	このアンケートもそうだが、住民に考えさせるのは勿論大切だが、行政がどう進めようと考えているのか、何に危機感を感じているのかが分からない。やりました。という実績づくりのためのアンケートなら税金の無駄なので、やらない方が良く。本気でやるなら、的を絞って直接回った方が良く。警察の防犯点検のように足を使って一軒ずつ回るとか。小学校区で危険な場所の調査を行っているが共有されているのか？情報ばかり散財させるのではなく、集約していくことが必要。
256	内容を問わず、何でも気軽に相談できる話せる公的な場所があるとよいと思います。社会福祉協議会に一度行きましたが暗い感じで職員の方の話が上から目線に感じました。気軽に話せるとは思いませんでした。
257	刈谷市中部の福祉施設が充実すぎるほどであるのは、他の市に比べ感じます。ただ、一番肝心の波打ち際がしっかりできているかと思うと疑問が出ます。これで消費税が 10% となり、刈谷城築城ともなれば公費のバランスが崩れ、本当に福祉を必要とする、波打ち際の方々には役立つかが心配です。税金を刈谷城築城や、社会福祉施設費や運営費に掛けるのではなく、市民の一番近いところに掛けていただくことを強く希望いたします。
258	地域活動を進めるにあたり「刈谷市社会福祉協議会」など堅苦しい名前が多くわかりにくいので「ハート」「フレンド」「アシスト」とかの文字を入れ親しみやすい団体名にする。刈谷の公共バスのように市民日より等でネーミングを募集すると関心が集まると思います。
259	高齢者だけにならないようにお願いします。若者に過度の負担をかけないようにお願いします。福祉＝しあわせであるなら「法律」という言い訳は使わないよう皆で協力できる体制、組織行政でお願いします。
260	市役所に相談できる窓口を設置して欲しい。知識のない職員が多いように思えます。福祉の専門家が少ない。市民が相談するのは市役所が最初なので、わかりやすく流れを教えてください。地域包括支援センターや福祉協議会を知っている人は少ないと思うので市役所が窓口となって市民の相談や福祉のアドバイスなどを経験も含めて教えてほしいと思います。大府市役所の福祉の取り組みは刈谷市役所よりも充実しています。
261	子育て(教育)しやすい刈谷市になっていくと嬉しいです。
262	司町 4 丁目のバス停は現在の場所で良いと思います。宜しく願い申し上げます。
263	1. 近くに八百屋、ガソリンスタンド等がなくなっており、高齢者にとっては大変不便を感じる。→行政、地域で協力、良い対策(他市も参考)を講じてください。
264	地区社協などむずかしそうなイメージ、偉い人が勝手に決めているイメージ。もっと子供が小さい時から親子で参加して身近な組織であればいいと思います。
265	現在退職後も働く人が増え、65 才未満(～70 位も同様)で時間に余裕のない人が増えていると思います。その中でボランティア活動に時間をさける人はさらに少ないと思います。退職後も働かなければ金銭的に余裕がない人が増えている以上、福祉活動に市民参加型の仕組みを作るのは大変だと思っています。無駄な税金を減らし、事業化していくことが必要だと思います。

266	未就学児、未満児、小さい子供を預けるにはお金がかかり、働いてもそちらの料金払いで給料の半分程度がなくなってしまう、働かない方がいいのでは？とってしまうことがあります。福祉（介護）の方は手厚くなってきていると少しずつ感じるが、子育てについての支援（金銭面）が良くなるといい。
267	時短のパートをしてるので、学校が早い時だけでも学童的なものを利用できたらと思い、市役所に聞いても時間 800 円のファミサポを使ってと言われる。パート代ほぼなくなるんですけど。なのに地域の高齢者などはボランティアで見守ってというのはおかしくない？
268	刈谷市の無料バスですが、車や自転車に乗れない人には有り難い。ただ、バス停までが遠い。大通りから少し入った所にもあるとありがたい。一里山の北側はとても不便。
269	自治会、民生委員等の負荷があまりかからないよう、市がもっと中心となって活動した方がよい。
270	子育てしながら働きにくい市だと思います。主人が夜勤の週は、子供を学童に預けられない（2年生）。夏休み等の長期連休など朝から夜まで子供が一人でお留守番するなど、そうせざるを負えない状況に困っています。市役所にも相談に行きましたが、「検討中」との回答でした。先輩ママに伺ったところ、何年も前からその回答だという話でした。主人が家にいるのだから見れるだろう。は違いませんか？同じ立場になって考えてください。寝ずに一週間働けと言うことですか？子供に何かあったら責任取れますか？「検討中」として、何も行動する気のないように思います。これだけの工場地帯なのに、夜勤者への待遇がひどすぎます。
271	今後福祉に関する費用が増大すると見込まれるため、税のみでなく、財源を確保すべき。市役所も直接的な支援でなく、国や県と地域のつなぎ役として中間支援を行い、過剰な労力を費やすべきではない。
272	参加したい人、したくない人がいるので、各地区の判断に任せるべき。福祉の充実よりも、その他へ公費を使っていただきたい。具体的には、年寄りでなく、子供、若年層への事業に使っていただきたい。納税者も恩恵を受けられる行政サービスを求めます。

・その他（16件）

NO.	意見
273	高齢ですので歩いて参加できません。
274	アンケート調査より全員の声をしっかり聞いて取り組んでください。アンケート用紙なら全員できる。
275	誰もが健康で最低限度の生活が送れるよう保障していくことが大切であると思います。
276	こういったアンケートのような市民の声が届く場所があるととても嬉しい。
277	道路の片隅に道しるべとして立てられている地蔵さんがあります。地蔵の有志の人々によって、年に一度の地蔵祭りというか供養が行われています。小さな集りですが、今後も大事に守っていきたいものです。
278	わからない。
279	とにかく近くに工場しかない。移動スーパーは撤退した（店側がやめた）。公園はあっても植物がなくて落ち着かない（夏は日陰もない）。空気が臭くて住みたくない。買い出しも車がない人は困っている。工場より大型ショッピングセンターとか一里山に欲しい（又は今岡）。
280	1年少しの住居ですので全てに何も分かってません。今迄は仕事中心の生活でしたので特に考えたことも少ないです。元気でいられるように頑張ってます。

281	この質問に当てはまらないかもしれませんが、今、発達障害の子たち、人とうまく付き合えない子たちが社会で働きやすい場所はないでしょうか？
282	隣の家が草を刈ってくれない。消防署にも連絡している。家主の人にひとの迷惑にならない行為を教えてほしい。
283	大学生、20代前半が刈谷に来たくなるような町づくり。
284	子育て目線から…。子育て支援はとても充実していてとてもお世話になりました。ただ、刈谷駅周辺は飲み屋街ということもあり、子供が大きくなるにつれてそこを通らせるのが心配です。また飲み屋だけでなく、子供もゆっくりできるお店をもっと増やしていただくと嬉しいです。そういった街づくりにきたいしています。
285	今は仕事が忙しく、考えられません。
286	社会的弱者を救済できないような社会は水準が高いとは言えない。また、弱者を庇うばかりでなく彼等に活躍の場を与え、社会にも個人にも恩恵があれば文化的な社会になる。
287	刈谷市は比較的地域福祉の進んでいる地域であるように思います。
288	何もない。このアンケートで何ができるのか。税金の無駄使いだ。

## ■地域福祉で必要だと思う取り組み、見聞きしたことがある取り組み、今後取り組みたいこと

問 41 みんなで助け合い・支え合える地域をつくるために、必要だと思う取り組み、見聞きしたことがある取り組み、今後あなたが取り組んでみたいことなどありましたら、教えてください。(記述回答)

247件の意見が寄せられ、あいさつの必要性や多世代と一緒にイベントに参加するなどの「交流」に関する意見が多くみられます。次いで、「地域での活動」については何ができるか考えたいなど、「困りごとを抱えた人の支援」として子育て世帯や障害のある人の支援など、「ボランティア活動」では参加を希望する意見などがみられます。その他、「生活環境の向上」「情報の発信・受け取り・取り扱い」「地域の中の見守り」「防災活動」「福祉への理解や意識向上」などの意見がみられます。

### ・交流に関する意見 (52件)

NO.	意見
1	地域内で薄れてきているのか、問の9、10、11の設問のように思われます。以前、隣組(班)単位で嬉しい時も悲しい時も支え合ってきたものが、過去のものになってしまったように思われます。小さな集りでもいい、多くの機会を設けることが大事ではないでしょうか。
2	色んな人とファシリテーションしてみたい。お店などと地域が協力して人と人が繋がれるようにしたい。
3	私は毎日健康増進のため、ウォーキングを行っています。コースは今川町から泉田町を歩きます。この時、町民の挨拶に差が出ます。今川町内では挨拶する人はいませんが、泉田町内では会う人との殆どの方がします。小学生(同じ学校)でも同様です。泉田町の自治会が、地域の連携に力を入れているからと思いました。

4	空き地を利用して果物を作り、また野菜を作り、地区の人に配ってそれがきっかけで横の繋がりが生まれ理解を深め、助け合い、支え合うことが自然にできているのではないかと思う（長い年月で見ることが大切に思う）。地区の大農園を作ってやっていったらどうだろう。
5	たんぼぼ、ひまわり等を、もっと地域に細かく日だまりのようにあると、横のつながりができ、情報も早いのでは。老人クラブに入らなくてもいい場所、子供も老人も一緒に想える場所があれば、子供も優しくなるのではないか。助け合い補い合わなければ、ますます孤立して、自分さえよければと未来が怖い。一刻も早く手を打たなければと心配です。
6	南小学校の生徒さんは挨拶をしてくれます。嬉しいです。この気持ちがずっと続くといいですね。
7	最近越してきました。地区のお祭りの参加、行事の参加が新人だと参加しにくいと思いました。昔の住人で固く繋がっていて入りにくいイメージがあります。どんどん声をかけていただけると嬉しいです。地区の行事に入りやすくしてほしいです。
8	歩いて行ける範囲にある小学校を地域コミュニティセンターとして活用できると良い。幼稚園に老人施設を併設するのも一方。
9	人付き合いから。
10	地域で参加できるイベントは地域コミュニティ形成には良いが、もち投げなど参加すると危ないのもあるので老若男女が参加しやすく一人世帯も参加しやすい取り組みは必要だと思う。
11	道直し、お祭り、廃品回収、地域バザー等お互い地域の人と顔を合わせ会話できる場。気軽に参加できるよう、アイデアが工夫できると良いです。
12	中高年の婚活等交流の場がほしい。将来に不安を抱える一人暮らしの中高年は多いように思う。
13	高齢者に対し、一緒に散歩、運動やゲームを週2で行う。
14	我が家は、御高齢の母親と、障害者2人家族の御近所様と交流があります。時には、買い物のお手伝い（一緒に車で行く）等しております。日頃の近所の交流が大切かと思われま
15	まずは家族の助け合い。
16	あいさつは必ずする。
17	通勤に時間が必要な人が多いため、サラリーマン（勤め人）は心のゆとりがない。勤め人が自然に集まる場所が必要（昔はあったように思う）。
18	災害時の地域支援場所（避難）での訓練（練習）全員参加をめざし地域住民との顔つなぎが必要と思う。（先日刈谷北高に参加）
19	人間関係などしっかり取り組むことが一番。
20	まず、顔を合わせると挨拶を。また、立ち話が自然とできるようなお付き合いができると良いと思う。また、子ども会活動にもっと活発さが欲しい。
21	若い人も参加できる集いがあれば良いと思う。
22	地域の高齢者や子育て中の人達が気軽に集える場所があるとよいと思います。
23	今は自分の生活のことでいっぱいなので考えられないです。

24	班の人が仲良くなり、組の活動が広がっていくと町内がまとまっていくと思います。
25	やはり御近所の声かけが一番大事だと思います。
26	地域行事の参加など、そこで地域の人との交流を深めること。
27	近所同士で、あいさつなどでコミュニケーションを深める。
28	津波の時、特に浸水地域においては、緊急時に使えるよう避難ビルの指定を早急に指定して欲しいです。
29	近隣住民とのレクリエーション等。
30	利用されていない畑を高齢者が利用し、採れた野菜をマルシェで販売。地産地消で、販売も生産者が行うことで若い方との交流ができ、とても良い刺激になると思います。
31	新しく住民になった地域の方々のお名前や顔が分からないので、まずはどんな方々が近隣に住んでいるのかを知ることが必要だと感じる(災害時や緊急時に困らないためにも)。
32	集まり会への参加(例 ウォーキング、話会、ゲーム大会等)。色んな集まりがのの情報(チラシ、一覧表等)。手や頭を使う集まり(少しでも地域、社会に貢献できること!)。
33	助け合い、支え合いは、小さい頃からの経験の積み重ねが大人になってからの行動に活かされてくると思うので、根気よく定期的に機会を設けていくことが必要かと思います。老人ホーム等でのふれあいなど。
34	私の地域では高齢者や一人住まいの人たちが集える場所が有り、皆さん楽しんでます。子育て支援もあるように聞いています。
35	話しかけ、あいさつ。
36	今は有りませんが、考えたいと思います。
37	同じ班の方の名前と顔は覚えられるようにできる限り、挨拶はしていきたい。
38	近所の方々と助け合い、支え合える地域を作れたら、素晴らしい事だと思います。そのためにはまず、地域の方々のこと(名前や顔など)を知らない何と何も始まらないと思うので、町内での活動に積極的に参加していきたいです。(日々の生活ではなかなか会う機会がないので。)
39	高齢者が増えていくと予想される。本来は身内が連絡をして見守るのが筋だと思う。緊急時は地域近所のサポートが必要だと思うので、ご近所付き合い(挨拶)は必須だと思う。単身の方のアパートが増えていくところは難しいと思う。
40	近所の人々の名前、顔、家族構成も分からない。まずは顔を合わせる機会が増えれば良いかなと思います。
41	現状、近所づきあいがありません。そんな機会もありません。今回のアンケート内容から考えてみると、近所づきあいの機会を増やす取り組みをしない限り、助け合いに発展することはないと思います。
42	まず隣からの声掛けから始めたいと思います。
43	支援クーポンなどの受け渡しなど。子供と高齢者の心理的、物理的距離感を減らすような取り組み。



44	周りにどのような人が住んでいて、手助けが必要だと思う方が居るのか把握できていないので、頻繁でなくていいので、半年に一度、近所の交流会があると良いと思う。
45	地域で高齢の方と幼児の子をふれあいさせる。高齢の方はボケ防止、幼児の子はスマホ化などが進む中、このような機会は貴重なので上記のような場を設けてみてください。
46	近隣の住民同士の関わり合い。
47	年寄りも乳幼児も集えるような場所づくり。
48	他県から引っ越して来たため、今まで知り合いがいなかった。子供が幼稚園に行くようになり、知り合いが増えた。関わる時間が増え、協力したい気持ちを持った。そのように近所の普段あいさつ程度の人達とも、関わる時間(集会のような)が増えれば、関心が増え協力し合う気持ちを持てるのではと感じた。
49	お金が絡まない、気持ちを重視した取り組み。
50	小さな子がいる親やおじいちゃん、おばあちゃん(地域の方)が皆で気軽に集まれて知らない方でも楽しめる場所が、小さくても良いので地域ごとにあるといいなと思います。
51	若い世代の家庭の人達は、お年寄りに挨拶をしても無視をされてしまうことがあり、昔から家がある地域に住んでいても、避けられてしまう。公園で子供を連れて遊んでいても、子供の声がうるさいなど言われたこともあり、近所付き合いもなくなってしまふ。
52	子供とお年寄りが一緒に参加できるイベントなど。例：もちつき、伝統的な遊びなど。

・地域での活動に関する意見 (44件)

NO.	意見
53	自助、共助、公助。乳幼児～高齢者、ヘルプのいる人、ヘルプしたい人、皆がつながって安心して生活していける地域になって欲しいです。
54	福祉委員会で対策を提案していく。
55	みんなで助け合い、支えあえるということは具体的にどんな内容、形、いつ、どこでどんなところで体験、確認。自分が「困っている」という自覚がないと具体的に分かりづらいです。自分も個人的な悩みなら限りなくありますが、それはまた困りごとと別の問題。将来いつの日か福祉にはお世話になる。それが知りたいです。
56	町内で一斉清掃やラジオ体操、廃品回収。
57	利用日が限定されず、オープン時は誰もが利用できる場所があると良いと思います。日時が決められていると本当に居場所を求めている人の助けになっていない気がします。
58	私は長年刈谷に住んでいるので地域のことが大切で行く末のことも不安に思ったり、お年寄りにも愛着がありますが、地元が刈谷でない人がどんどん増えて来てそういう人たちにいかにか刈谷を好きになってもらうか、大切に思ってもらえるか。大好きな地域のためなら支え合いにも協力的になってもらえるはず。まずは刈谷に愛着を持ってもらわないと始まらない。
59	自治会は役をやりたい人を集めやっていただくのが良いと思う。もちろん報酬を渡して！組長をくじ引きでやらせるのは大変おかしいことだと常々感じる。この役員選出のやり方はまったく進歩していない。
60	「自由参加」だとまあいいかとなってしまいがち。「義務化」するととりあえず行ってみるかとなる。初回のみ義務化にし、2回目以降は自由参加だといいと思う。まずきっかけを作りたい。楽しかったり面白ければ興味がわく。

61	例えば地域で一番の楽しく団結のあるつながりは男で言えば厄年の厄落とし（お祭り、餅投げ）の準備から再会した旧友だと思う。我々は地域の同級生（厄年集まり）で毎月飲んでいるし町内の話もする。そのような学年が多い所はその集まりにパワーがあるとちょっと感じています。他の集まりはみんな「いやいや」「強制的」です。
62	タウンミーティング、ワークショップ、出前講座等を頻繁に開いて意識の向上とコミュニケーションの強化を図る。参加者の集客に苦慮。クイズやゲーム形式で楽しい集会づくり。防災グッズや健康グッズの斡旋等で集客率アップを図る。
63	近隣での活動団体の把握がしやすいようにする。介護とか障害とかではないと参加できないとか、その逆だと参加できないとくくりが多いのでは…建物に入れ込むだけではつらいですね。
64	自分自身が積極的に参加すること。人任せはだめ。
65	車の運転ぐらいならよろこんで!!
66	皆が気軽に集まることができる行事（バザー、うまいもの展等）を行ってはどうでしょうか。
67	隣近所の人達とお互い助け合い、支え合える地域を作りたいと、お互いに思い合えるような意識を高めるために、今私に何ができるか考えて行きたいと思います。
68	地域の組とか班の小さな仲間と親しくなるために班長や組長がもっと積極的に寄り合って話し合うとかの場を作って、例えば共に身の回りを美化するとか健康で生きがいのある毎を送るために皆で何をすればよいか等考えて実行できるように導いて欲しい。困り事なども解決できるかもしれないと思う。
69	NPO やボラとかがもっと盛んだとよい。
70	平均寿命が飛躍的に伸び今後、社会福祉の内容が合っているかどうかにより問われる時代となってきます。私自身ずっと仕事柄、社会福祉ができない環境にいて、このままだと10年仕事をすることになりそうです。仕事の時90代の1人暮らしの方をよくお相手します。どんどん増えてきている気がします。健康寿命が過ぎた方の人生を直接見ると長生きだけが全てではない気になります。自分がそうなった時、どう過ごすべきか10年単位で考えていきたいものです。
71	得意なことを可能な時間お手伝いすることはできるし、やってみたいと思います。
72	私の世代で地域との関わりを意識するのは子供向けの活動です。幼稚園や保育園に入る前から地域と関わることでできる機会があれば、親同士の交流にもつながり、助け合いやすい環境が作りやすいと思います。
73	高齢者が運動するところが欲しい。健康に関心があるけど遠い（一ツ木にあるけど）地域ごとにあるといい。
74	自身も高齢者にも関わらず何かお役に立つ場があったらお手伝い活動をしてみたいと思います。家に閉じこもらず「楽しめる場」「参加できる場」を作ってください。
75	仕事や家の用事もありボランティアに進んで出かける気持ちはありませんが、犬の散歩中に通学の子も達を見守りたいと思います。
76	祖母の地域では、毎月地域の高齢者が集うお楽しみ会が開催されています。また、地域の高齢者の女性が集まりお弁当を作って配る活動をしているそうです。そのような機会が沢山あれば、単身の高齢者も外に出る機会が増えて、社会から孤立しにくいのではないのでしょうか。介護予防のためにも外に出て体を動かしたり、人と話したりするという事はサルコペニアや認知症予防にも大切だと思います。

77	自治会へは強制入会。地域清掃へ強制参加。お祭りは一部の人でなく、全員参加型へ。
78	地域の活動には参加したい、しなきゃいけない気持ちはあるが、共働きの世帯が増えている今、そういった活動への参加は難しい。町内によっては班長が回ってきてやらないといけないとあるが、共働きが当たり前の今、昔からのことを変えていって欲しい。
79	参加する人、興味のある人はいつも同じで、新しく人を引き込んでいくことができる魅力的な誘いを考えないといけないのでは。
80	行政がリーダーシップをとるべき。自主防災などは特に住民に委ねるべきではない。今のやり方では参加したいと思わない。自治会活動とは完全に分離すべきである。
81	刈谷市の活動に多く参加しています。定年退職後です。様々な活動(赤十字、保健推進員による活動、刈谷市婦人会等)に参加する人が増えると理解できることも多いようです。働いているうちはなかなか参加できないので、仕事のある人でも気軽に参加できることを増やすことが大切だと思います。
82	助け合うことで何が生まれるか、なぜ助け合うことが必要かについて、考え議論する場があるとよいと思います。やらされ感で行うものは、その場限りの活動になります。継続していくには、子ども達にも助け合う経験を多くさせること、そしてそれを推進するリーダー育成が必要だと思います。
83	婦人会の在り方、考え直した方がよい。かなり負担がかかった。地域住民のためとはいえ、仕事、生活の場面に婦人会活動は無駄なことも多かった。子供の旗当番は、子ども会が行えばよい。仕事に支障をきたすこともあったため。
84	町内会は廃止できないでしょうか？広報配りなどあまりにも辛いです。婦人会共々、情報共有化は電子化して欲しいです。
85	刈谷で何か福祉のお手伝いができれば声をかけてください。12月で74歳になりますが、元気です。卓球も長年やっています。いつもお疲れ様です。頑張りましょう。
86	問 40、41 に当てはまりませんが、お聞きください。地区役職の方々本当に自分の周りが見えていますか。とっさの時の判断力がありますか。普段からコミュニケーションがない高齢者をどのように誘導し支援されるのでしょうか。見守りではなく顔の見える声掛けをお願いします。市民だよりも配布されない町内です。何がどこで行われているか理解しかねます。
87	町内会へは強制入会にする。多忙で班長ができない、面倒などの理由で誰がいるか分からない家があり、いざという時に助けられない、助けてくれなかった等、把握しておく情報がないのは困る。ゴミは捨てるのに、町内会費の負担が無ないのもおかしい。
88	地域の活動がまず必要だ。自治会はもっと表立ってやらないとだめだぞ？
89	コミュニティデザインの考え方が必要だと思います。
90	子育てがしやすい環境づくりが大切だと思う。共働きがしやすいようにしてほしいです。今は、女性も男性同様に働く時代です。
91	町内会に入っていない若い世代も、自然と助け合える地域をつくって行きたいです。私は入っていますが、半分強制的なところもあり、逆にそういう風潮をなくしていった方が、自然と皆が参加できていくのでは？と思ったりします。
92	4歳と2歳の娘がいます。仕事をしながら子育てをしているので、その視点から取り組めることがあると思うので、考えて動いていければいいと思います。
93	農福連携など、健康を長く保てるような取り組みが地域できると良いと思います。

94	今は子供も小さくて、時間がなく参加できないけど参加したい。集まりに行きたいと思った時に、特にスキルがなくても、気軽に少しでも参加できることがあればいいなと思います。
95	取り組みがあったら、参加してみたい気持ちはある。
96	今後どのように地区（市）の福祉活動の重点づけをして進んでいきますか？

・困りごとを抱えた人の支援に関する意見（30件）

NO.	意見
97	地域の人には相談しにくいこと、頼りにくいこともとても多くあるので、それはもう少し離れたところへ橋渡しする。例、愛知県精神保健福祉センター、あいち自殺対策推進センター、リメンバー名古屋自死遺族の会（自死遺族の自助グループ）、グリーンサポートあいちこどもの森（身近な人をなくしたこどもとその保護者のためのサポート→刈谷市の人が代表です。）。※地域の人がやるだけでなく、橋渡しをすることも重要です。
98	地域の人の声かけが大事だと思っています。
99	半年前に一人暮らしをしていたお隣さんが孤独死をされ、声掛けを早くにしておけばよかったと後悔と責任で悩んでいて人付き合いに自信がなくなりました。一人暮らしの人には声掛けをしてあげてほしい。声をかけたいです！
100	近年、一人親世帯の増加により、子どもへの虐待も増えてきているため、若い母親でも気軽に参加できるような場を提供していき、安心して子育てができるよう支援していく。
101	養護施設への支援として定期的の下校後の話し相手や乳児、児童の世話をを行う。定期的それも週1とかが少なくとも必要。
102	自宅で長く老いても過ごせるように、往診システムを充実させてほしい。
103	町内会、班会などで支援が必要な人を、誰がどのように手助けするのか話し合う機会を設ける。自分としては、近所に該当する人がいたら援助したいと思っています。
104	子供の放課後や休日の預かる場所確保。学校での習い事（放課後）や学童から習い事への移動サポート、長期連休中のお昼ご飯の提供、又はランチづくりのサポートが全学年一緒だと子供達のできるものが異なるのでかわいそう。
105	高齢者うつ（ひきこもり）患者をみる家族へのサポート。講演会、相談場所があるとよい。
106	例えば「子ども食堂」とか夕食も満足にとれない子どもたち（大人も）を週二回でも集まって関わり合いをもつとかやれたらいいなと思ったりもしますが、我が家は9：30～3：30の風鈴に通う娘の送迎も含め自宅介助も必死です。人様に手をさしのべられるような状況ではとてもないので夢だけに終わりそうです。
107	子ども食堂。
108	子ども食堂などの応援。
109	子供達の学校で福祉体験教室というものがあるが、一応行っているという雰囲気がある。障害を持っている人、社会で生きていくのに困難を抱えている人の立場に立った教室を行って欲しい。傷ついている子供がいるのではないかな？
110	声掛け。

111	貧しさゆえに食事が摂れない子供がいるという何か(新聞等で知り得た)食事を楽しくするというのをできないだろうか。親は素晴らしい服等を着ているが、子供達は腹が減って、悪いことばかりする。どうにかできないか。
112	健康福祉相談窓口の配置。#7119、#8000の充実。拠点病院として連携できる施設の充実。専門 Dr を定着させていけるよう努めていただきたい。相談窓口の24H 配慮の検討。大手企業が多いが、地域の福祉事業の発展ができる貢献か協賛があると良いと思う。市役所の老人支援介護調査員の人数確保も必要でサービスの充実ができるよう努めて欲しい。スーパーまで道路の整備で高齢者、子供に安全配慮ができる整備をして欲しい。
113	認定外難病で、重症な時は、仕事はおろか身の回りのこともできなくなります。両親は健在ですが、神奈川県にいるため家族に助けをもらうことが難しい状況です。以前、市役所に何か私に適用される福祉制度がないか問い合わせましたが、介護保険の16疾病に該当しないので市では何もできないとあっさりした回答でした。ゴミ捨ても食べること(作る、買いに行く)もできない状況でしたので、大変ショックでした。自分で色々調べて刈谷市のシルバーさんに相談したところ、サポートを受けてくださいました。病気の状態だと調べることも容易ではありません。市役所とシルバーさんがもっと連携してくれれば、市役所の窓口からシルバーさんを利用する提案ができ、困っている市民を救えるのではないのでしょうか。民間のサポートを利用すればいいかもしれませんが、収入もない状況では高額に思えます。制度がないという一言だけで片付けられると、長年病気と闘っている者にとっては本当に残酷です。生きていていいのかなとさえ考えてしまいます。
114	身近な所に郵便局がないため、不便です。
115	父が寝たきりになった時、介護保険などの利用を初めて知りました。ケアマネジャーさんが大変熱心でアドバイスいただき、刈谷市役所での手続きも簡単に済み、大変助かりました。身近で困っている人がいれば、手助けしたいと思いました。
116	私の祖母は県営住宅に一人で住んでいます。掃除や買い物など手伝っていますが、パートと子供(4人)の家のことで手一杯になってしまいます。祖母の家には(多分福祉協議会の方だと思う)市の人が訪問に来てくださるのであり難しく思っています。
117	将来助けて欲しいと思う人がまず積極的に助ける方にまわる。登録制にするなど。
118	子育てサロンや乳幼児の短時間の預かりなど、近くに頼れる人がいないと本当に大変で、少しの間、少しの時間でも自分の時間を持てるような手助けをしていただけるととても助かります。よろしくお願いします。
119	支援くらいができていればいい。必要以上の関わり合いはほしくない。
120	どんなに小さいことでも声を掛け合っていけばよいと思います。
121	ある程度金銭に余裕のある方は寄付を願っています。と思いました。
122	頼れる身寄りのない家庭に3つ子の子供が産まれたとき、「友達の友達」レベルの地域の人が集まって、交代で保育園にお迎えに行ったり家事を手伝っていた、というエピソードを最近聞きました。
123	子供が小さい時に周りに助けてもらってすごく嬉しかった。次は私の番と思えるような地域づくり。
124	自主的に参加したくなるようなイベントを多く開催し、(健康寿命を延ばすとか料理教室、ガーデニング等)そこで自然と地域の人とのつながりができ、災害が起こってしまった時には、助け合ったりすることが当たり前になるといったような相乗効果を見込んだ取り組みに力を入れると良いのではないかと思います。

125	小学生、幼稚園児、未就園児の母です。二人目以降近所の助けもあってやってこれました。今はできることをやろうと、幼稚園や小学校へ読み聞かせをしに行っています。婦人部企画の体操や地域のふれあいまつりでは年齢を越えて様々な人と出会えていいと思います。ママ達を見ていると仕事をする人も増えましたが、未就園児をかかえて「今日はどうしようか」、仕事をするまではいかないけど子供が帰って来るまで「どう過ごすか」で時間のある人は多いように思います。自分も含め、そういう時間とパワーのある人達の生かせる場があると良いなと思います。
126	現状3年以上に渡り、複数の大人(母親)から、うちの家族が(子供を含めて)盗撮されたり、その写真を面白おかしく拡散して楽しまれたり、事実とは異なる嘘の出来事をまるで本当に起こったことのように話を広げて楽しんでいる人達が、近所や同じ学区にいる以上、「皆で助け合いたい」「支え合いたい」と思っても、それができるとは到底思えない。どこへ相談したらいいかも分からない。

・ ボランティア活動に関する意見 (27 件)

NO.	意見
127	ボランティアの取り組みでも土日が多いため平日休みはどうしても参加できないことが多いので参加できません。
128	市民だより等にボランティア募集があつてできるものがあれば参加してみたい。
129	刈谷市の地区社協の設立活動、支援、初めて知りました。この年齢になり、ボランティアは無理かもしれないが何か支えあえることができたら良いと思いました。
130	各種ボランティア(団体)がいるが、単一地区では、活動できていないことも。自治会長がそのボランティアの特性を把握して、地区でも活動の場があれば、もっとボランティアも増えるのでは。ボランティアの高齢化も防げるかも。
131	ボランティア募集を短時間でも、数日でもいいので、募集し、上記の人数確保に役立つ。などなど、色々相手にとって良いと思う方法で行う。自己満足、自分の都合の良いようにはいっさいやめること!!
132	仕事を引退された方々にお礼金を渡してボランティアしてもらおう「有償ボランティア」。どちらも win-win な関係かと思う。
133	子連れ(乳幼児含む)でのボランティア活動。
134	退職したらボランティア活動にも参加したい。
135	定年退職後に英語を活かしたボランティアがあれば参加してみたい。
136	高校時代に「独居老人宅訪問」というボランティアがあり何度かひとり暮らしの高齢者の方のお宅にお邪魔させていただいてお話をしていました。今もそういった機会があればやりたいです。災害時の避難所をしっかりと把握できていないから知っておきたいです。できるなら避難訓練も地域でやっておきたいです。
137	今、子育てしている身ですが、仕事をしていません。今まで専門職をしてきているのでその能力を生かしたい。ボランティアでも必要な人がいれば提供したいが、子どもも連れてそれをしたくても、どこへ協力をお願いすればよいか分からない。子育て支援センターへ話をしに行ったことはあるが実現せず。もっと子育て中のママ同士でただ集まる場ではなく、スキルなどの提供できる場が欲しい。

138	ここ西境町は、とにかく閉鎖的でいわゆる「よそ者」を受け入れない所です。郵便局や幼稚園、小学校等何もなく、町内会もほぼ親戚、縁者の集まりです。ある人(井ヶ谷在住)が、「市議員もいないのに公共のサービスが受けられるわけない。市議員は、自分の住んでいる町のことを良くするのが仕事だ。」と言っていました。ここは刈谷なのでしょう？市役所が立派で財政も豊かな刈谷市内なのでしょう？弱者の福祉は不可欠ですが、ボランティアがしたくなる、いつの間にかしていたという人間を増やさないと。意地悪な老人達を守る気持ちは芽生えません。
139	長い間ボランティア活動を行っています。
140	ボランティア活動。
141	今、地区の子ども会がなくなりそうになっています。親が役員をやるのが面倒で解散しそうなのですが、子ども達は楽しそうに参加して地域の子供たちと仲良くなることができます。親が世話をするのではなく、ボランティアグループが活動を支援して子供会を存続できれば自然と青年期、子育て、老人と継続的につながりができて、地区・地域の交流が生まれるのではないのでしょうか。そうしたらみんなが参加しやすいと思います。
142	外国から来られている方たちへの支援や交流、特に子供たち。子供の貧困に対する取り組みは必要。新しいボランティア活動や団体の立ち上げ支援・サポート。引きこもりや不登校への取り組み。
143	地域ボランティアに参加するための有給休暇制度があるといいと思います。
144	視覚障がい者の方達のボランティアをしています、聴覚障がい者のためのボランティアもあるのでしょうか。視覚の方はボランティア団体も複数ありますが…。1人暮らしの高齢者が増えている昨今、安心して暮らせる社会になるといいと思いますが、そういう人たちを見守る大きな組織があればと思います。民生委員以外に…。
145	私自身の身の回りについて言えば、保育園によく学生ボランティアが来てくれます。(授業として?)とても助かりますし、その学生自身にもとても貴重な体験になると思います。ボランティアや地域活動は強要するものではありません。幼い頃からボランティアが身近で気軽なものであれば、良い地域になると思います。
146	地域のボランティア行事への参加。
147	災害時に備えて一人でも見落とさないために孤立してしまっている人にも手を差し伸べて付き合え、頼れる人が一人でもいてあげられる地域であつたらと思います。民生委員の方、ボランティアの方などにきっかけをつくってもらい、声掛けから始めていけたらと思います。
148	ボランティアの活動支援。
149	ボランティアはやる気とお金&時間に余裕のある人がするものだと考えます。行政から半強制的に言われて行うのは少し違和感あります。例えばオリンピックのボランティアがただ働きで宿や交通費も自前です、というような。
150	地域の役やボランティアのとりまとめを家族はやっているけれど、家族の都合(体調、用事など)を犠牲にしている。責任と負担が重すぎる。集中と負荷を減らすべき方法を考えて欲しい。具体的活動はチームで行うことができるよう、コーディネートが必要。毎週参加はできないが、不定期で1~2回/月可能とか。誰かが駄目な時は代わりが可能とか、主メンバーが駄目でもバックアップならできるとか、そういう人まで取り込むコーディネートしたチームボランティアができると参加する人も増えないだろうか。
151	普段、参加できないことが多いですが、ボランティアとしての活動には協力していきたいとは思っています。

152	ボランティア活動を活発に行いたい。子供、年寄りなど色々やりたいと思います。自分の将来に身に付く活動だと思います。なのでこれからも頑張りたいです。
153	朝の交通あいさつ運動とか必要でしょうか？そのために会社に遅刻しないといけないのはおかしくないですか？やりたい人がやるのがいいと思います。今は強制的ではないですか？そのために役員をみんなやりたくないと思うのではないですか？無理にやらせるというのはボランティアではないと思います。

・生活環境の向上に関する意見（20件）

NO.	意見
154	熊地区は古い住宅が多く、ひびが入ったり、斜めに傾いた塀をそのままにしてある家がとても多くみられます。個人的に意見をしてトラブルになるのも嫌なので行政でしっかりと注意をしてください。特に通学路、徹底してください。早急をお願いします！
155	ゴミ出しもできない。町内会の行事にも参加しない。家からは大きな叫び声がする。怪しい人が出入りしている。関わるのが怖いので誰も何も言わずにいます。
156	近隣はアパートが多く、アパートの住人は地域の活動と無関係となっています。ゴミステーションの掃除や回覧板等。そのため、マナーの悪い人や正体不明の人が多です。アパート住人でも長く住んでいる人には参加してもらえないようにできないでしょうか。
157	子供達が通学中に乱暴な運転の車にひかれなくてヒヤヒヤしています。スピードダウン施策や歩道と車道の分離をもっと徹底してほしいです。
158	ゴミ捨て禁止令づくり。
159	道路、交通整備の充実。子供が遊べる広場、公園の充実。
160	地域福祉の話からずれてしまうかと思いますが、すみません。刈谷連絡バス、西境線、洲原プール行きの現在あるバス停、つくし作業所前がなくなると聞きましたが本当なんでしょうか？つくし作業所前は障害の方や高齢の方が多く利用されています。バス停として残すことは無理なんでしょうか？
161	市役所の周りくらいしか段差のない道はできていないように感じる。安城市だと段差の部分をなくして車いすやベビーカーが動かしやすい道がかなり多くできている。自分たちが車いすや杖の生活になった時に刈谷市の道だと生きて行けるのか不安を感じる。そういうバリアフリーの部分が刈谷市は遅れていると思うのでそこから進めていくことで生活も充実していくのではないかと感じました。
162	人同士の距離の取り方にはそれぞれの考えがあるので、団体に活動しなくても個人でできることがあるならしたい。家の前の道が企業と高校の通り道でゴミがよく捨てられるのを拾って歩いている。せめて自分の家の前くらいは拾ってはどうかと思う。歩道の草むしりもしているので班長は集まってゴミ拾いの日があると聞いたが自宅周辺を拾うなど集まってすることに意味を感じない。車移動が多いのか近所の人と出会わない。この状況で近所での協力は可能とは思えない。
163	戸建ての人とアパートの人と違いがあります。町内会費さえ、アパート入居者は払ってないです。もちろん社会福祉協議会の支払いもないです。公平ではありません。そこからの改善を望みます。ゴミの集積場の片付けの順番もアパートの人にはありません。
164	地域内外のアクセスをもっと良くすることができたら…。
165	・車イスが自由に自走できるような街づくりをして欲しい。・ひとり暮らしの見守り。介助ができるようなサービス。支援して欲しいです。



166	公園の遊具を子どもたち自身でデザインする（例、トイレやシーソーのペンキ塗り）。町内リレーマラソン。
167	高齢者、若年層、社会的弱者等分け隔てのない地域環境の構築づくりが今後重要。
168	交通安全を強化して欲しい。自転車スマホや狭い道で減速しない車など。
169	皆で町を綺麗にしよう。1. 散歩の時、ビニール袋を持って小さなゴミを拾う（たばこの吸い殻など）。2. 犬の散歩中、フンを持ち帰る（義務づける）。
170	集まる場所そしてそこに行くための足！（乗合タクシーetc）
171	例えば厄年の参加が少なくボランティアで他の方が参加している現状です。今年の秋のお祭りでは厄年が一人もおらず、地区の班長を招集して無理やりお祭りを決行した形になっています。理由として、若者らの地元離れです。なので、町内での過ごしやすい環境を整える必要があると思います。一里山に関して田畑を継がなければいけない強制区域等の制度は必要ないと思います。
172	隣近所だから言えることもあれば、隣近所だからこそ言いたくない（言いつらい）こともあるかと思います。地域での関わりは大切だと思う反面、町内というくりだと、言いにくい、関わりにくいと思うけれど、少し町内から離れた立場の人（施設）があつて、意見したり相談したりすることが気軽にできたらいいと思うときがある。ゴミ収集場所の問題など、私の住んでいる所では町内で解決が基本となっていますが、一歩間違えるとご近所トラブルになりかねないと思う時があつたりします。
173	もう少しバスを増やしてもらいたい。IT化が進んでいるので、紙ではなくメールやSNSで答えたい(アンケート等)。はぐみんカードのようなカードも刈谷市もできると嬉しい。

・情報の発信・受け取り・取り扱いに関する意見（19件）

NO.	意見
174	個人情報障害となり必要な取り組みができない。個人情報の定義は何かを知る必要あり。
175	掲示板を使って情報発信。回覧板だと1回しか見ることができないから。
176	地域に住んでいる方々の把握とある程度の情報公開が必要。助けて欲しい方や、手助けが必要な方も、その辺りの不都合は受け入れるべきだし、その方々の詳細も分からず、勝手に手助けはできません。※義父の遺品を整理していた時に、過去のご近所の方々の名簿が出てきました。それには家族全員の名前から生年月日まで記されており、まさに地域に住む方々の詳細名簿でした。地域活動には、多少の個人情報公開は必要です…。と思います。
177	成年後見制度についてもっと知りたい。
178	わかりやすい言葉で、定期的な活動の見える化、お知らせ等をし、周知させる。
179	子育てに関する取り組みはとてありがたいと思います。特に、子育て講座や託児付きの市民講座などは、子育て中の母親にとっては、とてありがたいです。
180	防災の地域活動の取り組み案内等。災害時の活動、組織案内等。
181	福祉に対する勉強会や他の地域の取り組み内容の紹介をして欲しい。
182	市民が関心を持って動くようにするには活動状況を広く市民に公表して参加を促すことから始まると思います。市民が参加、動かなくては何も始まらないため、取り組みを拡大して公表、公募する必要があると思う。

183	福祉情報を多くの地域住民が共有できるか今風な手段が望まれると思います。
184	困り事は門前払い。土地持ちの人の地元根性のひどさ。引っ越してきた人への都合のいい時だけの住民扱い（他はよそ者として無視する）市役所主催の講座とか10時始まりや9時集合。市バスではすごく不便なタイミング。時刻を見直してほしい。カタカナのサービス。行政施設は覚えられないと聞いたのでやさしい日本語名称にしてあげてほしい。いきなり届いて難しい。
185	まずは「福祉」に関心を持つことが必要だと感じました。両親が高齢になった時のためにも、どんなサービスがあるのか知っておくべきだと思います。
186	自分もそうであるが、60才すぎて仕事をやめても、まだまだ活動できると思うので、地域のボランティア活動の情報がもっと多く身近にわかるようにしてほしい。
187	もっと情報が知りたいけれど、パソコンやスマホがないので、市民日よりでも良いので、活動や取り組み、場所などもっと載せてほしい。私はやりすぎてしまい、かえって不快に思わせてしまったことがあるので、距離を置いています。今は無理です。
188	自分は現在、仕事と育児で手一杯です。ただ、地域がどんな活動に力を入れているか、知る必要もあると思うので、書き物であれば読む時間を作ることができると思います。ただ、チラシ的な物では、読んでもらうことは難しいので、市民日より等活用ください。
189	地域福祉の必要性の前に、関係者から個人情報「噂話」として流出することのほうが悲しく感じる。
190	できること、少しずつですよね。防災訓練に参加した時、知らなかったこと等あったので、これからも行っていただきたいです。
191	70代以上の高齢者がいる家族世帯にデイケアやデイサービス等の施設の紹介や場所の案内など教えて欲しいです。
192	通学路における見守り活動等。このような要望を受けると、逆に、実施したくない気持ちも分かりますが、私は本気です。一つの部署だけにとどめるのではなく、縦割りのない刈谷市だと信じておりますので、情報共有をお願いします。

・地域の中の見守りに関する意見（13件）

NO.	意見
193	高齢者には声がけ活動を地域として必要と思います。
194	高齢者のところに子供達が行ったり子供たちの見守りを定年しても元気な方をお願いしていく。相互によいと思います。そのような活動をしている地域がテレビに出ていました。
195	高齢者で一人住まいの家に行ってお話を聞きに行くだけでも大切な取り組みだなと思いました。
196	近所で高齢の単身者や、障害があり、単身でなくとも緊急時に対応、手助けが必要となる人がいるのであれば、知っておきたい。個人情報、守秘義務があるため、本人か、保護責任者に了解が得られた場合は、戸口に分かりやすいシールを貼るとか、シールでは防犯上の問題が出るので、近隣住民に事前に伝えるとか。
197	現在、半城土町では、各班長さんが市民よりを配布する時に、希望された高齢者の1人住まいの方にはポストに入れるのではなく、手渡し、声掛け、コミュニケーション取りし、安否確認しています。とても良いことだと思います。

198	家庭と介護施設の間を埋める支えに地域が取り組めたら良い。施設に預けるまでの時間、朝は9時半では、出勤者には難しいので(8時から9時半)、地域で見てくださるような取り組みがあったら利用したいし、私が可能であれば、みてあげたい。「仕組み」がなければ、手を借りられないし、手も出しづらいと思います。
199	自身の年齢もふまえ、理想はありますが、現実に人付き合いの希薄さにも気づかされています。せめて、自身が心地良く動ける間は、高齢者の方や少々のお身体が不自由な方に寄り添える自分でありたいと思っています。
200	低栄養になりがちな高齢者に、タンパク質の多い食事を提供して、楽しく気軽に運動してもらえらる場をつくり、フレイルを予防できたらと思う。
201	小学生の下校時に見守りしてくれてる人が何人もいるのはとても良い。
202	今後は少子化、核家族の影響で独居老人が増える。近所付き合いもなく市役所にも相談していなく、死亡後1週間発見されない死には悲惨です。独居老人への支援、見守りは必要だと思います。このようなことでお手伝いできればと思います。
203	高齢者の昼食サービス(宅配)やりました。
204	1人暮らしの高齢者、障害者の安否確認を町内として把握しておく。
205	一人暮らしの高齢者や障害のある人に対する見守り。

#### ・防災活動に関する意見(13件)

NO.	意見
206	災害時の支援体制づくりの強化。
207	お寺を通じて名古屋市緑区の100円食堂に米の寄付をしています。災害時の支援体制づくりもいろいろ考えてみえますが、遠くの避難所まで歩いて行けない。学校の体育館では生活が難しい。自宅の近くで、皆で助け合って広い庭も食料もあるのでなんとか自宅にいて過ごしたい。体育館も古いので危険な気がする。トイレも少ない。食料の品も少なく多くの人にはむり。自宅の方が多くある。
208	災害に備え、自分の身は自分で守るという意識として3日分くらいの食料の備蓄など、年に1回の訓練はありますが、各々に班長さんが呼び掛ける等、携帯メールなどを使っての発信をしていってもよいのではと思います。
209	弟が消防団に所属しているが、人手不足と聞く。ただ、どこまで必要性があるのか分からないので、どうしたらいいのかもわからない。
210	災害時に協力して助け合える取り組み。
211	災害があった時の動きや支援など、家族や地域のためにできることを確認したいと思います。
212	地域防災に関して取り組んでみたい。
213	各指定避難所での訓練。(エリアの住民向け、自力での避難可否、炊き出し練習他)
214	先日地域での防災訓練があり、参加しました。係になって動いてくれている方々がいることや、備えなどがあることなど参加することできちんと知ることができたので、下々の一市民が参加できる機会はとても大切と思いました。ただ「誰でもどうぞー。」では参加しなかったかもしれませんが、地域への個別の呼びかけで、能動的に活動していることが伝わってくるお手紙が良かったと思います。一人一人に届く呼びかけが意識を高めるのではと思います。

215	地域全体での防災訓練を至る所で頻繁に行って欲しい。
216	都市圏に比べて、まだまだ防災意識が低いように思える。(大地震の備えなど) 東日本大震災を体験した身としては、公的にも、商業的にも自主的にも耐震化などへの意識が低い。体験者の講演などあればよいのでは。
217	災害などにあった場合、近所の方との協力が欠かせないので平常時からご近所との付き合いを大切にしていきたいと思っています。
218	地域活動で実際に災害が起きた時の訓練は必要だと思います。災害が起きた時の常備品など揃える物が多いので、年に一度などセットや単品で購入できるようにしていると助かります。(班長さんが希望の人を聞く、回覧板等で。) そうするともっと意識できるのかなと思います。

・福祉への理解や意識向上に関する意見 (5件)

NO.	意見
219	私はうつ病ですが、それを公にしても何も問題が生じない地域になってほしい。
220	今後も高齢化は進んで行くので、高齢者や認知症の人への接し方など理解を深める場があればと思います。
221	差別や偏見をなくすこと。その人個人に必要な配慮を考えること。
222	ひとりひとりが地域社会に意識をもつことからだと思います。刈谷市は全国的にも住み良い町上位だと聞いています。ありがたいことです。いつもご苦労様です。
223	ルールをしっかりと作ることと守ることだと思います。集団も大事ですが、まずは1人の人として、ルールを守ること、知ることが大事なかな?と思います。刈谷市に地域によってのルールが違って迷うことがあります。(子供会や婦人会など、仕事してる人の気持ちがかかってもらえてるのかな?と思います。) 土日休みが基本の地域もありますが、土日がつつり仕事なので、困ることがあります。

・その他の意見 (24件)

NO.	意見
224	いろいろ考えがないわけではないが、なにしろ80過ぎの老人であり、参加も楽ではなくなりましてリーダー的なことは無理だと思う。
225	今のところ自分の家の介護で手一杯である。
226	市が金を使いすぎている以上何も変わらないし、このアンケートも無駄。やる意味が良く分からない。
227	市民全員の意見を聞いて行わないと意味がない。
228	私は生まれてからずっと同じ地区に住んでいるので周りも知っている方が多いです。だからこそあまり家庭内のことを知られたくありません。1人に分かればすぐに周りに知れ渡ってしまうからです。ヘルプが欲しい時は自分から訴えるのでそれまではそっとしておいてほしいです。若い人は皆働いていたり忙しいし、もともと地元じゃない人も多いので地域のつながりを強くするのは難しいのではないのでしょうか。
229	分かりません。

230	自分の道徳に従って気ままに！組織に関わりたくない！
231	介護を受けている方、もしくは自分の必要になった時に発作の持病が起きた時を考えると電動三輪車に乗りたいがやめた方が良いかと考えます。
232	今回いきなり送られてきても協力させていただきましたが不信感の方が強いです。2500名のアンケートで調査できるんですか？
233	難しいですね。自分がその立場になっていないため困ることがなく、ないです。
234	このアンケートを通していろんな組織、団体があることを知ったが、何をやっているかは全然知らなかったなので、今後のためにも自分で調べてみようと思います。
235	必要だとは思いはあるが、今現在考えたことがないから。
236	実際に体験しないとどこまで手助けしたら良いか分からない。
237	高齢になると、自分のことでいっぱいです。
238	税金の使い道を明確にしてほしいです。
239	老人夫婦なので、あまり取り組みたいこともありませんし、協力もできなくなりました。
240	謝礼はないんですね。
241	趣旨からはずれているかもしれませんが、一番大事なことは健康であることだと思います。
242	どんどん増加する高齢者の住み良い町に…。移動手段や食品の買い物ができる環境づくりが必要になってくると思います。刈谷市がどこまで進んでいるか分かりませんが、自分もいずれ高齢者になるので今、元気なうちに何かお手伝いできることができれば…と思うのですが、なかなか行動できずにいます。ドローンでの配達とかすごいですね。これから考えたいと思います。
243	この地域では自治会を辞める人が多く、災害などがあつた場合はどのように対処していくのかなと思っています。組費も支払いしていないので、これから先どのようにお付き合いをしていったらいいのかわかりません。
244	お寺は社会福祉法人である。刈谷市社会福祉協議会から指導していただきたい。
245	町内一斉震災訓練ですら参加する人が少ない。本当に助け合い、支え合いが必要なら顔が分からなければできない。市役所の人は、自分達中心のルールを決めていると感じる。こんな勝手な進め方、決め方をされたら、協力する気にもなれない。顔が見えない組織に誰が感心すると思うか疑問だ。
246	子持ち主婦は簡単に生活保護の申請通るのに、会社で疲れて精神的に限界だから俺は申請したら、20代の男はまだ働けるから、働けとかいう頭悪い発言をされて帰らされたんだが、こんな楽するやつのための税を払えとか、泥棒よりひどくないですかね。全体的な配分は定期で見直してますか。
247	各個人が周りの協力を得ずとも、生活できるように、たくましくなることが必要。

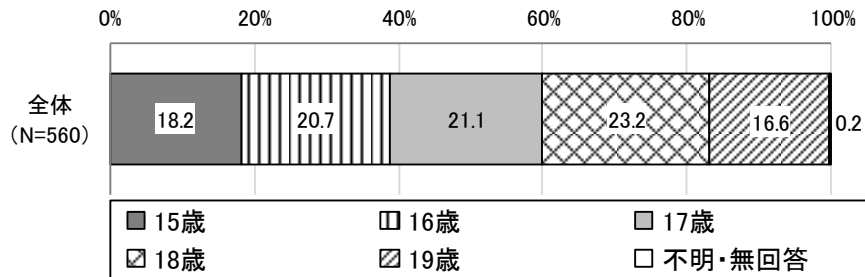
### 3 調査結果【若年者（15～19歳）】

#### （1）年齢やご家族について

##### ■年齢

問1 あなたの年齢は、平成30年10月1日現在、満何歳ですか。（単数回答）

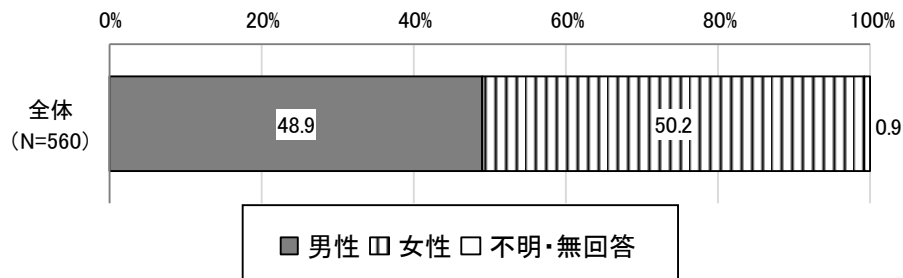
年齢については、「18歳」が23.2%と最も多く、次いで「17歳」が21.1%、「16歳」が20.7%となっています。



##### ■性別

問2 あなたの性別はどちらですか。（単数回答）

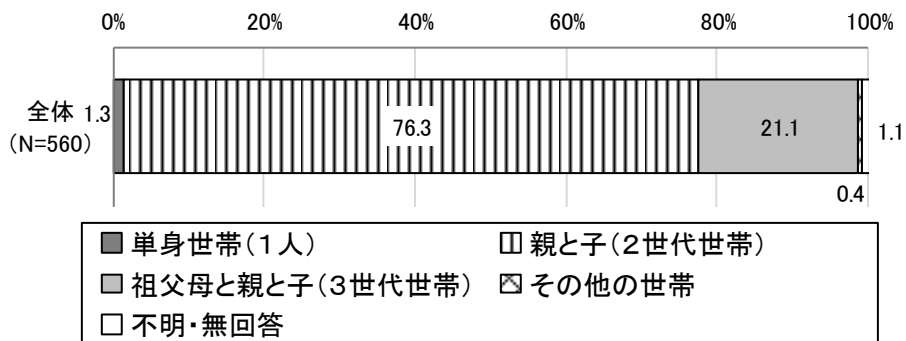
性別については、「男性」が48.9%、「女性」が50.2%となっています。



##### ■家族構成

問3 あなたが現在同居している家族の構成は次のどれですか。（単数回答）

家族構成については、「親と子（2世代世帯）」が76.3%と最も多く、次いで「祖父母と親と子（3世代世帯）」が21.1%、「単身世帯（1人）」が1.3%となっています。「その他の世帯」では、祖父母と子、友人2人、などとなっています。

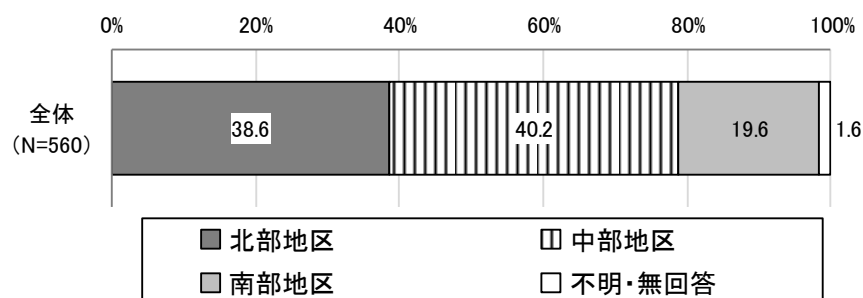
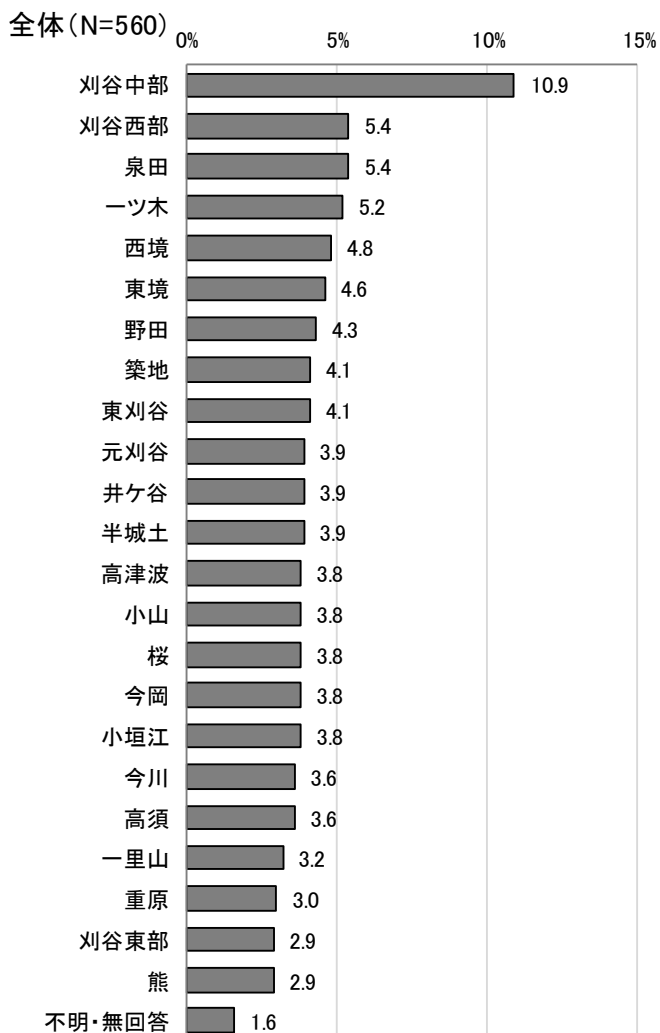


## ■居住地

### 問4 あなたの居住地(自治会別)は次のうちどれですか。(単数回答)

居住地については、「刈谷中部」が10.9%と最も多く、次いで「刈谷西部」「泉田」が5.4%、「一ツ木」が5.2%となっています。

地区別では、中部地区が最も多く40.2%となっています。



## (2) 福祉教育について

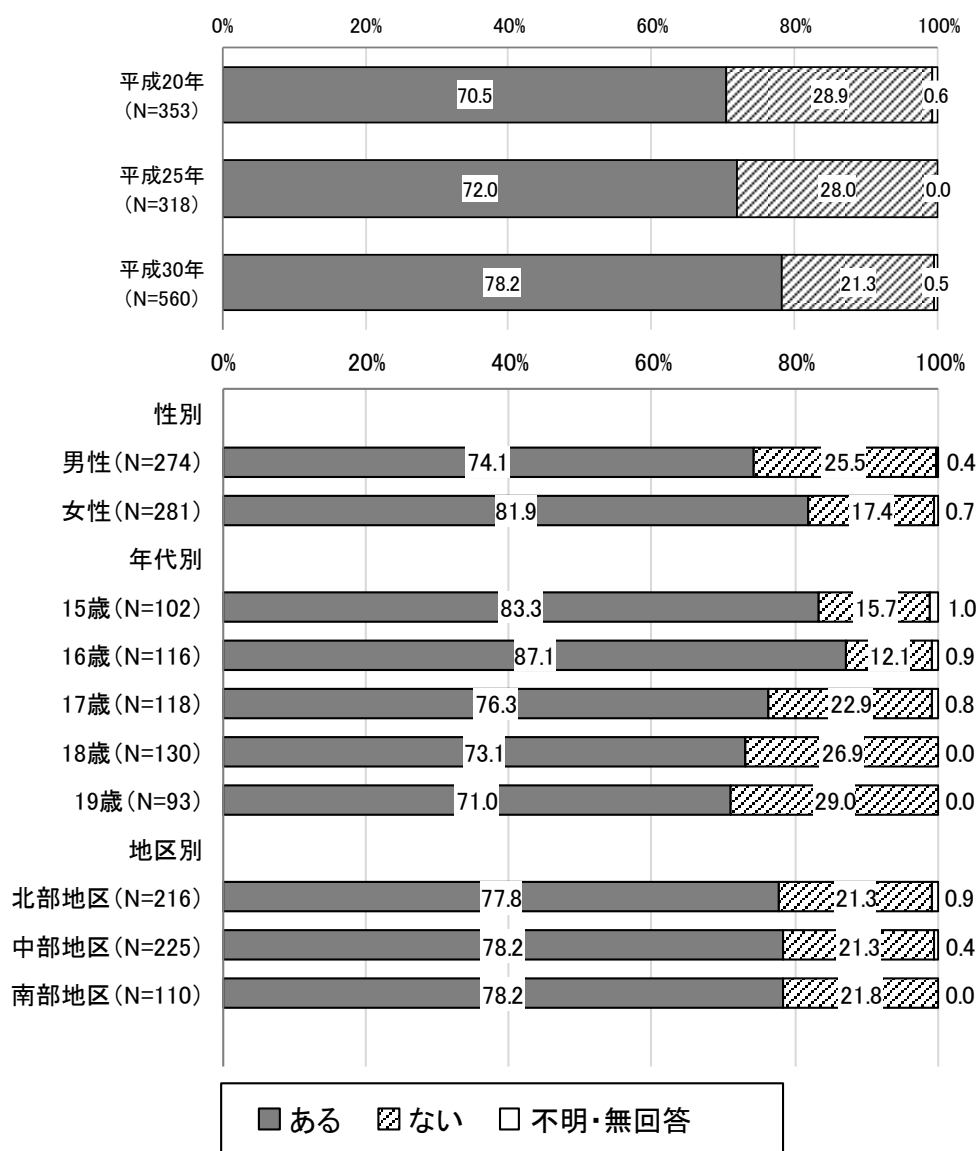
### ■福祉教育を受けた経験の有無

問 5 あなたはこれまで学校やボランティア活動などで福祉を学んだことがありますか。(単数回答)

学校やボランティア活動を通して福祉を学んだ経験の有無については、「ある」が78.2%、「ない」が21.3%となっています。

平成20年、平成25年と比較すると、「ある」が増加傾向にあります。

年代別では、17歳以降「ある」が減少しています。





## ■福祉教育を受けた後の意識の変容

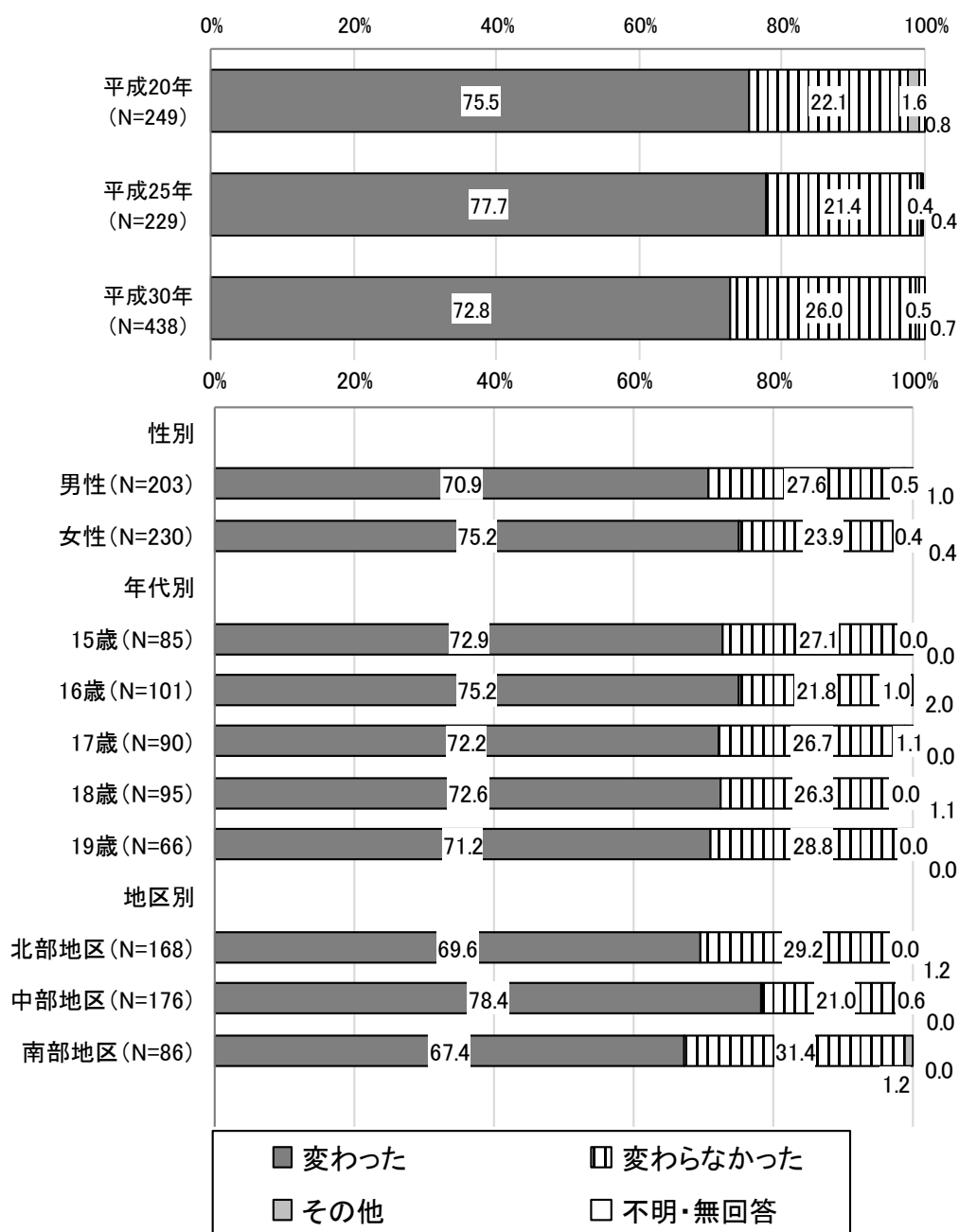
<問5で「ある」と回答した方のみお伺いしています>

### 問6 学んだ前と後で福祉についての意識が変わりましたか。(単数回答)

福祉教育を学んだ前後での意識の変化は、「変わった」が72.8%と最も多く、次いで「変わらなかった」が26.0%となっています。「その他」では、覚えていない、よくわからない、となっています。

平成20年、平成25年と比べると、「変わった」への割合が他の年よりも低くなっており、「変わらなかった」への割合は他の年よりも高くなっています。

地区別では、中部地区が「変わった」が他の地区よりも高くなっています。



## ■福祉への意識を変えた福祉教育の内容

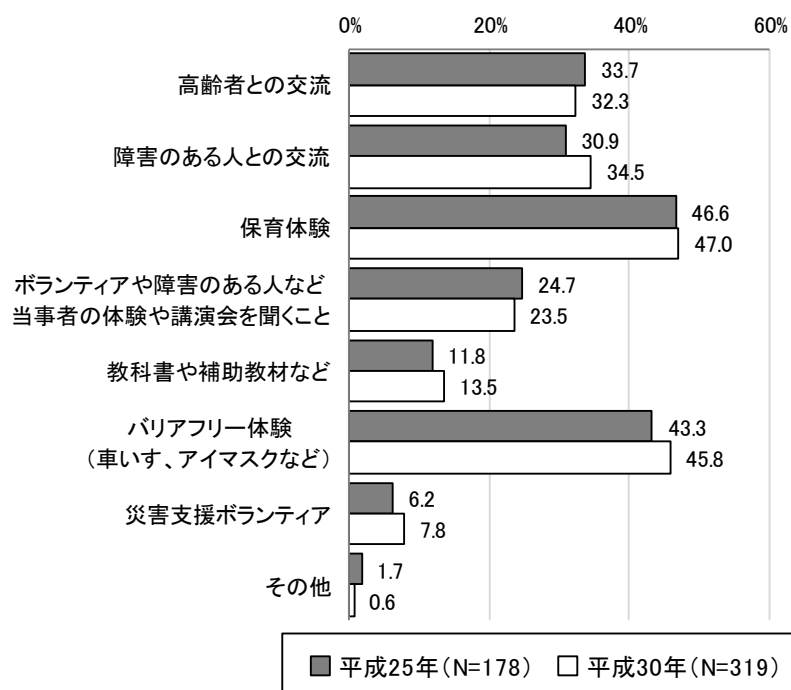
<問6で「変わった」と回答した方のみお伺いしています>

### 問7 どんな福祉教育が意識を変えましたか。(複数回答)

意識を変えた福祉教育は、「保育体験」が47.0%と最も多く、次いで「バリアフリー体験（車いす、アイマスクなど）」が45.8%、「障害のある人との交流」が34.5%となっています。「その他」では、子どもとの交流、となっています。

平成25年と比較すると、大きな増減はみられません。

性別では、「ボランティアや障害のある人など当事者の体験や講演会を聞くこと」が男女で差が大きくなっています。



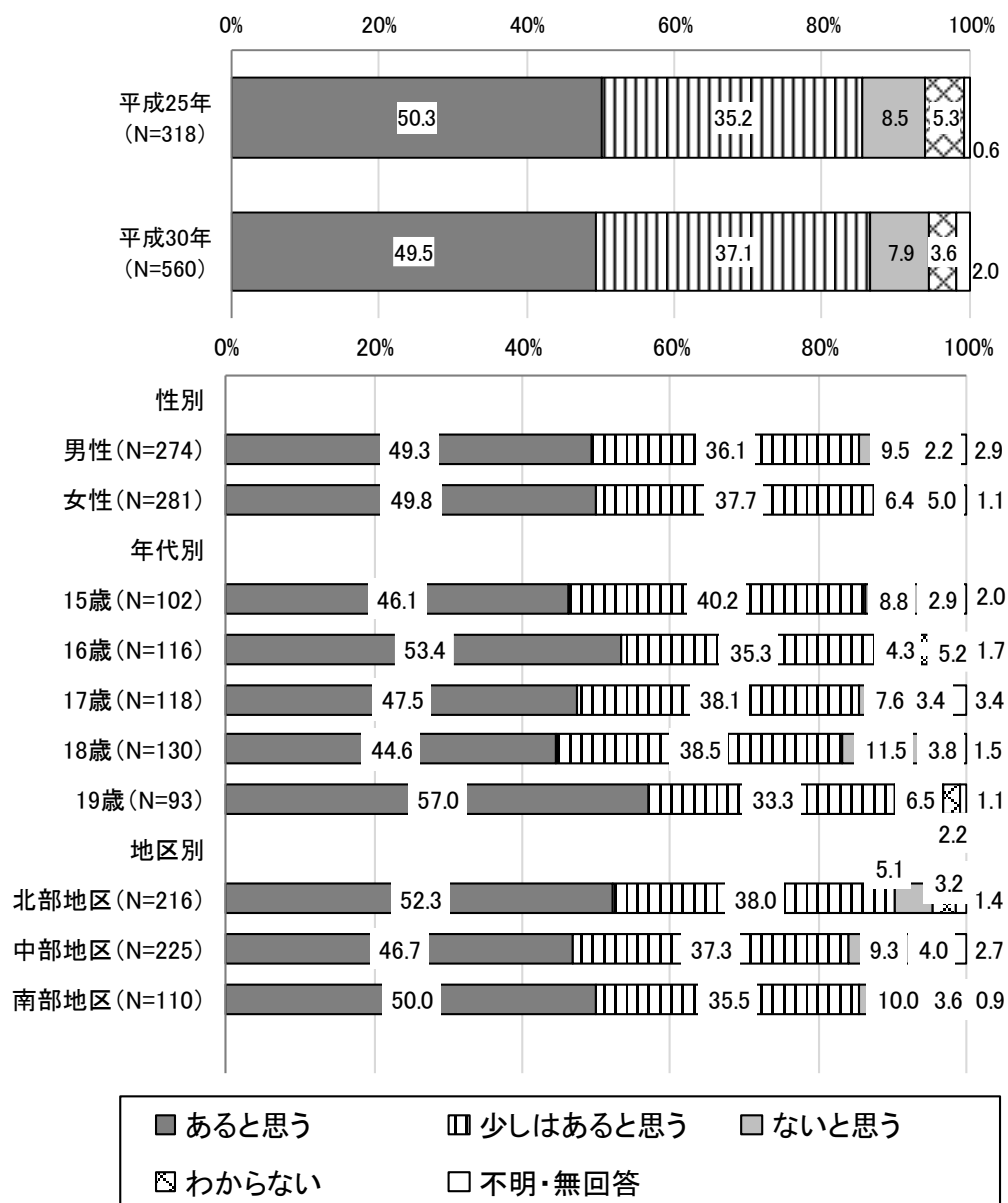
	回答数(人)		回答割合(%)								
	合計		高齢者との交流	障害のある人との交流	保育体験	ボランティアや障害のある人など当事者の体験や講演会を聞くこと	教科書や補助教材など	バリアフリー体験(車いす、アイマスクなど)	災害支援ボランティア	その他	不明・無回答
性別											
男性	144		34.7	36.1	43.1	15.3	13.9	41.7	9.7	-	2.8
女性	173		30.6	33.5	49.7	29.5	13.3	49.1	6.4	1.2	0.6
年代別											
15歳	62		38.7	38.7	54.8	21.0	11.3	50.0	8.1	1.6	-
16歳	76		28.9	35.5	57.9	21.1	17.1	46.1	9.2	-	-
17歳	65		27.7	33.8	36.9	29.2	13.8	46.2	6.2	-	1.5
18歳	69		37.7	26.1	44.9	26.1	7.2	40.6	5.8	-	4.3
19歳	47		27.7	40.4	36.2	19.1	19.1	46.8	10.6	2.1	2.1
地区別											
北部地区	117		35.9	33.3	45.3	25.6	14.5	47.9	12.0	0.9	-
中部地区	138		26.8	36.2	50.7	22.5	13.0	40.6	5.8	0.7	2.2
南部地区	58		34.5	34.5	43.1	19.0	12.1	55.2	5.2	-	3.4

## ■実感としての障害のある人に対する差別や偏見の有無

問 8 あなたは、世の中には、障害のある人に対して、差別や偏見があると思いますか。  
(単数回答)

障害のある人に対する差別や偏見の有無は、「あると思う」が49.5%と最も多く、「少しはあると思う」の37.1%と合わせると、86.6%があると回答しています。「ないと思う」は7.9%となっています。

平成25年と比較すると、大きな増減はみられません。



■障害のある人に対する差別や偏見を解消するために必要な取り組み

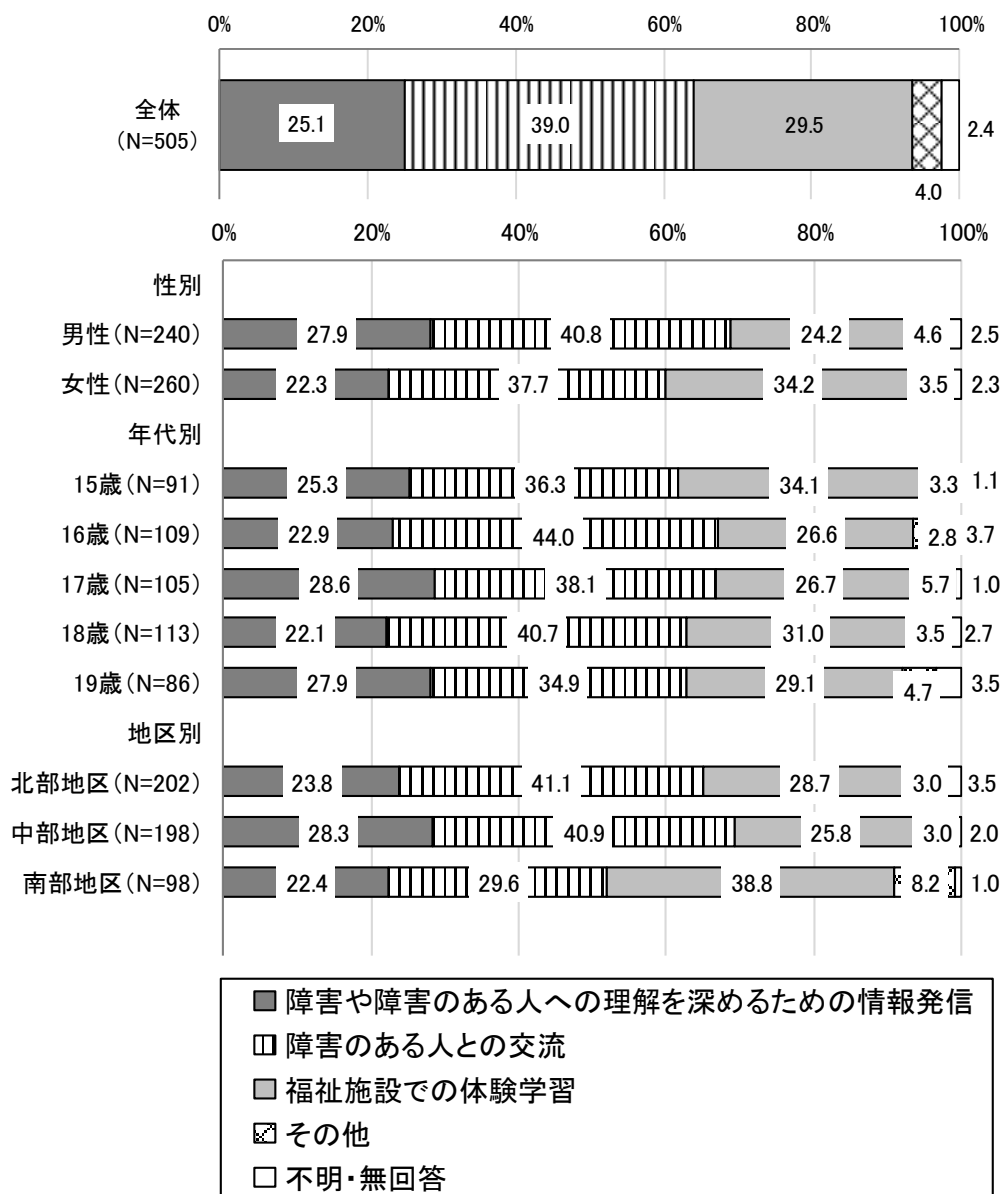
<問8で「あると思う」「少しはあると思う」「わからない」と回答した方のみお伺いしています>

問 9 あなたは、障害のある人に対する差別や偏見を解消するためにはどのような取り組みが必要だと思いますか。(単数回答)

障害のある人に対する差別や偏見を解消するために必要な取り組みは、「障害のある人との交流」が39.0%と最も多く、次いで「福祉施設での体験学習（車いす体験、手話、要約筆記、点字など）」が29.5%、「障害や障害のある人への理解を深めるための情報発信（広報紙・ホームページなど）」が25.1%となっています。「その他」では、深く考えずに困ってそうなら手伝えばいい、障害のある人との同教室での授業、などとなっています。

性別では、「障害や障害のある人への理解を深めるための情報発信（広報紙・ホームページなど）」「福祉施設での体験学習（車いす体験、手話、要約筆記、点字など）」で男女差が大きくなっています。

地区別では、南部地区において「福祉施設での体験学習」への回答が他の地区よりも多くなっています。



### (3) 地域意識について

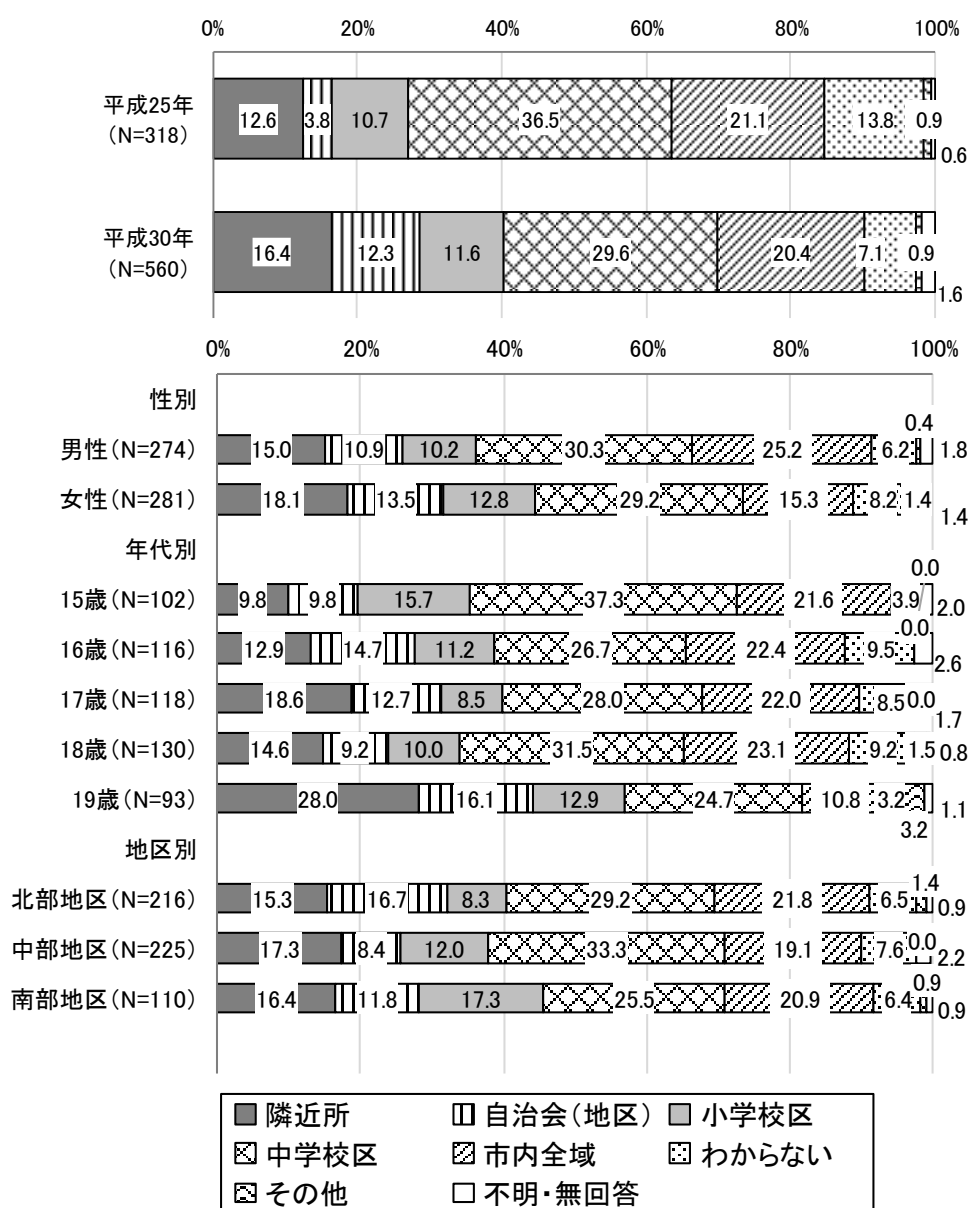
#### ■ 認識している「地域」の範囲

##### 問 10 あなたにとって身近に感じられる「地域」とは、どの範囲ですか。(単数回答)

身近に感じられる「地域」の範囲は、「中学校区」が 29.6%と最も多く、次いで「市内全域」が 20.4%、「隣近所」が 16.4%となっています。「その他」では、自分の行動範囲、中・高校学区、などとなっています。

平成 25 年と比べると、「隣近所」「自治会(地区)」への割合が増加し、「中学校区」への割合が減少しており、より近い距離で「地域」を認識する傾向が強まっています。

年代別では 19 歳で「隣近所」が約 3 割となっており、他の年代よりも多くなっています。

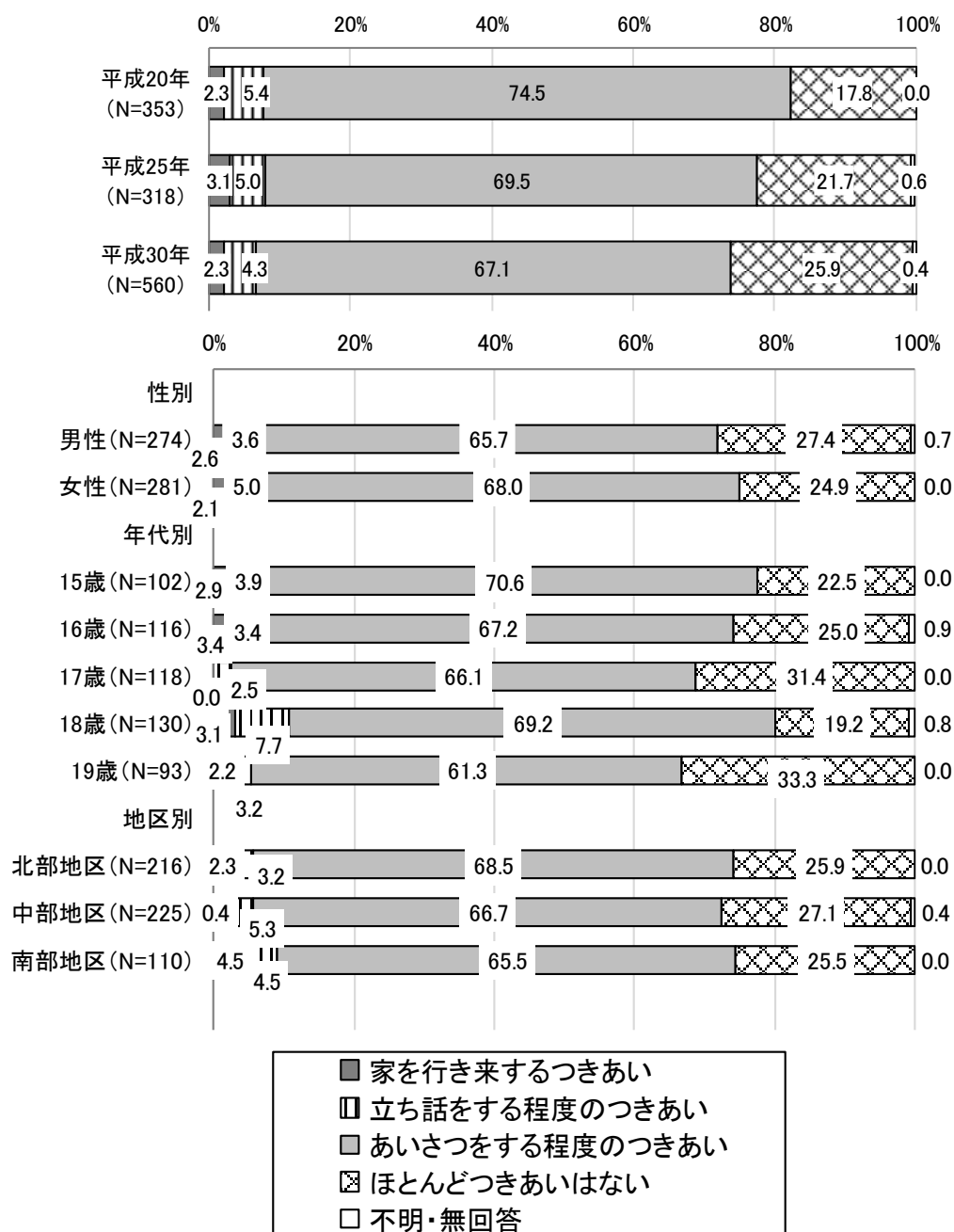


## ■近所づきあいの程度

問 11 あなたは、ふだん友達以外の近所の方との程度おつきあいをしていますか。(単数回答)

近所づきあいについては、「あいさつをする程度のつきあい」が67.1%と最も多く、次いで「ほとんどつきあいはない」が25.9%、「立ち話をする程度のつきあい」が4.3%となっています。

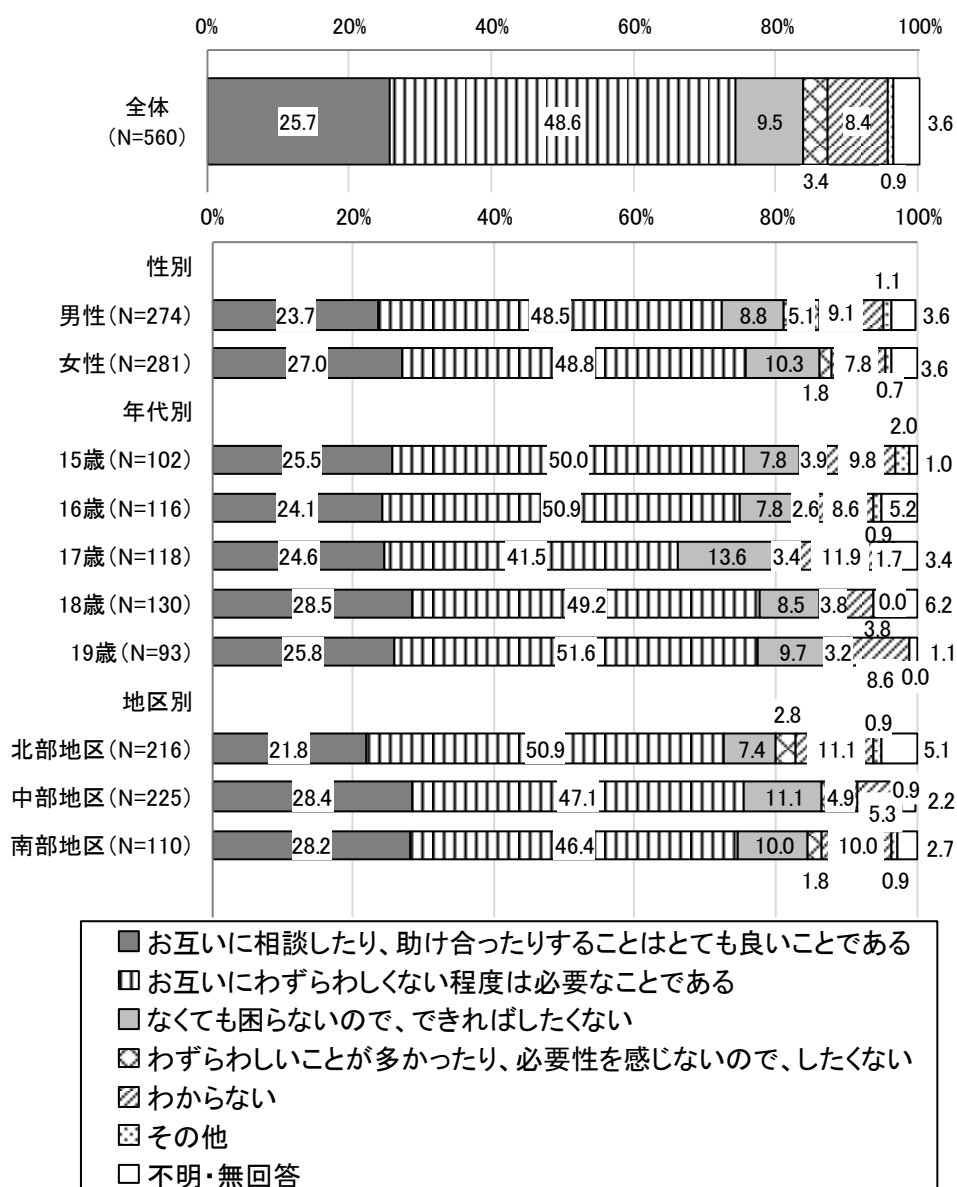
平成20年、平成25年と比較すると、「ほとんどつきあいはない」の割合が増加しており、地域のつながりの希薄化が懸念されます。



## ■近所づきあいに対する考え

問 12 ご近所の方と話をしたり、家を行き来したりするなどのおつきあいをするこについて、あなたの考え方は次のどれに最も近いですか(単数回答)

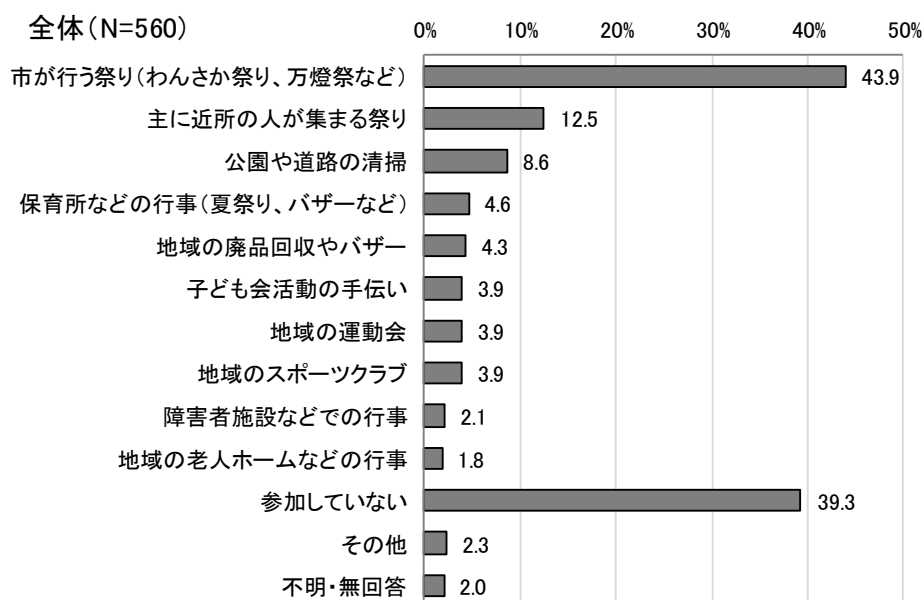
近所づきあいに対する考えは、「お互いにわずらわしくない程度は必要なことである」が48.6%と最も多く、次いで「お互いに相談したり、助け合ったりすることはとても良いことである」が25.7%、「なくても困らないので、できればたくない」が9.5%となっています。「その他」では、ご近所とはいえ他人なので危険性もある、災害等で協力できる形を作るために必要なこと、などとなっています。



## ■この1年間に参加した地域のイベントや活動

### 問 13 あなたがこの1年間に参加した地域のイベントや活動は何ですか。(複数回答)

参加した地域のイベントや活動は、「市が行う祭り(わんさか祭り、万燈祭など)」が43.9%と最も多く、次いで「主に近所の人が集まる祭り」が12.5%、「公園や道路の清掃」が8.6%となっています。なお、「参加していない」は39.3%となっています。「その他」では、防災活動、ボランティア、などとなっています。



	回答数(人)		回答割合(%)						
	合計		子ども会活動の手伝い	地域の運動会	主に近所の人が集まる祭り	市が行う祭り(わんさか祭り、万燈祭など)	保育所などの行事(夏祭り、バザーなど)	地域の老人ホームなどの行事	障害者施設などでの行事
性別									
男性	274		3.6	4.0	12.0	41.2	2.9	-	1.1
女性	281		4.3	3.6	12.5	45.9	6.4	3.6	3.2
年代別									
15歳	102		8.8	5.9	20.6	55.9	12.7	3.9	-
16歳	116		3.4	3.4	13.8	47.4	4.3	1.7	0.9
17歳	118		0.8	1.7	8.5	44.9	-	0.8	2.5
18歳	130		2.3	3.1	8.5	37.7	2.3	1.5	3.1
19歳	93		5.4	6.5	12.9	34.4	5.4	1.1	4.3
地区別									
北部地区	216		4.6	3.2	14.4	42.6	5.1	1.9	2.3
中部地区	225		4.4	5.3	10.7	49.3	4.9	1.8	2.7
南部地区	110		1.8	2.7	13.6	37.3	3.6	1.8	0.9

	回答割合(%)					
	公園や道路の清掃	地域の廃品回収やバザー	地域のスポーツクラブ	参加していない	その他	不明・無回答
性別						
男性	8.4	5.8	5.1	39.8	2.2	2.9
女性	8.2	2.8	2.5	39.1	2.5	1.1
年代別						
15歳	16.7	6.9	5.9	21.6	2.9	-
16歳	11.2	6.0	1.7	34.5	3.4	1.7
17歳	5.1	0.8	5.1	43.2	2.5	2.5
18歳	6.9	5.4	3.1	45.4	0.8	3.1
19歳	3.2	2.2	4.3	50.5	2.2	2.2
地区別						
北部地区	9.7	5.6	4.2	39.8	2.3	1.4
中部地区	10.7	2.7	3.6	36.0	1.8	1.3
南部地区	2.7	5.5	4.5	42.7	2.7	3.6



■参加した地域のイベント等で最も楽しかったものと楽しかった理由

問 14 これまでに参加した地域のイベントや活動で最も楽しかったものは何ですか。また、楽しかった理由は何ですか。(記述回答)

「祭り」が最も多く、「わんさか祭り」は154件、「万燈祭り」68件と多くみられます。そのほか、「運動会」28件、「子ども会」18件、「もち投げ」8件、「福祉健康フェスティバル」「地域のスポーツクラブ」3件などとなっています。

また、楽しかった理由としては「友人と一緒に楽しんだから」という趣旨の理由が66件、「普段関わることがない人と交流できたから」という趣旨の理由が10件、「地域の人との交流ができたから」という趣旨の理由が9件などとなっています。

■最も楽しかったこと

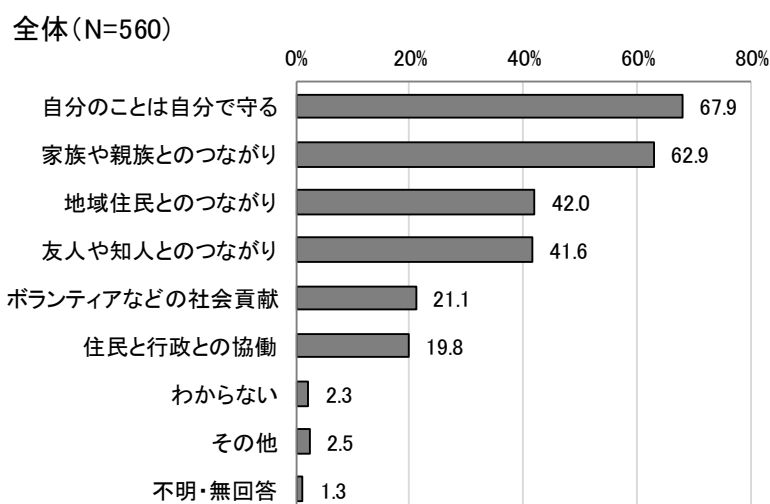
○回答の多かったキーワード上位5位

イベント	件数	楽しかった理由（回答の一部）
祭り（わんさか祭り、万燈祭り等）	255件	・友達と一緒に楽しめるから。 ・美味しいものをたくさん食べられたり、地域との交流を感じられるから。
運動会	28件	・いろいろな人と関わることができて、とても楽しかった。 ・ボランティアで参加したのですが、とても温かく楽しい運動会でした。
子ども会	18件	・地域の人と仲良くなれたから。 ・練習の時など、友人と遊ぶことができたため。上級生とのコミュニケーションの場であったため。（練習を見てくれた保護者さん含む）
もち投げ	8件	・もちを取れたとき、うれしかったから。
福祉健康フェスティバル	3件	・知らない人とたくさん知り合えたり、知らなかったことを知れる良い機会だったから。また、活動がおもしろかった。
地域のスポーツクラブ	3件	・友達や初めて会う人とスポーツを通じて仲良くなれたため。

## ■防災で大切なこと

問 15 あなたは、地震などの災害に備えて、どのようなことが大切だと思いますか。(複数回答)

地震などの災害に備えて大切だと思うことは、「自分のことは自分で守る」が67.9%と最も多く、次いで「家族や親族とのつながり」が62.9%、「地域住民とのつながり」が42.0%となっています。「その他」では、備蓄、地元企業による協力、防災の学習、などとなっています。



	回答数(人)		回答割合 (%)								
	合計		自分のことは自分で守る	家族や親族とのつながり	友人や知人とのつながり	地域住民とのつながり	ボランティアなどの社会貢献	住民と行政との協働	わからない	その他	不明・無回答
性別											
男性	274		66.8	60.2	40.5	34.3	19.3	20.8	3.3	1.8	1.8
女性	281		69.4	66.2	42.7	48.8	23.1	18.5	1.4	3.2	0.7
年代別											
15歳	102		73.5	61.8	49.0	46.1	21.6	19.6	-	2.0	1.0
16歳	116		71.6	67.2	49.1	46.6	25.9	19.8	2.6	4.3	0.9
17歳	118		66.9	65.3	45.8	41.5	17.8	21.2	3.4	0.8	0.8
18歳	130		63.1	57.7	31.5	35.4	20.0	18.5	2.3	3.1	2.3
19歳	93		64.5	63.4	32.3	40.9	20.4	20.4	3.2	2.2	1.1
地区別											
北部地区	216		67.1	63.9	38.0	38.9	21.3	19.9	0.9	2.3	1.4
中部地区	225		65.8	62.2	44.4	44.0	22.2	22.7	4.0	1.8	1.3
南部地区	110		72.7	62.7	42.7	43.6	18.2	14.5	1.8	4.5	-

## (4) ボランティアについて

### ■ ボランティア活動の参加状況

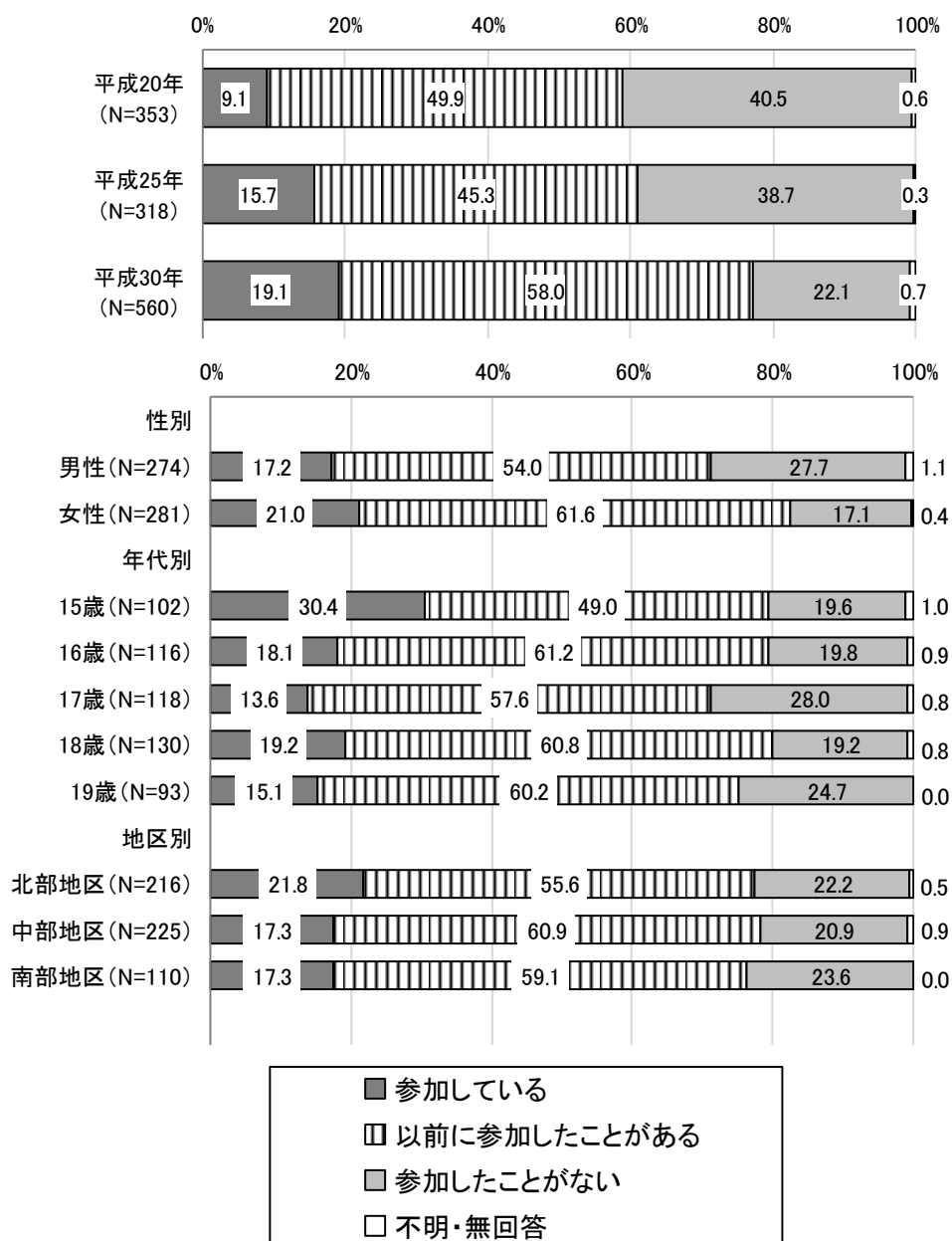
#### 問 16 あなたは、今までにボランティア活動に参加したことがありますか。(単数回答)

ボランティア活動の参加経験について、「以前に参加したことがある」が 58.0%と最も多く、次いで「参加したことがない」が 22.1%、「参加している」が 19.1%となっています。

平成 20 年、平成 25 年と比較すると、「参加している」「以前に参加したことがある」の割合が増加しています。

性別では、「参加している」と「以前に参加したことがある」を合わせた〈ボランティア経験〉で男女差が大きくなっています。

年代別では、15 歳において「参加している」が 3 割を超え、他の年代よりも多くなっています。



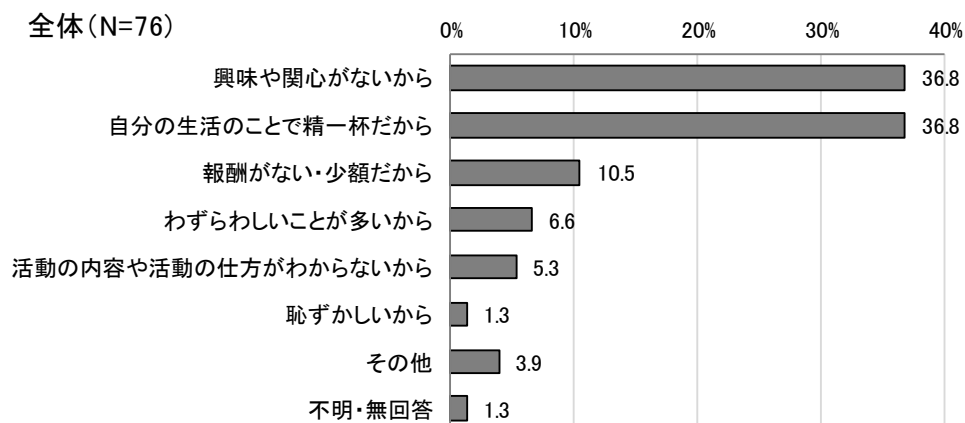


## ■ ボランティア活動に参加できない、したくない理由

< 問 17 で「参加できない」または「参加したくない」と回答した方のみお伺いしています >

### 問 18 参加できない、参加したくない理由は何ですか。(単数回答)

参加できない、参加したくない理由は、「興味や関心がないから」「自分の生活のことで精一杯だから」が 36.8%と最も多く、次いで「報酬がない・少額だから」が 10.5%となっています。「その他」では、よくわからない、今は部活で大変、などとなっています。



	回答数(人)		回答割合(%)							
	合計		興味や関心がないから	恥ずかしいから	活動の内容や活動の仕方がわからないから	自分の生活のことで精一杯だから	わずらわしいことが多いから	報酬がない・少額だから	その他	不明・無回答
性別										
男性	47		38.3	-	2.1	40.4	4.3	10.6	4.3	2.1
女性	29		34.5	3.4	10.3	31.0	10.3	10.3	3.4	-
年代別										
15歳	12		50.0	-	-	41.7	-	8.3	-	-
16歳	15		26.7	6.7	6.7	40.0	6.7	6.7	13.3	-
17歳	20		50.0	-	-	30.0	10.0	10.0	-	-
18歳	15		26.7	-	13.3	46.7	6.7	6.7	6.7	-
19歳	14		28.6	-	7.1	28.6	7.1	21.4	-	7.1
地区別										
北部地区	35		40.0	2.9	8.6	37.1	5.7	11.4	-	-
中部地区	24		37.5	-	4.2	20.8	8.3	12.5	12.5	4.2
南部地区	16		31.3	-	-	56.3	6.3	6.3	-	-

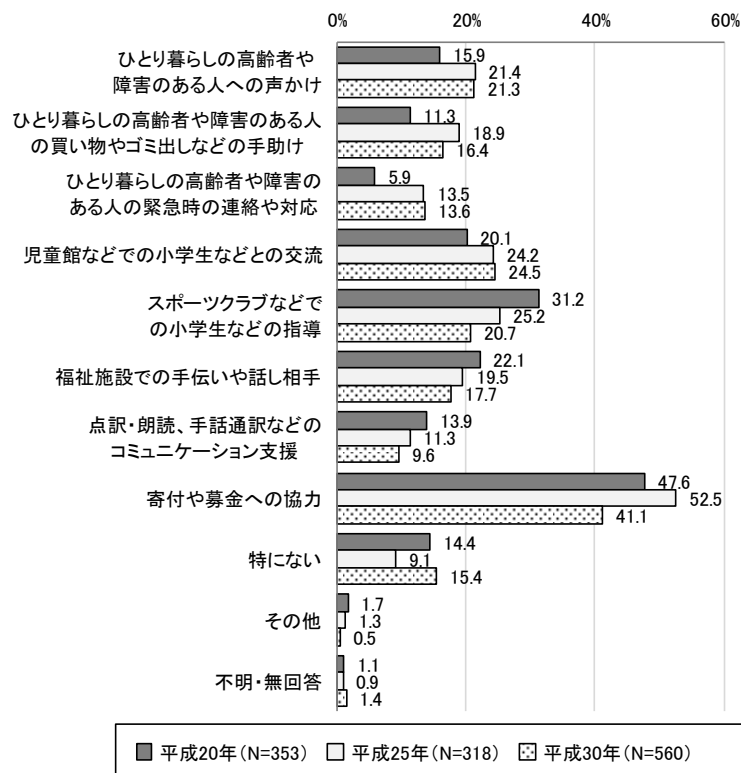
## (5) 地域の福祉課題について

### ■ 地域福祉活動で今後できること、やってみたいこと

問 19 これからの福祉は市民の参加や協力が必要といわれていますが、次の活動の中であなたができることや、やってみたいことがありますか。(複数回答)

今後できる、やってみたい福祉活動は、「寄付や募金への協力」が41.1%と最も多く、次いで「児童館などでの小学生などとの交流」が24.5%、「ひとり暮らしの高齢者や障害のある人への声かけ」が21.3%となっています。「その他」では、高齢者だけでなく子ども達とも交流できる場をつくる、などとなっています。

平成20年、平成25年と比較すると、「スポーツクラブなどでの小学生などの指導」「福祉施設での手伝いや話し相手」「点訳・朗読、手話通訳などのコミュニケーション支援」は減少傾向にあります。



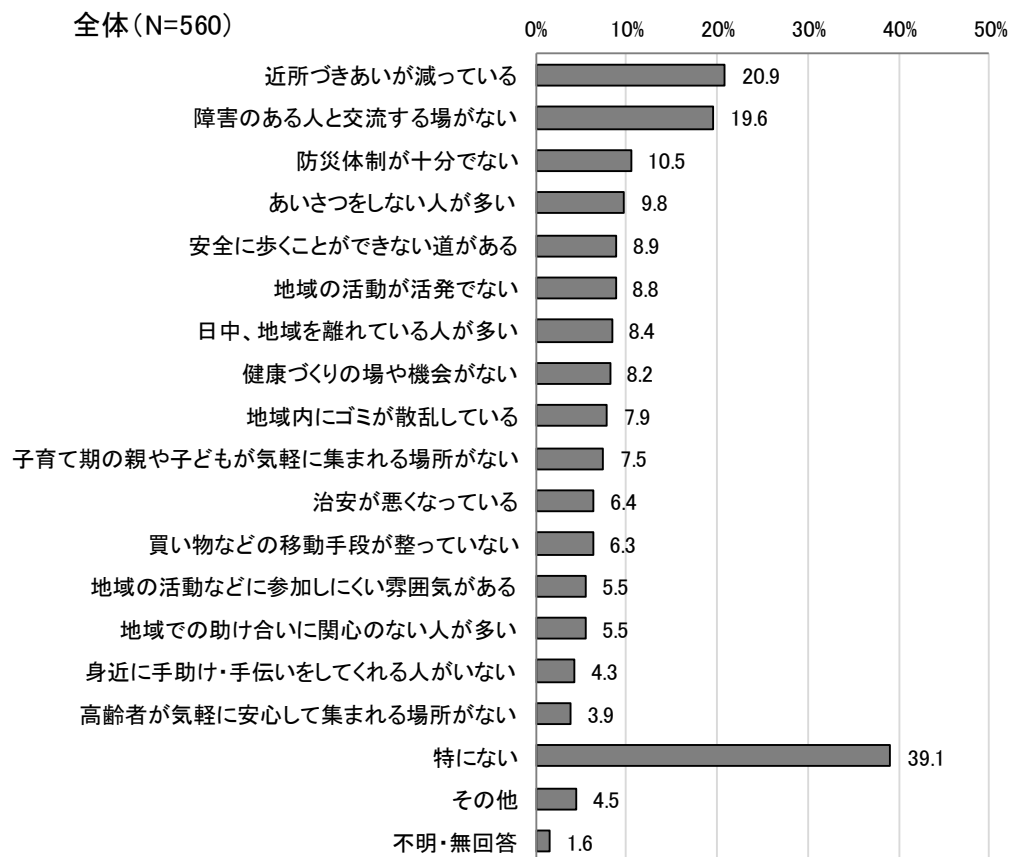
	回答数(人)	回答割合(%)										
	合計	ひとり暮らしの高齢者や障害のある人への声かけ	ひとり暮らしの高齢者や障害のある人の買い物やゴミ出しなどの手助け	ひとり暮らしの高齢者や障害のある人の緊急時の連絡や対応	児童館などでの小学生などとの交流	スポーツクラブなどでの小学生などの指導	福祉施設での手伝いや話し相手	点訳・朗読、手話通訳などのコミュニケーション支援	寄付や募金への協力	特にない	その他	不明・無回答
性別												
男性	274	20.4	15.0	13.9	17.2	27.7	9.5	5.1	38.7	17.9	0.7	2.2
女性	281	21.4	17.4	12.1	31.0	13.5	25.3	13.5	43.4	13.2	0.4	0.7
年代別												
15歳	102	18.6	22.5	11.8	28.4	32.4	23.5	10.8	46.1	9.8	-	1.0
16歳	116	18.1	18.1	12.1	20.7	14.7	18.1	12.1	50.0	13.8	1.7	2.6
17歳	118	20.3	12.7	16.9	22.0	16.1	14.4	7.6	39.8	21.2	-	0.8
18歳	130	20.8	18.5	12.3	24.6	23.8	19.2	10.0	33.1	13.8	0.8	2.3
19歳	93	30.1	9.7	14.0	26.9	17.2	12.9	7.5	36.6	18.3	-	-
地区別												
北部地区	216	19.4	13.4	12.5	20.4	23.1	18.5	10.2	42.1	13.9	-	0.9
中部地区	225	24.4	17.8	15.6	24.9	17.8	17.3	9.8	39.6	15.6	0.4	1.3
南部地区	110	17.3	17.3	10.9	30.9	22.7	17.3	9.1	42.7	19.1	0.9	1.8

## ■住んでいる地域の問題

### 問 20 あなたの住んでいる地域には、どのような問題があると感じていますか。(複数回答)

住んでいる地域の問題は、「近所づきあいが減っている」が20.9%と最も多く、次いで「障害のある人と交流する場がない」が19.6%、「防災体制が十分でない」が10.5%となっています。なお、「特にない」が39.1%となっています。「その他」では、近所にスーパー等が少なく買い物がしづらい、空き家みたいな家があって台風や地震が怖い、などとなっています。

性別では「近所づきあいが減っている」で男女差が大きくなっています。



	回答数(人)	回答割合(%)									
	合計	あいさつをしない人が多い	近所づきあいが減っている	地域の活動が活発でない	地域の活動などに参加しにくい雰囲気がある	日中、地域を離れている人が多い	地域での助け合いに関心のない人が多い	買い物などの移動手段が整っていない	治安が悪くなっている	高齢者が気軽に安心して集まれる場所がない	子育て期の親や子どもが気軽に集まれる場所がない
性別											
男性	274	10.2	16.8	6.6	6.6	8.0	5.8	3.3	5.5	2.6	5.8
女性	281	9.6	24.9	11.0	4.6	8.9	5.3	8.9	7.5	5.3	9.3
年代別											
15歳	102	13.7	23.5	8.8	6.9	3.9	6.9	8.8	4.9	6.9	7.8
16歳	116	8.6	18.1	9.5	1.7	9.5	3.4	3.4	5.2	4.3	6.0
17歳	118	4.2	18.6	5.1	4.2	11.0	4.2	4.2	5.1	2.5	6.8
18歳	130	12.3	22.3	10.8	6.2	6.9	6.9	6.2	9.2	3.8	10.8
19歳	93	10.8	22.6	9.7	9.7	10.8	6.5	8.6	7.5	2.2	5.4
地区別											
北部地区	216	9.3	17.6	8.3	6.0	7.9	8.3	8.3	7.4	2.3	5.6
中部地区	225	11.6	22.2	8.4	5.3	6.7	4.9	4.9	5.8	4.4	7.1
南部地区	110	6.4	24.5	10.0	5.5	12.7	1.8	4.5	6.4	4.5	10.9

	回答割合(%)								
	障害のある人と交流する場がない	防災体制が十分でない	身近に手助け・手伝いをしてくれる人がいない	地域内にゴミが散乱している	安全に歩くことができない道がある	健康づくりの場や機会がない	特にない	その他	不明・無回答
性別									
男性	16.8	10.2	2.2	5.8	8.4	8.4	40.9	4.0	2.6
女性	22.4	11.0	6.0	10.0	8.9	8.2	37.4	4.6	0.7
年代別									
15歳	29.4	6.9	3.9	16.7	8.8	11.8	37.3	2.0	2.0
16歳	20.7	17.2	4.3	6.9	10.3	5.2	42.2	4.3	0.9
17歳	16.9	8.5	4.2	5.1	7.6	8.5	44.9	7.6	3.4
18歳	19.2	10.0	3.8	6.9	9.2	10.0	34.6	3.8	1.5
19歳	11.8	9.7	5.4	4.3	7.5	5.4	36.6	4.3	-
地区別									
北部地区	19.0	10.6	5.1	10.2	11.1	6.9	39.8	4.6	1.4
中部地区	18.7	12.4	3.1	5.8	7.1	8.4	36.9	4.9	1.8
南部地区	22.7	7.3	5.5	7.3	7.3	10.0	44.5	2.7	0.9



## (6) 社会福祉協議会について

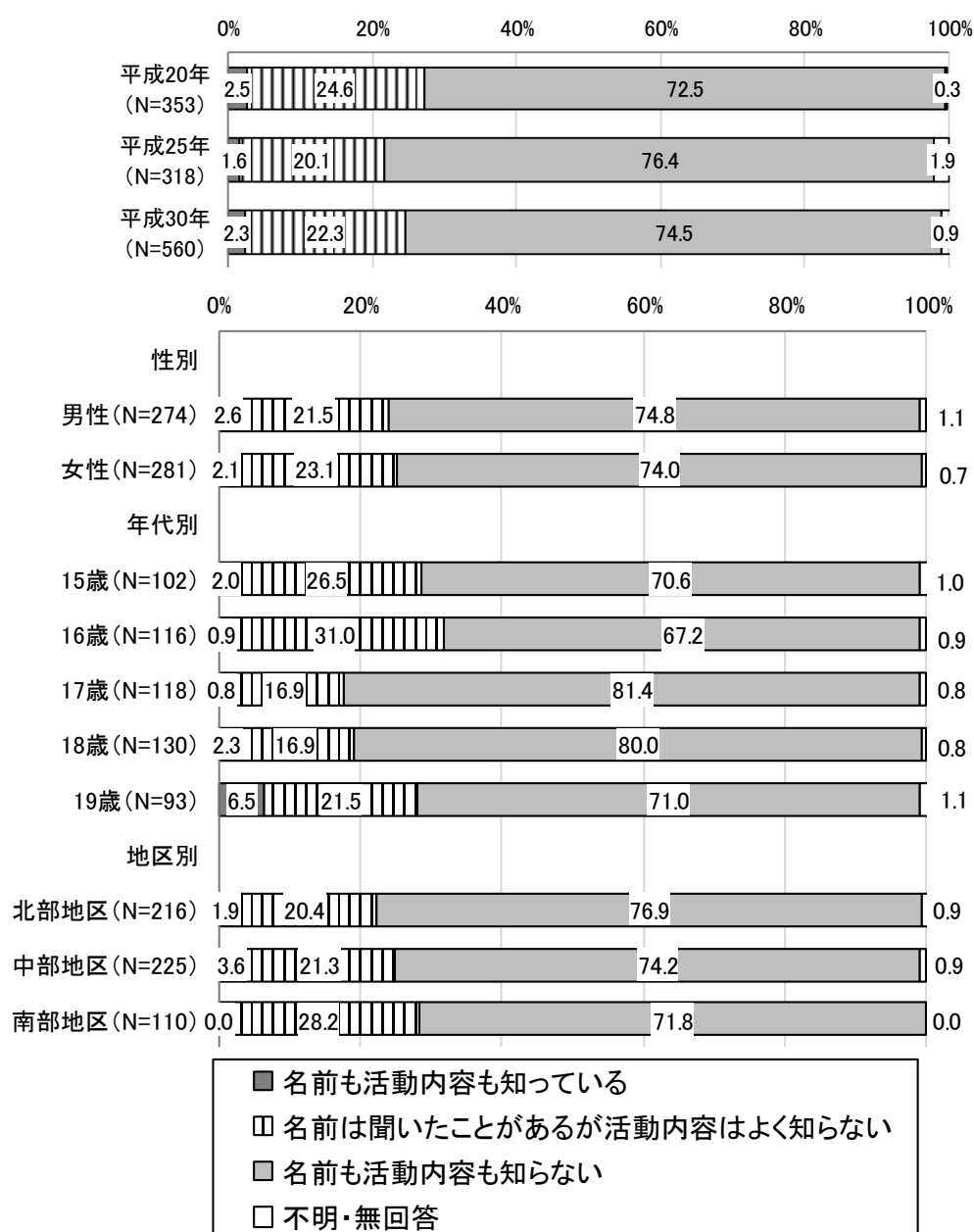
### ■社会福祉協議会の認知度

#### 問 21 あなたは、刈谷市社会福祉協議会を知っていますか。(単数回答)

刈谷市社会福祉協議会の認知度については、「名前も活動内容も知らない」が74.5%と最も多く、次いで「名前は聞いたことがあるが活動内容はよく知らない」が22.3%、「名前も活動内容も知っている」が2.3%となっています。

平成20年、平成25年と比較すると、大きな増減はみられません。

地区別では、南部地区において「名前は聞いたことがあるが活動内容はよく知らない」への回答が他の地区よりも多くなっています。



## ■社会福祉協議会に求めること

<問 21 で「名前も活動内容も知っている」と回答した方のみお伺いしています>

### 問 22 刈谷市社会福祉協議会に求めることは何ですか。(複数回答)

刈谷市社会福祉協議会に求めることは、「高齢者や障害のある人などに対する福祉サービスの充実」「児童や生徒に対する福祉教育の充実」「ボランティアなどの地域福祉を支える人づくりやネットワークづくり」「地域が抱える悩みごとや困りごとの相談や支援」が最も多くなっています。

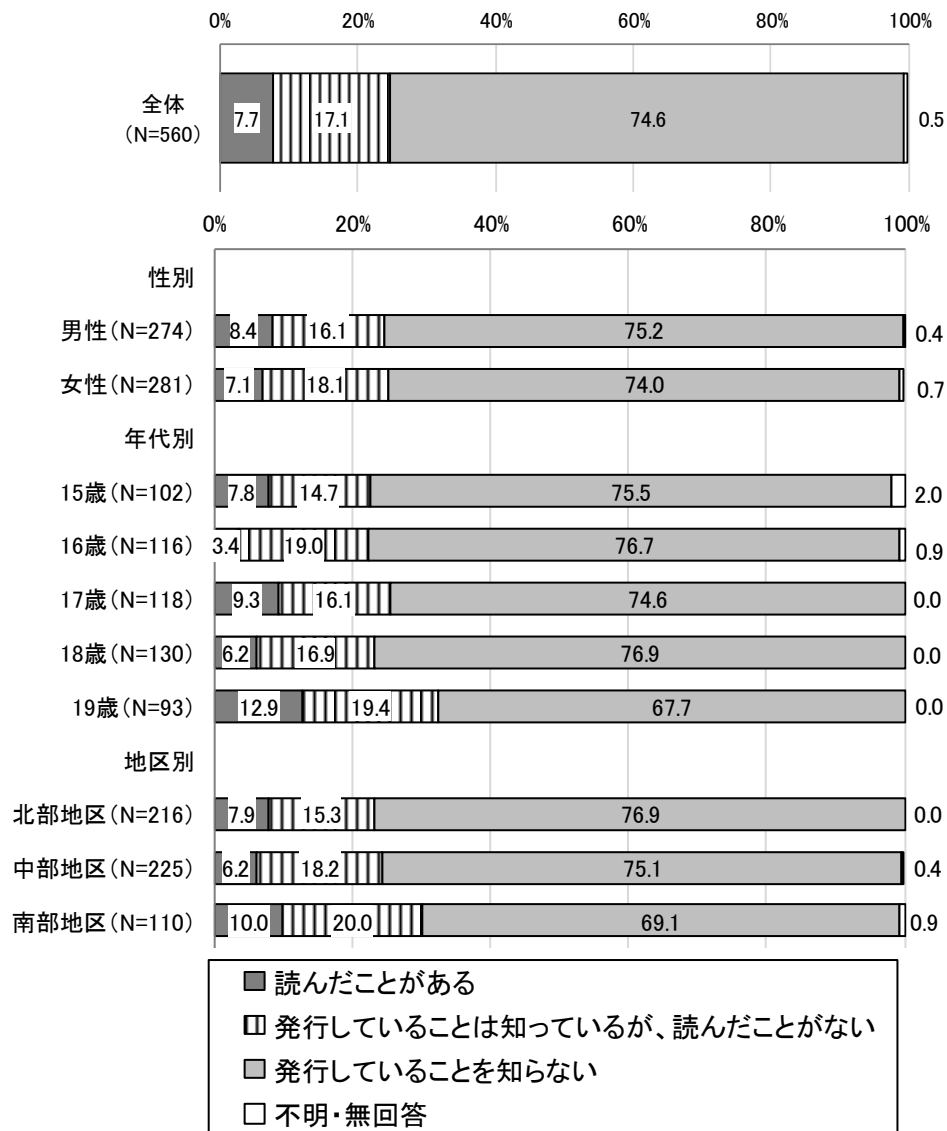
選択肢	平成 30 年 (N=13 人)	平成 25 年 (N=5 人)
高齢者や障害のある人などに対する福祉サービスの充実	5	3
児童や生徒に対する福祉教育の充実	5	2
ボランティアなどの地域福祉を支える人づくりやネットワークづくり	5	2
地域が抱える悩みごとや困りごとの相談や支援	5	0
福祉に関する情報の発信や提供	4	2
特にない	0	0
その他	0	0
不明・無回答	1	0

## ■ 社会福祉協議会が発行する広報紙の認知度

問 23 刈谷市社会福祉協議会が発行する「刈谷市社協だより」を読んだことがありますか。  
(単数回答)

「刈谷市社協だより」については、「発行していることを知らない」が74.6%と最も多く、次いで「発行していることは知っているが、読んだことがない」が17.1%、「読んだことがある」が7.7%となっています。

年代別では19歳で「読んだことがある」は1割を超えています。



## (7) その他

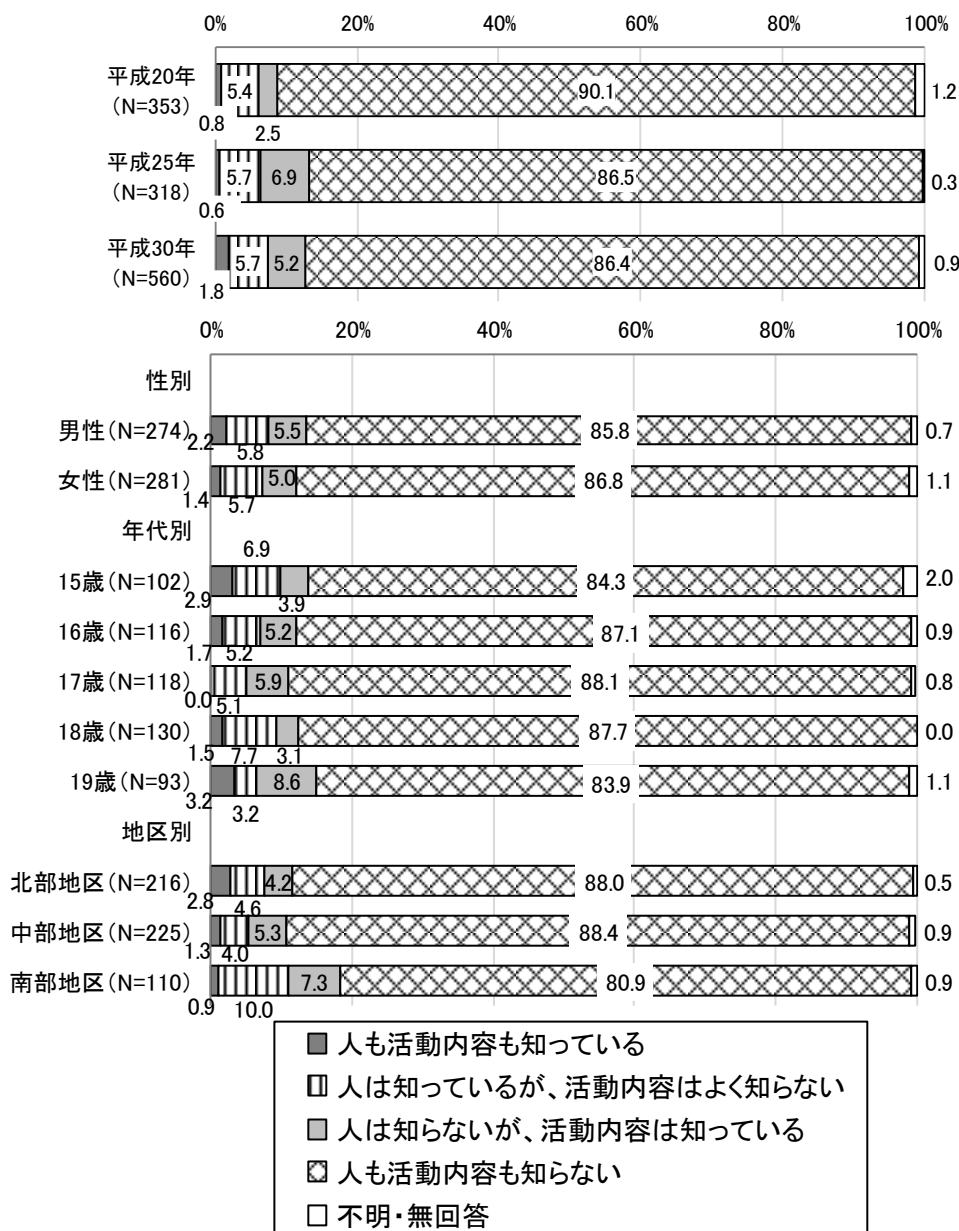
### ■ 民生委員・児童委員の認知度

問24 あなたは、あなたの地域の民生委員・児童委員と活動内容を知っていますか。(単数回答)

民生委員・児童委員と活動内容の認知度については、「人も活動内容も知らない」が86.4%と最も多く、次いで「人は知っているが、活動内容はよく知らない」が5.7%、「人は知らないが、活動内容は知っている」が5.2%となっています。

平成20年、平成25年と比較すると、大きな増減はみられません。

地区別では、南部地区において「人は知っているが、活動内容はよく知らない」への回答が他の地区よりも多くなっています。



## ■刈谷市の好きなおところ、変わったらいいなと思うところ

問 25 刈谷の好きなおところ、変わったらいいなと思うところについて、思いつくことをご記入ください。(記述回答)

好きなおところは「バス」に関する回答が最も多く、無料バスで移動が自由にできることや、車内でのマナーなどについて回答がみられました。次いで公共施設が充実しているなどの「施設」に関する回答も、また、利便性が高く、駅を支える人に感謝しているなど「駅」に関する回答も続いています。

変わったらいいなと思うところは「駅」に関する回答が最も多く、駅周辺の環境などに関する回答がみられました。次いで本数を増やして利便性を高めてほしいなど「バス」に関する回答も、また、身近な交流の場や公園の美化など「場所」に関する回答も続いています。

## ■好きなおところ

○回答の多かったキーワード上位5位

キーワード	件数	回答の一部
バス	82 件	・無料バスがある所。バスに乗るとき「お願いします」、降りる時も「ありがとうございました」という人が多いこと。
施設	41 件	・他市に比べて施設が豊富。過ごしやすい。
駅	34 件	・刈谷駅の立体駐輪場で、毎朝自転車の整頓をしてくださっているボランティアの方々には日頃、感謝しています。
祭り	25 件	・祭りが多く色々な人と交流しやすい。
公園	21 件	・広い公園がいくつも有り、色々な活動ができる。

## ■変わったらいいなと思うところ

○回答の多かったキーワード上位5位

キーワード	件数	回答の一部
駅	46 件	・刈谷駅北口の雰囲気怖い。通りたくない。
バス	37 件	・市内の無料バスの本数を増やしてほしい。多少有料化させてでも(学生や老人など以外は有料にするなど)。
場所	21 件	・地域の人をつながりがもてる場所をつくる。公園のトイレをきれいにしたほうがいい。
歩道	19 件	・歩道と車道の境目の段差が大きい。つながっている場所は滑らかにしてほしい。
街灯	16 件	・線路沿いなど、意外と人通りの多い道の街灯が少なく、暗い気がする。もっと明るくしてほしい。それによって、歩行者も安心して歩けると思うし、車の人も気付けて事故が減ると思う。

## 4 調査結果【自治会長及び民生委員・児童委員】

### (1) 回答区分や年齢、活動期間について

#### ■回答区分

問1 回答区分をお答えください。(単数回答)

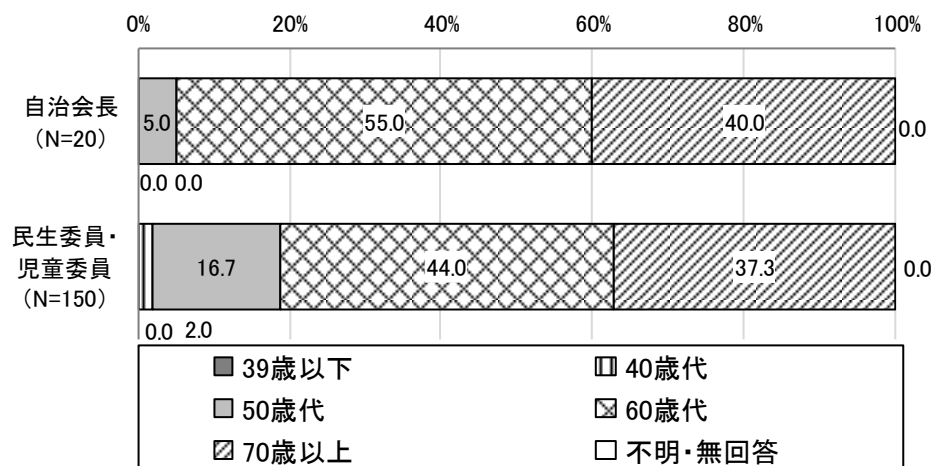
「自治会長」が20人、「民生委員・児童委員」が150人となっています。

#### ■年齢

問2 あなたの年齢は、平成30年10月1日現在、次のどれですか。(単数回答)

年齢については、自治会長では、「60歳代」が55.0%と最も多く、次いで「70歳以上」が40.0%、「50歳代」が5.0%となっています。

民生委員・児童委員では、「60歳代」が44.0%と最も多く、次いで「70歳以上」が37.3%、「50歳代」が16.7%となっています。

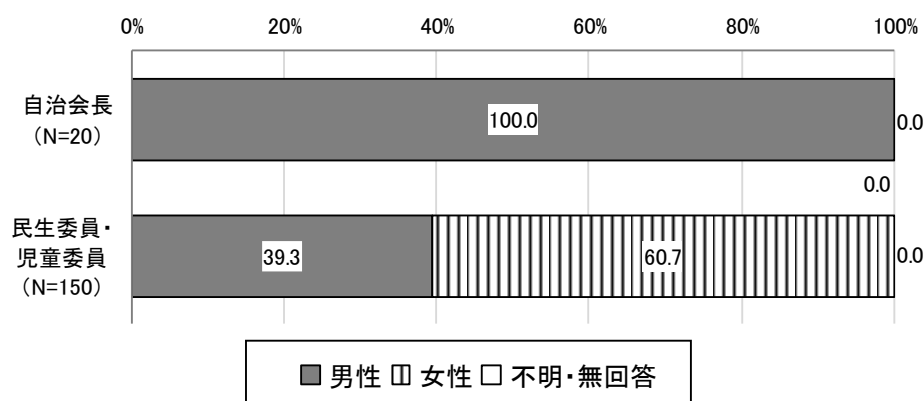


#### ■性別

問3 あなたの性別はどちらですか。(単数回答)

性別については、自治会長では「男性」のみとなっています。

民生委員・児童委員では「男性」が39.3%、「女性」が60.7%となっています。

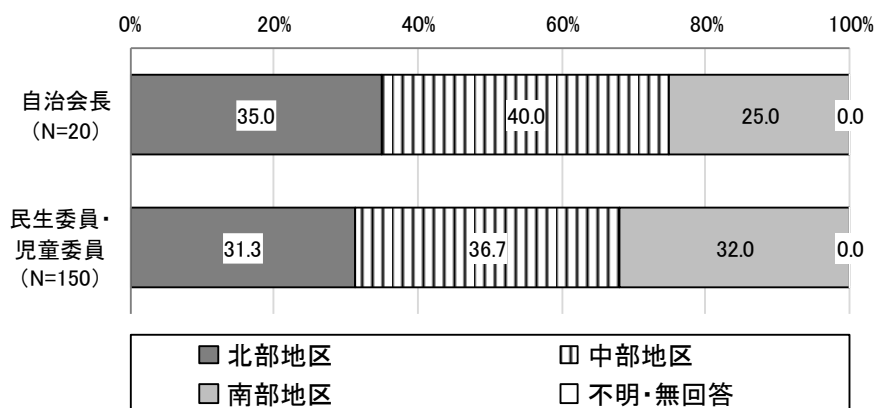


## ■居住地

### 問4 あなたの居住地(地区別)は次のどれですか。(単数回答)

居住地については、自治会長では、「中部地区」が40.0%と最も多く、次いで「北部地区」が35.0%、「南部地区」が25.0%となっています。

民生委員・児童委員では、「中部地区」が36.7%と最も多く、次いで「南部地区」が32.0%、「北部地区」が31.3%となっています。

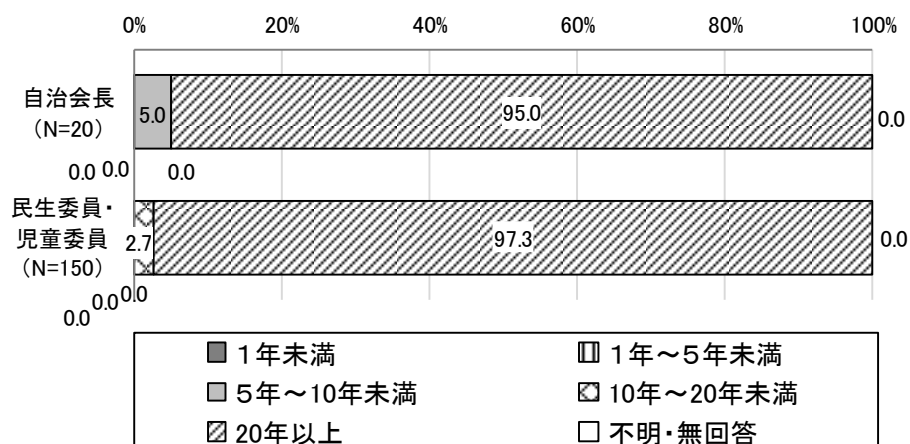


## ■居住年数

### 問5 あなたは、刈谷市に住んで通算して何年になりますか。(単数回答)

居住年数については、自治会長では、「20年以上」が95.0%と最も多く、次いで「5年～10年未満」が5.0%となっています。

民生委員・児童委員では、「20年以上」が97.3%と最も多く、次いで「10年～20年未満」が2.7%となっています。

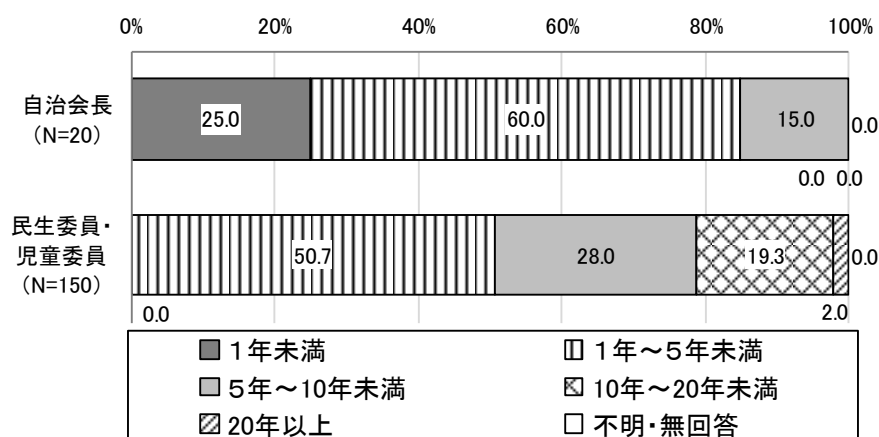


## ■活動年数

### 問 6 あなたは、現在の活動をされて通算して何年になりますか。(単数回答)

活動年数については、自治会長では、「1年～5年未満」が60.0%と最も多く、次いで「1年未満」が25.0%、「5年～10年未満」が15.0%となっています。

民生委員・児童委員では、「1年～5年未満」が50.7%と最も多く、次いで「5年～10年未満」が28.0%、「10年～20年未満」が19.3%となっています。



## (2) 地域について

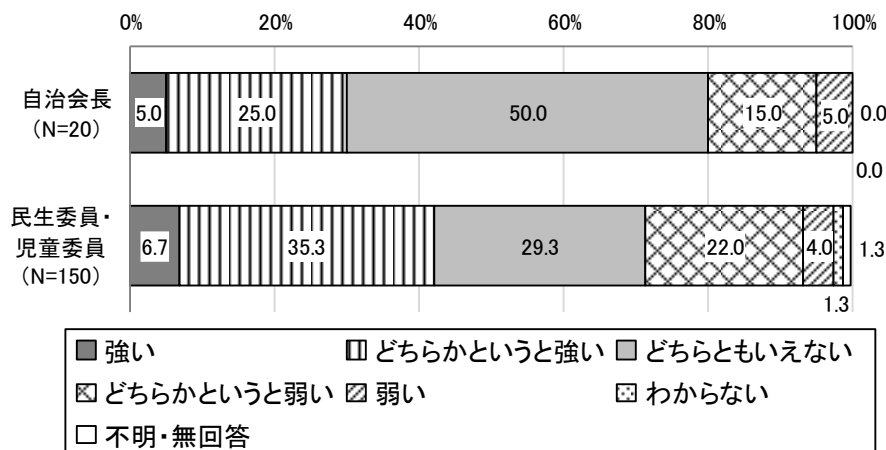
### ■地域のつながりの強さに対する実感

### 問 7 あなたの住んでいる地域は、住民同士による助け合いや支え合いが行われるなど、地域のつながりが強いと思いますか。(単数回答)

地域のつながりについては、自治会長では、「どちらともいえない」が50.0%と最も多く、次いで「どちらかという強い」が25.0%、「どちらかという弱い」が15.0%となっています。

民生委員・児童委員では、「どちらかという強い」が35.3%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が29.3%、「どちらかという弱い」が22.0%となっています。

自治会長は中立の意見が多く、民生委員・児童委員は地域のつながりが比較的強いという回答が多く、両者で傾向が異なっています。





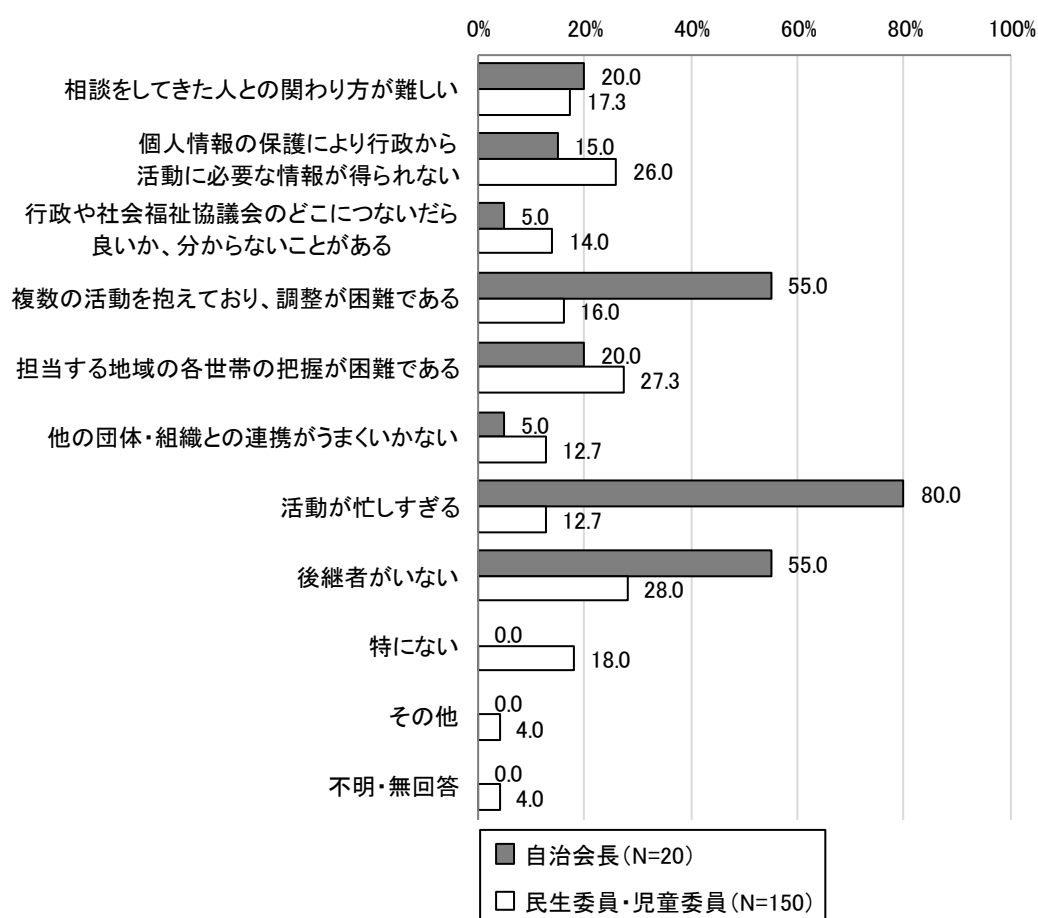
## ■活動を行う上での課題

### 問 8 あなたご自身が活動をする中で抱えている課題は何だと思えますか。(複数回答)

活動中の課題は、自治会長では、「活動が忙しすぎる」が80.0%と最も多く、次いで「複数の活動を抱えており、調整が困難である」、「後継者がいない」が55.0%となっています。

民生委員・児童委員では、「後継者がいない」が28.0%と最も多く、次いで「担当する地域の各世帯の把握が困難である」が27.3%、「個人情報の保護により行政から活動に必要な情報が得られない」が26.0%となっています。「その他」では、仕事との両立、地域の役員以外のボランティアが少ない、などとなっています。

自治会長、民生委員・児童委員ともに「後継者がいない」ことが共通の課題となっています。



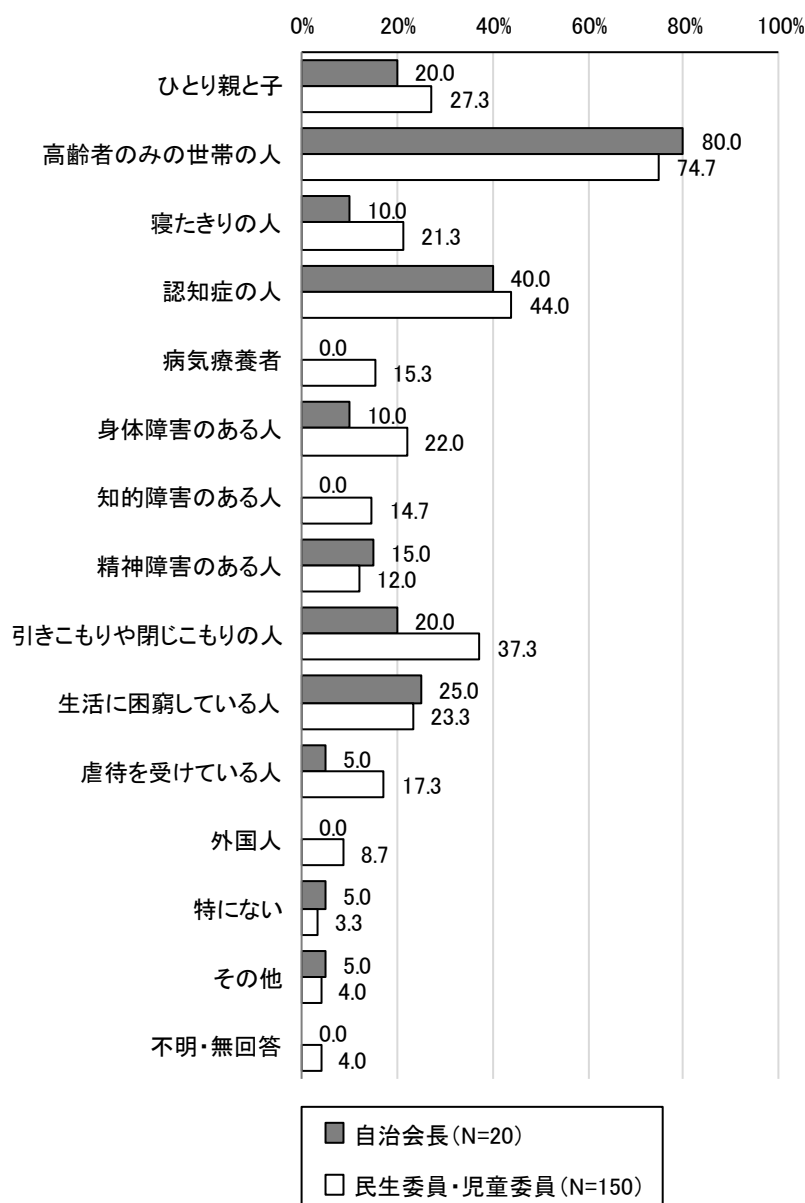
## ■活動している地区内で今後支援が必要な人

問 9 あなたが活動されている地区でこれから特に支援が必要だと思う人はどのような人ですか。(複数回答)

支援が必要だと思う人は、自治会長では、「高齢者のみの世帯の人」が80.0%と最も多く、次いで「認知症の人」が40.0%、「生活に困窮している人」が25.0%となっています。「その他」では、すべて必要だけど私たちはその道のプロではないのでできる範囲でやっていく、となっています。

民生委員・児童委員では、「高齢者のみの世帯の人」が74.7%と最も多く、次いで「認知症の人」が44.0%、「引きこもりや閉じこもりの人」が37.3%となっています。「その他」では、見守り対象から外れるが支援の必要な人、介護保険のサービスを使っていない人、などとなっています。

自治会長、民生委員・児童委員ともに「高齢者のみの世帯の人」や「認知症の人」への支援が必要という意見が多くなっています。



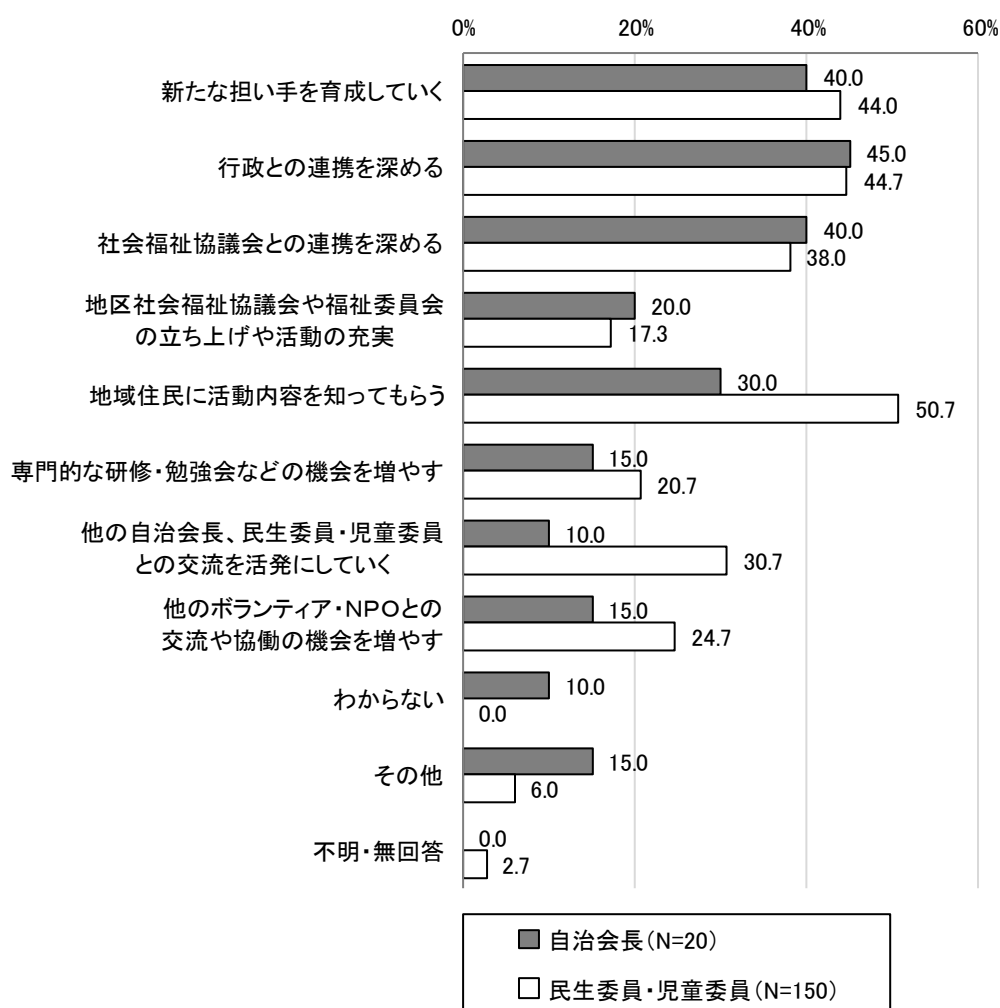
■要支援者に対して地域での支え合いを活性化させるために必要な取り組み

問 10 今後、支援が必要な人に対して、地域での支え合いをより活性化していくために、特に必要なことは次のうちどれだと思いますか。(複数回答)

支え合いを活性化していくために必要なことは、自治会長では、「行政との連携を深める」が45.0%と最も多く、次いで「新たな担い手を育成していく」、「社会福祉協議会との連携を深める」が40.0%となっています。「その他」では、社会福祉協議会の体制の強化、市からの広報を継続する、などとなっています。

民生委員・児童委員では、「地域住民に活動内容を知ってもらう」が50.7%と最も多く、次いで「行政との連携を深める」が44.7%、「新たな担い手を育成していく」が44.0%となっています。「その他」では、班を小さくしてご近所結束を強めること、地域包括支援センターとの連携、などとなっています。

自治会長、民生委員・児童委員ともに「行政との連携を深める」「新たな担い手を育成していく」「社会福祉協議会との連携を深める」ことが共通して必要と認識しています。

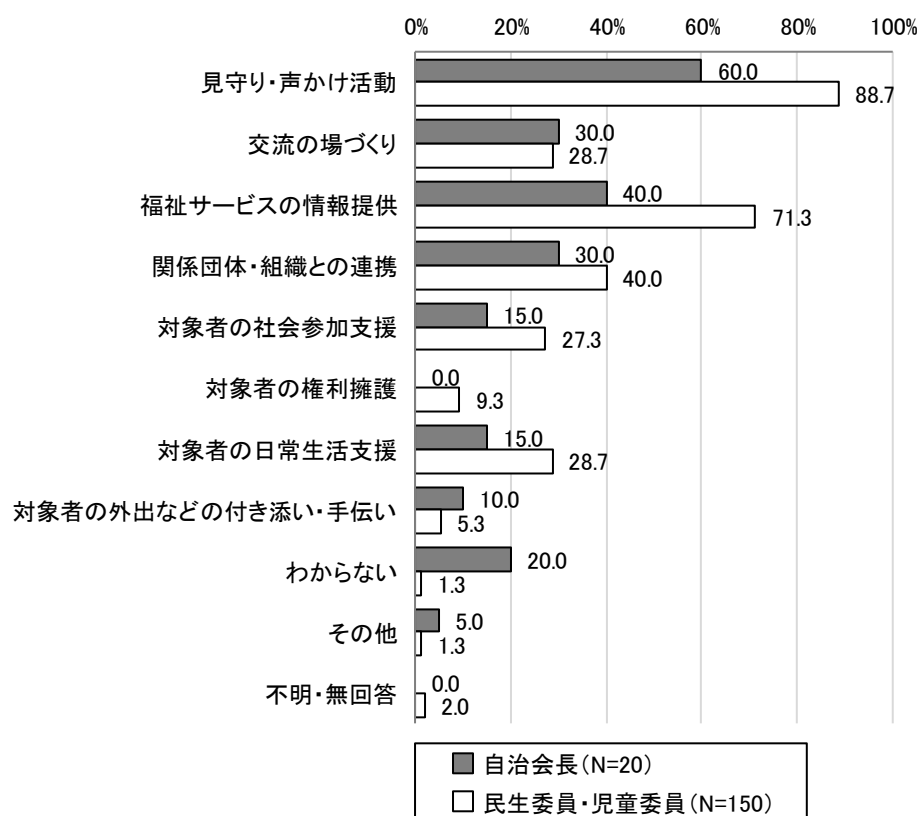


## ■要支援者の情報の活用に対する考え

問 11 支援が必要な人の情報を市から提供された場合、どのようなことに活用できると思いますか。(複数回答)

支援が必要な人の情報を市から提供された場合、活用できると思うことは、自治会長では、「見守り・声かけ活動」が60.0%と最も多く、次いで「福祉サービスの情報提供」が40.0%、「交流の場づくり」「関係団体・組織との連携」が30.0%となっています。「その他」では、現状の業務が多忙のため活用が難しい、となっています。

民生委員・児童委員では、「見守り・声かけ活動」が88.7%と最も多く、次いで「福祉サービスの情報提供」が71.3%、「関係団体・組織との連携」が40.0%となっています。「その他」では、支援の程度による、などとなっています。



## ■住んでいる地域の問題

問 12 あなたの住んでいる地域には、どのような問題があると感じていますか。(あてはまるものに○、その中で「地域で」解決できると思うものは◎)(複数回答)

自治会長では、地域の問題は「近所づきあいが減っている」が最も多く、次いで「地域での助け合いに関心のない人が多い」「日中、地域を離れている人が多い」「防災体制が十分でない」となっています。地域で解決できる問題は、「あいさつをしない人が多い」「高齢者が気軽に安心して集まれる場所がない」への回答のみみられます。

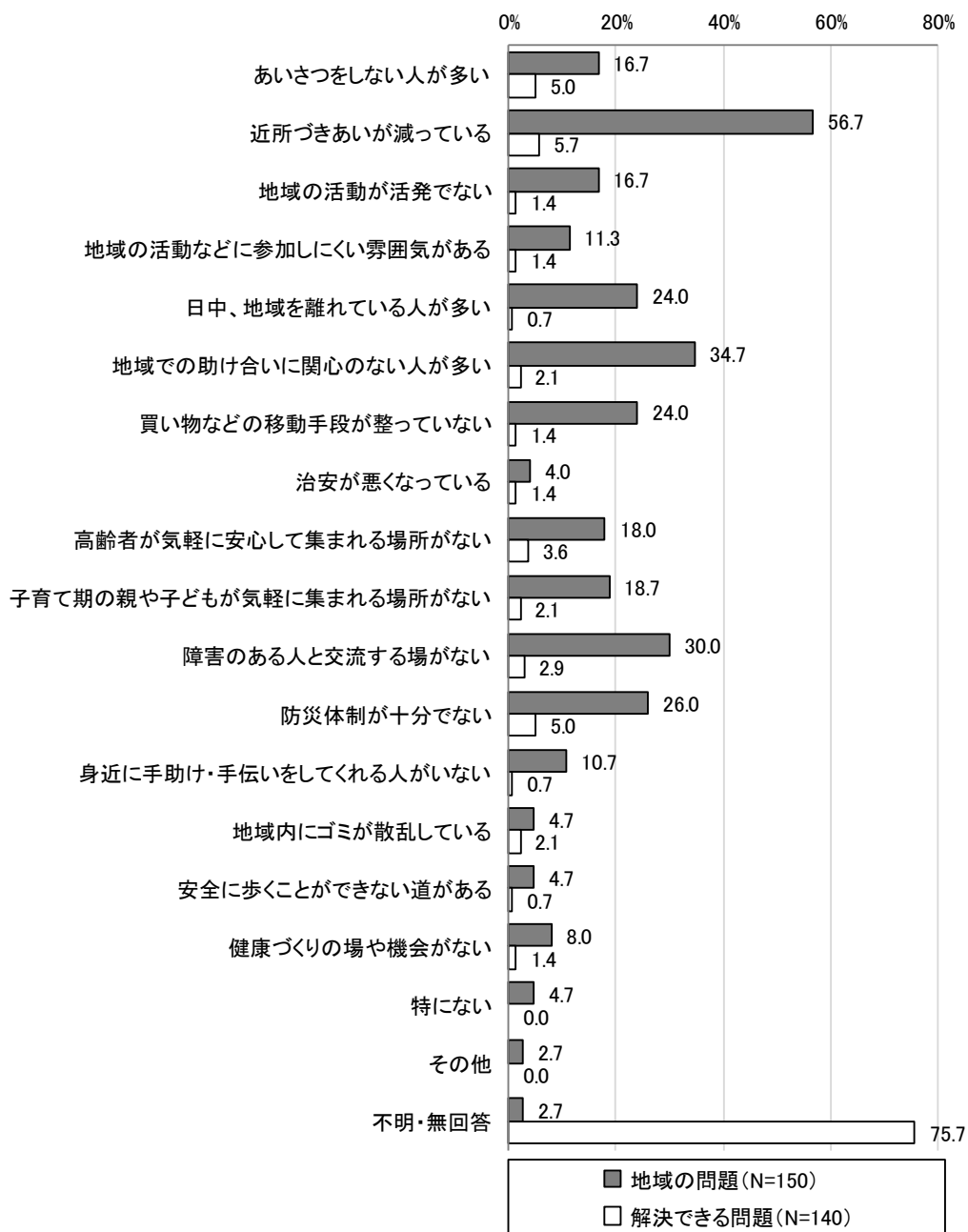
民生委員・児童委員では、地域の問題は「近所づきあいが減っている」が56.7%と最も多く、次いで「地域での助け合いに関心のない人が多い」が34.7%、「障害のある人と交流する場がない」が30.0%となっています。地域で解決できる問題は、「近所づきあいが減っている」が5.7%と最も多く、次いで「あいさつをしない人が多い」「防災体制が十分でない」が5.0%となっています。その他では、都市化が進んでいて(マンション等が多く)交流が難しくなっている、高齢者のニーズが多様化していて活動が難しい、などとなっています。

※「『地域で』解決できる課題」は、住んでいる地域に問題が「特にない」への回答や、不明・無回答を除いた回答数で集計

### ■自治会長(どちらの間もN=20)

選択肢	地域の問題 (件数)	解決できる問題 (件数)
近所づきあいが減っている	14	0
地域での助け合いに関心のない人が多い	7	0
日中、地域を離れている人が多い	6	0
防災体制が十分でない	6	0
障害のある人と交流する場がない	4	0
買い物などの移動手段が整っていない	3	0
高齢者が気軽に安心して集まれる場所がない	3	1
あいさつをしない人が多い	2	2
子育て期の親や子どもが気軽に集まれる場所がない	2	0
身近に手助け・手伝いをしてくれる人がいない	2	0
治安が悪くなっている	1	0
健康づくりの場や機会がない	1	0
地域の活動が活発でない	0	0
地域の活動などに参加しにくい雰囲気がある	0	0
地域内にゴミが散乱している	0	0
安全に歩くことができない道がある	0	0
特にない	0	0
その他	0	0
不明・無回答	0	17

■ 民生委員・児童委員



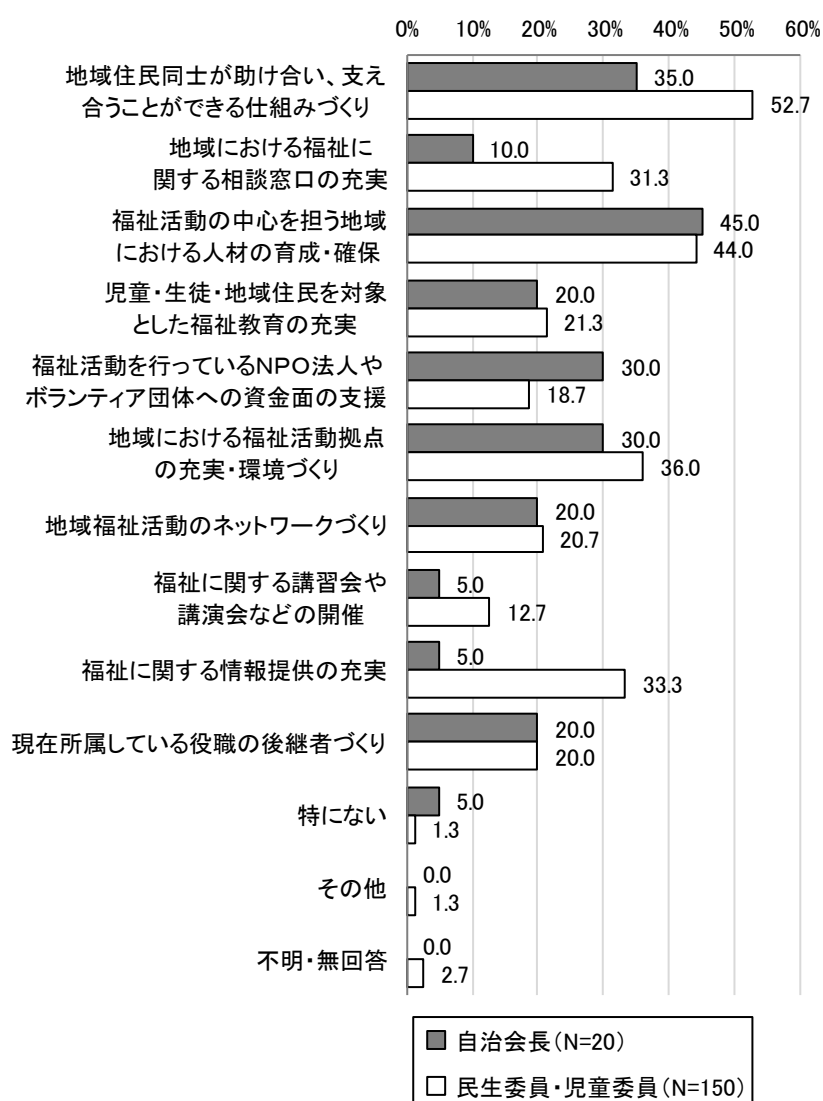
## ■地域福祉の推進のため、行政へ期待・要望すること

問 13 あなたは、地域福祉を進める上で、行政にどのようなことを期待・要望しますか。(複数回答)

行政への期待・要望は、自治会長では、「福祉活動の中心を担う地域における人材の育成・確保」が45.0%と最も多く、次いで「地域住民同士が助け合い、支え合うことができる仕組みづくり」が35.0%、「福祉活動を行っているNPO法人やボランティア団体への資金面の支援」「地域における福祉活動拠点の充実・環境づくり」が30.0%となっています。

民生委員・児童委員では、「地域住民同士が助け合い、支え合うことができる仕組みづくり」が52.7%と最も多く、次いで「福祉活動の中心を担う地域における人材の育成・確保」が44.0%、「地域における福祉活動拠点の充実・環境づくり」が36.0%となっています。「その他」では、定年者を頼りにせず働いている人・若い人を対象とした組織づくりが必要、地域の実情をより多くの市民からアンケートを取って分析し対応策を講ずべき、などとなっています。

自治会長、民生委員・児童委員ともに、地域活動の担い手や共助の推進を求める声が多くなっています。



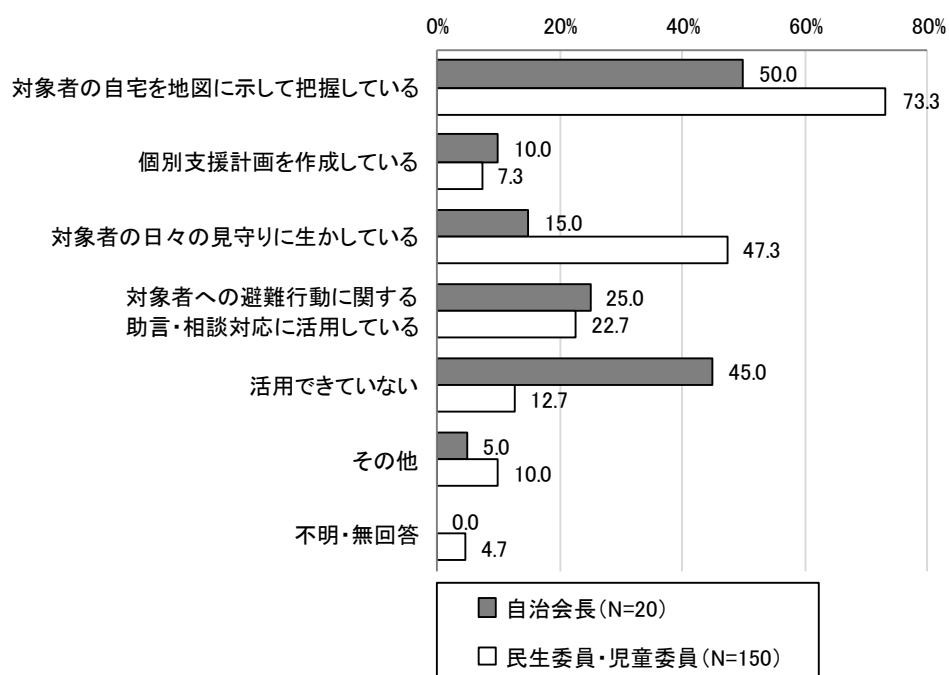
### (3) 避難行動要支援者の情報について

#### ■避難行動要支援者名簿の活用状況

問 14 災害時に自力で安全な場所に避難することが困難な高齢者や障害のある人など、いわゆる「避難行動要支援者」の安全を守るため、「避難行動要支援者名簿」を作成しています。あなたは「避難行動要支援者名簿」をどのように活用していますか。(複数回答)

「避難行動要支援者名簿」の活用については、自治会長では、「対象者の自宅を地図に示して把握している」が50.0%と最も多く、次いで「活用できていない」が45.0%、「対象者への避難行動に関する助言・相談対応に活用している」が25.0%となっており、名簿を活用している人と活用していない人に分かれています。

民生委員・児童委員では、「対象者の自宅を地図に示して把握している」が73.3%と最も多く、次いで「対象者の日々の見守りに生かしている」が47.3%、「対象者への避難行動に関する助言・相談対応に活用している」が22.7%となっています。「その他」では、自主防災会と共有して一緒に個別訪問をしている、対象者又はそのご家族の状況の把握と避難時の要望を伺っている、などとなっています。





## (4) 他団体との連携について

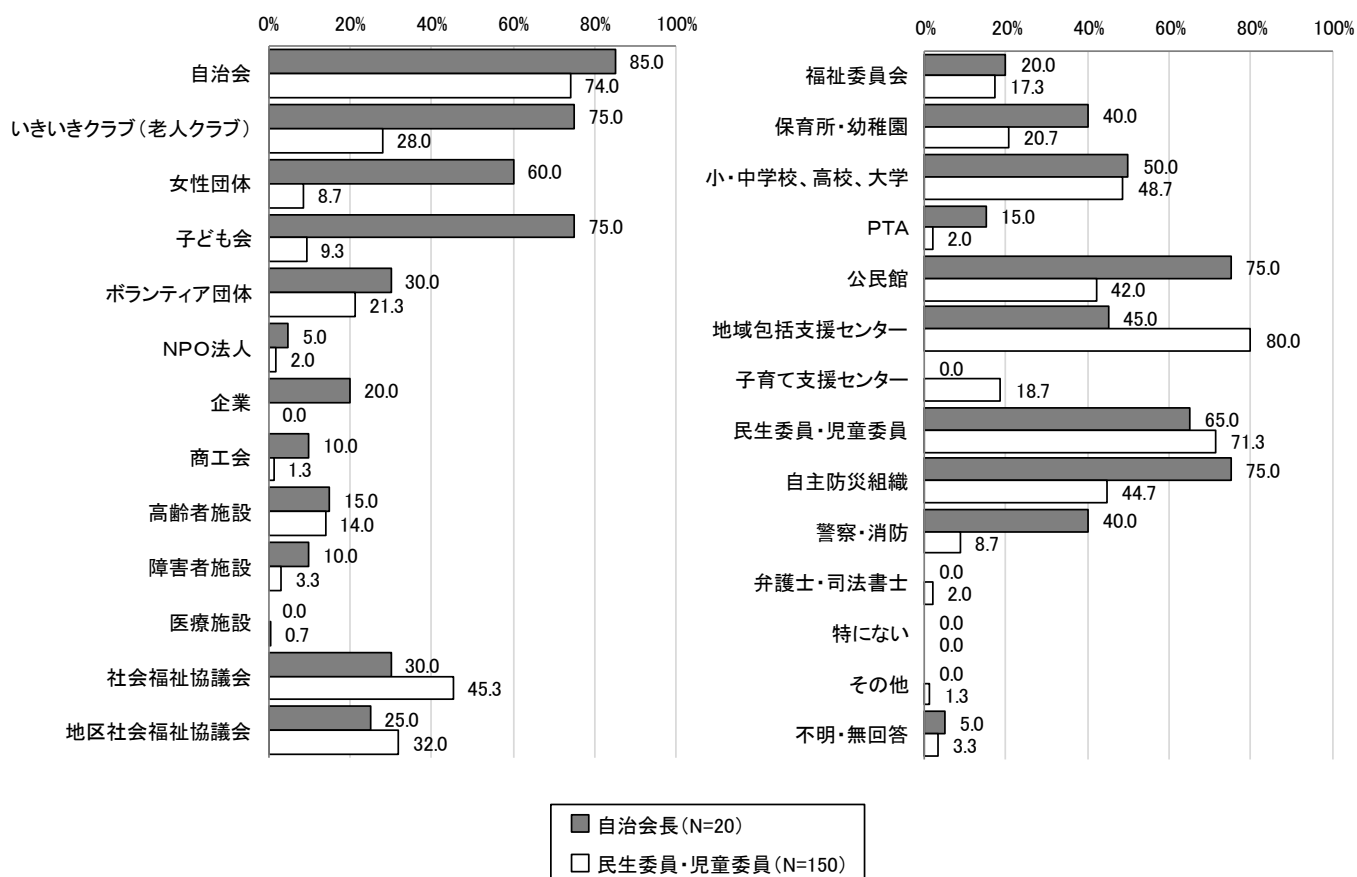
### ■他団体などとの連携の状況

問 15 あなたは、地域での活動の際に、どのような団体などと連携して活動されていますか。  
(複数回答)

連携している団体は、自治会長では、「自治会」が85.0%と最も多く、次いで「いきいきクラブ(老人クラブ)」、「子ども会」、「公民館」、「自主防災組織」が75.0%となっています。

民生委員・児童委員では、「地域包括支援センター」が80.0%と最も多く、次いで「自治会」が74.0%、「民生委員・児童委員」が71.3%となっています。「その他」では、神社、などとなっています。

自治会長は地区の住民による組織・団体との連携を持つ人が多く、民生委員・児童委員は地域包括支援センター、社会福祉協議会等の機関との連携を持つ人が自治会長よりも多くみられます。



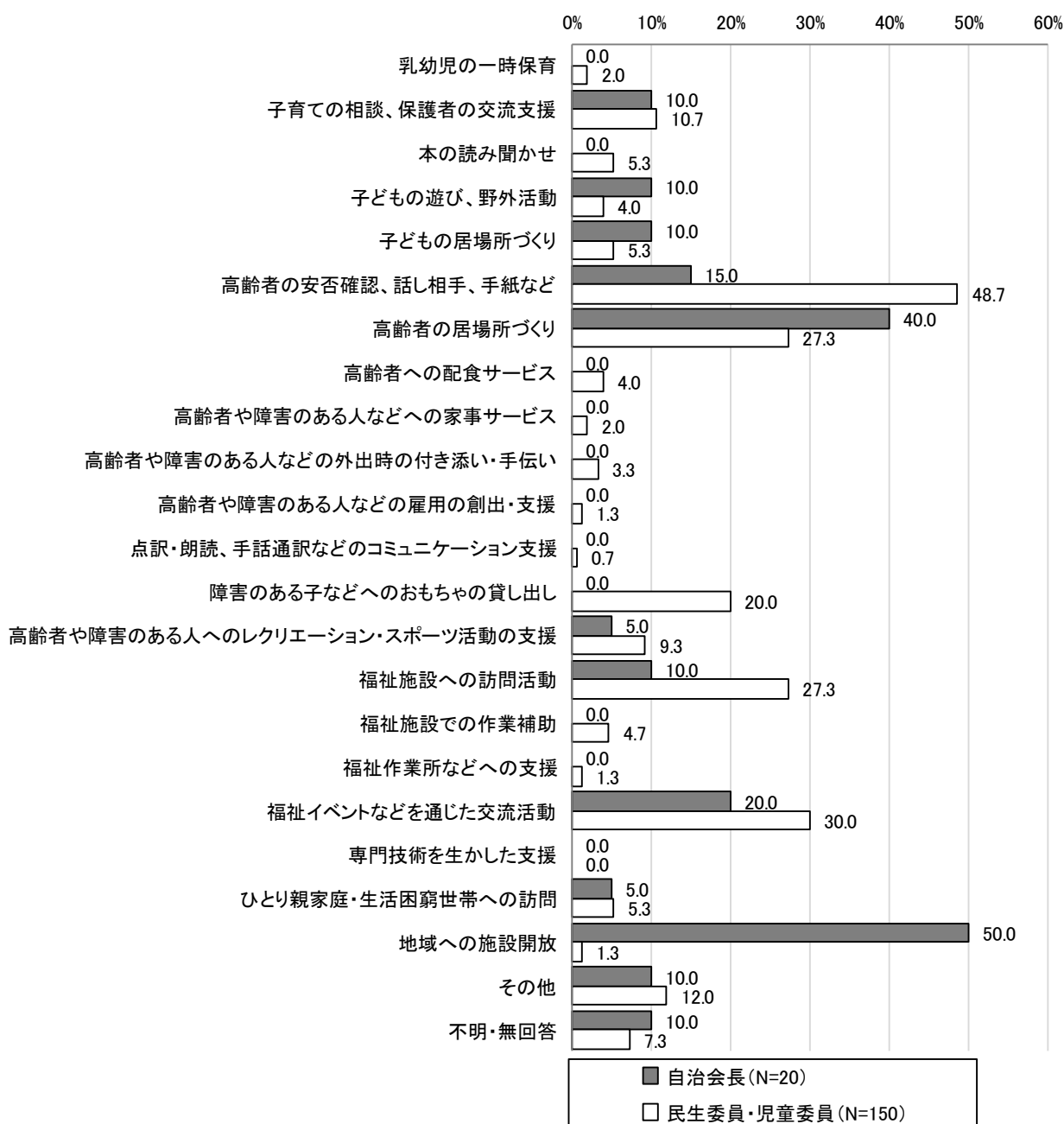
## ■他の団体などと連携して行っている活動

### 問 16 他の団体などと連携して行っている活動は、どのような活動ですか。(複数回答)

他の団体などと連携して行っている活動は、自治会長では、「地域への施設開放」が50.0%と最も多く、次いで「高齢者の居場所づくり」が40.0%、「福祉イベントなどを通じた交流活動」が20.0%となっています。「その他」では、連携はしているが会議が中心、などとなっています。

民生委員・児童委員では、「高齢者の安否確認、話し相手、手紙など」が48.7%と最も多く、次いで「福祉イベントなどを通じた交流活動」が30.0%、「高齢者の居場所づくり」「福祉施設への訪問活動」が27.3%となっています。「その他」では、小学生を対象とした見守り情報の交換、社会福祉法人のバザーボランティア、自治会、公民館行事への参加、などとなっています。

自治会長は地区内の施設の活用、民生委員・児童委員は高齢者支援や交流などの活動における連携が行われています。

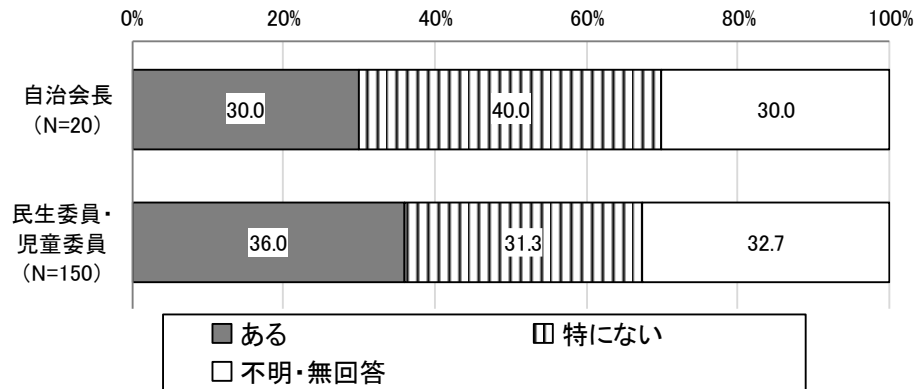


## ■ 今後連携したい組織や団体の有無

### 問 17 今後活動を行う中で連携したい組織や団体はありますか。(単数回答)

今後活動を行う中で連携したい組織や団体については、自治会長では、「特にない」が40.0%、「ある」が30.0%となっています。

民生委員・児童委員では、「ある」が36.0%、「特にない」が31.3%となっています。



## ■今後連携したい組織や団体

<問 17 で「ある」と回答した方のみお伺いしています>

### 問 18 これから連携をしたい組織や団体はどこですか。(複数回答)

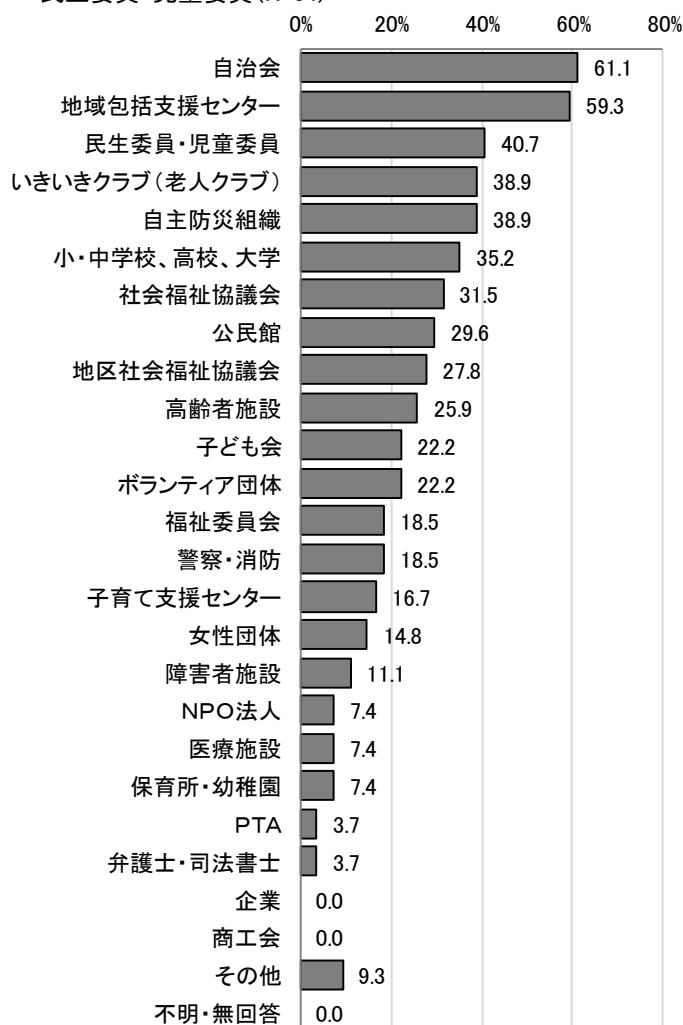
これから連携をしたい組織や団体は、自治会長では、「自主防災組織」が5件、「小・中学校、高校、大学」、「民生委員・児童委員」が4件となっています。

民生委員・児童委員では、「自治会」が61.1%と最も多く、次いで「いきいきクラブ（老人クラブ）」が59.3%、「女性団体」が40.7%となっています。「その他」では、児童相談所、お寺、などとなっています。

自治会長 (N=6)

選択肢	件数 (件)
自主防災組織	5
小・中学校、高校、大学	4
民生委員・児童委員	4
子ども会	3
公民館	3
警察・消防	3
自治会	2
いきいきクラブ	2
女性団体	2
社会福祉協議会	2
地区社会福祉協議会	2
地域包括支援センター	2
ボランティア団体	1
NPO法人	1
企業	1
商工会	1
福祉委員会	1
保育所・幼稚園	1
PTA	1
高齢者施設	0
障害者施設	0
医療施設	0
子育て支援センター	0
弁護士・司法書士	0
その他	0
不明・無回答	0

民生委員・児童委員 (N=54)



## ■他の組織や団体との連携したい内容

<問 17 で「ある」と回答した方のみお伺いしています>

問 19 問 18 の回答について、なぜその組織や団体と連携をしたいと思いますか。選択した番号と連携したい内容を記入してください。(記述回答)

自治会長からは、他の自治会や学校、自主防災組織などとの連携により、活動の充実を図る意見、民生委員・児童委員からは、自治会、地域包括支援センター、いきいきクラブ、公民館などとの連携により、高齢者や子どもなど支援が必要な人の把握、イベント時の協力などの意見がみられました。

### ○自治会長

NO.	連携先と連携したい内容
1	【小・中学校、高校、大学】地区内の小・中学校・高校・大学生は小学校（子ども会活動）を除いて接点がない。災害時に一番力となり期待できるのは、中学校・高校・大学生と考えている。組織化できれば災害時大きな戦力となり期待もてる。
2	【小・中学校、高校、大学】【自治会】現在も連携しているがより活性化したい。特に中学生ボランティアの連携。 【民生委員・児童委員】避難行動、要支援者とのコミュニケーション。
3	【小・中学校、高校、大学】各種行事のボランティア参加。 【自主防災組織】防災会=自治会への参画。 【警察・消防】防犯活動への協力。
4	【高齢者施設】施設の充実への取り組みを共に進めたい。 【自治会】【女性団体】寄付金の支援。
5	【NPO 法人】【商工会】商店街の活性化、再開発にともなうまちづくりを。 【自治会】【商工会】イベントの中心。 【自主防災組織】身近な問題であり、生命にかかわることなので。
6	【自治会】【高齢者施設】生活困窮世帯への支援要請。
7	【自治会】【いきいきクラブ】【女性団体】【子ども会】【ボランティア団体】【企業】 【小・中学校、高校、大学】【公民館】【民生委員・児童委員】【自主防災組織】【警察・消防】地域の活動（特にゴミ0、草刈り等）や防災活動への協力をお願いし、住み良い街を作りたい。
8	【自治会】地区長兼自治会長であり、地域の様子を全地区民に情報提供していく。 【自治会】【商工会】公民館は人を集める行事を多く企画しており、自治会の連絡ルートを利用して、啓発活動の推進をしていく。 【自主防災組織】自主防災組織と連携し、災害弱者への支援活動をすすめていく。
9	【自治会】【いきいきクラブ】【女性団体】【子ども会】【社会福祉協議会】【地区社会福祉協議会】【福祉委員会】【小・中学校、高校、大学】【公民館】【民生委員・児童委員】 【自主防災組織】地区のコミュニティを守るうえで各団体との連携は不可欠。
10	【警察・消防】【子ども会】老人クラブ、婦人部、子ども会の活性化を図りたい。
11	【その他（他自治会）】情報支援。万一の災害時の協力体制づくり。
12	【自治会】【女性団体】【子ども会】【保育所・幼稚園】【小・中学校、高校、大学】【地域包括支援センター】【子育て支援センター】【民生委員・児童委員】【自主防災組織】地域での活動をより活発にしたい。街づくりの補助により少しずつ進めていきたい。

## ○民生委員・児童委員

NO.	連携先と連携したい内容
1	<p>【高齢者施設】話し相手となる。            【地域包括支援センター】高齢者関連の施設の活用を推進したい。            【民生委員・児童委員】地域内での情報共有。            【自主防災組織】緊急時の対応・支援の強化。</p>
2	<p>【自治会】【いきいきクラブ】【ボランティア団体】【高齢者施設】【障害者施設】【社会福祉協議会】【地区社会福祉協議会】【保育所・幼稚園】【小・中学校、高校、大学】【公民館】【地域包括支援センター】【子育て支援センター】【自主防災組織】【警察・消防】色々な情報を共有し活動に活かしたいから。</p>
3	<p>【自治会】自治会がもっと中心になってやるべきで民生委員はその手助けをする。</p>
4	<p>【子育て支援センター】ベテランママから新米ママが相談できるような場所づくり（経験談など聞ける場所）。            【NPO 法人】食（調理実習）で子とつながる親子関係づくり。</p>
5	<p>【ボランティア団体】どのような団体があり、連携していけるか知りたいため。</p>
6	<p>【自治会】【いきいきクラブ】【女性団体】【子ども会】【ボランティア団体】【NPO 法人】【社会福祉協議会】【地区社会福祉協議会】【福祉委員会】【小・中学校、高校、大学】【公民館】【地域包括支援センター】【民生委員・児童委員】【自主防災組織】【警察・消防】地域社協の連携を高め、各組織団体との友好をさらに進める。</p>
7	<p>【自治会】地域全体を一体して把握したい。            【いきいきクラブ】常に高齢者との交流を図りたい。            【地域包括支援センター】専門性を生かして助けていただきたい、助けていただいている。            【自主防災組織】組織を理解し協力したい。</p>
8	<p>【障害者施設】【地区社会福祉協議会】【福祉委員会】【地域包括支援センター】【民生委員・児童委員】【弁護士・司法書士】担当地域における特注条件に対応するため各種知識情報を獲得したり展開していく必要を感じます。</p>
9	<p>【自治会】近所の人々がどのような環境で、家族構成なのかなど…近所つきあいの基本を…。            【小・中学校、高校、大学】地域の子供が通う学校の先生方との交流と意見交換。            【公民館】地域行事の中心となる公民館委員さんとの関わり方。            【自治会】【高齢者施設】高齢者の方より問題が生じた時に相談しようと思う。            【民生委員・児童委員】自分自身の担当で悩んだ時まず仲間に相談してから次の行動へ…。</p>
10	<p>【弁護士・司法書士】地域の老人や子どもと日常的に交流したい。</p>
11	<p>【自治会】高齢者サロンに参加したいと思う方が参加できる手段を共に考えたい。            【商工会】各ボランティアのノウハウを借りて活動内容を深めたい。            【高齢者施設】施設入所中の方のリフレッシュを図る。外との交流の機会を増加したい。</p>
12	<p>【自治会】自治会とドッキングした形で行動する。調査実践を含んで。</p>
13	<p>【いきいきクラブ】【高齢者施設】【障害者施設】参加することでどのような連携ができるかを知り活動に生かしたい。            【自主防災組織】持っている情報を自主防災組織に活かし、災害時に活用したい。</p>
14	<p>【子ども会】子供の現状を知るため。</p>
15	<p>【いきいきクラブ】単身高齢者のお宅を訪問していく時老人クラブのことを尋ねられることがあるが老人クラブとの繋がりがなく返答に困る時がある。後日調べて返事をする。老人クラブの内容、組織、地域の代表者が分かるとよい。</p>

16	【自治会】【女性団体】【社会福祉協議会】【地区社会福祉協議会】【小・中学校、高校、大学】【地域包括支援センター】【民生委員・児童委員】地区内で子ども達が安全で安心できる町づくりが必要。
17	【自治会】自治会と一緒に、見守り活動ができるとよい。 【子ども会】地域の子どもの現状を知ること、見守りに活用したい。 【自主防災組織】いざという災害の時に、動けるようにしたい。
18	現在の複数の役職で手一杯のため、特にない。現在の活動上必要が出た時は、新たな組織や団体に働きかけてゆく。
19	【いきいきクラブ】クラブの中に要支援者が多いのでクラブ自体の活動を活発化させたい。 【地域包括支援センター】その道の専門家がそろっている。
20	【自治会】【社会福祉協議会】【小・中学校、高校、大学】【地域包括支援センター】【民生委員・児童委員】現在、必要に応じて連携しており、引き続き連携していく。
21	【警察・消防】23号線の抜け道になっており、細い道等でも早朝から車の通行が多いため、不燃物の搬入も、とても危険です。子供たちの通学も、不安があります。ご協力をお願いします。
22	【自治会】【公民館】【自主防災組織】地区全体で防災に取り組み、高齢者、子ども等支援の必要な人達をみんなで助け合い、繋がりを強くしていきたい。地区の様々な行事を通して、繋がりを深め子ども達を地域全体で見守り育てていく。
23	【子ども会】【公民館】【民生委員・児童委員】子供会を通じて、問題点をさがす。解決など考える。
24	【ボランティア団体】【NPO法人】共に協力して進めたい。（力を貸して欲しい）【医療施設】知識を身に付けたい。【警察・消防】安心・安全な活動の支援を依頼したい。
25	【いきいきクラブ】高齢者の方が積極的に外出できる活動ができると良いと思う。
26	【自治会】地域の活性化。【いきいきクラブ】【企業】情報の提供【高齢者施設】現実の情報収集。【企業】【子ども会】情報の共有。【公民館】地域の活性化。【地域包括支援センター】現在の情報収集。【民生委員・児童委員】問題のアドバイス。【自主防災組織】援助の協力と。
27	【自治会】【いきいきクラブ】【地域包括支援センター】【民生委員・児童委員】【自主防災組織】地域のつながりを強くしたい。
28	【社会福祉協議会】【地域包括支援センター】【弁護士・司法書士】老々世帯やひとり暮らしの高齢者の日常生活や相続などの気軽な相談ができるように進めたい。
29	【自治会】【ボランティア団体】地域が活発でないため。（一部のみ活動している）
30	【自治会】高齢者見守り時に自治会役員と情報共有したい。 【地区社会福祉協議会】イベント開催時の協力とPR。【地域包括支援センター】高齢者見守り時の情報共有。
31	【公民館】公民館の仕事もしています。どちらを（仕事）を優先するか…。 【地域包括支援センター】地域包括支援センター関係の相談があれば支援センターへ電話してくださいと進めたいため。
32	【高齢者施設】【障害者施設】【医療施設】支援を必要とする方に勧めたい。
33	【自治会】情報交換【小・中学校、高校、大学】地域（小中学校）児童の情報把握と提供。 【地域包括支援センター】福祉サービスを受けている人（受けたい人）の状況把握と提供。 【民生委員・児童委員】情報交換

34	【自治会】自治会の各班長との連携。【高齢者施設】【障害者施設】人的な関係づくりをしたい。【地区社会福祉協議会】【地域包括支援センター】【自主防災組織】人的な関係づくり、いろいろなノウハウを学ぶ。
35	【自治会】地域の組織との連携を取りやすいのは、自治会が一番である。自治会が動いていただければ、協力できる。
36	【警察・消防】【その他（市役所）】大地震が発生した場合の安否確認方法・生死塗りつぶしはどの組織が行うのか。どこの情報が正しいのか。その正確・迅速性を確実なものにするためには連携が必要。民生委員もその活動の中に在るのでは。
37	【自治会】【警察・消防】自主防災組織を進めたい。自治会。マンションの人達との交流を進めたい。
38	【自治会】【ボランティア団体】【地域包括支援センター】【子育て支援センター】地域で孤立している母子、父子家庭があると思うがその人達への対策が十分でないと思う。そういう家庭とどうかわりをもっていくかが問題と思う。子どもの居場所づくりが不足していると思う。
39	【自治会】【いきいきクラブ】【女性団体】【子ども会】【地区社会福祉協議会】【公民館】地域の活動を充実させていくためには、地域で活動している団体の理解が必要で、みんなで、弱者といわれる「子ども、高齢者、障害のある人」の居場所づくりを進めたい。
40	【自治会】【いきいきクラブ】【女性団体】【子ども会】【地区社会福祉協議会】【保育所・幼稚園】【小・中学校、高校、大学】【公民館】【地域包括支援センター】【民生委員・児童委員】まずは、地域全体を把握し、地域の連携を揺るぎないものとするのが第一だと思います。
41	【自治会】自治会との連携は常に必要。関係地区委員との情報交換を密にしていきたい。 【自主防災組織】安否確認は災害時だけでなく、日常的に必要なのでぜひ具体的な連携をすすめていきたい。
42	【自治会】【いきいきクラブ】【女性団体】【社会福祉協議会】【公民館】【地域包括支援センター】【民生委員・児童委員】【自主防災組織】【警察・消防】地域のことに詳しい。自主防災会や自治会、老人クラブ、婦人会などは横のつながりが強く広く、情報を集めるのに役立っている。（知人や友人）【自治会】【いきいきクラブ】【女性団体】【公民館】【自主防災組織】「高齢者の安否確認」を共に進めたい。
43	【自治会】避難行動要支援の対象者把握のツールに活用したい。
44	【子ども会】子供の現状をいろいろ聞いてみたい。【ボランティア団体】どんな団体があるかわからないので知りたい。協力できることがあればしたい。
45	【自治会】【民生委員・児童委員】【商工会】【自主防災組織】共に地域に密着した行政、自治組織であり民生（福祉）に携わる者にとっては情報入手が確実であるため。【社会福祉協議会】【地区社会福祉協議会】【地域包括支援センター】民生活動においてすぐに相談、手助けしてもらえるため。
46	【高齢者施設】高齢者社会になりますので情報を多く取り入れたいと思います。
47	【自治会】【弁護士・司法書士】【商工会】多くの方が行事に参加しやすいように活動したい。【高齢者施設】【障害者施設】【社会福祉協議会】【地区社会福祉協議会】【地域包括支援センター】【子育て支援センター】知らない情報が得られて勉強する場を提案してほしい。
48	【地域包括支援センター】相談を受け適切に繋がられるようにしたい。【子育て支援センター】1人親の相談。子育ての問題について。



49	【自治会】【女性団体】【子ども会】【ボランティア団体】【企業】【社会福祉協議会】 【地区社会福祉協議会】【福祉委員会】【公民館】【子育て支援センター】【民生委員・児童委員】子育てのママ、一人住まいの動ける高齢の方々、何かをしたい方々のための場所の提供。
50	【小・中学校、高校、大学】【子育て支援センター】これからの福祉は高齢者ではなく、子供だと考えている。高齢者は現役を終えたら、その後は人生を楽しんでもらい健康に支障がでるようになったら次のステージに行くようにしていただく。限りあるマネーが有効に活用できるように世の中の仕組みをつくる。
51	【いきいきクラブ】加入者の情報提供をしていただきたい。(ex.最近、いこいの家に見えなくなったね?どうかされたのかね?)とかいう情報があると見守り、声かけがしやすいと思います。
52	【いきいきクラブ】ひとり暮らし者を親睦の場へ。【公民館】公民館・役員の各グループへの企画参加。
53	【自治会】「町内会未加入者の加入推進。」把握できない住民が増えてきているため。【公民館】「高齢者が気軽に参加できる行事を増やしたい。」【自主防災組織】【警察・消防】「避難行動要支援者の情報共有化と支援活動の強化・推進。」
54	【自治会】防災体制を整えるため。
55	【子育て支援センター】【民生委員・児童委員】あまりにもひどい家庭には行政の方と一緒に訪問したりした方がいいのでは…と思ったことがあるので。
56	【いきいきクラブ】【女性団体】【子ども会】【高齢者施設】【障害者施設】【医療施設】 【福祉委員会】【保育所・幼稚園】【PTA】【公民館】【子育て支援センター】【自主防災組織】戸別(個別)にその困りごとや状況への対応するために問15でcheckした以外で、そのケースに応じ必要となるため。閉じこもりがちの高齢者や障がい者、子育て中の親、児童への声かけ。出かける場を地域で作る、そこへのお誘いをするなど。
57	【自治会】地域活動に取り組んでいくうえで自治会の援助、協力は必要である。【いきいきクラブ】高齢者の生きがい・居場所づくりを共にすすめたい。【ボランティア団体】ボランティアメンバーとして協力しているがもう少し活動の幅を広げたい。【社会福祉協議会】 【地区社会福祉協議会】【福祉委員会】【地域包括支援センター】【自主防災組織】今まで以上に連携を深めていきたい。
58	【自治会】年1回の会合に呼ばれず、民生委員としてやりにくい。【いきいきクラブ】自分達だけ活動して、民生委員として入っていけない。【子ども会】子ども会も自分達だけ活動。民生委員として入っていけない。また、子ども会に入会しない人がいて、子どもの動きがわからない。
59	【自治会】【いきいきクラブ】【女性団体】【子ども会】【小・中学校、高校、大学】【公民館】地域全体が大きな家庭となったような交流が最も望ましい。そうするためには市民全員がある組織のもとで、「お互いを見守る」活動ができる団体(又は組織)をつくる必要がある。
60	【PTA】登下校時の見守り活動の活発化。お寺、常日頃から高齢者のたまり場として活用できたら。
61	【自治会】自治会の組・班・組織が最も身近で、力のある共助の組織であり、連携を深めることにより、充実した活動にしていきたい。(短い任期のため、継続性を重視すること)
62	【自治会】【いきいきクラブ】【女性団体】【ボランティア団体】【NPO法人】【社会福祉協議会】 【地区社会福祉協議会】【小・中学校、高校、大学】【公民館】【地域包括支援センター】 【子育て支援センター】【民生委員・児童委員】【自主防災組織】情報の共有により孤立を防ぎたい。

63	【自治会】【いきいきクラブ】親交を深め、単身高齢者以外の高齢者の方々の情報を共有したい。高齢者同士の兄弟の世帯、高齢者と単身の子の世帯等。特にマンションにお住まいの方。
64	【いきいきクラブ】まだまだ元気な年よりは大勢います。外に出たがらない年よりも大勢います。年よりが気らしく集まれる場所が近くにあれぱと思います。
65	【自治会】【いきいきクラブ】【女性団体】【子ども会】【ボランティア団体】【福祉委員会】今後の福祉委員会の進め方を決めたい。【地域包括支援センター】現在施設入所された方ですが、車をぶつけられて、住民→民生委員→包括につなげて対応が良かったので包括とは連携を取りたい。
66	【障害者施設】障害のある人たちが、そこで保護されるだけでなく、もっと生き生きと活動して明るい表情で生活できるように支援していきたい。
67	【いきいきクラブ】対象者の見守り、声かけのきっかけ。
68	【自治会】【公民館】【地域包括支援センター】高齢者の健康管理目的の活動の場を増やしたい。
69	【民生委員・児童委員】民生委員同士で情報の共有化を図り、協議し知恵を出し合いたい。
70	【地域包括支援センター】引きこもりの人とその老親が同一世帯で生活する状況が増加すると予想される中で適切な対応策を考える必要があると思われるため。【自主防災組織】災害発生時における要支援者への適切な対応策を考える必要がある。
71	【いきいきクラブ】高齢者の見守りになる。【地域包括支援センター】今後、高齢者の増加で連携が必要だと思う。
72	【その他（介護施設）】介護施設に慰問などのボランティアに行き、施設の送迎車を地域行事の高齢者送迎に使用させてもらう。
73	【自治会】【いきいきクラブ】【保育所・幼稚園】【小・中学校、高校、大学】【民生委員・児童委員】【自主防災組織】地域における福祉活動の充実のため。
74	【女性団体】【高齢者施設】少しでも家から出てもらおう前向きな高齢者増のため。
75	【自主防災組織】自主防災組織。自然災害が起きた時に高齢者・障害者の方が1人でも多く安全に避難できるように自主防災会と協力して組織づくりをしたい。
76	【子ども会】【保育所・幼稚園】高齢者と子どもが交流することで、高齢者は元気がもらえ、子どもは高齢者を知り、労る気持ちが生まれる。
77	【いきいきクラブ】【地域包括支援センター】高齢者の居場所づくりを共に進めたい。高齢になってから引越してきた人の居場所づくりに関心があります。
78	【自治会】【自主防災組織】自治会に防災組織について聞きたいです。
79	【公民館】公民館を地域の基盤としていろいろな活動を広げたい。【地域包括支援センター】サロン等で高齢者との交流を深めたい。【子育て支援センター】地域の子どもで困っている人への手助けがしたい。【自主防災組織】地域の防災力を高めたい。
80	【その他】引きこもり、不登校の子供達、特に中高生、及びそれ以上の若者達の社会参加できるような環境づくりを進めたい。
81	【自治会】【社会福祉協議会】東境には地域ボランティアが存在しない。今後、自治会、社会福祉協議会と連携し、地域ボランティアを立ち上げる方向を目指したいと思います。
82	【いきいきクラブ】【高齢者施設】担当している高齢者に、適したクラブ又は施設を紹介したい。

83	<p>【自治会】【子ども会】【ボランティア団体】【高齢者施設】【社会福祉協議会】【地区社会福祉協議会】【福祉委員会】【小・中学校、高校、大学】【地域包括支援センター】【民生委員・児童委員】【自主防災組織】地域ボランティアとして「地域での活動」は問18の項目に必要な団体と考えるため。</p>
84	<p>【子育て支援センター】子どもたちの情報を児童委員よりいただいても何も動けない…申し訳ないです…。</p>
85	<p>【公民館】公民館、色々な公民館行事に参加して、人と交流して元気に生活してもらいたい。</p>

■他の組織・団体と連携するうえで困っていること

<問 17 で「ある」と回答した方のみお伺いしています>

問 20 他の組織・団体と連携しようとするうえで困っていることがあれば教えてください。(記述回答)

自治会長からは、多忙であること、各団体との日程調整の大変さなどがあがっていました。

民生委員・児童委員からは、多忙であること、他の組織がどんな活動をしているかを知りたい、個人情報の取り扱いなどの意見がみられました。

○自治会長

・多忙である(3件)

NO.	意見
1	会議が多くなり、役を重複している場合には荷重が大きい。
2	超多忙であり手が回らずやれない。また、実務推進には協力者が必要だが、多くの方々がすでにいろいろな場で活動されており、更に新しいことはたのめない！
3	共に忙しく時間をとれない。

・調整が大変(2件)

NO.	意見
4	連携する組織があまりにも多いので、リーダーの責任分担をわける方向に進みたい。
5	年間行事において、重なる日程がある。各団体との連携を上手に進めなければならない。

・中心となって進める人物の不在(1件)

NO.	意見
6	各組織・団体等の中心となる人物が少ない。(仕事を抱えている人が多い。)

○民生委員・児童委員

・団体同士の相互理解が必要(7件)

NO.	意見
1	新しくできたマンションの人は地区の仲間に入りたがっていない。
2	どういう組織がどんな活動をしているかお互い分かっていないので、連携できない。他の組織のやっている内容を理解することが大切。
3	高齢の方は一人では動けない。バスが2時間に一本しかない。(本数を増して欲しい)新しい場所の中に入るのが難しい方が多い。
4	必要としたい団体の役員の前向きの姿勢と活動がもう一步。
5	「避難行動要支援者」の対象者が、町内会組織や自主防災組織と情報が共有化されているのか疑問。「避難勧告」や「避難指示」が出された時の町内会役員や防災組織の人達の役割・具体的な行動が明確になっているか疑問。

6	横の繋がり、縦の繋がりがない。
7	それぞれの団体と話が通じていないことが多いです。

#### ・情報の取り扱いが難しい(6件)

NO.	意見
8	安否・生死集計の現状が不明。オープンにできないか。
9	会議室の中だけの活動で満足している団体がある。マップに印をつけているだけ。現場（現実）に困っている方々の話をきかない、知らない、聞こうともしない）に足を運ばない。プライバシーの問題で、役所、包括、社協以外に話をしてよいか？どこまで連携できるのか？わからない。
10	地域でお預かりしている個人情報をどこまで守っていただけるのか心配な点があります。
11	個人情報の共有が難しい。
12	市から提供される避難行動要支援者名簿は対象者の同意を得ているとはいえ（本人が本当に内容を理解して同意しているのかという点に疑問も残る）、かなり詳細な個人情報を含んでおり、この名簿の使用は相当慎重な対応が必要と思われる。しかし、毎年自主防災組織の構成員が変更となる現在の体制のもとでは知ることができる人がどんどん増えてくるため、この名簿の使用については本当に良いのかどうか不安が生ずる。
13	民生委員として守秘義務があるので、防災会の方から個人情報を聞かれるとどこまで話していいのかわかる。個人の考え方で避難行動要支援者名簿に載っていても内容はさまざまだから…。

#### ・連携のきっかけがない(5件)

NO.	意見
14	話し合える場がない。
15	きっかけがない。わからない。
16	中々対話、相談できる機会がない。
17	きっかけをつくる、声かけ、継続的にやれる相互対話がほしい。
18	個人ではできることが限られており、踏み出せない。

#### ・忙しい(4件)

NO.	意見
19	地区への協力を大切にしたいと思っておりますが、様々な活動、行事があり、多忙な毎日です。
20	仕事や家事のため時間がない。
21	地域の団体の役員は、任期が一年と短く、また、任期中の地域などの行事で忙しく、「居場所づくり」の時間を合わせる事が難しい。
22	行事がとても多い。

・どうすれば良いかわからない(3件)

NO.	意見
23	他の組織の誰とどのように関係を持って進めればよいか、対応策が具体的に見えてこない。
24	窓口がわからない。「ワイワイガヤガヤ」して話し合う。コミュニケーションあるグループをつくって行きたい。リラックスした活動が良い。形式にとらわれない活動を希望。
25	組織や団体の場合、まずどのように相談を受けてもらえるか、その手順やルートがよく分からない。

・役員が変わる(3件)

NO.	意見
26	私の地域では、毎年自主防災組織の人が入れ変わるため、広く浅くでも関わった人員が増える良い点もあるが、組織としての向上には欠ける点もあると考えます。
27	私は、現在、民生委員、児童委員、赤十字奉仕団、保健推進員と在籍していますが、婦人部の時に刈谷市防災リーダーの講習を受講したんですが、地域での防災訓練には、何の役にも立つことができていません。毎年、自治会、公民館の役員が変わり、残念に思っております。
28	自治会委員の任期が1年で交代するため、組織としての連携が難しい。

・その他(7件)

NO.	意見
29	南部地区社会福祉協議会が充実してきた地域ニーズにあった問題を展開されている。
30	自主防災組織を立ち上げてほしい。
31	現状のままで良い。
32	個々に諸々の活動をしているので、単独ではすばらしくても、相乗効果もないし、それ自体が一部の人の活動となってしまうやすい。
33	行政・社協・自治会(地区)・刈谷市民ボランティア活動センターのいずれも相談にのっていただけるため、特に困っていることはありません。
34	もっともっと行事に積極的に参加していただく。みんな興味をもっていないのか、行事を知らないのか、大人も子供も参加してほしいです。
35	一般住民の理解度が、まだまだ低く PR 活動等が必要。

## (5) 今後の地域福祉について

### ■地域福祉の進め方、地域活動・組織のあり方

問 21 地域福祉の進め方、地域活動・組織のあり方など自由にご記入ください。(記述回答)

自治会長からは、役員の後継者問題、団体同士の連携、防災対策の推進、福祉教育の必要性、ボランティア活動の支援などについて意見がみられました。

民生委員・児童委員からは、地域活動の充実、担い手の問題、団体同士の連携、交流や地域のつながりの必要性などの意見がみられました。

#### ○自治会長

##### ・担い手に関する意見(4件)

NO.	意見
1	各団体とも後継者不足でなかなか役員を引き受けてくれないため、どうしても消極的になる。
2	今現在の実務で手一杯であり新しいことはやれない。
3	事務局(公費で)がほしい。地区委員や班長は毎年交代していくので継続的に活動できる人をお願いしているけれどなかなかうまくいかない。せめて事務員さんだけでも置きたい。
4	私たちはボランティア活動、行政は仕事として活動(差が大きい)もっとボランティア活動への資金面の援助が必要。やらされ感が非常に強くもっと気楽に楽しくできる仕組みづくりが必要である。

##### ・連携に関する意見(3件)

NO.	意見
5	個々の団体、組織単独での活動には限りがある。大同団結のコミュニティ組織が必要。
6	地域の要支援者に対する取り組みは「向こう三軒両隣」で行うべきで、地域住民に意識付けなどの教育が必要と思う。自治会、公民館等の団体は、各種活動・行事の中で、仲間意識を持たせるようなしかけを工夫すべきと思う。
7	今いろいろ活動されている役職の方々はそれぞれに大変ではあるけど、地区のため取り組んでいらっしやいます。そこに新しい活動の依頼がいくつか地区にあると、それぞれの役職を地区に任せる(地区長、自治会長)のではなく、依頼する団体が責任をもってほしい。

##### ・防災に関する意見(2件)

NO.	意見
8	地震、風水災害時における高齢者宅、体が不自由な要支援者の救出、救護の体制づくりが必要!
9	防災をからめて、防災を核にした進め方が必要となっている。

○民生委員・児童委員

・地域活動に関する意見(17件)

NO.	意見
1	今の子供達は忙しいと思いますが、若い(小さい)頃から地域活動に参加することにより、それぞれがどこの人か即座に分かり、絆を深め、ご近所付き合いがより一層円滑になるし、防犯にもなると思います。
2	福祉は、人に与えすぎること、その人にとってもよくないと思います。少し足りない位が人間として、頑張れる気がします。どんな人も、頑張って生きているので、甘えすぎではダメになります。皆の税金でまかなっていることを忘れずに活動してほしいです。
3	地域のつながりが過去より減った。私の班は14戸の家庭がいましたが、現在は6件しかない。回覧板を廻すのも6件です所以他の人とのつながりができない。地区・地域の活動の不参加が多い。
4	全国の他の市で実践されているよい例を参考にするなどしてほしい。子ども食堂などはじめ地域の子どもから高齢者も集えるような場所づくりをしてほしい。老人ばかりでなく子どもがもっと育てやすい環境を整えないと未来はないと思う。
5	無理のない、日常活動として自然にできる内容を進めることが、長続きする活動となる。
6	自分の担当の避難行動要支援者の数が多い。災害時に自分が無事かどうかわからないが、安否確認に1軒5分かかけていたら、全部把握するのに2時間はかかる。自分の担当する人々には、自助の大切さ、近所と仲良く、備蓄品の説明、家族との連絡のとり方、停電時の対応、断水時についてなど訪問時に話すネタにしている。※民生委員がすぐかけつけることはできないことを伝えている。
7	民生委員としての自覚を基に日々元気で、清潔で、親切でそれぞれの人々、それぞれの場所で誠意誠心を忘れず活動をしていきたい。75才になるまで地域活動ができればなと思います。
8	活動費を増加してほしい。例えばチラシを作製する場合チラシ代は出してほしいと思います。
9	地域福祉は自治会と連携して進めるべきことであるが、自治会は1年ごとに役員の交代があり実態把握が難しいこともある。
10	手の空いているメンバーでお茶のみサロン、気軽に集まるサロン、小物づくり、お手玉遊びと楽しめる地域になったらと考えます。なかなか難しい問題ですが…。
11	地域福祉を進めるにあたり、まずは支援が必要な人やその家族と信頼関係をしっかり持つことが必要だと思う。そのうえで、福祉の情報を呼びかけていくようにすると思う。
12	現在、福祉委員会で高齢者に対しラジオ体操・病気に対する知識の講演会等実施しているので、今後期待できると思う。
13	民生委員・児童委員及び主任児童委員への期待が高い中、委員の活動の範囲をより明確にすることが必要と思う。本来であれば活動しなければいけないのに活動していない、また、その逆もある。どこまでやらなければいけないか、判断に苦しむ。
14	地域に密着した活動を考えたい。
15	「人生最後の生きがいはボランティア」と考えると老人会(65~80才)にぜひ地域福祉活動に好きなこと、できることで参加してもらいたい。子ども会の手伝い、商店街の催し、ボランティア団体の手伝い etc。



16	「住みなれた地域でいつまでも安心して暮らせるように」参加しやすい地域活動…カラオケ、お花、マージャン等生活保護の必要な人には支援・サービスできる組織。地域全体でありさつできるように進める。
17	自分にできることから活動を進めています。日々、勉強の毎日です。

・地域活動の担い手に関する意見(10件)

NO.	意見
18	地域ケアシステムの構築が見えてこない。行政の方針が判るようにしてほしい。地区まかせではできない。行政マンが担当するようにしないと、3年で配転では、地域密着型の施策はできないと思う。
19	地域での活動は、自治会との協力が必要であると思いますが、組長さんが毎年に代わっていく中で考え方が違う場合があり、戸惑うこともある。
20	各々の役職の人が、地域の様々な活動に協力していくことが大切。組織としては地区長、公民館長、組長など前任の方々に主として地域福祉の組織中心になっていただくのが良いと思います。現職は今の仕事で忙しいので、そちらを主に行い、地域の活動に協力していくという形がいいのではと感じています。
21	何事に関しても、地域活動に参加する(男性)方々は、皆さん退職前の地位等から離れることができず、何の会議に参加しても、人の意見を聞き入れず、自分の意見を押し通す傾向にあります。全体的にまとまらず終わってしまうことが多いです。退職したら、「いち地区の住民」になり、周りとのつながりも含めて、行動、意見を出して欲しいと思っています。
22	シニアが増えている今日、もっと活動を活発にできるのでは。一部ボランティアが活動しているのみで市の協力が少ない。刈谷市は福祉の町ではないので調査(して)もよいが、今後、変化があるのか?
23	自治会(子ども会)の加入率が(協力金を納めるのをこぼむ理由にしている。)下がっている。
24	中核は地区の自治会がもっと機能してほしい。民生児童はサブで支えることはできると思うが?
25	民生委員、児童委員の後継者について思うことですが、ボランティア精神だけでは見つかりにくく、個人的には最近では活動件数も増え、負担に感じることもあり、時代とともに民生委員、児童委員そのもののあり方を考える必要があるのではないかと思います。
26	委員の方が1年で変わられてしまう。1年の活動内容がほぼ決定され、委員は当日何をしたら良いかわからない。
27	私の地域では、地区・公民館共に住民に対しての活動を活発に行っている。どの行事も参加者が多く、子供達も楽しそうに参加している。私達民生委員にも案内をいただきできるだけ参加している。幅広い層の人達と交流を持てる(話せる)場でもあるので、多くの人に声かけをしています。今、地区で問題になっているのがマンションや、住宅が増えても、それほど自治会加入世帯が増えていないことです。ひとつの理由としては、「役員になりたくない」こと、子供会も運営していくのが大変そうです。行事には参加するが「人のために頑張ろう」と思う人が少なくなったのでは…それでもまだ子育て世帯の参加はあり、つながりは持てるのですが、戦力としてほしい、50~60代の人材の確保がむずかしい。

・連携に関する意見(10件)

NO.	意見
28	現在行なわれている活動を活かして協力していきたい。
29	老人クラブへの情報提供。自治会、公民館、婦人会、子ども会、防災会等各団体のネットワークづくりと協力体制。組、班長への防災教育の充実。
30	西部地域は、現在自治会と市民館活動が表面では協力し合っているが何か別々に活動している。一本化して協力し合えば良くなると思う。
31	地域福祉を進め、充実させていくためには、地域の現状を把握することができる「寿会、婦人会、子ども会」の人たちの協力が絶対だと思います。それぞれの会の人々の交流がスムーズに行える活動が必要ではないかと思ひます。
32	保健師による赤ちゃん訪問などは行われていると思うが、そこで問題があった子ども（赤ちゃん）や気になる母親の情報が民生、児童委員（主任児童委員）に伝わるのがなく、見守り等が行われない現状である。実際に訪問に同行することになるとかなり負担となるが、見守りが必要な家庭の情報がいただければ、それに協力することは可能である。虐待を防ぐことにもつながるのではないか。
33	現在の活動の中では、様々な団体や組織に関わりながら、進めさせていただいています。地区社協や包括支援センターは、1番身近に地域福祉が進められてとても有り難い組織です。今後も宜しくお願いします。
34	自治会と福祉活動を行っていききたい。学校・行政（子育て）からは個人情報保護で、なかなか、情報を得ることができないのが、残念です。
35	地域福祉を進めるには民生委員・児童委員活動を更に幅を広げ活性化するとよいと思ひます。現在の民生委員児童委員活動はその必要性からとは思ひますが高齢者福祉に片寄っており、生活保護、児童福祉、障害者福祉などは行政から提供される情報が少ないため、それぞれの担当区域内の対象者の把握が十分できておらず活動自体もあまりできていないと思ひれます。民生委員・児童委員が市の担当者とそれぞれの分野で連絡を取ること少ないと思ひます。現在は個人情報保護が重視されていることから行政における対応も難しいと思ひれます。できる最大限の範囲内で行政からの情報提供をすることに努め、福祉全般の範囲で民生委員・児童委員との連携を深め民生委員・児童委員の活用を進めると良いと思ひます。
36	はつらつサポーターの方のポイント30分一つとはわかっていますが時間のことが気になります。地域での独居や老夫婦の方の世帯への訪問など協力して下さったら助かります。
37	民生委員、児童委員という立場なので組織や団体と協力していかなければと思ひています。その反面、自身に家庭もあり、仕事ももっているため、時間も余裕もない状態です。住民ひとりひとりが意識を持ち、助け合いのできる地域になると良いと思ひています。

・交流に関する意見(7件)

NO.	意見
38	自治会、役員、老人クラブ、婦人会、民生委員の交流会をする。
39	地区長さんとは、お話をしたことがあります。地区委員さんとは、お話をしたことはありません。力をお借りしたい時があるかもしれないので、自分の担当地区の委員さんとの交流を持ちたいと思ひます。
40	他人と話しをするのが苦手な人がいると、こまることがある。そこの所をうまく引き出して話しが進むようになるとうれいね！身障者などとの交流の場では、相手の痛みをわかってあげて自分ならどうすればと考え、相手にわかってもらえるようにした時はホッとするね！

41	1. 班ごと（組だと大きすぎる？）で昔の寄り合いを行いお互いの交流を深める。それを少しずつ組や、地区でのつながりを持つ。2. お互いお助け隊。地区ごとに全員募り、全員同志のお困りごとを、それができる人が来て解決してあげる。お互い困った時に補てんでできるので便利。
42	昔あった「向う3軒両隣り」の仕組みの復活を図る。今はゴミゼロ日の一斉清掃、回覧板の廻しくらいしか、隣りとのかかわりがなくなっている。隣り同士が協力し合い、コミュニケーションを図るための仕掛けづくりをする。
43	公民館・町内全体では難しいが、組内の班長等の交流で意見交換ができたらなあ。
44	自治会、婦人会、子ども会等が一同に会して、地域福祉について、学ぶ（話し合う）機会をまず、作る必要がある。

#### ・防災に関する意見(6件)

NO.	意見
45	災害時における支援のあり方、協力の方法、組織づくり等に課題があるように思う。地域の防災についてまだまだ知識不足もあるが、誰とどのように協力して動けばよいのかと不安に。また、支援が必要な方の詳細な避難計画を把握していないと適切な支援もできないのではないかと、先頃の台風時における避難指示発令を身近に体験し、あれこれ考えてしまった。個人情報をもつことでもあるが、共有できる範囲を広げ、その中で、自分自身の民生委員としてできることは何か考えたい。
46	防災時に高齢者の安全を確保できるように近所の方に存在を知ってもらうことも大切だと思う。
47	“自治会”とは何か。避難所運営を自治会が防災会にまかせるとは何か。住民全員、全家族がなぜ自治会に入らないのか。全て形骸化しているのではないのでしょうか。※この5年の活動で単身高齢者が息子の所へ転居したのは1人のみ。呼び寄せた息子、ついていった本人を当り前とたたえたい。
48	町内の防災体制について実行性を検証する必要がある。近く防災訓練があるため、徐々に、良いものになっていくことと思う。
49	問14に関する件で民生委員として具体的な事項でどこまで行動すれば良いか悩みがあります。具体例、台風の時など「避難準備情報」が発令された時、高齢者にどのような対応をすれば良いか。シルバーカー、ツエについて行動する人達に雨ふりの中避難した方が良いですよ、とアナウンスは心情としてできないと考える。（2次被害が心配）民生委員の研修会等で統一的な話ができませんでしょうか。※今年8月情報が発令された時、避難所が開設されているか問いかけがあった時はケーブルテレビのキャッチをみて開設されていますよと話をしたことがあります。特に自分から進んで情報提供はしていない。問いかけがあれば答える程度。
50	「地域力の強化で地域住民の福祉に答える」自主防災会員は、地区委員の兼務で任期が1年である。継続性がない組織で発展性がない。地区委員のOBが自主防災会の委員となり、任期を複数年とし各組OB2～3人が主力となれば、地域や家族を良く知り、非常時の行動力が強くなる。福祉委員会も同様に、地域に居る良く知った委員が主力となり、関係団体の協力を仰ぎ進めれば、地域住民が安心、安全となり、住民福祉につながる。（福祉委員の位置づけが、規則等で必要）

・要支援者の把握に関する意見(4件)

NO.	意見
51	困っている人の早期発見には、近隣からの情報が必要と思うが隣り近所の関係が疎遠となっており、また、プライバシーの問題もあり、聞き出すのも難しくなっている。住民同士の関係性を良くする活動が必要と思う。あいさつ、声かけ！
52	本当に困っている人とは？これが難しい。なかなか本音を聞き出せない。聞きだしたからといって親身になって俗にいう“寄り添う”ことが具体的にできるかはなはだ疑問。困ったもんだ！答えを模索中。
53	細やかに個々に（戸々）へ対応していくために、まず相談へ行ける窓口、そしてそこから必要な支援を考える場（人）それを依頼する先を系統つけつけていきつながりを広げていくことが大事かと思えます。
54	高齢者や障害者、児童などの社会的弱者（言葉は悪いが…）を周りが支えて健全な生活を送るのが理想だが、人+物+金のほかに時間（仕事をしている人は福祉活動に時間をかけられない）や弱者のプライバシーの問題が大きな壁として立ちはだかっている。そのため、弱者の要望や困り事、心配など本音が知りたいし、周りの人々も社会福祉に対する考え方や協力度について情報発信できるか知りたい。やり方として、アンケート or 聞き込み、地区限定、ほか、アパート、マンション等はどうするのか、十分考えて決めなければならないと思う。（世論調査の例が良いとは思いますが、単なる調査のみで終わってしまうとマズイ。これにより、要望や問題点を抽出して、福祉活動、組織、体制として改める点や強化点を対応して行くべきと考える。）

・福祉教育に関する意見(4件)

NO.	意見
55	地域福祉は、小さい時から“やれることをやる”という精神が育まれるように、地域の活動に親とともに参加できるように働きかける。要支援者に偏見を持たないように、正しく接することを親が示すことで特別なことではないことになじませる。
56	自分も含め、現在身内に頼るより福祉の手を借りる方が多いと思う。血縁関係ストレスが溜まるが、そちらの手をできるだけ借りられるように持っていかないと福祉財政は大変になると思う。人の心、人を思う心を育てる教育を進めないと…便利、快適な暮らしは望む所だが、少しの不自由さや我慢もできる教育も必要だと思う。
57	50 才になったら市民を対象に福祉講習会を開催してほしい。
58	民生委員としては、行政・社協のご指導の下に地域にとけこんだ活動を目標としたい。そのためには、個々のスキルアップを必要と考えますので、研修会等には、積極的に参加したいと思えます。

・情報の発信・取り扱いに関する意見(4件)

NO.	意見
59	地域の方がわかりやすく安心して住め、助け合うことができればと思います。地域を知ってもらう広報活動。
60	自治会、公民館役員および町内会役員、いきいきクラブ役員等にもその地区の高齢者・障害者等の情報は共有化しても良いのでは。民生委員だけでは動けないことや支援できない時代がやってくる。（対象者がますます多くなるため）

61	守秘義務。私は12月の伝達式の前の11月に義兄（兄嫁）が民生委員を受けることを知っていて、義弟、妹にも話をしてしまい、不快でした。義母（当時99才）の介護をめぐり、兄弟で話し合う時点だったので、誰が話したのか？兄嫁が長く在籍していた民生委員と仲が良く、辞められる年でしたので解放的になったのでしょうか？私は隣の地区のその人と面識がありませんでした。守って欲しい。
62	連携が必要だと思いますが守秘義務がかかかってきます。

#### ・その他の意見(4件)

NO.	意見
63	高齢者が免許証を返納されると移動手段がなくなり、外出することを控え、家で過ごす生活が中心となってしまいます。気軽に外に出てイキイキ楽しめるそんなことができないか。避難行動要支援者名簿の活用方法、具体的に検討すべきではないか。（平常時、震災発生時）公共施設連絡バスの充実。（運行本数の増便、新規停留所の設置）近くにスーパーがなくなり買い物するのが大変である。
64	包括支援センターが有機的な活動をされているので大変有難いと思う。
65	地域福祉の組織ができ、活動されていますが、活動内容の紹介などを見ると、以前から、自治会・老人クラブ・ボランティアグループなどで実施されていたものがあると思われます。それぞれのイベントにふさわしい組織を行えば良く、必ずしも地域福祉の組織でやる必要はないのではないかと思います。（地域福祉でやるのはどうゆうものか？）実績づくりや色々なグループとの連携かと思いますが、原点である福祉サービスを必要とする地域住民の課題に対応するものであって良いのではないかと思います。
66	本アンケートは自治会長と民生委員、児童委員の二者であり、十分な意識調査とは言えないと思う。20代、30代、40代～と年代別により多くの市民からアンケートすべきではと思う。そのうえで何ができるかを考えるべきと思う。

■地域福祉を進める上で必要だと思ふ取り組み、見聞きした取り組み、今後取り組みたいこと

問 22 みんなで助け合い・支え合える地域をつくるために、必要だと思ふ取り組み、見聞きしたことがある取り組み、今後あなたが取り組んでみたいことなどあれば教えてください。

(記述回答)

自治会長からは、あいさつの大切さ、高齢者の居場所づくり、組織・年間行事・連携事業の見直し、地域の情報交換や共有に関する意見がみられました。

民生委員・児童委員からは、声かけ、防災訓練、イベント等を通じた交流の場、困りごとを抱えた人に対する取り組みの難しさ、自治会の活性化の必要性などの意見がみられました。

○自治会長

・交流に関する意見(3件)

NO.	意見
1	子どもから高齢者まで気楽に挨拶できていろいろなことで話し合いができる人になりたい。まずはあいさつが一番ではないか！
2	高齢者の居場所づくり（高齢者が参加できる事業づくり）。
3	地区で、現在みんなで参加できる施設が一か所しかなくそれもはっこにある。できれば四か所くらい集合所があればみんなで会話をし、情報交換をする、いろいろな活動を通して助け合い支え合える地区になると思います。取り組み以前のことですいません。

・地域での活動に関する意見(2件)

NO.	意見
4	各団体の組織の見直し、年間行事の見直し、連携事業の拾い出し etc。
5	単年度の任期のため、そこまで考える余裕がありません。理想論だけではやっていけません。

・その他の意見(3件)

NO.	意見
6	地区でどんなことに取り組んでいるかという情報を自治会員でないと得る機会が少ない。そのため自治会の存在意義が弱まることにもなってしまう。自治会員以外の方々に、どのように地域の情報を伝えていくかを考えたい。
7	「あいさついっぱい花いっぱい」運動を進めてきた。「助け合い支え合える地域づくり」のスローガンを地区だよりに掲載して（連続して）意識付けを図っていく。
8	新しいことはやれない。

○民生委員・児童委員

・交流に関する意見(19件)

NO.	意見
1	1. 声かけ運動の推進。2. 地域内のコミュニケーションの活性化の推進。
2	1. あいさつ運動（顔を見たら必ずアイサツをする）。
3	お年寄りが気軽に足を運べる場所を作りたい、保持したい、現在進行している取り組みをあたたく見守り協力していきたい。無理のない取り組みを常としていきたい。
4	近くの公園での体操、お寺を会場とするおしゃべり会やサロン等々、すでに取り組みが始まっている。家にとじこもらず、一歩外に出る機会を作る。元気なうちからそうした場に参加し、顔見知りを作ることが大事と思う。遠くまで行かなくても地域のどこかで、気軽に足を運べる場所。そしてそこで活動する人材の確保も必要。月に1回程度開くサロンは興味あり。互いに負担のないサロンができないものか。
5	自主防災の活動は、地域に住んでいる方との交流ともなり、顔見知りとなる良い活動の一つであると思います。高齢者に限らず、若い世帯の方々とも交流が広がると良いですね。
6	男性の独居高齢者は、地域活動や、交流会に参加しない人が多いので孤立しがちです。地域活動や、交流会に参加し、地域の仲間とお茶をしたり、話をして、楽しい毎日を過ごしてもらいたいと思います。どうしたら独居男性高齢者が一人でも多く参加してくれるかを考えたいと思います。
7	高齢者が散歩しながらお茶を飲んだり、語り合える場があると良いと思います。そこで、回想話しや、ゲームや、小さなイベントや、テーマを作って皆で考えたり、語り合えると良いと思います。
8	地域で色々イベントがありますが、学生達と一緒に何かできることがあるといいと思います。
9	みんなで助け合い、支え合える地域をつくるためにはやはり、顔と顔の合う、関係づくりが必要であると思います。具体的に取り組みたい活動があるわけではないが、異年齢の人々の集い合う場所づくりをしたいと思っています。
10	茶話会やサロン等気軽に集まれる場所を多くつくる。
11	地域の市民館等の子育ての支援の活動はできるが、もっと小さく、各集会所等で地域の子供達を集めて、ママ達の交流を図ることをしたいなと思います。それには、PR方法、また、地区の地区委員の応援も必要となります。日にちを決めてあちこちの集会所を回ることができたら、メンバー等の増員等をして子育てサロンを多く作りママ達の場所づくりができたかと考えます。
12	昨今、ご近所の付き合いがなくなり、隣りの人さえ、顔を合わすことが少ない状態で地域を支え合うというのは、すごく大変なことだと思います。昔のように井戸端会議といって、あちこちで立ち話しをする光景が見られず、また、情報を共有することも、プライバシーという壁で遮られます。地区の役員になれば、その時は頑張ることもできますが、それも時間が経てば、また元に戻るような気がします。ご近所又は地域ぐるみで、何かをするという取り組みがあれば自然と顔なじみになるかと思えます。その何かが問題で、地区の行事に参加する人も少なく、出てくる人は、いつもの顔触れです。1年に1回の道掃除は全員参加ですので、ここから何かヒントを得て、少しでも多くの方と顔なじみになればと思います。
13	地域に知り合いが、まだ少ないため、多くの行事に参加し地区の方と繋がりを作って行きたいと思っています。
14	お茶を飲みながらワイワイガヤガヤ世間話のできる小規模な施設があれば昔のような井戸端会議が復活するのではないかと。

15	みんなで助け合い・支え合える地域をつくるために必要な取り組みは皆が参加できるように内容等でハードルを下げる。組毎の交流がないので組毎の交流ができ意見を言える環境があればいいのかな？※まずは組の班長間・町内間の交流ができたらなあ！
16	隣近所ぐらいいは、あいさつが出きる関係であれば良いと思う。あいさつから広げていければと思います。
17	年多くなると、阻害されやすいが、年少者よりのパワーもらえると体の内より出てくる力、それが健康寿命を伸ばせると思う。年重ねると子供の痛声に障ることもあるので一概には言えない所もあるが、老・幼施設近く又は一緒にの所があればと思う。保・幼の管轄の違いがあるように方向は同じなのに縦割り福祉に対しても同じようなことが…行政の見直しも必要なのでは…。デイサービス（高齢者施設）利用者は自身でできることにはなるべく手を貸さず、また、利用者が利用者に手を貸せることがあれば手を貸してもらおうようなになれば…。デイサービス、高齢者施設でそこでのみ使える通貨を作り、ゲームの勝負に力を入れるようにしたり手にした通貨を使い自分のできないことをやってもらったらその通貨を使用。手を貸した分には対価（施設取り決め料作成）をもらいつつも頭を使えるように、また、その施設での役割を持たせ、自分自身の居場所、責任（自分だからできる、自分が居なければ…の生き甲斐を持ってもらえるように）負担にならない程の小さなことをやってもらっていました。皆生き生きしておられました。自分の義父母、また、実父母の世話当り前で世話してもらっても“ありがとう”なかなか言えず、心の疲労増しますが、世話人近くの同じような世話の要る方の所へ世話人の交換をすれば、お互いが気遣い、お礼が言え…また、その世話にお互いがお礼を払えば、ヘルパーさんも減り同じ世話にも笑顔が見せられるのでは…と無理・不可能なこととは思いますが、発想転換も有りかと（責任資格が…問題有りですが、持ちつ持たれつ的心育てる教育も必要かと思っています。）
18	高齢者・小学生の対象だけでなく、広く地域の方々との交流をめざしたいと思います。
19	高齢者の人で比較的元気な人たちが集まれて公民館などで体操、卓球、お話会などそんな場があると良いと思います。

#### ・地域での活動に関する意見(15件)

NO.	意見
20	地域全体で挨拶運動をする。ノボリを立て、PRして、皆をまきこむ。趣味で活動している、クラブを紹介して、入会者を募集する。
21	学校区、刈谷市北部という地区を越えた地域での活動でないと、自分の地区（地域）の問題や解決は見つからないと思う。福祉、防災の分野をその視点で活動したい。
22	安城の地区では、担当の民生委員だけで、多くの独居老人、老々世帯の見守りを行うのは大変。近所の方々が、自分の近くの高齢者などに声かけ見守りを行っているとのこと。防災についても、隣近所（町内の組や班）で自分の地域を守っていく、という意識を高めることが大切だと思います。今後も、地区の行事、活動を通して、繋がりを強くしていけたらと思います。
23	地域包括支援センターの拡充。母・父家庭への援助の拡充。
24	私は相手が「この人に会えて良かった」「嬉しい」「楽しい」等と思ってくだされば最高です。この最高になるよう、努めているつもりです。これが人のつながりになり輪になればさらに良し！
25	高浜市の“ポッポ”のような、サービスを提供する場所で地域券（サービスを提供した人に与えられるチケット）が使えるような場所があるといい。お互いに支え合っているという意識が育っていけると思う。



26	1. 高齢者自宅から、地域市民館等に参加していただくようにすること。そのために皆さんの興味がある趣味・特技をアンケートし、皆さんと話し合っって企画して参加を促す。2. 足・腰の悪い方には、自宅まで出前サロンを行う。私は今後地域活動に参加したいと思います。
27	自治会（子ども会）の活動資金の補助。地域コミュニティの活動場所の整備。
28	今後は、高齢化が進み、いろいろな問題が出てくると思われませんが、高齢者といえども、まだ、まだ元気な人達が、たくさん居られます。その人達に地域活動に参加していただければいろいろな知恵を教えてもらい、少しでも住みやすい、地域ができればと思います。
29	地域、一人一人が、地域活動に感心を持ち協力、参加しやすい活動、組織になればと思います。
30	自治会の活性化。現在の活動は年間行事の消化が目立つように思われる。団体が大きい。小学校区単位で活動の小廻りができる。自治会長、地区委員は重要な役割と思うが輪番制でむりやり担当している…役員は大変だというイメージから、本来の取り組みが疎かになる。1件1件の家の集まりが自治会であるように1件1件に必要な活動ができる体制。年間行事の多さには、役員も担当するのはいやがるほど。本当に必要な行事は何か分かれればと思う。
31	地域資源の活用を考える。
32	高齢者の活動にかかわっていました。その際に感じたことは若い時（50代後半くらい）から何らかの活動に参加があると高齢になって様々な行事、活動等への出席率が高くなるのかも…その年代で何らかのつながりができる活動があると良い。
33	南大高で「お互い様の助け合い」みたいな活動をしていると思います。お互いお助け隊（地区ごとに全員募り、全員同志のお困りごとを、それができる人が来て解決してあげる。お互い困った時に補てんでできるので便利）のような活動です。
34	民生委員の卒業生が地区社協に参加しやすくしたい。

・困りごとを抱えた人を支援することに関する意見(6件)

NO.	意見
35	最近団体が立ち上がりましたが18才以上の引きこもり等の支援。
36	高齢者、単身世帯などでどこまで介入していいのか？迷いがあるのでどういう取り組みをしたら当事者のためになるのか今は試行錯誤の状況です。高齢者や子育て世代の人たちがどんな思いを持っているのかを知ることができればと思います。
37	ある家庭を訪問した時、生活が本当に苦しいことが想像され、自分の持ち合わせの玄米があり、差し上げようと思ったが、今の所躊躇しているがどうしたものかな？
38	他町の方を引き受けておりますが、なかなか踏み込めないのが実情です。実態調査でお邪魔しても、ゴミが！と思っても、本人より、困っていない…と言われれば、それ以上は言えませんし…。
39	避難行動要支援者情報の記入をして役所に提出して、自分たちは優先して助けてもらえると考えている人が多い。まずは、自助、共助、最後に公助、と、訪問する度伝えている。民生委員だけでなく地区の役員、組長も、要支援の家庭の訪問をしてほしいと思う。自主防災の組織がないと、民生委員のみが動いているのではないかと思う。皆で協力して助け合えるとよい。地区役員は毎年交替していくので、情報管理が難しい。自治会、子供会、老人会に加入してほしい。友人がいない、ゴミ捨てが大変など、寂しいと口にする人が自治会や老人会に入っていない人が多い。（役員になるのがイヤ。会費がはらえない等）
40	障害を持つ方たちのための施設で、職員の人手不足や、どう関わっていいのか知識情報不足のため、ただその場で預かっているだけという様子を見聞き残念に思いました。利用する仲間たちに少しでも生活力や生きがいを持ってもらえるようにどのような活動が日々の生活の中に組み込めるか一緒に考え、支援していきたいと願っております。

・防災活動に関する意見(6件)

NO.	意見
41	地域の防災訓練は他人事とは思わずにまずは参加し、今の自分の体力・能力を知り次の行動に生かす。今年の台風では、高年者避難が出ましたが、その時点では、誰しもが、避難不可能の状態でした。今後は必ず被害が予想される時には誰もが余裕を持って行動できる時間帯に避難所の開設をし誘導して欲しい。また、高年者・障害者等は遠い避難所ではなく、まずは近くの公民館（畳がある）等が望ましいと思います。自治会、自主防災会関係者だけの参加訓練ではなく、訓練時に高年者、ひとり暮らし、父母子家庭等に声掛けし早目の避難の大切なことを、知って欲しいと思います。
42	災害が発生して避難の必要が生じた場合、「避難行動要支援者」のうち誰を誰が責任を持って対応していくのか良く分かりません。（自分だけ知らないのか分かりません）もし明確になっていなければ、いざという時に行動できる体制づくりが必要ではないかと思ひます。
43	個人情報の問題はあると思うが、近所にどのような人が住んでいるか、しっかり知っておく。災害が起こった時などすぐに行動をおこせるようなマニュアルづくりをする。
44	自主防災組織の充実と具体的活動の明確化。
45	避難行動について下記疑問あり。1. 避難場所は何を根拠に選定されているか。（避難場所に行く途中が低地でむしろ危険なケースあり）2. 隣同士で避難場所が異なる場合あり。（助け合うことが可能か）統一すべきではないか。
46	平成23年度より地区の防災会が立ち上がり、組長さんからの提案で防災マップづくりを始めた。町の施設や危険箇所等には防犯パトロールの人にも協力をしてもらった。私達民生委員は避難行動要支援者の落とし込みをした。（個人情報の問題もあるので町ごとに）地区が大きいために10種類30部以上のマップができる。地区役員前組長、今年度組長、民生委員とで50名ほどの人で毎年更新している。地区役員さんとも交流の場が持て、多くの情報を得ることができます。災害時の安否確認は民生委員だけでは、早い対応ができません。自治会の協力が得られることはとても有り難いと思ひます。お助け支援者（看護師・介護士・大工）等の人材把握、班の集合場所の記入など、徐々に充実してきました。更新前に各組長さんの町歩きと努力のおかげです。小さな単位での防災会も立ち上がり、班長さんによる高齢者（75才以上）幼児（3才以下）の把握も毎年行うようになり、少しずつお隣り同士の支え合い、助け合える関係ができてきたように思っています。

・情報の発信・取り扱いに関する意見(5件)

NO.	意見
47	老人・障害者の方々ができる町づくりのために、住民が気づかひのできる場所等の提供及びPR活動。
48	市内の自治会でよくやっている自治会の取り組みを知りたいが…。
49	自治会・組長・班長・住民。定期的な会議。顔合わせのチャンス有り。年1回のその年だけの顔合せ。他のチャンスは“都合”優先。決まったことの伝達。回覧板のみ。未加入住民、市の広報のみ。市・自治会に改善をゆだねろ！※班内での情報・意見交換の場を設けること。福祉にも目が廻る！※助けるよりも自分の命の設計が必要。
50	健康で長寿を過ごせるためのさまざまな企画を市と連携し、模索しながら、これからの高齢化社会に真剣に取り組んでいくことの必要性を感じます。行政の方には、他県、他市の取り組み等の情報をできるだけ多く集めていただき検討して下さることをお願いします。

51	近所付き合いが希薄になってきている要因の1つに、表札のない家や世帯主しか書かれていない自治会名簿など、個人情報保護の考え方がいき過ぎて伝わっている面もあると思います。そのため、例えば、家には表札を出すようにするとか、自治会名簿には住んでいる人全員を書くようにしてほしいなどといった基本的なことについても、市からの広報活動があっても良いのではないのでしょうか。
----	---

・地域の中の見守りに関する意見(3件)

NO.	意見
52	地域の大人と子供達が共に考え楽しめる行事で思いやり、声かけ運動。小学生の登校時、子供が危険な時に遭遇しそれをきっかけに、身守り活動を善意で続けてくださる高齢者、子供達の安全のため公園の清掃活動をされている高齢者。
53	認知症の方の見守り、昼間の独居の見守り。
54	私の母は70才代で、他県で1人暮らしをしています。民生委員さんの見守りももちろんありますが、それとは別に町内の近所の方を1人見守ってくださる方として登録して連携を取るようになっているそうです。

・連携に関する意見(2件)

NO.	意見
55	地域の福祉委員会での情報の連絡、連携の強化。
56	地域で気にかかる人の情報収集が難しいと思うので、幼・小・中のPTA会長、副会長、婦人会役員らの方の声が聞ける場を組織的に作る必要があると思う。地域の地区委員がもっと地域のことを知り、地域の活動に積極的にかかわれるようになると、地域で支え合えるようになると思う。

・生活環境に関する意見(2件)

NO.	意見
57	買物あるいは外出・通院のための移動に対しての支援等を取り組みたい。
58	身近な商店が閉店して買い物が不便になったが、移動販売が来てくれるので助かっていると聞いた。軽いものはバス等で買い物できるが、重いものや日用雑貨(トイレトペーパーBoxティッシュ)でかさばるものなど移動販売がとても役立っていると近隣の方から聞き、今後、広まるのかなと思う。

・その他の意見(5件)

NO.	意見
59	「取り組み」よりも民生委員と奉仕活動のうちから1.無学、貧人の自らを過去に接触した無数の方々より人間本来の生き方を教えていただいたこと。2.自分自身のあらゆる「愚かさ」をその方々より教えていただくことができ3.新しい真人間?に自己を覚醒していただいた日々の活動に衷心より感謝しています。
60	自分のできる範囲でボランティアがもっとしやすい仕組みをつくる。いろいろな団体の横のつながりを取りやすくする。高齢者施設や一人暮らしの高齢者宅にボランティアで参加したらポイントがたまり将来自分が介護を受けるようになったら使える等工夫する。
61	民生委員1期目で日々の活動に追われ、今後の取り組み等アイデアが出せないのが現状です。

62	まだまだ手探り状態です。
63	市職員自らが自治会長、民生委員児童委員と同行するなどして、実情を知ることが必要ではないかと思う。まず現状把握をすることが大事だと思います。

20歳以上市民用

「地域福祉に関する市民意識調査」のお願い

皆さまには、日頃から福祉行政の推進にご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、刈谷市と刈谷市社会福祉協議会では、地域住民・ボランティア・NPO法人・サービス事業者・福祉関係団体などと協力して、障害の有無や年齢などにかかわらず、家庭や地域の中で安心した生活が送れるように、地域福祉を推進しています。

このたび、地域の福祉課題や今後の刈谷市の地域福祉の推進方向など、皆さまからのご意見をお聞きするアンケート調査を実施して、「第4次刈谷市地域福祉計画」の策定に活用したいと考えています。

この調査は、20歳以上の市民の皆さまの中から無作為に抽出した2,500人を対象に実施しています。回答は無記名であり、集計結果は公表させていただきますが、個人が特定されることはありません。ぜひ、皆さまの率直なご意見をお聞かせください。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成30年11月

刈谷市長 竹中 良則

刈谷市社会福祉協議会会長 杉浦 芳一

◆ご回答のお願い◆

- 1 この調査票は、あて名のご本人のお考えでご記入ください。（あて名の方がお答えできない場合は、ご本人に代わり20歳以上のご家族の方にお答えいただいても差し支えありません。）
- 2 平成30年10月1日現在の内容でご記入ください。
- 3 お答えは、質問のあてはまる番号に○をつけてください。
- 4 お答えが「その他」にあてはまる場合は、（ ）に具体的に書いてください。
- 5 ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**11月30日（金）までに**投函してください（切手不要）。

▼問い合わせ先

刈谷市役所 福祉総務課 総務係  
担当 前島、西村

TEL：0566-62-1012

FAX：0566-24-3481

電子メール：fukusou@city.kariya.lg.jp

A あなたの年齢、ご家族などについておたずねします

問1 あなたの年齢は、平成30年10月1日現在、次のどれですか。(○は1つだけ)

- |        |         |
|--------|---------|
| 1 20歳代 | 4 50歳代  |
| 2 30歳代 | 5 60歳代  |
| 3 40歳代 | 6 70歳以上 |

問2 あなたの性別はどちらですか。(○は1つだけ)

- |      |      |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問3 あなたが現在同居している家族の構成は次のどれですか。(○は1つだけ)

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| 1 単身世帯(1人)    | 4 祖父母と親と子(3世代世帯) |
| 2 夫婦だけ(1世代世帯) | 5 その他の世帯 ( )     |
| 3 親と子(2世代世帯)  |                  |

問4 あなたの居住地(自治会別)は次のどれですか。(○は1つだけ)

わからない場合はお住まいの町名をご記入ください。

- |        |        |        |
|--------|--------|--------|
| 1 刈谷西部 | 9 桜    | 17 泉田  |
| 2 刈谷中部 | 10 井ヶ谷 | 18 築地  |
| 3 刈谷東部 | 11 東境  | 19 小垣江 |
| 4 元刈谷  | 12 西境  | 20 高須  |
| 5 熊    | 13 今川  | 21 半城土 |
| 6 高津波  | 14 今岡  | 22 野田  |
| 7 小山   | 15 一里山 | 23 東刈谷 |
| 8 重原   | 16 一ツ木 |        |

※ わからない → 町名 ( )  
地区を判別するため、野田町にお住まいの方は字名まで記入してください。

問5 あなたの就業・就学状況は次のどれですか。(○は1つだけ)

- |                          |                |
|--------------------------|----------------|
| 1 自営業(農林業等従事者も含む)        | 4 パート・アルバイト    |
| 2 会社員など(公務員・会社役員・専門職も含む) | 5 無職(家事従事者も含む) |
| 3 学生・専門学校生               | 6 その他 ( )      |

問6 あなたは、刈谷市に住んで通算して何年になりますか。(○は1つだけ)

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1 1年未満     | 4 10年～20年未満 |
| 2 1年～5年未満  | 5 20年以上     |
| 3 5年～10年未満 |             |

問7 あなたのお住まいは次のどれですか。(○は1つだけ)

- |                |            |
|----------------|------------|
| 1 一戸建て持ち家      | 5 社宅・寮・官公舎 |
| 2 一戸建て借家       | 6 公営・公団住宅  |
| 3 分譲マンション      | 7 その他 ( )  |
| 4 賃貸マンション・アパート |            |

#### B 地域意識についておたずねします

問8 あなたにとって身近に感じられる「地域」とは、どの範囲をいいますか。

(○は1つだけ)

- |        |           |
|--------|-----------|
| 1 隣近所  | 5 市内全域    |
| 2 自治会  | 6 わからない   |
| 3 小学校区 | 7 その他 ( ) |
| 4 中学校区 |           |

問9 あなたは、ふだん近所の方とどの程度のおつきあいをしていますか。(○は1つだけ)

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1 家を行き来するつきあい   | 3 あいさつをする程度のつきあい |
| 2 立ち話をする程度のつきあい | 4 ほとんどつきあいはない    |

問10 あなたのご近所とのおつきあいに対する考え方は次のどれに最も近いですか。

(○は1つだけ)

- 1 お互いに相談したり、助け合ったりすることはとても良いことである
- 2 お互いにわずらわしくない程度は必要なことである
- 3 なくても困らないので、できればしたくない
- 4 わずらわしいことが多かったり、必要性を感じないので、したくない
- 5 わからない
- 6 その他 ( )

問11 あなたの住んでいる地域は、住民同士による助け合いや支え合いが行われるなど、地域のつながりが強いと思いますか。(○は1つだけ)

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1 強い         | 4 どちらかといえば弱い |
| 2 どちらかといえば強い | 5 弱い         |
| 3 どちらともいえない  | 6 わからない      |

問12 あなたは地域の活動や行事にどの程度参加していますか。(○は1つだけ)

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1 積極的に参加している  | 3 あまり参加していない |
| 2 ほどほどに参加している | 4 参加していない    |
- (→1、2の方は問14へ)

問13 問12で「3 あまり参加していない」「4 参加していない」に○をつけた方におたずねします。あまり参加していない、参加していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1 興味のある活動・行事がないから    | 5 行ったことがないので参加しにくいから |
| 2 時間的な余裕がないから        | 6 知らない人ばかりで参加しにくいから  |
| 3 地域との関係をあまり持ちたくないから | 7 活動に関心がないから         |
| 4 活動・行事の情報を知らないから    | 8 その他 ( )            |

問14 あなたの住んでいる地域には、どのような問題があると感じていますか。

(あてはまるものに○、その中で「地域で」解決<sup>(※)</sup>できる課題だと思ふものは○いくつでも可)

※「地域で解決」…ボランティア、地域住民による活動や助け合いなどで解決すること。

- |                            |                          |
|----------------------------|--------------------------|
| 1 あいさつをしない人が多い             | 11 障害のある人と交流する場がない       |
| 2 近所づきあいが減っている             | 12 防災体制が十分でない            |
| 3 地域の活動が活発でない              | 13 身近に手助け・手伝いをしてくれる人がいない |
| 4 地域の活動などに参加しにくい雰囲気がある     | 14 地域内にゴミが散乱している         |
| 5 日中、地域を離れている人が多い          | 15 安全に歩くことができない道がある      |
| 6 地域での助け合いに関心のない人が多い       | 16 健康づくりの場や機会がない         |
| 7 買い物などの移手段が整っていない         | 17 特にない                  |
| 8 治安が悪くなっている               | 18 その他 ( )               |
| 9 高齢者が気軽に安心して集まれる場所がない     |                          |
| 10 子育て期の親や子どもが気軽に集まれる場所がない |                          |



問15 あなたは、介護、子育て、生活支援の問題で困った場合に、相談するのはどこ（どなた）ですか。ただし、家族と親族は除きます。（○はいくつでも）

- |                 |              |
|-----------------|--------------|
| 1 知人や友人         | 5 社会福祉協議会    |
| 2 近所の人          | 6 市役所        |
| 3 民生委員・児童委員     | 7 相談する相手はいない |
| 4 自治会長（地区委員を含む） | 8 その他（ ）     |

問16 あなたは、住んでいる地域で困っていることや問題になっていることをどのような方法で解決すればよいと思いますか。（○は1つだけ）

- 1 自分たちの生活に関わることから、住民同士で協力して解決したい
- 2 地域のことに熱心な人たちが考えてくれるので、その人たちに任せておきたい
- 3 ボランティアやNPOなど専門的な知識を持つ人たちと、協力して解決したい
- 4 行政に解決してもらえるように、積極的に要求していきたい
- 5 その他（ ）

問17 あなたのご近所には、特に見守りを必要とする人や気にかかる家庭がありますか。（○は1つだけ）

- |      |       |         |
|------|-------|---------|
| 1 いる | 2 いない | 3 わからない |
|------|-------|---------|
- （→ 2、3の方は問19へ）

問18 問17で「1 いる」に○をつけた方におたずねします。それは、どのような人がいる家庭ですか。（○はいくつでも）

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| 1 ひとり親と子     | 8 精神障害のある人      |
| 2 高齢者のみの世帯の人 | 9 引きこもりや閉じこもりの人 |
| 3 寝たきりの人     | 10 生活に困窮している人   |
| 4 認知症の人      | 11 虐待を受けている人    |
| 5 病气療養者      | 12 外国人          |
| 6 身体障害のある人   | 13 その他（ ）       |
| 7 知的障害のある人   |                 |

### C 地域福祉活動についておたずねします

問19 あなたは、今までにボランティア活動に参加したことがありますか。（○は1つだけ）

- 1 参加している
- 2 以前に参加したことがある
- 3 参加したことがない

問20 あなたは、今後ボランティア活動に参加したいと思いますか。(○は1つだけ)

- |                  |                      |
|------------------|----------------------|
| 1 ぜひ参加したい        | 4 機会(きっかけ)があったら参加したい |
| 2 友人などが一緒なら参加したい | 5 参加できない             |
| 3 時間ができたら参加したい   | 6 参加したくない            |

(→ 1~4の方は問22へ)

問21 問20で「5 参加できない」または「6 参加したくない」に○をつけた方におたずねします。参加できない、参加したくない理由は何ですか。(○は1つだけ)

- |                       |                 |
|-----------------------|-----------------|
| 1 興味や関心がないから          | 5 わずらわしいことが多いから |
| 2 恥ずかしいから             | 6 報酬がない・少額だから   |
| 3 活動の内容や活動の仕方がわからないから | 7 その他           |
| 4 自分の生活のことで精一杯だから     | ( )             |

問22 刈谷市には4つの地域包括支援センター<sup>(※)</sup>がありますが、地域包括支援センターを知っていますか。(○は1つだけ)

※「地域包括支援センター」…高齢者に係る相談や介護予防マネジメントなどを総合的に行う機関。

- 1 名前も活動内容も知っている
- 2 名前は知っているが活動内容はよく知らない
- 3 名前も活動内容も知らない

問23 あなたは、刈谷市社会福祉協議会ボランティアセンター<sup>(※)</sup>、刈谷市民ボランティア活動センターを知っていますか。(○は1つだけ)

※「ボランティアセンター」…ボランティアの相談・紹介・育成など様々なボランティア活動を支援する組織。

- 1 どちらも知っている
- 2 刈谷市社会福祉協議会ボランティアセンターのみ知っている
- 3 刈谷市民ボランティア活動センターのみ知っている
- 4 どちらも知らない

問24 あなたは、成年後見制度を知っていますか。また、刈谷市成年後見支援センターを知っていますか。(○は1つだけ)

※「成年後見制度」…認知症、知的障害、精神障害などにより判断能力が不十分な人が、契約や財産管理などを行う際、家庭裁判所が選任した「成年後見人」などが本人の権利や財産などを保護し、支援する制度。

※「成年後見支援センター」…判断能力が不十分な人が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、成年後見制度の利用のお手伝いと、制度の普及啓発を行っている機関。

- 1 どちらも知っている
- 2 成年後見制度のみ知っている
- 3 刈谷市成年後見支援センターのみ知っている
- 4 どちらも知らない

問25 あなたは、あなたの地域の民生委員・児童委員<sup>(※)</sup>と活動内容を知っていますか。

(○は1つだけ)

※「民生委員・児童委員」…住民の立場にたって、地域福祉に関する相談、支援を行うボランティア

- 1 人も活動内容も知っている
- 2 人は知っているが活動内容はよく知らない
- 3 人は知らないが活動内容は知っている
- 4 人も活動内容も知らない

#### D 地域防災への取り組みについておたずねします

問26 あなたは、地域の自主防災組織<sup>(※)</sup>を知っていますか。(○は1つだけ)

※「自主防災組織」…町内会、自治会など地域住民による任意の防災組織。

- 1 名前も活動内容も知っている
- 2 名前は知っているが活動内容はよく知らない
- 3 名前も活動内容も知らない

問27 あなたは、避難行動要支援者<sup>(※)</sup>を知っていますか。(○は1つだけ)

※「避難行動要支援者」…高齢者、障害のある人、乳幼児、妊婦、傷病者、日本語が不自由な外国人といった災害時に自力で避難することが困難な人のこと。

- 1 名前も内容も知っている
- 2 名前は知っているが内容はよく知らない
- 3 名前も内容も知らない

問28 万一の災害時に、高齢者や障害のある人など避難行動要支援者への情報伝達、避難所への誘導などを行うのは、主に誰だと考えますか。(○は1つだけ)

- 1 家族
- 2 隣近所
- 3 地域の自主防災組織
- 4 地域の消防団
- 5 民生委員・児童委員
- 6 市役所や消防署
- 7 その他( )

問29 地震などの災害に備えて、日頃からどのような取り組みがあれば地域での助け合いがしやすいと思いますか。

(あてはまるものに○、その中で「あなた」が取り組めるものは◎ いくつでも可)

- |                                 |                    |
|---------------------------------|--------------------|
| 1 自分や同居する家族の避難方法の確認             | 6 危険箇所の把握          |
| 2 災害時の緊急の連絡方法を家族や知り合い同士で話しておくこと | 7 地域における支援団体への参加   |
| 3 日ごろからの隣近所とのあいさつ、声掛けやつきあい      | 8 避難の際に手助けが必要な人の把握 |
| 4 災害対策の学習会への参加                  | 9 わからない            |
| 5 地域での防災訓練への参加                  | 10 特にない            |
|                                 | 11 その他 ( )         |

#### E 地域福祉の推進についておたずねします

問30 福祉水準が高いまち(福祉が充実しているまち)とはどのようなまちだと思いますか。あなたの考えに最も近いものは次のどれですか。(○は1つだけ)

- 1 福祉施設や福祉サービス事業者が多いまち
- 2 基本的な公的サービスはもちろんだが、市民の福祉意識が高く、地域の支え合いやボランティア活動が地域に根づいているまち
- 3 公的サービスの種類が多く、福祉関係手当の金額などが高いまち
- 4 その他 ( )

問31 あなたは、刈谷市の現在の福祉水準(公的<sup>(※)</sup>・非公的<sup>(※)</sup>な福祉サービスも含め)についてどのように感じていますか。(○は1つだけ)

※「公的」…行政、社会福祉協議会など。

※「非公的」…公的以外のもの。

- |         |           |
|---------|-----------|
| 1 非常に高い | 5 非常に低い   |
| 2 やや高い  | 6 わからない   |
| 3 普通    | 7 その他 ( ) |
| 4 やや低い  |           |

問32 あなたは、刈谷市の地域福祉(ボランティア活動、地域の支え合い活動など)はこの5年間に進んだと感じていますか。(○は1つだけ)

- |             |            |
|-------------|------------|
| 1 非常に進んだ    | 4 全く進んでいない |
| 2 やや進んだ     | 5 わからない    |
| 3 あまり進んでいない | 6 その他 ( )  |



問35 地域福祉を推進するために何が重要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 学校教育における福祉教育の推進
- 2 ボランティア体験や福祉体験学習、市民講座など学校以外での福祉教育の推進
- 3 福祉意識を高める広報・啓発の強化
- 4 ボランティアなどの福祉活動に関する情報提供の充実
- 5 市民が気軽に参画し、利用できる地域ごとの福祉活動の拠点づくり
- 6 地域福祉活動を推進する地域リーダーの育成
- 7 ボランティア、NPO、コミュニティ活動への支援
- 8 市民が気軽に参画できる、ボランティア活動の仕組みづくり
- 9 わからない
- 10 特にない
- 11 その他 ( )

#### F 社会福祉協議会についておたずねします

社会福祉協議会は、地域福祉推進の中心的な役割を担っています。刈谷市社会福祉協議会では、ボランティアの育成や活動支援、共同募金、福祉の相談、障害のある人や高齢者の在宅から施設までのサービスなどを行っています。

問36 あなたは、刈谷市社会福祉協議会を知っていますか。(〇は1つだけ)

- 1 名前も活動内容も知っている
  - 2 名前は聞いたことはあるが活動内容はよくわからない
  - 3 名前も活動内容も知らない
- (→ 2、3は問38へ)

問37 問36で「1 名前も活動内容も知っている」に〇をつけた方におたずねします。刈谷市社会福祉協議会に何を求めますか。(〇はいくつでも)

- 1 福祉に関する情報の発信と提供
- 2 高齢者や障害のある人などに対する福祉サービスの充実
- 3 児童や生徒に対する福祉教育の充実
- 4 社会人に対する福祉教育の充実
- 5 ボランティアなどの地域福祉を支える人づくりやネットワークづくり
- 6 地域が抱える悩みことや困りごとの相談や支援
- 7 特にない
- 8 その他 ( )



## ②若年者（15～19歳）用

### 若年者（15～19歳）用

#### 「地域福祉に関する市民意識調査」のお願い

刈谷市と刈谷市社会福祉協議会では、多くの市民のみなさんに参加していただきながら、障害の有無や年齢などにかかわらず、家庭や地域の中でみんなが安心して生活が送れるように、地域住民・ボランティア・福祉に関係する人たちと協力して、「自分や家族が住みたい地域を自分たちで作る地域」、「地域で困っていることを自分たちで解決する地域」をつくるにはどうしたらよいかを検討しています。

この調査は、15歳から19歳までの若いみなさんの中から無作為に抽出した1,000人を対象に実施しています。みなさんの率直な意見をお聞きして、地域福祉の計画づくりに活用したいと考えています。回答は無記名であり、集計結果は公表させていただきますが、個人が特定されることはありません。ぜひ、みなさんの率直なご意見をお聞かせください。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

平成30年11月

刈谷市長 竹中 良則

刈谷市社会福祉協議会会長 杉浦 芳一

#### ◆ご回答のお願い◆

- 1 この調査票は、あて名のご本人のお考えでご記入ください。
- 2 平成30年10月1日現在の内容でご記入ください。
- 3 お答えは、質問のあてはまる番号に○をつけてください。
- 4 お答えが「その他」にあてはまる場合は、（ ）に具体的に書いてください。
- 5 ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**11月30日（金）までに**投函してください（切手不要）。

#### ▼問い合わせ先

刈谷市役所 福祉総務課 総務係  
担当 前島、西村

TEL：0566-62-1012

FAX：0566-24-3481

電子メール：fukusou@city.kariya.lg.jp



はじめにお読みください・・・

## 地域福祉とは…？

みなさんは、「福祉」という言葉から何を思い浮かべますか？  
お年寄りや障害のある人などが困っているのを助ける、という「福祉」を思い出すのではないのでしょうか？

しかし、本来の「福祉」という言葉の意味は、「しあわせ」なのです。

みなさんの住んでいる地域を見渡すと、お年寄りや障害のある人のほかに、子育てに悩んでいる人、病気の人など、不安を感じながら暮らしている人、また何らかの助けを必要としている人がたくさんいますが、誰もがみんな「地域で幸せに暮らしたい」と願っています。

そして、私たちの住んでいる地域が「幸せな地域」になるためには、市役所では手の届きにくい部分（見守りやちょっとした助けなど）を、地域に住んでいるみなさんがお互いに助け合い、支え合っていくことが大切です。

このように、

**誰もが幸せに暮らせる地域であるために、皆さま一人ひとりがお住まいの地域にある困りごとを「自分のこと」としてとらえ、「幸せづくりの担い手」となって、みんなで支え合うことが「地域福祉」なのです。**



**A あなたの年齢、ご家族などについておたずねします**

問1 あなたの年齢は、平成30年10月1日現在、満何歳ですか。(○は1つだけ)

- 1 15歳                      3 17歳                      5 19歳  
2 16歳                      4 18歳

問2 あなたの性別はどちらですか。(○は1つだけ)

- 1 男性                      2 女性

問3 あなたが現在同居している家族の構成は次のどれですか。(○は1つだけ)

- 1 単身世帯(1人)                      3 祖父母と親と子(3世代世帯)  
2 親と子(2世代世帯)                      4 その他の世帯(                      )

問4 あなたの居住地(自治会別)は次のうちどれですか。(○は1つだけ)

わからない場合はお住まいの町名をご記入ください。

- 1 刈谷西部                      9 桜                      17 泉田  
2 刈谷中部                      10 井ヶ谷                      18 築地  
3 刈谷東部                      11 東境                      19 小垣江  
4 元刈谷                      12 西境                      20 高須  
5 熊                      13 今川                      21 半城土  
6 高津波                      14 今岡                      22 野田  
7 小山                      15 一里山                      23 東刈谷  
8 重原                      16 一ツ木

※ わからない → 町名(                      )  
地区を判別するため、野田町にお住まいの方は字名まで記入してください。

**B 福祉教育などについておたずねします**

問5 あなたはこれまで学校やボランティア活動などで福祉を学んだことがありますか。

(○は1つだけ)

- 1 ある                      2 ない (→ 問8へ)

問6 問5で「1 ある」に○をつけた方におたずねします。学んだ前と後で福祉についての意識が変わりましたか。(○は1つだけ)

- 1 変わった  
2 変わらなかった (→ 問8へ)  
3 その他(                      )

問7 問6で「1. 変わった」に○をつけた方におたずねします。どんな福祉教育が意識を変えましたか。(○はいくつでも)

- 1 高齢者との交流
- 2 障害のある人との交流
- 3 保育体験
- 4 ボランティアや障害のある人など当事者の体験や講演会を聞くこと
- 5 教科書や補助教材など
- 6 バリアフリー体験(車いす、アイマスクなど)
- 7 災害支援ボランティア
- 8 その他( )

問8 あなたは、世の中には、障害のある人に対して、差別や偏見があると思いますか。

(○は1つだけ)

- |            |         |
|------------|---------|
| 1 あると思う    | 3 ないと思う |
| 2 少しはあると思う | 4 わからない |

(→ 3の方は問10へ)

問9 問8で「1 あると思う」「2 少しはあると思う」「4 わからない」に○をつけた方におたずねします。あなたは、障害のある人に対する差別や偏見を解消するためにはどのような取り組みが必要だと思いますか。(○は1つだけ)

- 1 障害や障害のある人への理解を深めるための情報発信(広報紙・ホームページなど)
- 2 障害のある人との交流
- 3 福祉施設での体験学習(車いす体験、手話、要約筆記、点字など)
- 4 その他( )

#### C 地域意識についておたずねします

問10 あなたにとって身近に感じられる「地域」とは、どの範囲ですか。(○は1つだけ)

- |           |          |
|-----------|----------|
| 1 隣近所     | 5 市内全域   |
| 2 自治会(地区) | 6 わからない  |
| 3 小学校区    | 7 その他( ) |
| 4 中学校区    |          |

問11 あなたは、ふだん友達以外の近所の方とどの程度おつきあいをしていますか。

(○は1つだけ)

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1 家を行き来するつきあい   | 3 あいさつをする程度のつきあい |
| 2 立ち話をする程度のつきあい | 4 ほとんどつきあいはない    |

問12 ご近所の方と話をしたり、家を行き来したりするなどのおつきあいをするこ  
について、あなたの考え方は次のどれに最も近いですか。(○は1つだけ)

- 1 お互いに相談したり、助け合ったりすることはとても良いことである
- 2 お互いにわずらわしくない程度は必要なことである
- 3 なくても困らないので、できればしたくない
- 4 わずらわしいことが多かったり、必要性を感じないので、したくない
- 5 わからない
- 6 その他 ( )

問13 あなたがこの1年間に参加した地域のイベントや活動は何ですか。(○はいくつでも)

- |                        |               |
|------------------------|---------------|
| 1 子ども会活動の手伝い           | 7 障害者施設などでの行事 |
| 2 地域の運動会               | 8 公園や道路の清掃    |
| 3 主に近所の人が集まる祭り         | 9 地域の廃品回収やバザー |
| 4 市が行う祭り(わんさか祭り、万燈祭など) | 10 地域のスポーツクラブ |
| 5 保育所などの行事(夏祭り、バザーなど)  | 11 参加していない    |
| 6 地域の老人ホームなどの行事        | 12 その他 ( )    |

問14 これまでに参加した地域のイベントや活動で最も楽しかったものは何ですか。

また、楽しかった理由は何ですか。

楽しかった地域のイベントや活動

楽しかった理由

問15 あなたは、地震などの災害に備えて、どのようなことが大切だと思いますか。(○はいくつでも)

- |               |                            |
|---------------|----------------------------|
| 1 自分のことは自分で守る | 5 ボランティアなどの社会貢献            |
| 2 家族や親族とのつながり | 6 住民と行政との協働 <sup>(※)</sup> |
| 3 友人や知人とのつながり | 7 わからない                    |
| 4 地域住民とのつながり  | 8 その他( )                   |

※「協働」…同じ目標を達成しようとする者同士が、各々の考えや行動の仕方が違って、お互いの特性を活かし合って協力すること。

#### D ボランティアについておたずねします

問16 あなたは、今までにボランティア活動に参加したことがありますか。(○は1つだけ)

- 1 参加している
- 2 以前に参加したことがある
- 3 参加したことがない

問17 あなたは、今後ボランティア活動に参加したいと思いますか。(○は1つだけ)

- |                  |                |
|------------------|----------------|
| 1 ぜひ参加したい        | 4 機会があったら参加したい |
| 2 友人などが一緒なら参加したい | 5 参加できない       |
| 3 時間ができたら参加したい   | 6 参加したくない      |

(→ 1～4は問19へ)

問18 問17で「5 参加できない」または「6 参加したくない」に○をつけた方におたずねします。参加できない、参加したくない理由は何ですか。(○は1つだけ)

- 1 興味や関心がないから
- 2 恥ずかしいから
- 3 活動の内容や活動の仕方がわからないから
- 4 自分の生活のことで精一杯だから
- 5 わずらわしいことが多いから
- 6 報酬がない・少額だから
- 7 その他( )

E 地域の福祉課題についておたずねします

問19 これからの福祉は市民の参加や協力が必要といわれていますが、次の活動の中であなたができることや、やってみたいことがありますか。(〇はいくつでも)

- 1 ひとり暮らしの高齢者や障害のある人への声かけ
- 2 ひとり暮らしの高齢者や障害のある人の買い物やゴミ出しなどの手助け
- 3 ひとり暮らしの高齢者や障害のある人の緊急時の連絡や対応
- 4 児童館などでの小学生などとの交流
- 5 スポーツクラブなどでの小学生などの指導
- 6 福祉施設での手伝いや話し相手
- 7 点訳・朗読、手話通訳などのコミュニケーション支援
- 8 寄付や募金への協力
- 9 特にない
- 10 その他 ( )

問20 あなたの住んでいる地域には、どのような問題があると感じていますか。

(〇はいくつでも)

- |                            |                          |
|----------------------------|--------------------------|
| 1 あいさつをしない人が多い             | 11 障害のある人と交流する場がない       |
| 2 近所づきあいが減っている             | 12 防災体制が十分でない            |
| 3 地域の活動が活発でない              | 13 身近に手助け・手伝いをしてくれる人がいない |
| 4 地域の活動などに参加しにくい雰囲気がある     | 14 地域内にゴミが散乱している         |
| 5 日中、地域を離れている人が多い          | 15 安全に歩くことができない道がある      |
| 6 地域での助け合いに関心のない人が多い       | 16 健康づくりの場や機会がない         |
| 7 買い物などの移動手段が整っていない        | 17 特にない                  |
| 8 治安が悪くなっている               | 18 その他 ( )               |
| 9 高齢者が気軽に安心して集まれる場所がない     |                          |
| 10 子育て期の親や子どもが気軽に集まれる場所がない |                          |

問21 あなたは、刈谷市社会福祉協議会<sup>(※)</sup>を知っていますか。(〇は1つだけ)

※「社会福祉協議会」…地域の福祉向上を目的とした民間組織

- 1 名前も活動内容も知っている
  - 2 名前は聞いたことがあるが活動内容はよく知らない
  - 3 名前も活動内容も知らない
- (→ 2、3 は問23へ)

問22 問21で「1名前も活動内容も知っている」に○をつけた方におたずねします。刈谷市社会福祉協議会に求めることは何ですか。(○はいくつでも)

- 1 福祉に関する情報の発信や提供
- 2 高齢者や障害のある人などに対する福祉サービスの充実
- 3 児童や生徒に対する福祉教育の充実
- 4 ボランティアなどの地域福祉を支える人づくりやネットワークづくり
- 5 地域が抱える悩みごとや困りごとの相談や支援
- 6 特にない
- 7 その他 ( )

問23 刈谷市社会福祉協議会が発行する「刈谷市社協だより」を読んだことがありますか。(○は1つだけ)

- 1 読んだことがある
- 2 発行していることは知っているが、読んだことがない
- 3 発行していることを知らない

問24 あなたは、あなたの地域の民生委員・児童委員<sup>(※)</sup>と活動内容を知っていますか。(○は1つだけ)

※「民生委員・児童委員」…住民の立場にたって、地域福祉に関する相談、支援を行うボランティア

- 1 人も活動内容も知っている
- 2 人は知っているが、活動内容はよく知らない
- 3 人は知らないが、活動内容は知っている
- 4 人も活動内容も知らない

問25 刈谷の好きなところ、変わったらしいなと思うところについて、思いつくことをご記入ください。

<好きなところ>

<変わったらしいなと思うところ>

ご協力ありがとうございました。

③自治会長用、民生委員・児童委員用（調査項目は共通）

自治会長用

「地域福祉に関する市民意識調査」のお願い

皆さまには、日頃から福祉行政の推進にご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、刈谷市と刈谷市社会福祉協議会では、地域住民・ボランティア・NPO法人・サービス事業者・福祉関係団体などと協力して、障害の有無や年齢などにかかわらず、家庭や地域の中で安心した生活が送れるように、地域福祉を推進しています。

このたび、地域の福祉課題や今後の刈谷市の地域福祉の推進方向など、皆さまからのご意見をお聞きするアンケート調査を実施して、「第4次刈谷市地域福祉計画」の策定に活用したいと考えています。

この調査は、自治会長、民生委員・児童委員の皆さまを対象に実施しています。回答は無記名であり、集計結果は公表させていただきますが、個人が特定されることはありません。ぜひ、皆さまの率直なご意見をお聞かせください。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成30年10月

刈谷市長 竹中 良則

刈谷市社会福祉協議会会長 杉浦 芳一

◆ご回答のお願い◆

- 1 この調査票は、ご自分のお考えでご記入ください。
- 2 平成30年10月1日現在の内容でご記入ください。
- 3 お答えは、質問のあてはまる番号に○をつけてください。
- 4 お答えが「その他」にあてはまる場合は、（ ）に具体的に書いてください。
- 5 ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、11月5日（月）までに投函してください（切手不要）。なお、11月5日（月）開催の自治連合会議の際に、市民協働課の担当者に提出していただいても差し支えありません。

▼問い合わせ先

刈谷市役所 福祉総務課 総務係  
担当 前島、西村

TEL：0566-62-1012

FAX：0566-24-3481

電子メール：fukusou@city.kariya.lg.jp



民生委員・児童委員用

## 「地域福祉に関する市民意識調査」のお願い

皆さまには、日頃から福祉行政の推進にご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、刈谷市と刈谷市社会福祉協議会では、地域住民・ボランティア・NPO法人・サービス事業者・福祉関係団体などと協力して、障害の有無や年齢などにかかわらず、家庭や地域の中で安心した生活が送れるように、地域福祉を推進しています。

このたび、地域の福祉課題や今後の刈谷市の地域福祉の推進方向など、皆さまからのご意見をお聞きするアンケート調査を実施して、「第4次刈谷市地域福祉計画」の策定に活用したいと考えています。

この調査は、自治会長、民生委員・児童委員の皆さまを対象に実施しています。回答は無記名であり、集計結果は公表させていただきますが、個人が特定されることはありません。ぜひ、皆さまの率直なご意見をお聞かせください。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成30年10月

刈谷市長 竹中 良則

刈谷市社会福祉協議会会長 杉浦 芳一

### ◆ご回答のお願い◆

- 1 この調査票は、ご自分のお考えでご記入ください。
- 2 平成30年10月1日現在の内容でご記入ください。
- 3 お答えは、質問のあてはまる番号に○をつけてください。
- 4 お答えが「その他」にあてはまる場合は、（ ）に具体的に書いてください。
- 5 ご記入いただきました調査票は、各地区の自主勉強会等で回収します（詳しくは2ページをご覧ください）。

また、同封の返信用封筒に入れ、投函していただくことも可能です（切手不要）。その場合は、11月22日（木）までに返送してください。

#### ▼問い合わせ先

刈谷市役所 福祉総務課 総務係  
担当 前島、西村

TEL：0566-62-1012

FAX：0566-24-3481

電子メール：fukusou@city.kariya.lg.jp



問8 あなたご自身が活動をする中で抱えている課題は何だと思えますか。(〇はいくつでも)

- |   |                           |
|---|---------------------------|
| 1 相談をしてきた人との関わり<br>方が難しい                | 5 担当する地域の各世帯の把握が<br>困難である |
| 2 個人情報の保護により行政から<br>活動に必要な情報が得られない      | 6 他の団体・組織との連携が<br>うまくいかない |
| 3 行政や社会福祉協議会のどこにつない<br>だら良いか、分からないことがある | 7 活動が忙しすぎる                |
| 4 複数の活動を抱えており、<br>調整が困難である              | 8 後継者がいない                 |
|   | 9 特にない                    |
|   | 10 その他( )                 |

問9 あなたが活動されている地区でこれから特に支援が必要だと思う人はどのような人ですか。(〇はいくつでも)

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| 1 ひとり親と子     | 8 精神障害のある人      |
| 2 高齢者のみの世帯の人 | 9 引きこもりや閉じこもりの人 |
| 3 寝たきりの人     | 10 生活に困窮している人   |
| 4 認知症の人      | 11 虐待を受けている人    |
| 5 病気療養者      | 12 外国人          |
| 6 身体障害のある人   | 13 特にない         |
| 7 知的障害のある人   | 14 その他( )       |

問10 今後、支援が必要な人に対して、地域での支え合いをより活性化していくために、特に必要なことは次のうちどれだと思いますか。(〇はいくつでも)

- |                                  |                                    |
|----------------------------------|------------------------------------|
| 1 新たな担い手を育成していく                  | 7 他の自治会長、民生委員・児童委員<br>との交流を活発にしていく |
| 2 行政との連携を深める                     | 8 他のボランティア・NPOとの交流<br>や協働の機会を増やす   |
| 3 社会福祉協議会との連携を深める                | 9 わからない                            |
| 4 地区社会福祉協議会や福祉委員会の<br>立ち上げや活動の充実 | 10 その他( )                          |
| 5 地域住民に活動内容を知ってもらう               |                                    |
| 6 専門的な研修・勉強会などの機会を増やす            |                                    |

問11 支援が必要な人の情報を市から提供された場合、どのようなことに活用できると思えますか。(〇はいくつでも)

- |               |                     |
|---------------|---------------------|
| 1 見守り・声かけ活動   | 6 対象者の権利擁護          |
| 2 交流の場づくり     | 7 対象者の日常生活支援        |
| 3 福祉サービスの情報提供 | 8 対象者の外出などの付き添い・手伝い |
| 4 関係団体・組織との連携 | 9 わからない             |
| 5 対象者の社会参加支援  | 10 その他( )           |

問 12 あなたの住んでいる地域には、どのような問題があると感じていますか。

(あてはまるものに○、その中で「地域で」解決できると思うものは◎ いくつでも可)

- |                            |                          |
|----------------------------|--------------------------|
| 1 あいさつをしない人が多い             | 11 障害のある人と交流する場がない       |
| 2 近所づきあいが減っている             | 12 防災体制が十分でない            |
| 3 地域の活動が活発でない              | 13 身近に手助け・手伝いをしてくれる人がいない |
| 4 地域の活動などに参加しにくい雰囲気がある     | 14 地域内にゴミが散乱している         |
| 5 日中、地域を離れている人が多い          | 15 安全に歩くことができない道がある      |
| 6 地域での助け合いに関心のない人が多い       | 16 健康づくりの場や機会がない         |
| 7 買い物などの移手段が整っていない         | 17 特にない                  |
| 8 治安が悪くなっている               | 18 その他 ( )               |
| 9 高齢者が気軽に安心して集まれる場所がない     |                          |
| 10 子育て期の親や子どもが気軽に集まれる場所がない |                          |

問 13 あなたは、地域福祉を進める上で、行政にどのようなことを期待・要望しますか。

(○はいくつでも)

- |                                    |                         |
|------------------------------------|-------------------------|
| 1 地域住民同士が助け合い、支え合うことができる仕組みづくり     | 6 地域における福祉活動拠点の充実・環境づくり |
| 2 地域における福祉に関する相談窓口の充実              | 7 地域福祉活動のネットワークづくり      |
| 3 福祉活動の中心を担う地域における人材の育成・確保         | 8 福祉に関する講習会や講演会などの開催    |
| 4 児童・生徒・地域住民を対象とした福祉教育の充実          | 9 福祉に関する情報提供の充実         |
| 5 福祉活動を行っているNPO法人やボランティア団体への資金面の支援 | 10 現在所属している役職の後継者づくり    |
|                                    | 11 特にない                 |
|                                    | 12 その他 ( )              |

### C 避難行動要支援者の情報についておたずねします

問 14 災害時に自力で安全な場所に避難することが困難な高齢者や障害のある人など、いわゆる「避難行動要支援者」の安全を守るため、「避難行動要支援者名簿」を作成しています。あなたは「避難行動要支援者名簿」をどのように活用していますか。

(○はいくつでも)

- |                       |                               |
|-----------------------|-------------------------------|
| 1 対象者の自宅を地図に示して把握している | 4 対象者への避難行動に関する助言・相談対応に活用している |
| 2 個別支援計画を作成している       | 5 活用できていない                    |
| 3 対象者の日々の見守りに生かしている   | 6 その他 ( )                     |

D 他団体との連携についておたずねします

問 15 あなたは、地域での活動の際に、どのような団体などと連携して活動されていますか。

(○はいくつでも)

- |                  |                |               |
|------------------|----------------|---------------|
| 1 自治会            | 10 障害者施設       | 19 地域包括支援センター |
| 2 いきいきクラブ(老人クラブ) | 11 医療施設        | 20 子育て支援センター  |
| 3 女性団体           | 12 社会福祉協議会     | 21 民生委員・児童委員  |
| 4 子ども会           | 13 地区社会福祉協議会   | 22 自主防災組織     |
| 5 ボランティア団体       | 14 福祉委員会       | 23 警察・消防      |
| 6 NPO法人          | 15 保育所・幼稚園     | 24 弁護士・司法書士   |
| 7 企業             | 16 小・中学校、高校、大学 | 25 特にない       |
| 8 商工会            | 17 PTA         | 26 その他        |
| 9 高齢者施設          | 18 公民館         | ( )           |

(→25の方は問17へ)

問 16 他の団体などと連携して行っている活動は、どのような活動ですか。

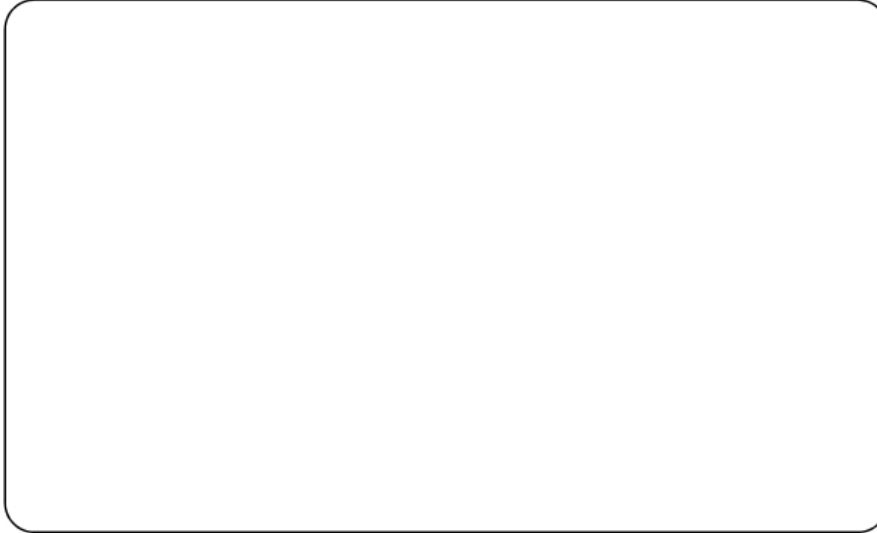
(○はいくつでも)

- |                                   |                                  |
|-----------------------------------|----------------------------------|
| 1 乳幼児の一時保育                        | 15 福祉施設への訪問活動                    |
| 2 子育ての相談、保護者の交流支援                 | 16 福祉施設での作業補助                    |
| 3 本の読み聞かせ                         | 17 福祉作業所などへの支援                   |
| 4 子どもの遊び、野外活動                     | 18 福祉イベントなどを通じた交流活動              |
| 5 子どもの居場所づくり                      | 19 専門技術を生かした支援(パソコン講座、家の補修、理髪など) |
| 6 高齢者の安否確認、話し相手、手紙など              | 20 ひとり親家庭・生活困窮世帯への訪問             |
| 7 高齢者の居場所づくり                      | 21 地域への施設開放                      |
| 8 高齢者への配食サービス                     | 22 その他( )                        |
| 9 高齢者や障害のある人などへの家事サービス            |                                  |
| 10 高齢者や障害のある人などの外出時の付き添い・手伝い      |                                  |
| 11 高齢者や障害のある人などの雇用の創出・支援          |                                  |
| 12 点訳・朗読、手話通訳などのコミュニケーション支援       |                                  |
| 13 障害のある子などへのおもちゃの貸し出し            |                                  |
| 14 高齢者や障害のある人へのレクリエーション・スポーツ活動の支援 |                                  |



E その他

問 21 地域福祉の進め方、地域活動・組織のあり方など自由にご記入ください。



問 22 みんなで助け合い・支え合える地域をつくるために、必要だと思う取り組み、見聞きしたことがある取り組み、今後あなたが取り組んでみたいことなどあれば教えてください。



ご協力ありがとうございました。